

年報 35（令和 4 年度版）

千葉県立中央博物館

NATURAL HISTORY MUSEUM AND INSTITUTE, CHIBA

目次

令和4年度1年間のあゆみ	1
令和4年度のトピック	2
千葉県立中央博物館概要	3
新型コロナウイルス感染症への対応	5

I 資料収集・整理保存

第1 本館	
1 資料の登録	8
2 資料の収集	9
3 資料の寄託・仮保管・借用	10
4 資料の利用	11
5 保存環境の整備等	14
6 図書の利用	15
第2 大利根分館	
1 資料の登録	16
2 資料の収集	16
3 資料の寄託・借用	16
4 資料の利用	17
第3 大多喜城分館	
1 資料の登録	19
2 資料の収集	19
3 資料の寄託・借用	19
4 資料の利用	21
第4 分館海の博物館	
1 資料の登録	23
2 資料の収集	23
3 資料の利用	24
4 保存環境の整備等	24

II 調査研究

第1 本館	
1 研究課題	26
2 外部資金等による研究	36
3 研究成果の公表・周知	39
4 研究員の執筆・研究発表	40
5 研究交流	50
第2 大利根分館	
1 研究課題	54
2 研究員の執筆・研究発表	54
3 研究交流	55
第3 大多喜城分館	
1 研究課題	56
2 研究員の執筆・研究発表	56
第4 分館海の博物館	
1 研究課題	57
2 外部資金等による研究	58
3 研究成果の公表・周知	58
4 研究員の執筆・研究発表	58
5 研究交流	60

III 展示

第1 本館	
1 常設展示	61
2 野外展示(生態園)	61

3 特別展	61
4 季節展	63
5 生態園トピックス展	69
6 トピックス展	71
7 ミニトピックス展	72
8 その他の展示	74
9 出前展示	75
第2 大利根分館	
1 企画展	77
2 出前展示	77
第3 大多喜城分館	
1 常設展示	79
2 企画展	79
3 テーマ展示	79
第4 分館海の博物館	
1 常設展示	80
2 マリンサイエンスギャラリー	80
3 収蔵資料展	81
4 その他の展示	81

IV 教育普及

第1 本館	
1 展示観覧支援	82
2 講座・観察会等の開催	84
3 アウトリーチ支援	88
4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・ 教員研修等	94
5 県民参画	95
6 外部機関との協定	96
第2 大利根分館	
1 展示観覧支援	97
2 講座・観察会等の開催	97
3 アウトリーチ支援	97
第3 大多喜城分館	
1 展示観覧支援	99
2 講座・観察会等の開催	99
3 アウトリーチ支援	99
4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・ 教員研修等	99
5 県民参画	99
第4 分館海の博物館	
1 展示観覧支援	100
2 講座・観察会等の開催	100
3 アウトリーチ支援	101
4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・ 教員研修等	102

V 情報発信

1 出版物・印刷物の発行	103
2 インターネットの活用	104
3 マスコミ等の活用	106
4 郵メンバー	113

VI 施設維持保守

- 1 施設維持保守工事 ----- 114

VII 千葉県立博物館ネットワーク

- 1 千葉県立博物館情報システム ----- 115
- 2 千葉県立博物館文化セミナー「千葉学講座」 --- 115

VIII 入館者状況

- 1 月別入館者数 ----- 116
- 2 団体入館状況 ----- 119
- 3 団体の種類・地域内訳 ----- 120

IX 組織・運営

- 1 千葉県博物館協議会 ----- 124
- 2 職員 ----- 124
- 3 分掌 ----- 125
- 4 運営推進チーム・委員会 ----- 125
- 5 利用方法 ----- 125

令和4年度1年間のあゆみ

(令和3年度から継続)

- 令和3年度春の展示「苔松・苔梅―春を寿ぐうめのきごけー」(～5月8日)【本館】
トピックス展「生命(いのち)のにぎわい 生命のにぎわい調査団・生物多様性写真展」
(～5月8日)【本館】
- 生態園トピックス展「カエル」(～5月15日)【本館(生態園)】
マリンサイエンスギャラリー「千葉県エビ・カニ大集合！」(～5月8日)【分館海の博物館】
研修館展示「大多喜城と城下町」【大多喜城分館】

令和4(2022)年

- 4月 1日 (木) 本館への機能集約のため休館【大利根分館】
- 4月 1日 (木) 出前展示「出張写真展 水郷の原風景 一米づくり・魚とり、そして日々の暮らしー」(～4月28日)【大利根分館/会場道の駅・川の駅 水の郷さわら】
- 4月 29日 (金) トピックス展「五百沢智也氏が描いた房総の風景」(～6月19日)【本館】
- 5月 28日 (土) 臨時開館 収蔵資料展「古い道具とむかしの暮らし」(～6月19日)【大利根分館】
- 6月 14日 (火) 出前展示「出張写真展 古写真にみる佐原の大祭」(～7月22日、9月13日～10月14日)
【大利根分館/会場道の駅・川の駅 水の郷さわら】
- 6月 15日 (木) 施設無料開放(千葉県民の日)
- 6月 18日 (土) ミニトピックス展「オオガハス」(～7月10日)【本館】
- 7月 5日 (火) 生態園トピックス展「第11回生態園ギャラリー」(～9月4日)【本館(生態園)】
- 7月 5日 (火) 出前展示「伝馬船模型展示」(～当面の間)【大利根分館/会場 千葉県香取地域振興事務所 合同庁舎】
- 7月 16日 (土) 特別展「鯨」(～9月25日)【本館】
- 7月 16日 (土) 収蔵資料展「九十九里浜の海の生きもの」(～9月4日)【分館海の博物館】
- 9月 3日 (土) ミニトピックス展「習志野隕石」(～3月26日)【本館】
- 9月 17日 (土) 海のアート展「真綿でつくるゆらゆらクラゲ」(～1月15日)【分館海の博物館】
- 10月 22日 (土) 秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々の祭ー」(～1月9日)【本館】
- 11月 3日 (木・祝) 施設無料開放(文化の日)
- 11月 22日 (火) 環境教育推進事業出張展示「カミツキガメ」(～12月4日)
【本館/会場 青葉の森公園 緑の相談所ギャラリー】
- 12月 2日 (金) 出前展示「出張写真展 水郷の原風景 一米づくり・魚とり、そして日々の暮らしー」(～1月29日)【大利根分館/会場 水郷佐原あやめパーク】
- 12月 6日 (火) 環境教育推進事業出張展示「侵略的外来水生植物」(～12月18日)
【本館/会場青葉の森公園 緑の相談所ギャラリー】
- 12月 17日 (土) ミニトピックス展「十二支にちなんでー卯年ー」(～1月22日)【本館】

令和5(2023)年

- 1月 12日 (木) 第1回千葉県博物館協議会【本館】
- 1月 21日 (土) 千葉県教育振興財団巡回展示「令和4年度出土遺物公開事業「柏北部東地区の遺跡展 地中からの目覚め」」(～2月26日)【本館】
- 2月 4日 (土) トピックス展「こんなに変わった植物の分類！ーDNAをもとにした新たな系統ー」(～4月9日)【本館】
- 2月 9日 (木) 第2回千葉県博物館協議会【本館】
- 2月 23日 (木) マリンサイエンスギャラリー「房総の魚 名魚・珍魚・ふつうの魚」(～5月7日)【分館海の博物館】
- 2月 28日 (火) 生態園トピックス展「生態園の意外な動物たち」(～6月4日)【本館(生態園)】
- 3月 3日 (木) 第3回千葉県博物館協議会【本館】
- 3月 5日 (日) 千葉学講座【本館】
- 3月 7日 (火) トピックス展「生命(いのち)のにぎわい」写真展(～5月7日)【本館】
- 3月 11日 (土) 春の展示「ちばの植物 探・検・隊！ーさあ、植物を調べる旅に出ようー」(～5月28日)
【本館】
- 3月 17日 (金) 海の生きもの観察ノート17「ノリを知ろう」発行【分館海の博物館】

令和4年度のトピック

本館は、特別展「鯨」（7月16日～9月25日）を開催。シャチやツノシマクジラなどの貴重な標本を展示し、鯨の進化や生態を説明するとともに、千葉県捕鯨の歴史やホエールウォッチングなど、千葉県ならではの鯨文化も併せて紹介した。

季節展では、秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々の祭り」（10月22日～1月9日）を開催。神輿が海や水辺に渡御する祭り「おはまおり」は、三方を海で囲まれた千葉県では各地で行われており、本展では「おはまおり」の歴史や意義、魅力について紹介した。また、春の展示「ちばの植物 探・検・隊！ーさあ、植物を調べる旅に出ようー」（3月11日～5月28日）では、植物の見分け方や、珍しい植物、危険な生物などについて、日ごろから行っている博物館の調査活動を織り込みながら紹介した。

トピックス展は、山岳鳥瞰図作家で氷河地形研究者としても知られる故・五百沢智也氏の房総半島の山里や海岸の風景を描いた風景画を紹介した「五百沢智也氏が描いた房総の風景」（4月29日～6月19日）や、公益財団法人千葉県教育振興財団が平成10年から行ってきた発掘調査の調査結果として、各時代の考古資料を紹介した「令和4年度出土遺物公開事業「柏北部東地区の遺跡群」（1月21日～2月26日）などを開催した。また、「こんなに変わった植物の分類！ーDNAをもとにした新たな系統ー」（2月4日～4月9日）では、新しい分類体系（APG分類）で大きく変更になった部分を取り上げ、写真や標本を用いて紹介した。

生態園は生態園トピックス展「カエル」（3月1日～5月15日）、「第11回生態園ギャラリー」（7月5日～9月4日）、「生態園の意外な動物たち」（2月28日～6月4日）を開催。また、11月3日に体験イベント「生態園でツリーラリー」を開催したほか、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止していた「森の調査隊（9回）」、「生態園観察会（5回）」、「生態園ギャラリー（3回）」を2年ぶりに実施した。房総の山のフィールド・ミュージアムでは、旧君津市立三島小学校で「三島小教室博物館」を延べ22日間開館したほか、10月29日～30日には第50回清和地区文化祭で出張展示を開催した。また、観察会「山の学校（3回）」、「東京大学千葉演習林連携事業 夏の山の昆虫」、「トドの化石を見つけよう」を開催した。

大利根分館は令和4年4月から休館中である。ただし、今年度は隣接する水郷佐原あやめパークのあやめ祭り期間中のみ臨時開館した。その他「道の駅・川の駅水の郷さわら」を会場に4月、6～7月、9～10月の3回、「水郷佐原あやめパーク」にて12～1月の1回、出張写真パネル展を開催。7月5日から千葉県香取地域振興事務所合同庁舎エントランスホールにて「伝馬船1/5模型」及び利根川舟運と船に関する解説パネルを展示。また小学3年社会科のカリキュラムに合わせて10月～3月の期間中、要望のあった小学校に「昔の道具」セット一式を届ける出前事業を実施。3月には川のフィールドミュージアムの一環として講座「野鳥観察報告会」を実施した。

大多喜城分館は令和3年度より一部休館中であり、見学者への配慮と地域の観光拠点の振興のため、研修館を活用しパネル展「大多喜城と城下町」（令和3年3月14日～）を開催している。

分館海の博物館では、7月16日～9月4日に収蔵資料展「九十九里浜の海の生きもの」を開催し、海の博物館に収蔵されている九十九里浜で見られる貝、甲殻類、魚類などの標本類を展示。砂浜で見られるキンセンガニなどは、水槽で生きたまま展示した。9月17日～1月15日に、真綿で作成したクラゲなどのアート作品（制作：熊田さやか氏）とその作品の対象となった生きものの解説パネルを展示した海のアート展「真綿でつくるゆらゆらクラゲ」を開催した。2月23日からはマリンサイエンスギャラリー「房総の魚 名魚・珍魚・ふつうの魚」を開催し、房総半島周辺で見られる「名魚」（水揚げされる代表的な魚、美味しい魚）、「珍魚」（滅多に見られない魚、変わった魚、不思議な生活をおくる魚）、「ふつうの魚」（現時点でふつうに見られる魚）を主に標本や映像で紹介し、漁業や食文化に代表される人との関わりや魚から見られる環境の変化などについても紹介した。また、シリーズで発行している「海の生きもの観察ノート」の第17号として、食品の海苔の原料となるノリという海藻について紹介した「ノリを知ろう」を刊行した。

千葉県立中央博物館概要

1 使命

千葉県立中央博物館は、地域の方々と共に、自然と歴史に関わる資料・情報を収集・蓄積するとともに、基礎的・国際的視野に立つ科学研究により、その新たな価値を発見し、教育、展示、その他全ての博物館活動を通して県民へ発信し、県民共有の知的資産として未来へ伝える。

また、千葉県の中核的综合博物館として、さまざまな県民の幅広い知的ニーズに応えつつ、双方向の交流を通して、その生涯学習拠点となる。

2 場所

本館	千葉市中央区青葉町 955-2 (県立青葉の森公園内)
大利根分館	香取市佐原ハ 4500
大多喜城分館	夷隅郡大多喜町大多喜 481
分館海の博物館	勝浦市吉尾 123

3 機関設置

本館	平成 元年 1 月 11 日 (同年 2 月 7 日 一般公開)
大利根分館	平成 18 年 4 月 1 日分館化 (大利根博物館 昭和 54 年 4 月 1 日機関設置 同年 11 月 21 日一般公開)
大多喜城分館	平成 18 年 4 月 1 日分館化 (総南博物館 昭和 50 年 4 月 1 日機関設置 同年 9 月 10 日一般公開)
分館海の博物館	平成 11 年 3 月 12 日 (同日 一般公開)

4 施設

区分	敷地面積	建物延床面積
本館	13,178 m ²	15,254 m ² (展示室面積 4,291 m ² /収蔵庫面積 3,591 m ² /研究・管理部門 6,812 m ²)
生態園	66,000 m ²	758 m ²
大利根分館	13,195 m ²	1,751 m ² (展示室 535.66 m ² /収蔵庫 253.83 m ²)
大多喜城分館	5,673 m ²	1,952.93 m ² (展示室 656.60 m ² /収蔵庫 310.93 m ² /研修室 246.75 m ² 等)
分館海の博物館	7,161.01 m ²	7,696.13 m ² (本館棟 3,919 m ² /駐車場 3,694 m ² 等)

5 組織

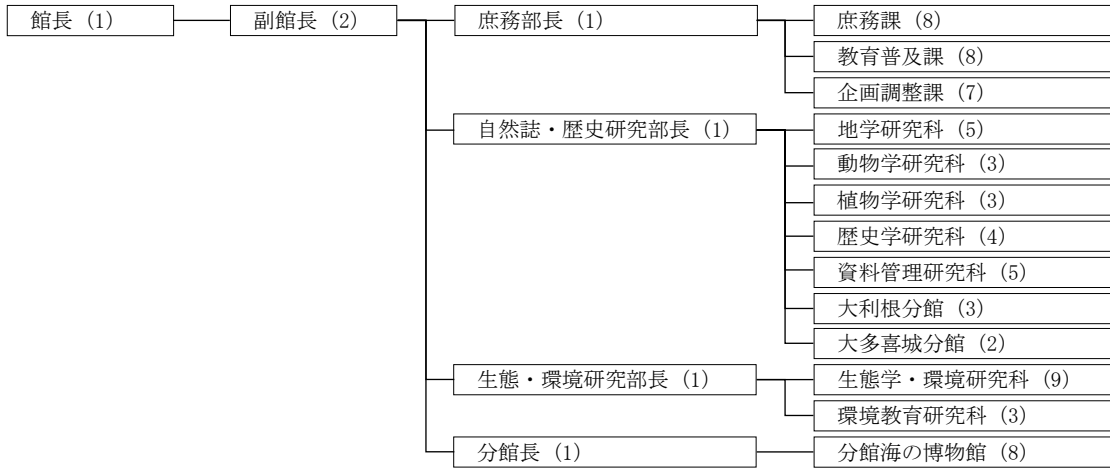
(1) 職員数 75 名

区分	行政職	研究職	合計
本館	11 名	50 名	61 名
大利根分館	0 名	3 名	3 名
大多喜城分館	0 名	2 名	2 名
分館海の博物館	2 名	7 名	9 名
計	13 名	62 名	75 名

※環境生活部自然保護課生物多様性センター併任職員 1 名、文化振興課兼務職員 2 名を含む

※体験交流員 (会計年度職員等) を除く

(2) 組織図 ()内は所属人数



6 予算 324,927,000 円

本館	大利根分館	大多喜城分館	分館海の博物館
214,529,000	16,428,000	17,726,000	76,244,000

7 常設展示の構成

本館	房総の自然と人間、房総の自然誌(房総の地学、房総の生物、海洋、生物の分類、小動物展示室)、 房総の歴史、自然と人間のかかわり、体験学習室
生態園	房総の代表的自然を再現し、動植物の生態を身近に観察する野外施設
大利根分館	利根川の自然と歴史、千葉県農業
大多喜城分館	大多喜城と城下町(研修館)
分館海の博物館	房総半島の海の自然(房総の海、さまざまな海の姿、博物館をとりまく自然、海と遊ぼう)

8 収蔵資料 1,203,551 点

本館	大利根分館	大多喜城分館	分館海の博物館
1,106,797 点	18,535 点	2,858 点	75,361 点

9 入館者数 204,274 人 うち有料入館者数 53,286 人、入館料収入 18,452,530 円

区分	本館	大利根分館	大多喜城分館	分館海の博物館
入館者数	105,358 人	1,855 人	38,530 人	58,531 人
うち有料入館者数	23,766 人	552 人	0 人	28,968 人
入館料収入	12,708,710 円	110,900 円	0 円	5,632,920 円

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症(以下「新型コロナ」という)に対する対策も徐々に浸透、進展してきたことを踏まえ、中央博物館では、令和4年度は各種規制の解除を踏まえ博物館活動の安全に配慮しながら完全復旧に向けた取り組みに努めた。

1 令和4年度新型コロナ対応の経過

年	国、県等の動向	月 日	中央博物館の状況・対応
令和4年	知事が定例記者会見において「全庁的に必要以上の制限を加えていないか改めて点検し、感染対策と諸活動の両立を図っていききたい(大意)」と発言	4月7日	感染対策の検討と実践 (第2フェーズ) 前年度から継続
		4月20日	・印旛保健所①応援要員派遣を開始 ・安房保健所応援要員派遣を開始
	文化振興課が県立博物館の制限緩和方針を示す	4月28日	制限緩和への対応に着手(以降継続実施)
		4月29日	入館確認票を廃止し、フェイスシールドの着用を任意に変更
		5月6日	・オリエンテーションハウス(生態園)の平日利用を再開 ・安房保健所応援要員派遣を終了(延べ13人日)
		5月17日	開館時間を9時に復旧
		5月18日	印旛保健所①応援要員派遣終了(延べ25人日)
		5月20日	ハンズオン展示(スイッチ操作)の利用を再開
		5月20日	市原保健所への応援要員の派遣を開始
		6月1日	講座・観察会の定員制限を制限緩和
	文化振興課が県立博物館のマスク着用の基本方針を示す	6月2日	
		6月27日	市原保健所応援要員派遣終了(延べ25人日)
		7月1日	・学校団体への対面オリエンテーション、昼食場・荷物置き場の提供、職場体験の受け入れを再開 ・一般利用者の団体受付、昼食場の提供を再開 ・展示室・イベントボランティアの対面活動を再開
		7月16日	図書閲覧コーナーの一般利用を再開
		7月23日	松戸保健所応援要員派遣開始
		7月30日	印旛保健所②応援要員派遣開始
	・健康福祉政策課が「BA.5対策強化宣言」を出す(～9/14) ・埼玉・千葉・東京・神奈川県知事が感染拡大防止の一都三県共同メッセージを出す	8月4日	一都三県共同メッセージを展示室に掲出
		9月4日	印旛保健所②応援要員派遣終了(延べ15人日)
	日本博物館協会がガイドラインを改定	9月8日	ガイドライン改定を踏まえて感染防止対策を見直し
		9月13日	・野鳥観察舎(生態園内施設)の一般利用を再開 ・松戸保健所応援要員派遣終了(延べ45人日)
	10月1日	・平日の展示室当番を廃止 ・第三段階として企画した行事を実施(以降)	
	10月12日	講演会・講座・観察会等開催のガイドラインを改定	
	10月25日	令和5年度行事計画方針を定め、次年度事業企画に着手	
文部科学省より社会教育施設における感染防止対策徹底についての事務連絡あり	11月25日	体験交流員による展示解説を開始	
埼玉・千葉・東京・神奈川県知事が感染拡大防止の一都三県共同メッセージを出す	12月21日	一都三県共同メッセージを展示室に掲出	
令和5年	政府が現在2類相当としている新型コロナの感染法上の位置づけを5/8以降5類に移行させる方針を発表	1月20日	
	国の新型コロナ対策本部においてマスク着用の考え方の見直しが決定される	2月10日	
		2月14日	・ボランティア及び市民研究員・共同研究員の活動ガイドラインを改正 ・千葉県立中央博物館収蔵庫利用のガイドラインを改正
	総務課が3/13以降の県職員の業務におけるマスクの着用についての考え方を示す	3月8日	
		3月11日	3/13以降の館内でのマスクの扱いを職員に周知
	日本博物館協会がガイドラインを改定	3月13日	ガイドライン改定を踏まえて感染防止対策を見直し
		3月28日	令和5年度中央博物館行事案内の配布を開始
	3月29日	体験学習室(たいけんの森)の一般利用を再開	

2 令和4年度課題への対応(令和3年度設定)

4月7日の知事定例記者会見における知事発言「全庁的に必要以上の制限を加えていないか改めて点検し、感染対策と諸活動の両立を図っていきたい(大意)」を踏まえ、4月28日には文化振興課から「県立博物館・美術館における制限緩和」が示された。これを受け、同日、当館においても現状における各種制限(第1・2フェーズとして実施してきた対策)を再確認し、時点の感染状況や関係機関から示される推奨対策に見合わない過度な処置を段階的に緩和していくこととした。具体的な緩和策は、公益財団法人日本博物館協会の「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に従って進め、これにより、未だ休止中であった事業や施設の再開が大きく進展した。

(1) 感染防止対策の整備・改善

知事発言に従って諸活動を進めていく上で、感染防止対策の整備・改善の面では、最初に過度な人的対応を行ってきた感染対策業務の見直しを行った。その結果、4月29日からは入館確認票の取得を廃止し、代えて入館者へはCOCOA等の接触確認アプリによる自己管理を推奨することとした。これに伴い、5月6日からは、生態園オリエンテーションハウスの平日利用も再開した。また、消毒清掃については継続することとしたが、清掃カ所や方法を見直して所要時間の短縮を図り、5月17日からは開館時間をコロナ感染以前の9時に戻した。この後「接触感染防止シール」を導入して、5月20日には利用を休止していたスイッチ操作等を伴うハンズオン展示を再開。さらに10月1日からは、平日に限り、入口の混雑回避要員を廃止した。

一方、館内における換気、三つの密の回避、手指衛生、マスクの着用等の基本的感染対策は、令和4年度を通して継続した。なお、一般利用者のマスクの着用は、国の方針に従って3月13日から入館する際の条件から除外したが、県の方針により、職員のマスクは利用者とは異なる場面に限って基本的に着用するものとした。

(2) 休止事業、施設の再開

休止中事業は、7月1日から利用者とは対面で活動する展示室・イベントボランティアの配置と、学校団体に対して職員が対面で行うオリエンテーションや昼食場・荷物置き場の提供、職場体験の受け入れを再開した。また、これまで休止していた一般団体の受け入れ並びに一般利用者への昼食場の提供も合わせて再開した。一方、令和4年度事業計画策定時に実施を認めた講座や観察会などの教育普及活動は、6月以降、事業定員を現状の規制に合った人数に増大させる方向で順次調整を行って実施した。加えて、前年度末に第3フェーズとして計画し、年度当初には実施を見送っていた事業についても、10月以降は時点で推奨される感染対策を施すことを条件に再開した。さらに10月以降は、展示室の制限人数(400人/時)の中で複数団体の同時受け入れも再開した。また、交流員事業もワークシートプログラムが中心であったが、展示解説も再開した。これらにより、教育普及活動はコロナ禍以前の状態にほぼ復旧させることができた。利用停止中施設のうち、図書閲覧コーナーは、物品整備や使用規則を定めるなどの感染防止対策を施して7月16日に一般利用を再開した。生態園野鳥観察舎についても同様の対策を行い、4日間の試験的開舎によって安全性を確認した後、9月13日から一般利用を再開した。一方、体験学習室(たいけんの森)は、運用上の感染防止対策に加えて国庫補助金を活用した壁紙の抗ウイルス加工も行ったため、一般利用の再開は3月29日からとなった。

(3) ウィズコロナ時代の博物館事業

オンライン・リモート事業を実施するためのカメラやマイク装置などを整備した。

3 利用者の状況

令和元年度にコロナ感染が始まって以来、入館者は本館、分館とも長期間の休館を余儀なくされ、令和2年度に最低となった以後は感染の波にかかわらず順次回復しており、新型コロナ感染症への理解や館の感染対策の進展が人々の知的好奇心を後押し、博物館利用の再開につながっているものと分析している。

表. 平成30年度から令和元年度の入館者数比較(括弧内は、平成30年度を基準とした各年度の割合)

	中央博物館本館	大利根分館	大多喜城分館	分館海の博物館	新型コロナ対策としての臨時休館
令和4年度	105,358 (68%)	1,855 (16%)	38,313 (50%)	58,531 (114%)	無し
令和3年度	99,836 (65%)	4,444 (37%)	47,837 (62%)	48,474 (95%)	無し
令和2年度	53,865 (35%)	2,335 (20%)	43,128 (56%)	32,029 (63%)	4/1-5/24(分館5/31)、1/9-3/21
令和元年度	108,751 (70%)	11,275 (95%)	62,419 (80%)	49,868 (56%)	3/3-3/31
平成30年度	154,482 (100%)	11,907 (100%)	77,362 (100%)	51,188 (100%)	無し

※ 令和4年度は、大利根分館は香取市あやめ祭りの期間(5/28-6/19)を除き通年休館、大多喜城分館は施設の外観のみの見学

4 県対策への協力

感染者が急増した感染拡大第7波等において、県からの要請に応じ、業務が逼迫する保健所へ当館からも感染症対策の応援職員を派遣した。派遣先は4機関で、派遣人員は、印旛保健所へは4月から9月までに延べ10名を40人日、安房保健所(鴨川地域保健センター)へは4月20日~22日、4月25日~28日、5月2日及び5月6日に延べ5名を13人日、市原保健所へは5月から6月までに延べ5名を25人日、松戸保健所へは7月から9月までに延べ9名45人日であった。派遣人員の総数は延べ29名123人日に及び、全館体制で臨んだ。

5 今後の課題

政府方針で示された5月8日に予定されているコロナウイルスの5類への移行と、それに伴う各種規制緩和を受け、令和5年度には、博物館活動においてもコロナ感染以前の日常を取り戻す必要がある。

(1) コロナウイルス対策の見直し・廃止

時点における感染状況に留意しながら、過度になっている感染防止対策や感染防止業務のなお一層の軽減、廃止を図り、博物館及び学芸職員のあるべき姿をコロナ感染以前の本来の水準に近づける。

(2) ウィズコロナ時代の博物館事業の推進

前年度までに復旧を終えた各種教育普及事業を、安全対策に配慮しながら、積極的に展開する。また、対面事業にオンライン・リモートも併用するなど、コロナ禍によって生み出された新たな事業展開も推進する。これらによって、コロナ感染によって落ち込んだ博物館利用の復興を図る。

I 資料収集・整理保存

第1 本館

1 資料の登録

(令和5年3月31日現在)

分野		年間増加	総登録点数	情報システム 総点数	
動物資料	哺乳類	0	5,435	685	
	鳥類	0	1,674	522	
	魚類	834	22,933	22,818	
	両生類・は虫類	0	2,057	0	
	昆虫	4,251	205,124	136,228	
	甲殻類	427	17,488	16,164	
	カブトガニ・ウミグモ・多足類	3	705	571	
	クモ類	0	1,407	237	
	軟体動物	315	82,452	1,847	
	多毛類	0	1,126	2	
	その他無脊椎動物	0	76	2	
		小計	5,830	340,477	179,076
植物・菌類資料	維管束植物	6,676	399,388	177,348	
	蘚苔類	0	42,883	6,899	
	藻類	0	6,110	3,484	
		植物資料小計	6,676	448,381	187,731
	地衣類	0	28,415	6,206	
	担子菌類	0	26,488	6,265	
	子囊菌類他	0	3,102	190	
	変形菌類	0	191	2	
		菌類資料小計	0	58,196	12,663
		小計	6,676	506,577	200,394
地学資料	岩石・鉱物※1	305	20,410	20,667	
	地層 (はぎとりなど)	0	26	22	
	植物化石	1	207	207	
	軟体動物化石	264	7,053	7,053	
	その他無脊椎動物化石	263	3,996	2,380	
	微化石	195	282	282	
	脊椎動物化石	0	8,323	8,323	
	地学景観画像	0	218	219	
	その他	0	819	0	
		小計	1,028	41,334	39,153
	自然誌資料合計	13,534	888,388	418,623	
人文資料	小計	5,283	60,505	25,114	
生態・環境資料	生態・環境にかかわる生物音響資料	0	1,868	-	
	生態・環境にかかわる映像資料	0	2,042	-	
	環境教育資料	0	8	-	
		小計	0	3,918	-
特殊資料・貴重書	リンネ関係レンスコークコレクション	0	5,397	0	
	その他稀観本	0	50	0	
		小計	0	5,397	0
図書資料	図書 (冊数)	666	55,282	20,736	
	雑誌 (冊数)	1,098	93,257	-	
	雑誌 (誌数) ※2	-35	5,053	2	
		小計	1,764	148,539	20,738
合計		20,581	1,106,797	464,475	

※1 岩石・鉱物の情報システム総点数が総登録点数より多いのは、情報システムで参考レコードを作成した分が増えたため。

※2 雑誌 (誌数) は、年間増加分・総登録点数には含まない。

2 資料の収集

(1) 収集点数

種別	点数
購入	0
製作委託	0
寄附	333
保管換え	0
館員による収集	13,213

種別	点数
寄託	1
仮保管	0
借用（長期）	-160
合計	13,387

※寄託・仮保管・借用は、新規受入・返却の変更があった増減を計上

(2) 内訳

ア 寄附

資料系	資料名	点数	寄贈者
動物資料	魚類標本（ヨコヅナイワシ）	1	海洋開発研究機構地球情報科学技術センター
地学資料	斎田正勝氏収集の十脚甲殻類化石コレクション	166	個人
地学資料	鉱物標本（千葉県鋸南町産霰石ほか）	99	個人
人文資料	紙幣	4	個人
人文資料	房州和船飾り船	1	個人
人文資料	君津市旧蔵鉄道資料（瀬戸内健三氏蒐集）	56	君津市
生態・環境資料	峯岸典雄生物音声録音コレクションの追加補完資料	6	個人
図書	碓井益雄蔵書	203	個人

イ 館員による収集等

資料系	資料名	点数	収集者
動物資料	哺乳類	0	館員
	鳥類	0	館員
	魚類	834	館員
	両生類・爬虫類	0	館員
	昆虫	4,251	館員
	甲殻類	427	館員
	カブトガニ・ウミグモ・多足類	3	館員
	クモ類	0	館員
	軟体動物	146	館員
	多毛類	0	館員
	その他無脊椎動物	0	館員
植物・菌類資料	維管束植物	6,676	館員
	蘚苔類	0	館員
	藻類	0	館員
	地衣類	0	館員
	担子菌類	0	館員
	子囊菌類他	0	館員
	変形菌類	0	館員
地学資料	岩石・鉱物	205	館員
	植物化石	0	館員
	軟体動物化石	1	館員
	その他無脊椎動物化石	264	館員
	微化石	97	館員

資料系	資料名	点数	収集者
	脊椎動物化石	195	館員
	地学景観画像	0	館員
	その他	0	館員
人文資料		114	館員

3 資料の寄託・仮保管・借用

(1) 寄託（新規）

資料系	資料名	点数	寄託者
地学資料	習志野隕石（2号標本破片）	1	個人

(2) 寄託（更新）

資料系	資料名	点数	寄託者
人文資料	神宮寺文書	554	神宮寺
	神崎神社文書	91	神崎神社
	大絵馬会津藩土遊泳1点、木造菩薩半伽像1点	2	三柱神社
	鋳銅鰐口1点、鋳銅孔雀文磬1点、鋳銅唐草文釣灯籠1点	3	笠森寺
	板絵馬著色武者絵（弁慶）1点、板絵馬著色武者絵（牛若）1点	2	縣神社
	地引網絵馬4点、揚繰網絵馬1点	5	玉前神社
	板絵馬著色武者絵（昇亭北寿 文久二年）1点、板絵馬著色伊勢參宮図（〃）1点	2	大宮神社
人文資料	明治2年奥州出征絵巻（ハーマン号事件に関する絵巻物）	1	勝浦市

(3) 仮保管（更新）

資料系	資料名	点数	保管者
人文資料	千葉寺経塚出土資料	10	千葉県立千葉高等学校

(4) 借用（返却）

資料系	資料名	点数	借用先
人文資料	中山新田I遺跡出土遺物ほか（460点のうち）	160	千葉県教育委員会

(5) 常設展示資料の借用（更新）

	資料名	点数	借用先
房総の地学	サンゴ岩体化石	1	とみうら元気倶楽部
	ナウマンゾウ臼歯化石ほか	23	個人
	ナウマンゾウ臼歯化石	1	個人
	ニホンジカ角化石	2	木更津市立中郷小学校
	銚子産化石・岩石	105	個人
	馬蹄石	1	個人
房総の生物	海岸漂着物	33	個人
房総の歴史	姥山貝塚出土縄文土器	9	慶應義塾大学
	城の腰遺跡出土石器ほか	95	千葉県立房総のむら
	農業要集・草木撰種録ほか	3	個人
	西広貝塚出土石剣ほか	17	市原市教育委員会
	三田遺跡出土赤彩土器ほか	40	芝山町教育委員会
	山山水呑遺跡出土墨書土器ほか	24	東金市教育委員会

	資料名	点数	借用先
	鳥浜貝塚出土クルミほか	11	福井県立若狭民俗資料館
	中山新田 I 遺跡出土石器ほか	300	千葉県教育委員会
	地租改正の丈量器具 一式	1	富津市文化協会
	林跡遺跡出土木葉形尖頭器ほか	8	鎌ヶ谷市郷土資料館
	大山台第 36 号墳出土須恵器ほか	24	木更津市教育委員会
	本名輪遺跡出土炭化米 一式	1	君津市教育委員会
	新坂 1 号墳出土円頭太刀ほか	60	山武市教育委員会
	飯山満東遺跡出土浅鉢	5	国立歴史民俗博物館
	宮内井戸作遺跡出土深鉢	13	佐倉市教育委員会
	配給手帳ほか	10	印西市立印旛歴史民俗資料館

(6) 調査等における資料の借用 (更新)

資料系	資料名	点数	借用先
地学資料	山岳鳥瞰図	408	個人

※企画展示資料の借用資料は、Ⅲ展示を参照のこと。

4 資料の利用

(1) 利用点数

利用方法	件数	点数
閲 覧	1	35
撮影・複製	13	390
貸 出	14	777
デジタル情報の複製	40	930
その他	0	0

利用方法	件数	点数
研究用貸出	14	190
標本データの提供	2	192,680
館内利用	26	783
合 計	110	195,785

※利用種別が複数にわたる場合は、それぞれにカウントした。

(2) 閲覧・撮影・複製・貸出・デジタル情報の複製・その他

ア 動物資料

利用方法	資料名	点数	利用者
館内撮影	コウチュウ目	6	東京都環境局自然環境部
館内撮影	標本・剥製 (スクミリンゴガイほか)	47	袖ヶ浦市郷土博物館
貸出	剥製 (アナグマ、タヌキ、ハクビシン、アライグマ)	4	千葉県環境生活部自然保護課
貸出	ニホンアナグマ剥製 2 点、ニホンアナグマ骨格 1 点	3	(公財)千葉県教育振興財団
貸出	ニホンジカ、タヌキ、ニホンザル、イノシシの頭骨・下顎骨	4	袖ヶ浦市立根形中学校
貸出	ニホンジカ下顎標本	238	東京大学大学院新領域創成科学研究科講師
デジタル情報	シロスジナガハナアブ生態写真 (ウェブサイト房総の山のフィールド・ミュージアム「フィールドノート」掲載画像)	1	(株) 小学館
デジタル情報	マッコウクジラ左胸鰭の骨格写真、マダライルカ左胸鰭の骨格写真	2	(株) オクタゴン

イ 植物・菌類資料

利用方法	資料名	点数	利用者
館内撮影	Lithocarpus 果実標本	2	個人
館内撮影・デジタル情報	植物・菌類標本	301	千葉県環境生活部自然保護課

利用方法	資料名	点数	利用者
デジタル情報	ウメノキゴケ写真	1	個人

ウ 地学資料

利用方法	資料名	点数	利用者
貸出	液状化剥ぎ取り	1	個人
貸出	ネパール産アンモナイト化石	1	国立科学博物館
デジタル情報	デジタル・ミュージアム「房総ジオツアー」より画像（古銅輝石安山岩）	1	(株) エイジャ
デジタル情報	嶺岡地域の岩石顕微鏡写真	5	個人
デジタル情報	「チバニアン誕生～地層が語る房総の大地のなりたち」映像	1	(NPO) 田淵チバニアンズ
デジタル情報	「保田層群のカオス層（千葉の地層 10 選）」写真	1	(株) ジェイアール東日本企画千葉支社
デジタル情報	「木下貝層」露頭写真	1	個人
デジタル情報	瀬又の貝化石層の写真	1	(社福) 千葉県聴覚障害者協会
デジタル情報	ナウマンゾウの化石（画像）	1	(株) 内田洋行 教育総合研究所
デジタル情報	ナウマンゾウ復元の骨格写真	1	渋谷区役所
デジタル情報	航空写真「小櫃川河口三角州」	1	(株) 誠文堂新光社
デジタル情報	航空写真「屏風ヶ浦 南東から」	1	(株) 小峰書店
デジタル情報	航空斜め写真「小櫃川河口湿地」	1	PHP 研究所東京本部総括

エ 人文資料

利用方法	資料名	点数	利用者
閲覧	浅間山古墳出土資料	35	早稲田大学會津八一記念博物館
館内撮影	浅間山古墳出土遺物「銀装振り環」	1	個人
館内撮影	柏市石揚遺跡出土土偶 2 点、成田市庚塚遺跡出土土偶 1 点	3	個人
館内撮影	新坂 1 号墳出土 金銅装円頭大刀	1	個人
館内撮影	大日本物産図会 播磨国赤穂塩浜之図、行徳塩浜之図複製、常陸国風土記	3	千葉県立関宿城博物館
館内撮影	干鯛模型、ノ粕模型、干鯛俵	3	水戸市立博物館
館内撮影	行商用具	20	千葉県立房総のむら指定管理者（公財） 千葉県教育振興財団 房総のむら
館内撮影	平成 5～6 年度 文化財実態調査 絵馬奉納額調査カード	1	個人
館内撮影	林辰雄写真	1	千葉県立房総のむら指定管理者（公財） 千葉県教育振興財団 房総のむら
貸出	浅間山古墳出土資料（実物 197 点、写真 5 点）	202	千葉県立房総のむら指定管理者（公財） 千葉県教育振興財団 房総のむら
貸出	浅間山古墳出土資料 一式	57	早稲田大学會津八一記念博物館
貸出	大日本物産図会 播磨国赤穂塩浜之図、行徳塩浜之図複製、常陸国風土記	3	千葉県立関宿城博物館
貸出	上総道学関係写本	223	人間文化研究機構国文学研究資料館
貸出	干鯛模型、ノ粕模型、干鯛俵	3	水戸市立博物館
貸出	漁労用具一式	1	勝浦市教育委員会
貸出・デジタル情報	足利持氏御経書写「烟田文書」複製、北条氏旗指物複製	2	千葉市立郷土博物館
デジタル情報	浅間山古墳横穴式石室内部 図版、浅間山古墳後室内部 図版	2	早稲田大学會津八一記念博物館
デジタル情報	上総国分寺復元模型（写真）	1	(株) 新泉社
デジタル情報	デジタル・ミュージアム「千葉の風景・行事を描いた作品」より画像（官幣大社香取神宮 神幸軍神祭御船遊之図）	1	(株) エイジャ
デジタル情報	「職人尽貼りまぜ屏風」より職人絵（部分）画像	6	(公財) ふくやま芸術文化財団

利用方法	資料名	点数	利用者
デジタル情報	二代目歌川広重作「諸国名所百景 上総笠森寺岩作り観音」画像	1	(株) テックジョン
デジタル情報	「大日本物産図会」よりNo.48 画像	1	(株) テレビマンユニオン
デジタル情報	「日本博覧図 千葉県初編」より No. 47、97 画像	2	個人
デジタル情報	「日本博覧図 千葉県初編」より No. 49 画像	1	個人
デジタル情報	「日本博覧図 千葉県初編」より No. 97 画像	1	個人
デジタル情報	「日本博覧図」の「千葉県会議事場」	1	佐倉市教育委員会
デジタル情報	干鯛 (画像)	1	(株) フラッグ
デジタル情報	干鯛模型、粕模型	2	(株) 小学館
デジタル情報	林辰雄撮影写真4点・吉野章郎撮影写真2点	6	(株) エイジャ
デジタル情報	デジタル・ミュージアム「ノスタルジック・ポストカード」内の絵はがき画像	1	(株) 実業之日本社
デジタル情報	図録「縄文の躍動」のイラスト「縄文人の装身具着装想像図」	1	柏市教育委員会

オ 生態・環境資料

利用方法	資料名	点数	利用者
館内撮影	下総台地の断面模式図イラストパネル (自然と人間のかかわり展示室)	1	エム・ドライブ株式会社
デジタル情報	音声資料 (鳥類 74 種 187 点、両生類 9 種 15 点、昆虫 7 種 37 点)	239	(株) ポプラ社
デジタル情報	音声資料 100 種 (鳥類 74 種 187 点、両生類 9 種 15 点、昆虫 17 種 37 点)	239	(株) ポプラ社
デジタル情報	音声資料 chibataplus	63	大阪大学大学院工学研究科環境エネルギー工学専攻
デジタル情報	録音「千葉県 市川市 丸浜養魚場の南東隅の堤防」	1	江戸川区 SDGs 推進部広報課

カ 特殊資料・貴重書

利用方法	資料名	点数	利用者
貸出・デジタル情報	二口善雄植物画集より 35 点	35	群馬県立近代美術館
デジタル情報	「植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画」より「江戸名勝図会 染井」歌川広重 (二代) (別添参照)	1	個人
デジタル情報	二口善雄肖像写真	1	群馬県立近代美術館

キ その他

利用方法	資料名	点数	利用者
デジタル情報	千葉県立中央博物館正面玄関写真	1	文部科学省 初等中等教育局特別支援教育課

(3) 研究用貸出

資料系	資料名	件数	点数
動物資料	魚類	3	21
	昆虫	10	168
植物・菌類資料	蘚苔類	1	1
合計		14	190

(4) 標本データの提供

資料系	資料名	科博 S-net・GBIF 提供件数	千葉県 GIS 提供件数
動物資料	哺乳類	0	685

資料系	資料名	科博 S-net・GBIF 提供件数	千葉県 GIS 提供件数
	魚類	0	9,043
	昆虫	5,246	43,048
	甲殻類	0	390
	カブトガニ・ウミグモ・多足類	0	570
	クモ類	0	236
	軟体動物	0	7,450
	小計	5,246	61,422
植物・菌類資料	維管束植物	9,054	87,045
	蘚苔類	0	10,395
	藻類	0	3,378
	地衣類	0	6,204
	担子菌類	0	9,044
	微小菌類	0	190
	変形菌類	0	2
小計	9,054	116,258	
古生物資料	古無脊椎動物	520	-
	古脊椎動物	180	-
	小計	700	-
合計		15,000	177,680

(5) 館内利用

ア 行事等での利用

資料系	資料名	利用方法	対応件数	点数
動物資料	貝類	行事利用	5	115
動物資料	貝類	閲覧	3	192
動物資料	貝類	同定比較	16	412
動物資料	貝類	その他	2	64

(6) 学習キットの利用（貸出ほか）は、IV 教育普及事業へ移動した。

5 保存環境の整備等

(1) 環境調査

生物生息調査（トラップ調査）	粘着トラップを設置し、捕獲した生物の同定・個体数を集計した。資料に影響を及ぼす生物を発見した場合は、発生源を特定し排除した。
	実施回数：4回
	調査区域：全館
	トラップ数：各回 226 個
温湿度測定	自記温湿度計：収蔵庫 10 カ所・歴史展示室 4 カ所、閲覧コーナー 1 カ所
	データロガー：企画展示室 3 カ所、収蔵庫 1 カ所、図書室 1 カ所

(2) 清掃

収蔵庫の定期清掃	各収蔵庫 2 回実施
収蔵庫の清掃委託	実施なし

(3) 燻蒸・殺虫・殺菌

収蔵庫の燻蒸	実施なし
--------	------

燻蒸釜の運転（殺虫・殺菌）	実施なし
低温処理（冷凍庫）による殺虫	常時運転
高温処理（乾燥機）による殺虫	常時運転

(4) 施設・設備の改善 実施なし

6 図書の利用

(1) 館職員利用

ア 貸出冊数 521 冊

(2) 来館者利用（7月16日から閲覧を再開した）

ア 閉架図書出納 7件22冊

イ 複写サービス 20件167枚（うちカラー7件30枚）

ウ 閲覧コーナーでの図書公開 全開館日

エ 体験学習室での図書公開 3月29日から全開館日

(3) 資料保全

ア 館内修理 6冊

第2 大根分館

1 資料の登録

(令和5年3月31日現在)

分野		年間増加分	総登録点数	情報システム 総登録点数
人文資料	民俗資料	-2	4,867	16,265
	歴史(古文書)	-36	12,576	
	考古(埋蔵文化財)	-40	166	
	文字・絵画(絵葉書)	68	661	
	小計	-10	18,270	16,265
自然資料	動物・地学	0	265	264
合計		-10	18,535	16,529

2 資料の収集

(1) 資料収集点数

種別	点数
寄附	19
寄託	33
借用(長期)	-121

種別	点数
保管換え	0
館員による収集	0
合計	-69

※寄託・借用点数のマイナスは、返却等による

(2) 寄附

資料系	資料名	点数	寄附者
人文資料	多田造船船大工道具	19	個人

※借用から寄附へ変更

3 資料の寄託・借用

(1) 寄託 ア 新規

資料系	資料名	点数	所有者
人文資料	寺田家資料	69	個人

イ 返却

資料系	資料名	点数	所有者
人文資料	三区用水関係文書	20	三区
人文資料	寺内区有文書	15	寺内区
人文資料	涅槃図	1	大貫山興福寺

ウ 更新

資料系	資料名	点数	寄託者
自然資料	ノウマンゾウ・クジラの化石	2	成田市教育委員会
人文資料	山来家文書	2,127	個人
人文資料	寺田家文学資料	447	個人
人文資料	十六島図	1	香北土地改良区
人文資料	船板図	20	個人
人文資料	鶴崎区有文書	34	鶴崎区
人文資料	和同開珎	1	野田稻生大神社総代

(2) 借用(常設展・長期)

ア 寄附に変更

資料系	資料名	点数	所有者
人文資料	多田造船船大工道具 一式	1	個人

イ 返却

資料系	資料名	点数	所有者
歴史資料	水戸御用札ほか	2	個人
人文資料	馬場遺跡・東野遺跡・多田遺跡・鶴崎貝塚・取香和田戸遺跡出土遺物	74	千葉県教育委員会
人文資料	城山第5号前方後円墳出土人物埴輪・大六天遺跡・織幡ササノ倉遺跡出土土器・プロペラ・河童図	42	香取市教育委員会
人文資料	2ドア木製冷蔵庫・手回し洗濯機	2	個人

ウ 更新

資料系	資料名	点数	寄託者
人文資料	黒田家文書	8	個人
人文資料	板碑	2	惣持院
人文資料	板碑	1	個人
人文資料	木造阿弥陀如来坐像	1	西福寺
人文資料	丸木舟	1	匝瑳市教育委員会
人文資料	阿玉台北遺跡出土土器・炭化米・石製浮子・石錘・土器片錘	17	千葉県立房総のむら指定管理者(公財)千葉県教育振興財団

※企画展示での借用は、Ⅲ展示の各展示での展示資料を参照のこと

4 資料の利用

(1) 資料利用点数

種別	件数	点数
閲 覧	2	7
撮影・複製	3	85
貸 出	5	12

種別	件数	点数
デジタル情報の複製	18	52
その他	2	2
合 計	30	158

※利用種別が複数にわたる場合は、それぞれにカウントした。

(2) 閲覧・撮影・複製・デジタル情報の複製・貸出

利用方法	資料名	点数	施行先
閲覧	サッパ舟、田ぶね、漁撈具	3	個人
閲覧	鶴崎貝塚出土遺物 土偶	4	寄託者(千葉県教育委員会)
館内撮影・複製	羽子板他	51	千葉県立房総のむら指定管理者(公財)千葉県教育振興財団
館内撮影・複製	帆引き船及び関連資料	1	土浦市立博物館
館内撮影・複製	奈良屋文書	33	千葉市立郷土博物館
貸出	圧搾機	1	千葉県立現代産業科学館
貸出	板碑(二次資料レプリカ)	1	香取市教育委員会
貸出	土摺臼2点、房丁茶船模型1点	3	神栖市歴史民俗資料館、稲敷市立歴史民俗資料館、印西市立木下交流の杜歴史資料センター
貸出	篠塚洋一家文書	1	八千代市立郷土博物館
貸出・デジタル情報	白黒テレビ他	6	千葉県立房総のむら指定管理者(公財)千葉県教育振興財団
その他	山口家文書「護符」	1	個人
その他	成田香取鹿島息栖細見絵図	1	個人
デジタル情報	浮世絵「常州牛堀」	1	八千代市立郷土博物館
デジタル情報	千年前～江戸時代～現代の利根川の流路変遷図	3	個人
デジタル情報	足踏みミシン他画像	3	ポプラ社
デジタル情報	写真「空樽を満載する高瀬船」	1	(株)CN 静和堂
デジタル情報	写真「空樽を満載する高瀬船」	1	(株)NHK エデュケーショナル
デジタル情報	写真「エンマベリを通学」他	2	茨城県立歴史館

利用方法	資料名	点数	施行先
デジタル情報	写真「洗濯機講習会」「洗濯機を背負って」	2	千葉県立房総のむら指定管理者(公財)千葉県教育振興財団
デジタル情報	写真「高瀬船模型」	1	(有)文明舎
デジタル情報	写真「箱膳」	1	(株)アマナ
デジタル情報	写真「派手なお祭り関東」	1	日本テレビ放送網株式会社
デジタル情報	十六島概略図、水郷の原風景写真 24 他	1	(株)プラネットライツ
デジタル情報	水郷の原風景写真 13	1	(公財)常陽藝文センター
デジタル情報	水郷の原風景写真 2	1	(独)水資源機構利根川下流総合管理所
デジタル情報	水郷の原風景写真 23 他	4	NHK 首都圏局
デジタル情報	水郷の原風景写真 49	1	開隆堂出版株式会社
デジタル情報	水郷の原風景写真 5 他	19	(株)CN インターボイス
デジタル情報	千年前～江戸時代～現代の利根川の流路変遷図	3	(株)レマン

※本館・分館での展示利用は、Ⅲ展示の展示資料を参照のこと

第3 大多喜城分館

1 資料の登録

(令和5年3月31日現在)

分野		年間増加分	総登録点数	情報システム 総登録点数
歴史・民俗資料	歴史	96	938	2,858
	生活	182	532	
	芸術	5	6	
	宗教	6	59	
	文学	0	18	
	古文書	489	783	
	考古	2	11	
	その他	87	511	
合計		867	2,858	2,858

2 資料の収集

(1) 資料収集点数

種別	点数
購入	0
寄附	0
寄託	-1
借用(長期)	0

種別	点数
保管換え	0
仮保管	0
館員による収集	0
合計	-1

※新規収集および返却の増減をカウント。

3 資料の寄託・借用

(1) 寄託

ア 返却

資料系	資料名	点数	寄託者
歴史・民俗資料	新堀区有文書	1	新堀町会

イ 更新

資料系	資料名	点数	寄託者
歴史・民俗資料	袴 など	23	個人
歴史・民俗資料	木造薬師如来坐像 など	2	青龍寺
歴史・民俗資料	上総国伊北荘山中郷御縄打水帳 など	10	堀之内区
歴史・民俗資料	絵馬 など	6	広厳院観音堂
歴史・民俗資料	善光寺参詣絵馬 など	3	(宗) 清水寺
歴史・民俗資料	奉納額 など	3	船子八幡神社
歴史・民俗資料	西畑の内平沢村坪入改帳 など	6	妙厳寺
歴史・民俗資料	大多喜城残置武具覚 など	136	個人
歴史・民俗資料	脇差(豊永行秀鍛之) など	2	個人
歴史・民俗資料	紺糸威桶側胴具足(覆輪兜付) など	2	個人
歴史・民俗資料	沢瀉紋銭紋散刀筒 など	3	個人
歴史・民俗資料	芝居絵	1	個人
歴史・民俗資料	額(熊野神社遷宮額)	1	小佐部区長
歴史・民俗資料	短刀(関住兼氏) など	2	個人
歴史・民俗資料	木札 など	4	個人
歴史・民俗資料	槍(銘 藤原国重作)	1	個人
歴史・民俗資料	総房軍記・全 など	20	個人
歴史・民俗資料	中瀧城跡出土遺物	1	立教大学考古学研究会中瀧城址調査団

資料系	資料名	点数	寄託者
歴史・民俗資料	房総志料 など	2	個人
歴史・民俗資料	熊野観心十界図	1	宝聚院
歴史・民俗資料	紺糸威伊予札二枚胴具足 など	6	個人
歴史・民俗資料	刀(平安城住大隅守平広光) など	12	個人
歴史・民俗資料	大河内信敬油絵 など	2	八幡神社
歴史・民俗資料	古文書 など	3	個人
歴史・民俗資料	刀(無銘) など	9	個人
歴史・民俗資料	百万遍講中道具 など	2	個人
歴史・民俗資料	鎧通し など	13	個人
歴史・民俗資料	松平正和書	1	個人
歴史・民俗資料	四季豊年図	1	個人
歴史・民俗資料	刀(人見神社御神刀・長旨作)	1	人見神社
歴史・民俗資料	太刀(波平吉安) など	3	個人
歴史・民俗資料	藁筆筒 など	8	個人
歴史・民俗資料	蒋介石総統扁額 など	2	個人
歴史・民俗資料	袴	2	個人
歴史・民俗資料	俳句帳 など	20	個人
歴史・民俗資料	銭箱	1	個人
歴史・民俗資料	段替胴腰取具足(日根野頭形兜付)	1	個人
歴史・民俗資料	紫糸威連山頭桶側胴具足(桃形兜付) など	2	個人
歴史・民俗資料	陣笠	1	個人
歴史・民俗資料	三ツ葉葵紋付宇瓦	1	紺屋区観音寺
歴史・民俗資料	木造大日如来坐像 など	9	猿稻区
歴史・民俗資料	大多喜御在城私宅江殿様入れられ候節の覚書 など	7	個人
歴史・民俗資料	紺糸威仏胴具足(小星兜付) など	316	大多喜町長
歴史・民俗資料	紺糸菱綴桶側胴具足(覆輪筋兜付) など	5	神明神社
歴史・民俗資料	色々威腹巻(筋兜付) など	38	玉前神社
歴史・民俗資料	古文書 など	3	個人
歴史・民俗資料	染付土瓶 など	6	個人
歴史・民俗資料	白磁製マリア観音像	1	下大多喜台区
歴史・民俗資料	木造僧形坐像(院廣 銘) など	48	応徳寺
歴史・民俗資料	短刀(氏貞・白鞘入り) など	2	個人
歴史・民俗資料	古書籍 など	2	個人
歴史・民俗資料	光福寺八代華徳院日妙曼荼羅	1	個人
歴史・民俗資料	松平家紋所付御膳 など	20	圓照寺
歴史・民俗資料	刀(無銘) など	10	葉王寺
歴史・民俗資料	刀(無銘) など	2	白子神社
歴史・民俗資料	太刀(大和國住包永)	1	個人
歴史・民俗資料	遠山金四郎景元公肖像画 など	2	遠山講
歴史・民俗資料	刀 など	2	個人
歴史・民俗資料	正質公・みね(金へんに丘)子夫人合作軸 など	3	個人
歴史・民俗資料	勝海舟扁額	1	大多喜町立大多喜小学校長

(2) 借用(長期)

ア 更新

資料系	資料名	点数	借用先
歴史・民俗資料	松平正質筆鷲図 など	6	個人

資料系	資料名	点数	借用先
歴史・民俗資料	梅僊筆 梅図掛図 など	14	個人
歴史・民俗資料	紙本著色本多忠勝画像など	3	(宗) 良玄寺
歴史・民俗資料	屏風 など	6	個人
歴史・民俗資料	キリシタン禁制 など	2	個人
歴史・民俗資料	萌黄糸威素懸二枚胴具足(小星兜付)	1	個人
歴史・民俗資料	黒糸肩裾取威胴丸(兜・小具足付) など	3	個人
歴史・民俗資料	鰐口	1	(宗) 法華寺
歴史・民俗資料	火縄銃 など	2	個人
歴史・民俗資料	鉄砲所持許可鑑札 など	3	個人
歴史・民俗資料	紺糸威緋綴桶側胴具足(十六間筋兜付)	1	個人
歴史・民俗資料	朽葉糸威素懸胴具足(頭形兜付) など	11	個人
歴史・民俗資料	本多家御膳 など	10	(宗) 東長寺
歴史・民俗資料	鋸鍛冶道具	1	個人

※企画展示での借用は、Ⅲ展示の各展示での展示資料を参照のこと

4 資料の利用

(1) 資料利用点数

種別	件数	点数
閲 覧	2	28
撮影・複製	0	0
貸 出	9	29

種別	件数	点数
デジタル情報の複製	33	39
館内利用	1	2
合 計	45	98

※一式を1点とカウントした

(2) 閲覧・撮影・複製・デジタル情報の複製・貸出

利用方法	資料名	点数	利用者
デジタル情報	大多喜城外観(春)	1	(株)テレビ朝日
閲覧	明善堂絵図面	1	ISUMI エコミュージアム推進部会 いすみすび編集部
閲覧	位記(松平正綱)、位記(松平隆綱)、城内日記、松平正綱日光街道並木植付文書、大多喜藩関係日誌、大多喜藩御用日記、大多喜藩日記(御役替帳)、御先代御家中分限帳(御四代様迄)、藩主入部の際藩士勤方記録、断簡「旧大多喜藩士住所氏名一覧」、家系図(大河内家)、城内献立図、松平新助正次等系図(綴)、正義家普 写、領知目録、松平弾正忠宛書状、大多喜藩江戸屋敷図、御武器負帳、跡式につき書状、侍坐につき奏文、内密嘆願奉申上候、新築屋敷図面、西尾市寺津町南馬場(公図写)大河内家の地目変換について	27	西尾市市史編さん室
貸出	火縄銃	1	千葉県立現代産業科学館
貸出	源平合戦図屏風、双六、松喰鶴鏡、太刀(豊後国長圓作)、萌黄威胴丸	5	睦沢町歴史民俗資料館
貸出	赤糸緋大鎧	1	横浜市歴史博物館
貸出	体験用刀剣、刀剣手入れ道具	6	千葉県立房総のむら
貸出	大筒(複製)、御武器負帳、火縄銃(持筒木爪象嵌6匁筒)、火縄銃(揚羽蝶象嵌5匁筒)、エンフィールド銃、大多喜城主松平氏所用 黄色ラシヤ製陣羽織(受託216)、旗指物、鉄八枚張陣笠、遠山金四郎景元公肖像画、陣羽織用台(展示備品)	10	いすみ市郷土資料館
貸出	短刀	1	千葉県立現代産業科学館
貸出	鉄製燈籠、須恵器甕	2	いすみ市郷土資料館
貸出	鉄製燈籠、須恵器甕	2	いすみ市郷土資料館

利用方法	資料名	点数	利用者
貸出	蜀江錦袈裟	1	佐倉市教育委員会
デジタル情報	御貸具足、火縄銃	2	(株)アフロ
デジタル情報	大多喜城外観、研修館外観、紙本著色本多忠勝画像、兎形兜、紺糸威桶側胴具足（日根野兜付）	5	(株)ムーブ
デジタル情報	萌黄緋胴丸	1	(株)NHK エンタープライズコンテンツ展開センター
デジタル情報	御武器負帳	1	いすみ市郷土資料館
デジタル情報	遠山金四郎景元公肖像画	1	(株)グレイル
デジタル情報	遠山金四郎景元公肖像画	1	(株)ABC アーク代表
デジタル情報	遠山金四郎景元公肖像画	1	(株)テレパック
デジタル情報	遠山金四郎景元公肖像画	1	読売新聞東京本社文化部
デジタル情報	遠山金四郎景元公肖像画	1	(独)日本芸術文化振興会
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	(株)ジャパンプロデュース
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	(株)コミュニティネット
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	東京書籍株式会社
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	(株)スタジオダンク
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	千葉県生涯大学校京葉学園
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	(株)テレビ信州
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	(株)三笠書房
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	(株)キュリアスプロダクション
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	静岡市美術館
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	テレビ愛知報道
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	(株)コミュニティネット
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	NHK エンタープライズエンターテインメント
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	(合資)アトリエ麻乃絵代表
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	(株)ユーコム制作部
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	CCNet 株式会社
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	(株)コミュニティネット
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	(株)幻冬舎
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	(株)33
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	(株)KRY
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	(株)TOKAI ケーブルネットワーク
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像	1	(株)ユーコム制作部
デジタル情報	紙本著色本多忠勝画像、大多喜城分館外観	2	(株)はる制作室
デジタル情報	大多喜（小田喜）城ジオラマ	1	戎光祥出版株式会社
デジタル情報	大多喜（小田喜）城ジオラマ	1	戎光祥出版株式会社

(3) 資料の館内利用（主催事業での利用）

ア 調査・研究

資料名	利用方法	対応件数	点数
（論所絵図作製につき被仰付候書写）同親社設立許可書類	調査・執筆	1	2

※本館・分館での展示利用は、Ⅲ展示の展示資料を参照のこと

第4 分館海の博物館

1 資料の登録

(令和5年3月31日現在)

分野		年間増加分	総登録点数	情報システム 総登録点数
動物資料	海綿動物	32	352	0
	刺胞動物	379	10,156	845
	環形動物	0	2,278	618
	貝類	426	17,299	112
	頭足類	2	270	108
	甲殻類	80	2,968	888
	棘皮動物	53	1,829	179
	その他	92	638	72
	魚類	95	15,206	3,231
	動物資料小計	1,173	51,065	6,503
植物資料	種子植物	0	73	73
	藻類	92	8,278	6,500
	植物資料小計	92	8,351	6,573
映像資料	写真	0	12,215	0
	動画	0	1,577	0
	映像資料小計	0	13,792	0
図書・雑誌資料	図書・雑誌(冊数)	23	2,153	0
合計		1,288	75,361	12,626

2 資料の収集

(1) 資料収集点数

種別	点数
購入・製作委託	0
寄附	0

利用方法	点数
保管換え	0
館員による収集	1,288
合計	1,288

(2) 内訳(館員による収集)

資料系	資料名	点数
動物資料	海綿動物	32
	刺胞動物	379
	環形動物	0
	貝類	426
	頭足類	2
	甲殻類	80
	棘皮動物	53
	その他	92
	魚類	95
	小計	1,173
植物資料	種子植物	0
	藻類	92
	小計	92
映像資料	写真	0
	動画	0
	小計	0
図書資料	図書・雑誌等	23

資料系	資料名	点数
	合計	1,288

3 資料の利用

(1) 資料利用点数

種別	件数	点数
閲覧	0	0
撮影	0	0
展示用標本の貸出	2	13
研究用標本の貸出	6	129

種別	件数	点数
映像資料の貸出	5	8
標本の複製	0	0
標本データの提供	0	0
合計	15	286

(2) 内訳（展示用標本の貸出）

資料名	点数	利用者
魚類標本	3	アリオ蘇我専門店会
魚類標本	6	群馬県立自然史博物館
無脊椎動物標本	4	群馬県立自然史博物館

(3) 内訳（研究用標本の貸出）

資料名	点数	利用者
環形動物等液浸標本	4	名古屋大学
扁形動物液浸標本	5	北海道大学
魚類液浸標本	22	国立科学博物館
刺胞動物乾燥標本	91	北里大学
刺胞動物乾燥標本	4	沖縄美ら島財団
魚類液浸標本	3	東京家政大学

(4) 内訳（映像資料の貸出）

資料名	点数	利用者
アブラガニ腹節の写真	1	日本経済新聞社
ヤリマンボウ稚魚の写真	1	(株) ローリング
アマミホシゾラフグとミステリーサークルの写真と動画	3	(株) ジッピープロダクション
ウリタエビジャコとユビナガホンヤドカリの写真	2	東京都環境局
ワタゾイソギンチャク の写真	1	(株) KANADEL 児童書編集部

4 保存環境の整備等

(1) 環境調査

生物生息調査（トラップ調査）	粘着トラップを設置し、捕獲した生物の同定・個体数を集計した。資料に影響を及ぼす生物を発見した場合は、当該部屋管理責任者に注意を喚起した。
	実施回数：6回
	調査区域：全館
	トラップ数：各回15個
温湿度測定	自記温湿度計：乾燥収蔵庫1カ所

(2) 清掃

乾燥収蔵庫の定期清掃	月1回実施
液浸収蔵庫の定期清掃	月1回実施
大型標本庫の定期清掃	年1回実施

(3) 燻蒸

実施項目	内容
収蔵庫の燻蒸	ア. 使用薬剤： アルプ（酸化プロピレン+アルゴン混合ガス）
	イ. 燻蒸期間： 令和4年10月16日（日）～21日（金）
	ウ. 方法： 乾燥収蔵庫を密閉し、間熱気化器により薬剤を60g/m ³ 投入して48時間燻蒸を行った。燻蒸後は、活性炭吸着装置によるガス回収作業後、軸流扇に風管接続して館外に強制排気した。
	エ. 結果： 供試虫及び供試菌の100%死滅をもって、乾燥収蔵庫内の殺虫・殺卵・殺カビが良好に行われたことが確認できた

II 調査研究

第1 本館

1 研究課題

(1) 重点研究

① 下総台地東部の自然

【担当】 平田和弘(代表者)・斎木健一・天野 誠・御巫由紀・西内李佳・山本伸子・原田 浩・坂田歩美・古木達郎・大野将史・黒住耐二・尾崎煙雄・斉藤明子・伴 光哲・樽宗一郎・八木令子・吉村光敏(共同研究員)・千葉友樹・奥田昌明・大津千晶

【研究内容】 下総台地東部において植物・菌類のフロラ調査や生態学的調査、昆虫を含む動物のファウナ調査や生態学的調査、地学分野の地形・地層・化石調査などを行うことで、この地域の自然誌分野の基礎的な知見と資料(登録標本含む)を増大させるとともに、生物相の多様性と特異性や、地質の特性を明らかにする。

【年度実績】 下総台地東部における天然記念物指定地域において、植物・菌類のフロラ調査や昆虫・陸産貝類のファウナ調査を行うとともに、表層花粉の資料を採取した。維管束植物については、令和3年度に引き続き、旭市域の網羅的な植物相踏査を継続した。また、下総層群の地層に含まれる貝類の調査を行った。令和4年度トピックス展では、この地域の地形・地理に関する展示を行った。

- ・昆虫のファウナ調査(尾崎・斉藤・伴・樽)：昆虫調査を5回行い、採集された約500個体を標本化した。
- ・新生代以降の現生を中心とした貝類相の追加調査(黒住)：現地調査を香取神宮の森等、5カ所の千葉県指定天然記念物の森林等で実施した。千葉県未記録の微小陸産種を旭市龍福寺の森の落葉層から得ることができた。下総台地東部でも記録のあるヨコハマシジラガイ等の種を含む貝類を「日本の絶滅危惧生物図鑑」で執筆した。
- ・地域植物相の調査(平田・天野・御巫・西内・山本・大津・斎木)：旭市において、市域を約1km²のメッシュに分け、メッシュ毎に出現した植物を記録している。令和4年度は、11回の調査で65メッシュの調査を行い、406点の標本を採集した。そのうち、356点を同定して仮登録した。・下総台地東部の蘚苔類相調査(古木)：香取神宮(香取市)と龍福寺(旭市)で調査を行い、それぞれ、78点・60種、33点・24種の蘚苔類を採取した。
- ・下総台地東部の地衣類相調査(原田・坂田)：神崎町神崎神社と旭市龍福寺において地衣類相調査を実施し標本約140点を収集し、前年度までに成田山公園と周辺において収集した150点と合わせて同定作業を進めた。
- ・下総層群の貝化石調査(千葉)：下総台地を構成する地層から貝化石を採集し、21点を登録した。特にキオロシシラトリは、印西市の木下層から合弁の良い標本が得られた。
- ・牛久一東金崖線の地形(八木・吉村)：令和4年度トピックス展「五百沢智也氏が描いた房総の風景」で、大網白里の崖線沿いを描いた「昭和の森・大網白里町付近鳥瞰図」を展示し、「牛久一東金崖線地形」を説明するパネルや地図などを作成した。また当館ウェブサイトの重点研究「下総台地東部の自然」ページに、「牛久一東金崖線の地形」をアップした。
- ・下総台地東部の表層花粉調査(奥田)：下総台地東部の表層花粉調査をおこなった。香取神宮(香取市)、麻賀多神社(成田市)、龍福寺(旭市)などを巡り、県天然記念物を含む寺社境内の自然林の近傍から、空中花粉を含むコケ群落を約20点採取した。

② 「房総のお浜降り習俗」の歴史・民俗学的研究

【担当】 小林裕美(代表者)・石井友菜・渡瀬綾乃・鈴木建人

【研究内容】 海にかこまれた房総では、神輿を海岸に巡行させるお浜降りの祭礼が広く行われている。その分布と各祭礼の神事・神輿巡行・付随する芸能などの詳細を調査し、さらに祭礼組織等の歴史的・民俗的調査を行い分析することにより、本県における神輿祭礼の特色をあきらかにし、日本の祭礼文化史に位置付けることを課題としている。

【年度実績】 現地調査と文献調査により、県内のお浜降りの祭礼の調査を進め、地域性と普遍性について考察し、その特色を明らかにすることができた。成果の一端を秋の展示「おはまおりー海に向かう神々の祭ー」で公開するとともに、展示図録を作成した。

③ 古写真を用いた県内の景観変遷の解析

【担当】 小田島高之(代表者)・島立理子・八木令子・山本伸子・小出麻友美(共同研究員)

【研究内容】 古写真や古絵葉書は過去の景観を知るためのツールとして有効である。当館は昭和中期の林辰雄写真コレクションや昭和中期～平成期の吉野写真コレクション、明治期から昭和期の古絵はがき菱田古絵葉書コレクションを所蔵している。これらの古写真資料を地理学、民俗学、地形学、動物学、植物学など様々な視点から解析し、現在の景観と比較することでその変遷を解明する。

【年度実績】 千葉市、茂原市及び香取市において、古写真と同アングルの写真撮影を行い、その変化について考察をおこなった。研究成果については令和5年6月公開予定の「みんなで創る『ふるさとちば古写真デジタルアーカイブ』」公開サイトのコンテンツとして編集中である。

(2) 地域研究

ア 地球誌系(房総の大地から探る地球の歴史／房総半島南部の大地の動きを探る／房総丘陵の地誌・地形・地質と生物と人とのくらしの関連性)

- ① 房総半島の無脊椎動物化石相
【担 当】 加藤久佳
【研究内容】 房総半島の第四系から産出する無脊椎動物、とくに十脚甲殻類化石資料を重点的に収集し、国内各地の既知のデータと比較検討する。
【年度実績】 県南部の下総層群や完新統から多数の十脚甲殻類化石を収集し、標本化・分類を継続中である。
- ② 房総半島の軟体動物化石相
【担 当】 伊左治鎮司
【研究内容】 房総半島から産出する軟体動物化石について、地域や地層ごとに、化石群集を構成する代表的な分類群を調査し、そのコレクションを充実させる。
【年度実績】 下総層群産軟体動物化石等 194 点を、新規にデータベースに登録した。また、資料付随画像 193 点を登録した。
- ③ 房総半島の脊椎動物化石相
【担 当】 丸山啓志
【研究内容】 房総半島に分布する地層から、ナウマンゾウなどの陸棲哺乳類や、アワイルカなどの海棲哺乳類のような多種多様な脊椎動物化石が産出する。この化石記録から地質時代の房総半島における脊椎動物相の変遷を明らかにする。
【年度実績】 万田野層産の化石をはじめ、県内各地の脊椎動物化石を収集し、一部をクリーニングし、写真撮影を行なった。また、万田野層産鯨類前肢骨化石について、学会にて口頭発表を行なった。
- ④ 房総周辺の花粉・環境誌
【担 当】 奥田昌明
【研究内容】 2020 年 1 月のチバニアン採択にともない、現地では更なる研究成果が期待されている。本研究課題では、市原市田淵の千葉セクションに対して花粉化石にかかる再分析を行い、申請段階では詰め切れなかった詳細な MIS 19 の古気候復元を行った後、MIS 1 の古気候状態と比較する。
【年度実績】 昨年度に引き続き、市原市田淵のチバニアン露頭(千葉セクション)から採取した 75-80 万年前の堆積物試料約 200 点に対し、MAT 法の対象である 32 分類群に的を絞った花粉分析を実施した。気候復元および成果公表は次年度に実施予定。
- ⑤ 房総半島の最終氷期以降の植生変遷
【担 当】 西内李佳
【研究内容】 最終氷期(主に 2~3 万年前)から現在にかけての房総半島の植生変遷を、特に照葉樹林の拡大と針葉樹の衰退に着目して、花粉や葉、種実の化石から明らかにする。
【年度実績】 房総半島南部の最終氷期末期以降の照葉樹林の拡大過程を明らかにするため、南房総市で採取した過去約 1 万年間の年代を示すボーリングコアの花粉分析を進めている。また、房総半島南部の河川にて露頭調査を行い、葉や種実化石の分析を進めている。完新世にはクヌギが生育していたこと等、花粉化石では特定できない種レベルの古植生が明らかになった。
- ⑥ 房総の化石密集層の成因
【担 当】 千葉友樹
【研究内容】 房総半島の地層に見られる化石密集層の成因を堆積物や化石群集に基づき明らかにする。また、当時の環境と生物の関わりを化石密集層から読み解く。
【年度実績】 房総半島に分布する下総層群と沖積層を調査した。下総層群については、定量試料に含まれる貝化石の同定・計数と粒度分析を進めた。沖積層については、千葉県南部で採取した貝化石と植物化石の放射性炭素年代測定を行い、定量試料に含まれる貝化石の拾い出しを進めた。千葉県東部で沖積層の露頭を発見し、露頭写真の撮影、堆積物試料と貝化石の採取を行った。調査で得られた貝化石 70 点を標本登録した。
- ⑦ 房総半島嶺岡帯の地質構造の解明
【担 当】 高橋直樹
【研究内容】 嶺岡帯は無数の断層が発達したきわめて複雑な地質構造を持っている。詳細な現地調査を実施するとともに、構成岩石の岩石学的特徴の検討を加えて、これらの地質構造を明らかにする。
【年度実績】 南房総市大井地区の鞍部地形域の地質調査を行い、予想したオフィオライト様岩類の産出は確認できなかったものの、周辺の保田層群の岩相を調査し、かなり硬質の頁岩が分布することが判明した。
- ⑧ 房総半島における水利用に関する研究
【担 当】 小田島高之
【研究内容】 川廻しや上総掘り、二五穴等の房総半島に特徴的な水利用について、それら分布や変遷を調査する。
【年度実績】 小櫃川流域地域の二五穴や上総掘りの井戸の分布の調査を行った。
- ⑨ 房総丘陵を水源とする河川流域の地形誌
【担 当】 八木令子
【研究内容】 房総半島南部の隆起や岩質を反映した河川の地形発達、川廻しなどの人工改変地形を調査し、房総丘陵を水源とする河川流域の地域特性を明らかにする。
【年度実績】 養老川、小櫃川の本流、支流に見られるいくつかの川廻し地形の現地調査を行い、その結果や従来の知見を踏まえて、地元の公民館や資料館などで講座・講演を行った。
- ⑩ 千葉県に生息するタゴガエルの産卵場所に関する環境地質学的研究

【担 当】大木淳一

【研究内容】タゴガエルの産卵場所および越冬場所である湧水箇所を環境地質学的に解明する。

【年度実績】安房丘陵地域に生息するタゴガエルの産卵場所や繁殖時期を調査し、新たに4地点を発見し、繁殖場所の地質学的記載を行った。

⑪ 千葉県で観測される屋気楼の発生メカニズムに関する基礎研究

【担 当】大木淳一

【研究内容】千葉県で観測される屋気楼の発生状況を調査し、発生メカニズムを地形学及び気象学的側面から明らかにする。

【年度実績】海沿いに設置した気象観測装置のデータ解析を行い、冬季の上位屋気楼のほとんどが地上3m~15mの間に温度の逆転層が生じていることが明らかとなった。

イ 生命誌系

(ア)房総の分類学的多様性の特徴とその保全

① 北総地域の植物相

【担 当】平田和弘

【研究内容】北総地域については、現在、栄町・印西市・白井市について目視による記録データが比較的充実している。本事業では、3市町を中心とした希少植物の標本の採集と、さらなる北総地域の植物相調査を行う。

【年度実績】印西市・白井市の良好に管理されている草地で植物相の記録を4回行い、62点の標本を採集した。

② 房総の甲殻類誌

【担 当】駒井智幸・村田明久

【研究内容】房総半島とその周辺海域に出現する甲殻類相の解明を行い、未記載種、国内未記録種(外来種を含む)の公表を随時進める。

【年度実績】南房総沖の深海で採集された標本を含むマメヘイケガニ科の標本群を検討し、アシナガマメヘイケガニ *Tymolus unciifer* の種同一性を確定した。混同されていた種は未記載種であった。これらの分類学的な課題を解決する論文を投稿した。県内各地で淡水性エビ類の調査を進め、外来種である *Neocaridina* sp. (シナヌマエビ近縁種)の分布拡大状況について検討を進めた。

③ 房総の貝類誌

【担 当】黒住耐二

【研究内容】房総半島にどのような貝類が第四紀以降生息しており、それが人間活動を含めた環境変化に対して、どのように変遷し、また人間にどのように利用されてきたか等について調査する。

【年度実績】漆喰の原料となる貝殻を焼いて灰にした貝灰について千葉県の例を中心に総説論文を執筆した。1万年前の日本最古級の貝塚である船橋市の取掛西貝塚から出土/抽出された貝類に関してシンポジウムや講演会で発表し、要旨集に執筆を行った。木更津等の西上総地域における先史時代から現代までの貝類利用についても講演を行った。また千葉県の高校に保管されている哺乳類等の学校標本についても共同発表した。

④ 房総の哺乳類誌

【担 当】宮川尚子

【研究内容】千葉県内に生息する哺乳類に関して、標本の収集と文献調査を行い、分布や生息状況を明らかにする。

【年度実績】千葉県内で発見された哺乳類の遺骸を5体拾得。また、1935年以降に千葉県内で記録された鯨類の記録をまとめ、令和4年度特別展「鯨」にて結果を公開した。

⑤ 房総の地衣類誌

【担 当】原田 浩・坂田歩美

【研究内容】千葉県内に産する地衣類の目録を完成するために、野外調査を行うとともに既に収集した標本資料の同定、分類学的検討を行う。また県内における地衣類の分布を明らかにするために、県内各地で調査を行う。市民研究員・共同研究員と協力して実施する。

【年度実績】日本で未記録だったスミツブゴケ属(ツブノリ目)の新種を発見した(論文受理)。千葉県新産となる地衣類として、東京大学千葉演習林からハギレゴケと、清和県民の森からはヤママンジュウゴケを報告した。

⑥ 房総の魚類誌

【担 当】宮 正樹

【研究内容】千葉県沿岸に生息する魚類を網羅的に収集し、種組成や生態などを明らかにするとともに、DNA種判定のための組織片を採取する。また、2017年度8月から続けてきた房総半島南部11測点における環境DNA隔週調査を、月別調査に変更して引き続きモニタリングを継続する。本年度はその第83~94回目の調査を行う。

【年度実績】千葉県沿岸で計132個体の魚類を収集し、分類群の同定を行った結果、31科・54属に含まれる64種が含まれていた。また、房総半島南端に設けた11定点で月別採水を継続中。同地点で2017年から2年間にわたって実施した隔週調査に基づき環境DNAメタバーコーディングを解析を行ったところ、海水温が魚類群集の種間強度に影響を与えていることを明らかできた。この研究成果を国際誌の eLife に発表した。

⑦ 房総丘陵の昆虫・クモ類相

【担 当】尾崎煙雄

【研究内容】希少種の探索を行い、房総丘陵に特有の昆虫およびクモ類を記録する。

- 【年度実績】房総丘陵において探索調査を10回以上実施し、外来種ムネアカハラビロカマキリの生息を確認した。
- ⑧ 房総丘陵の維管束植物相
 【担当】尾崎煙雄
 【研究内容】希少種の探索を行い、千葉県の中でも特有の植物種を多く擁する房総丘陵の維管束植物相を解明する。
 【年度実績】房総丘陵において探索調査を10回以上実施し、サカキカズラ、オオバライチゴ等の新たな生育地を確認した。
- ⑨ 房総丘陵の両生爬虫類相
 【担当】大木淳一・栗田隆気・尾崎煙雄
 【研究内容】千葉県の中でも最も多くの両生爬虫類が生息する房総丘陵の両生爬虫類相を解明し、1kmメッシュ単位の分布図を作成する。また、生態写真も撮影し、博物館活動に役立てる。
 【年度実績】房総丘陵に生息するタゴガエルの卵塊や成体の写真を撮影し、博物館資料とした。
- ⑩ 千葉県の甲虫相に関する研究
 【担当】齊藤明子・樽 宗一郎
 【研究内容】本研究は、房総地域に生息する昆虫の戸籍簿の作成を目的とするもので、特に、全昆虫の約三分の一の種数を占める甲虫類について千葉県の記録を網羅し、さらに調査を実施して未記録種の発見に努める。
 【年度実績】房総丘陵と生態園において甲虫の調査を行い、千葉県初記録種3種等を報告した。千葉県から記録のある甲虫についてデータベース化を進め、2021年3月末時点の千葉県産甲虫は3,235種であることを確認した。
- ⑪ 房総の維管束植物誌
 【担当】天野 誠・齋木健一・大津千晶・御巫由紀・山本伸子・西内李佳
 【研究内容】千葉県旭市周辺の維管束植物相を調査し、あわせて標本を収集する。この地域は植物相が豊かであり、過去の記録と照合することで植物相の変遷を知ることができる。
 【年度実績】5日間調査を行い、26メッシュから2123の目視記録を取った。536枚の標本を仮登録した。3年間の調査で、旭市の植物相の概観をつかめるまで、調査が行われた。
- ⑫ 房総の大型菌類相
 【担当】吹春俊光
 【研究内容】千葉県内に生育する大型菌類(きのこ類)について、継続して調査をすすめ、千葉県の菌類誌(戸籍簿)を更新しつづける。
 【年度実績】千葉県内の大型菌類(きのこ)約200点を収集し、標本化し、登録した。
- ⑬ 千葉県のカメムシ亜目相に関する研究
 【担当】伴 光哲
 【研究内容】千葉県内に生息するカメムシ亜目について、県内のファウナの全容解明を目的とした調査を実施する。また、その過程で得られた県内未記録種および未記載種については、記録の報告および分類学的な措置を積極的に行う。
 【年度実績】千葉県のカメムシについて、論文・短報を7本投稿した。前年度投稿していたものと併せ、4本が公開された。副次的な成果として、甲虫に関する短報が1本公開された。
- ⑭ 房総の蘚苔類誌
 【担当】古木達郎
 【研究内容】千葉県内に生育するコケ植物について、分類学的な再検討を行い、併せて分布と生態を記述する。重点地域は継続して下総台地とする。
 【年度実績】市民研究員と共に調査してきた茂原-八積湿原及び流山市の蘚苔類について研究成果が当館研究報告に掲載された。前者では32科56属70種、後者では千葉県新産3種を含む43科91属125種が確認された。この内、3種は県新産である。また、自然誌資料集 No.3 千葉県産コケ植物標本(1)茎葉状タイ類を発行した。
- ⑮ 千葉県の鳥類相に関する研究
 【担当】桑原和之
 【研究内容】千葉県を中心とした文献を基礎的資料として、千葉県全域の鳥類相を把握する。期間は3年間を予定している。千葉県全体の鳥類相を知る目的から、はじめに海岸部の鳥類相の状況などを現地調査により可能な限り把握し、過去の文献と比較する。
 【年度実績】海岸部、特に東京湾岸におけるチドリ科、シギ科の個体数の季節的変化を現地調査により収集した。

(イ)房総の生態学的多様性の特徴とその保全

- ① 生態園の生態系変遷に関する研究
 【担当】尾崎煙雄、小田島高之、大木淳一、齊藤明子、桑原和之、後藤亮、栗田隆気、西内李佳、坂田歩美、千葉友樹、林紀男、林浩二、平田和彦、吹春俊光、山本伸子、樽宗一郎、古木達郎、天野誠、宮川尚子、伴光哲
 【研究内容】生態園の植物、動物、菌類、水生生物などの生物相を調査し、水質データ、気象データなどとともに長期的に記録を蓄積して、生態園における生態系管理や教育普及に役立てていく。さらに、これらを開園以来の既存のデータや在来の里山における資料とも比較して、都市近郊域における生態系の再生過程を明らかにする。なお、野鳥調査についてはボランティアの協力を得て実施する。
 【年度実績】生物全般についてほぼ毎日調査し、969件以上の観察記録と1,284点以上の写真を収集した。昆虫調査の結果、千葉県初記録のキボシコオニケシキスイ、ハリゲカシワクチブトゾウムシ、県内で21年ぶりの記録となったケシゲ

ンゴロウ等を記録し公表した。植物および野鳥のモニタリング調査、哺乳類のカメラトラップ調査、舟田池の水質および生物調査を実施した。気象観測装置により気象データを収集した。

② 房総のヒメコマツの保全生態学的研究

【担 当】尾崎煙雄

【研究内容】近年急速に減少している房総丘陵のヒメコマツ個体群について、モニタリング調査を行い、その保全に向けた研究を行う。

【年度実績】清澄山系、元清澄山系、高宕山山系を中心にモニタリング調査を行い、新規加入個体の生育状況を確認した。また、繁殖状況調査、補強試験地、移植試験地のモニタリング調査を実施した。

③ 千葉県におけるナラ枯れ病に関する研究

【担 当】尾崎煙雄・斉藤明子

【研究内容】ブナ科樹木萎凋病(通称：ナラ枯れ)はナラ菌 *Raffaelea quercivora* が感染することによりブナ科樹木が枯死する樹病で、1980年代以降本州日本海側を中心に広葉樹林に大きな被害をもたらしている。我々の調査により2017年8月に千葉県内で初めてナラ枯れを発見した。この菌を媒介する甲虫の1種カシノナガキクイムシの生態を調べ、県内におけるナラ枯れの動向を予測する。

【年度実績】房総丘陵においてナラ枯れ発生状況の調査を行った。また、生態園において探索を行い、新たに85個体の被害木を発見し、枯死木の伐倒、ラップ被覆法による被害拡大対策を講じた。

④ 侵略的外来水生植物の分布・生理・生態に関する研究

【担 当】林 紀男

【研究内容】侵略的外来水生植物の繁茂状況の変遷追跡、および陸水環境における異常繁茂が水生生物に及ぼす生理・生態的な影響などについて検討する。

【年度実績】侵略的外来水生植物の繁茂域変遷を継続し現状を把握した。同植物の異常繁茂が水生生物に及ぼす生理・生態的な影響の検証結果をまとめ発表した。

⑤ 房総半島周辺海域における海鳥の分布と生態

【担 当】平田和彦

【研究内容】房総半島周辺海域における海鳥の分布と生態ならびにそれらの季節変化を、直接観察とバイオロギングによって明らかにし、その特徴を海流や海底地形、漁業等の環境要因に着目して解析する。

【年度実績】ウミネコの東京湾沿岸域繁殖個体の行動圏をGPSデータロガーによって追跡した。これまでに蓄積された他個体のデータと併せて解析を進める。

ウ 人類誌系(房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究)

① 千葉県を中心とする仏教美術に関する研究

【担 当】植野英夫

【研究内容】常設展示「房総の歴史」で紹介している仏教美術に関する美術工芸品・史料に関する歴史的意義を再考察する。

【年度実績】松戸市・萬満寺所蔵の木造金剛力士立像阿形像(複製)について、県内の金剛力士像所在悉皆調査を基に、仏教美術史上における位置付けを考察した。

② 房総における生業の複合的なありかたと環境について

【担 当】小林裕美

【研究内容】近現代における農業・諸職・行商など、生業の重層的な在り方と環境とのかかわりについて調査・考察を行う。

【年度実績】県内の東京向け野菜行商について、今年度は新たな資料の発掘を行うことはできなかったが、県内の資料館等で講座を行い質問等を受けることにより、房総の環境を背景とした野菜行商のあり方について考察を深めることができた。

③ 房総における紀行詩文について

【担 当】内田龍哉

【研究内容】明治中期から大正・昭和期にかけて、東京の文人・文豪が利根川から房総半島一帯を鉄道旅行し、その紀行事蹟や作品を遺している。その事蹟を情報化し、併せて、房総地域に於ける東京文化の受容動向について分析する。

【年度実績】内田百閒、島崎藤村、田山花袋、国木田独歩の銚子周遊に関する紀行文を収集した。

④ 房総丘陵における人の生活と自然のかかわりに関する研究

【担 当】島立理子

【研究内容】房総丘陵に生活する人々が、地域の自然とどのようにかかわりながら生活をしてきたを調査する。

【年度実績】房総の地形をたくみに使った、農業用水路である二五穴についての調査をおこなった。台風により、一端使えなくなった、用水路をどのようにして復活させたかについて、お話をうかがった。

⑤ 千葉県内の神社由緒に関する研究

【担 当】鈴木建人

【研究内容】千葉県内の神社の分布や、縁起書・神像・奉納物等資料から、房総三国の歴史的 position と変化について考察する。

【年度実績】秋の展示「おはまおり」の事前調査に合せ、県内所在の神社縁起に関する情報収集と調査を行い、中世末期・近世中期の二つの時期に吉田神道が及ぼした房総地域の神学への影響と、縁起物語の変容、神職意識の変化について検討した。

⑥ 房総の水利用と農耕について

【担 当】玉井里奈

【研究内容】安房地域で明治期に開削された水路を利用した農耕について、携わった家や作業の内容、担い手等に着目し、その変遷と現在を明らかにする。

【年度実績】房総半島における川回し、二五穴に関する文献および関係資料の確認を行った。館山市内でのフィールドワークのほか、館山市立博物館収蔵の水路関係資料について調査を実施した。

⑦ 房総における暮らしと民俗信仰の変遷

【担 当】渡瀬綾乃

【研究内容】近現代の房総における暮らしの変化と、それによって民俗信仰がどのように変遷したのかを調査する。

【年度実績】具体的調査にむけて、科研を取得。動物飼養や利根川流域の奉納絵馬の調査を行った。

エ 博物館誌系(博物館とその社会的役割に関する研究)

① 中央博物館の収蔵資料の保存管理に関する研究

【担 当】御巫由紀・友田暁子・村田明久・宮 正樹・黒住耐二・斉藤明子・樽 宗一郎・伴 光哲

【研究内容】博物館の貴重な資料を劣化させない収蔵環境を維持するためには、総合的有害生物管理(IPM)を行う必要がある。温湿度などの管理、燻蒸釜による燻蒸、トラップによる生物生息調査などを継続的に行い、異常を素早く見つけて対処し、さらに中央博物館に適切な総合的有害生物管理を行うための調査研究を行う。

【年度実績】IPMの一環として4回の生物生息調査を全館的に実施した。9月にタバコシバンムシが昨年度に引き続き体験学習室で大量発生し、また、ノミバエが講堂側の地下機械室汚水マンホールで大量発生したため、防虫処理とトラップによる経過観察を行なった。日記温湿度計・データロガーにより、収蔵庫、歴史展示室、企画展示室および図書室の温湿度の測定を継続した。

② 博物館と学校との博学連携による博物館学習の推進に関する研究

【担 当】大野将史・木本利行

【研究内容】先進的な博物館の学校教育対応と展示環境の調査を通して、博学連携による博物館学習及び学校教育に対応した博物館展示のあり方について研究する。博物館の学校利用の現状を分析し、実態に即した博物館学習と展示改善を推進する。

【年度実績】道具とくらしの移り変わりの学習キットに作成した指導案とワークシートを同封して事業を実施した。利用したすべての学校で資料を活用して効率よく学習を進めることができたとの回答を得ることができた。

③ 学校と博物館との連携・「科学技術教育」普及に関する研究

【担 当】関 諒一・大野将史

【研究内容】千葉県の特性を活かした環境教育を中心に、今年度から実施された新学習指導要領の各学習内容(テーマ)において、博物館を实际利用すること、もしくは所蔵資料・デジタル資料の活用などが望ましいものを選別し、高等学校理科教員に役立つコンテンツ開発と広報の在り方、博物館の展示利用の促進など、よりよい博学連携について研究する。

【年度実績】令和4年度より実施されている高等学校学習指導要領に則り、博物館施設の特徴を高等学校が理解し活用するために、「高等学校の学習内容(単元)と展示資料との関連表(例)」を作成しHP上で公開した。

(3) 普遍研究

ア 地球誌系(地形地質学的多様性に関する基礎研究)

① 東北日本弧新第三紀火山活動の特質

【担 当】高橋直樹

【研究内容】東北日本弧の新第三紀火山活動に関して、特に珪長質火山活動の要因を探求することを目的とし、それらの時空分布、並びに、苦鉄質火山活動との成因的関係を中心に調査を進める。

【年度実績】三浦半島に分布する凝灰質の地層である三浦層群池子層及び上総層群浦郷層の地質調査を実施し、岩相や分布状況、房総半島の同時代の地層との対比について検討した。

② 日本産十脚甲殻類化石の分類と古生態

【担 当】加藤久佳

【研究内容】主として東日本産十脚甲殻類化石の分類学的な記載を進め、化石の産状、共産する化石など古生態学的な情報もあわせて検討する。

【年度実績】東京西部の中新統五日市盆地の1新種を含む十脚甲殻類化石を記載、公表した。寄贈標本の完新統産十脚甲殻類を検討し、新たな分類学的知見が得られたため、投稿準備中である。

③ 微小化石に基づく貝類化石の分類及び古生態の研究

【担 当】伊左治鎮司

【研究内容】白亜系手取層群(福井県・石川県)の淡水生貝類化石および白亜系銚子層群(千葉県)の海生貝類化石について、未記載の微小種を中心に、その多様性を明らかにし、幼生生態や古生物地理を議論する。

【年度実績】福井県大野市に分布する白亜系手取層群の非海成層において、汽水から淡水への堆積環境の遷移に伴う軟体動物の化石組成の変化を解析した。また、巻貝化石の1新種を記載した。この研究成果は日本古生物学会誌に受理された。

④ 東アジアを中心とした地域の貝類相の変遷

【担 当】黒住耐二

【研究内容】現生/考古学遺跡/化石等の調査を行い、人間の貝類利用を含めて、包括的に変遷史を明らかにする。

【年度実績】中国の新石器時代の遺跡から出土した貝類印象について論文を執筆した。学校標本に関して、過去の標本についても考察した。縄文時代の東京都(貝塚)、古墳時代の奄美(貝製品)・京都(古墳馬具)、室町時代の京都(貝塚)、近世アイヌ期の北海道(貝塚)等の報告を行い、東京都の絶滅危惧種や茨城県の外来貝類についてもまとめて参加した。また、これまでの研究成果を新聞のインタビュー記事としてまとめた。

⑤ 日本列島及び関連する海外地域の花粉・環境誌

【担 当】奥田昌明

【研究内容】化石花粉から古気候を復元するための基礎資料として、千葉県を含む日本列島とその周辺から表層土壌を収集し、現生花粉群を洗い出してデータ化する。また、チバニアン競合地となったイタリア2地点の花粉調査を計画する(コロナ禍のため実施はR5以降)。

【年度実績】チバニアンの競合地となったイタリア2地点の花粉調査を含む科研費を申請し、2月末に採択された。(渡航及び現地見分は次年度に実施)

⑥ 日本周辺地域の地・植物学的研究

【担 当】小田島高之

【研究内容】地形や地質と植生分布との関連性について、デジタル標高モデルや空中写真、衛星画像等の様々なデータを用いて解析し、明らかにする。

【年度実績】黒滝不整合の分布域について、引き続き植生調査を行い、地形や地質と植生分布との関連性について検討した。

⑦ 地形景観とその成り立ちに関する研究

【担 当】八木令子

【研究内容】日本列島には隆起や侵食、氷河性海面変動などに起因して形成された各種の地形が見られる。これらの分布や成り立ちに関する総括的な調査を行うとともに、近世以降の地形改変とその影響について考察する。

【年度実績】「風景から土地の成り立ちや人の暮らしを読み解く」をテーマにした講座(千葉市科学館)、地学資料「鳥の眼から見た房総半島」の改訂版の作成、「屏風ヶ浦海食崖の景観変化」に関する論文作成などを行った

⑧ 日本列島の最終氷期以降の植生変遷

【担 当】西内李佳

【研究内容】最終氷期(主に2~3万年前)から現在にかけての日本列島の植生変遷を、花粉や葉、種実の化石から明らかにする。

【年度実績】長野県北部の山岳地域において、昨年採取した場所よりさらに高標高域での最終氷期以降の湿原堆積物の採取を行い、分析を進めている。

⑨ 前弧火成活動に関する地球化学的研究

【担 当】大木淳一

【研究内容】銚子半島に分布する火山岩の地球化学的特徴から、日本海形成時の前弧火成活動の成因を明らかにする。

【年度実績】銚子半島に分布する高Mg安山岩および高Mg直方輝石を含む安山岩とデイサイトの岩石学的・地球化学的特徴を明らかにした。

⑩ 化石種・現生種に見られるハクジラ類特有の左右非対称な内部形態の意義

【担 当】丸山啓志

【研究内容】ハクジラ類は脊椎動物の中でも珍しく左右非対称な内部形態(頭骨など)を有する。本研究では、幾何学的形態測定学的手法を用い、その非対称性を定量化し、その要因(機能形態学的・系統的など)を統計学的手法から明らかにする。

【年度実績】これまで収集したハクジラ類の頭骨データについて、3次元解析ソフトを用いて、非対称性の定量化を試みた。

⑪ 人新世の生物学

【担 当】千葉友樹

【研究内容】浅海域の堆積物(砂、泥、貝殻など)から、外来種の移入や人間活動が生態系に及ぼす影響を明らかにする。

【年度実績】宮城県東松島市東名海岸の干潟において、4本の堆積物コアを採取した。岩手県山田町折笠川河口干潟と有明海の調整池において、表層堆積物を採取し、堆積物コアの採取に適した地点を検討した。

イ 生命誌系

(ア)分類学的多様性に関する基礎研究

① 十脚甲殻類の分類

【担 当】駒井智幸

【研究内容】全世界の十脚甲殻類を対象とした分類学的研究を行い、系統学的研究や生物多様性研究への基盤整備に貢献する。今年度は、深海生物の環境 DNA メタバーコーディング技術開発の最終年度にあたるので、採水技術の確立と深海性種のリファレンスデータの蓄積に向けて研究を進める。

【年度実績】「環境 DNA を用いた深海性大型動物物のモニタリング法の開発と実践、ならびに基盤データの整備 サブテーマ 2：無脊椎動物における調査方法の開発と実践、ならびに基盤データの整備」の最終年度にあたり、調査航海により採集された標本の分類学的研究、環境 DNA 分析のための配列データの蓄積、現場で濾過されたサンプルの環境 DNA 分析を進めた。並行して館蔵資料を用いた研究も進めた。8 編の原著論文が国際学術誌に公表され、8 新種が記載された。さらに 13 編の原著論文を国内外の学術誌に投稿した。

② 鯨類の寛骨および後肢痕跡に関する形態学的研究

【担 当】宮川尚子

【研究内容】鯨類の退化した寛骨と後肢骨格に関する情報は非常に少ない。そこで、本研究では鯨類の寛骨および後肢痕跡の形態学的な研究を行い、種ごとの特徴を明らかにすると共に、鯨類の後肢退化過程の解明に寄与する。

【年度実績】座礁鯨類 4 個体の寛骨を回収した。

③ 地衣類の多様性に関する研究

【担 当】原田 浩・坂田歩美

【研究内容】主として日本および周辺地域を対象として、アナイボゴケ科を中心とする地衣類の分類・分布、化学成分等に関する研究を行う。今年度は、(1)「日本産地衣類の総合的なデータベースの整備とウェブ公開」(科研費)、(2)海岸など特殊環境に生育する地衣類の多様性解明、(3)東アジア産(主に中国雲南省)地衣類の分類学的研究、(4)石造文化財上の地衣類の多様性解明、等。共同研究員、市民研究員、館外研究者と協力して実施する。

【年度実績】小笠原諸島からヒメイワノリ属の 2 新種と、高知県からキヨスミゴケ属の 1 新種を記載し、日本新産属のタカネノリ属を富士山頂から、シワキノリ属を高知県から報告した。日本産の石灰岩生地衣類のうち、広義アオキノリ属と、広義イワノリ属(論文受理)の分類をはじめ明らかにし、日本新産としてフタゴイボゴケを報告した。日本産地衣類のデータベースを整備した結果、デジタルミュージアムのコンテンツとして「日本の地衣類(ウェブ図鑑)」と、「地衣成分」を新たに公開し、「房総の地衣類誌」等を更新した。

④ 日本産地衣類の分類学的研究

【担 当】坂田歩美

【研究内容】リトマスゴケ科を中心に日本産地衣類の分類を形態、分子系統、含有成分に基づいて明らかにする。

【年度実績】日本産海岸生トリハダゴケ属の形態に関する特徴をまとめ、塩基配列(ITS 領域)決定し、含有成分を同定した。

⑤ バラ属植物の香りの研究

【担 当】御巫由紀

【研究内容】バラ属の野生種、オールドローズ、現代品種の香りを分析し、フルーツ香の香りの起源を明らかにする。

【年度実績】フルーツ香の品種共通の祖先にあたるバラ‘シャロット・アームストロング’について園芸学会で発表し、またフルーツ香で知られる野生種ロサ・フォエティダにおいて、バラ属で初めて発見された悪臭の成分について、香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会で発表し論文を園芸学会の英文誌に出した。

⑥ 環境 DNA メタバーコーディング法の改良・開発・実践

【担 当】宮 正樹

【研究内容】環境 DNA メタバーコーディング法(同時並列多種分析法)を深海性魚類の検出に適用できるように実験法を開発し、全国各地の深層水汲み上げ施設ならびに沖合海洋保護区で得られた環境 DNA サンプルで手法の性能を検証する。また、日本各地のさまざまな生態系に本手法を適用し、魚類群集の時空間動態を明らかにする。本年は先島諸島・沖縄本島・都井岬・足摺岬で調査を行う。

【年度実績】魚類環境 DNA メタバーコーディング解析を、全国の 5 つの深層水汲み上げ施設ならびに西七島海嶺地域から得られた多数のサンプルについて実施し、深海性魚類の検出に本手法が有効であることを検証した。また、南西諸島ならびに本州の黒潮流域の計 125 地点で採水を行い本手法による魚類群集解析を行った。その結果、トカラ列島と屋久島の間に魚類群集の大きな地理的ギャップがあることが明らかになった。

⑦ 淡水域に生息する生物の生物系統地理学的研究

【担 当】後藤 亮

【研究内容】これまで淡水域に生息する生物を対象とした生物系統地理学的研究は数多くなされてきたが、いまだ詳細が明らかになっていない分類群も多い。本研究では淡水域に生息する生物の生物系統地理学的な解析を行うことにより、進化的に重要な単位(ESU)を明らかにし、保全活動へ基礎的な情報を提供する。

【年度実績】本年度は、淡水域に生息するサワガニについて、1 1 県 4 4 個体のサンプルを収集した。引き続き、サンプル収集をするとともに、今後生物系統地理学的な解析を実施していく。

⑧ アジアの低緯度地域における有鱗目の多様性に関する研究

【担 当】栗田隆気

【研究内容】アジアの低緯度に広がる湿潤熱帯・亜熱帯地域において、トカゲ・ヘビの仲間(有鱗目)が種を多様化させたプロセスを分類、系統、集団遺伝、生態など、様々な情報に基づいて明らかにする。

【年度実績】琉球列島中部に分布するクロイトカゲモドキの食性に関する原著論文 1 報を発表した。

⑨ 高山帯における植物分類学的研究

- 【担 当】天野 誠
- 【研究内容】高山帯には、特異な種分化を遂げた分類群が数多く存在する。その分化の様式は一様ではない。ユーラシア大陸の東のはずれに位置する日本の植物相を明らかにするためにも、北半球の高山帯及び寒帯の植物相の調査は欠かせない。本研究は、高山帯で多様に分化した分類群を生物地理学的観点も含めて、研究するものである。
- 【年度実績】韓国、中国、台湾、ロシア、フランス、イタリアモナコ、アンドラ、タイ、ノルウェー、アメリカ、ネパール、パキスタン、ブータンの合計 1622 点の標本を整理、仮登録した。一部は、さらに貼り付けて、配架した。
- ⑩ アジア太平洋地域におけるコケ植物の分類学的研究
- 【担 当】古木達郎
- 【研究内容】千葉県と関係が深いアジア・太平洋地域に生育するコケ植物の多様性を探り、系統分類学的な研究を推進する。
- 【年度実績】北海道大雪山の永久凍土であるパルサーに生育するタイ類を研究し、タイ類アミバゴケ科 *Biantheridion undulifolium* の生育を確認し、日本新産として学会発表した。
- ⑪ 糞ハンズ・オン標本の研究
- 【担 当】丸山啓志
- 【研究内容】様々な動物の糞ハンズ・オン標本を作成し、形態学的研究を進める。また、従来失われていた糞中の未消化物の 3 次元データを CT スキャンや薄片観察により、取得する。併せて、安心安全な運用のできる教育普及活動への活用も推進する。
- 【年度実績】糞ハンズ・オン標本を用いた教育普及活動への活用について、館外研究者と検討し、調整を図った。
- ⑫ 特殊環境に生える大型菌類
- 【担 当】吹春俊光
- 【研究内容】アジアとその周辺地域の、特殊環境に生える菌類(糞生菌類など)に関する多様性を調査し、日本列島の菌類相の成り立ちと由来をさぐる。
- 【年度実績】日本産糞生菌類について、鹿児島県屋久島で採集したヤクジカ糞を培養し、発生した糞生菌類を分離培養し、標高等での種組成の違い等を調査した。あわせて分離した子囊菌類の生理活性等を、他研究機関とともに調査を行った(継続中)。
- ⑬ ナガカメムシ上科の分類学的研究
- 【担 当】伴 光哲
- 【研究内容】数多くの分類学的な問題が残されている東アジア～東南アジアのナガカメムシ上科について分類学的研究を行い、生物多様性保全の基盤整備および応用利用に向けた有用種の探索に貢献する。
- 【年度実績】論文・短報を 9 本投稿した。前年度投稿していたものと併せ、5 本が公開された。
- ⑭ アリヅカムシ亜科甲虫の分類学的研究
- 【担 当】樽 宗一朗
- 【研究内容】日本を中心としたアリヅカムシ亜科について分類学的研究を行い、ファウナを明らかにする。
- 【年度実績】石垣島、飛島のファウナを明らかにした。
- ⑮ 日華区系植物の分類学的研究
- 【担 当】山本伸子
- 【研究内容】千葉県をはじめとする日本の植物相の起源と成立を解明するために、分類学的観点から東アジア・ヒマラヤ地域における維管束植物の解析を行う。
- 【年度実績】千葉県を中心にサンプルの採取および標本作成を行った。特にキンボウゲ科、バラ科、キク科植物について調査した。
- (イ)生態学的多様性の維持機構に関する基礎研究
- ① 維管束植物に関する千葉県メッシュデータの活用
- 【担 当】平田和弘
- 【研究内容】千葉県立中央博物館で収集する維管束植物については、標本及び目視による情報が 1 km メッシュ単位で集積されている。そのデータの整理方法を検討し、千葉県の維管束植物の分布状況について考察する。
- 【年度実績】現在、整備されていない登録資料の種のリスト化を行った。また、大場達之による 2014 年の記録集約データおよび、2022 年までの中央博物館本登録データおよび自身の記録データから、千葉県における各メッシュの出現種数をまとめた。
- ② 磯の生物群集の生態学的研究
- 【担 当】村田明久
- 【研究内容】岩礁潮間帯において、主に付着生物を対象に、生物群集の地理的変異や長期的な動態を研究する。
- 【年度実績】継続して行っている鴨川市でのモニタリング調査を実施し、取りまとめを行った。また、比較調査のため、県内の海岸で調査を行った。
- ③ ヤドリギ類の生態学的研究
- 【担 当】尾崎煙雄
- 【研究内容】半寄生植物のヤドリギ類(ヤドリギ、オオバヤドリギ、マツグミ、ヒノキバヤドリギ、ホザキヤドリギ等)の分布、生態について生態学的、生物地理学的視点から研究を行う。

【年度実績】 県内のヤドリギおよびオオバヤドリギの分布調査を実施し、新たな個体を追加した。また、マツグミを採食する鱗翅類幼虫を発見し、飼育羽化させたところ未記載種である可能性が判明したため、分類の専門家に標本を送り新種記載準備中である。

④ 水位攪乱・かいぼり等による水環境保全技術の検証

【担 当】 林 紀男

【研究内容】 水位攪乱、かいぼりなどによる池の水環境保全について、その機構を解明する。併せて埋土種子等の散布体を用いて土着株による水辺植生の再生に向けた取り組みについて、地域特性に応じた留意事項を検証する。

【年度実績】 ため池において、水位攪乱によるアメリカザリガニ等の低密度管理手法を検証し、得られた成果を発表した。

⑤ 沿岸域における人間活動が生態系に及ぼす影響

【担 当】 平田和彦

【研究内容】 漁業や洋上風力発電をはじめとする沿岸域の人間活動が生態系に及ぼす影響について、最高次捕食者である海鳥の行動生態を目視やバイオロギングにより観察することで、行動生態学ならびに保全生態学の観点から検討する。

【年度実績】 常磐海域で越冬するウミネコ2羽の行動圏をGPS データロガーによって追跡した。いずれの個体もほぼ全ての時間を漁港で滞在し、漁船や釣り人から投棄魚を狙う様子が観察された。

⑥ シギ・チドリ類の越冬生態、特に個体数変動に関する研究

【担 当】 桑原和之

【研究内容】 チドリ目の越冬期の生態に関して、チドリ科、シギ科に属する種を中心に生態的な基礎研究を行なう。シギ・チドリ類の個体数の変動は、気象状況や捕食者に大きく影響をうけるので、これらの記録も現地調査で収集し、解析する。

【年度実績】 シギ・チドリ類の個体数の調査を、東京湾岸および利根川流域で行った。シギ・チドリ類の個体数が、激減した記録が得られた。

⑦ 干潟に生息するカニ類の生態学的研究

【担 当】 高山順子

【研究内容】 干潟に生息するカニ類について、個体群特性や社会行動を明らかにし、その多様性や進化に関する研究を行う。

【年度実績】 県内に生息する干潟(汽水域及び砂浜を含む)に生息するカニ類の調査・採集を行った。

ウ 人類誌系(景観史という新領域の創出)

① 民俗文化の伝播と伝承について

【担 当】 小林裕美

【研究内容】 講の行事、祭礼など民俗行事の変遷や地域による差異に着目し、民俗文化の伝播や伝承の在り方について考察を進める。

【年度実績】 重点研究課題と重なるが、県内のおはまおりの祭礼について、現地での聞き取り調査と文献調査を行い、その特色を抽出することによって、民俗文化の伝播や伝承の在り方について考察を深めた。

② 定期市からみる人と自然のかかわりについて

【担 当】 島立理子

【研究内容】 定期市で販売されている商品を手がかりに、人が自然とどのようにかかわりあってきたかについて考察する。

【年度実績】 日本各地の定期市を調査し、その結果を「定期市を歩く」というリーフレットにまとめた。

③ 谷津田における現在の農耕について

【担 当】 玉井里奈

【研究内容】 農作業暦や内容、担い手同士の関わり、農機具の利用、作物の贈答、農地や水利施設の管理など様々な側面から調査を行い、現在の谷津田で営まれる農耕の実態について明らかにする。

【年度実績】 館山市内においてフィールドワークを実施した。

エ 博物館誌系(博物館の歴史および機能の充実・発展に関する基礎研究)

① 持続可能な社会のための教育と博物館

【担 当】 林 浩二

【研究内容】 国際的にまた国内でも関心を集めている「国連持続可能な開発目標(SDGs)」の普及啓発や「持続可能な社会のための教育(ESD)」に、博物館として何ができるか、具体的な活動から探る。

【年度実績】 SDGs や ESD について、館種を問わず博物館における対応を調べている。博物館における環境保全やその教育への取り組みについては林(2006)以来取り組んできた。SDGs が広まったこともあって、博物館と SDGs の関わりへの言及も確かに増えてきた。ICOMの規約内の博物館の定義にも一定程度盛り込まれたことは重要である。日本環境教育学会等に参加して意見交換してきた。

② 博物館における哺乳類の3D資料の収集・保存の意義と活用：クジラを例に

【担 当】 宮川尚子

【研究内容】現生哺乳類分野における3D技術の有用性についてクジラをモデル生物として検証し、新たな研究・教育手法の確立を目指す。

【年度実績】座礁鯨類2体の外部形態の3Dデータを作成した。3Dプリントを活用した講座及び展示をおこなった。

③ 展示や展示物のイメージに関する基礎的研究

【担当】丸山啓志

【研究内容】来館者が展示や展示物に対して抱くイメージを知ることは、企画展や常設展更新を検討する上で有用である。また、幅広い層の来館者の満足度を上げる工夫を考える指針となる。本研究では、①展示の第一印象とイメージの変遷に関する研究、②いろんな来館者にやさしい展示に関する研究、③“クジラ・イルカ”を例とした展示物に対する研究、④新型コロナウイルス感染症の影響に関する研究、以上4つの課題を基に多角的に取り組む。

【年度実績】①これまでのデータの見直しを行なった。②各種研究会等で情報収集を行なった。③新たにデータを収集し、コロナ禍前後で比較を行なった。④自身の経験に基づいた論文を1本出版した。

④ 来館の難しい人が博物館を楽しむための、チバニアンを用いた地域教育プログラム開発

【担当】丸山啓志・大野将史

【研究内容】これからの博物館の役割に社会や地域の課題への対応が望まれている。とりわけ、様々な要因によって来館の難しい人がおり、アクセス可能なプログラムを開発する必要がある。そこで、千葉県下で知名度が高い「チバニアン」というテーマで、アクセシビリティの高い地域学習プログラム開発に取り組む。

【年度実績】プログラムの基になるチバニアン期のコンテンツとして、ナウマンゾウの下顎骨の解析と景観復元画「チバニアン期の海」の製作を行なった。それぞれ、口頭発表とポスター発表で成果を公表した。また、現地調査を行い、教育普及における課題についても検討し、研究会で口頭発表した。

⑤ 子どもの発達段階に応じて学ぶ「屋気楼」の教育プログラムの開発と実践

【担当】大木淳一

【研究内容】未就学児、小学生、中学生の各子どもの発達段階において、「屋気楼」を教材として授業に取り上げながら、身近な自然現象へ興味を抱く教育プログラムを博学連携を通して開発し実践する。これにより地域の魅力を発見することで、子ども達の郷土愛を育み身近な自然への関心を誘う。

【年度実績】九十九里町の未就学児と小学生を対象に、身近な自然現象の屋気楼を教材化するための研究授業を展開した。こども園では野外で屋気楼の一種「逃げ水」を観察と、室内で水槽実験による屋気楼の観察を2日にかけて実施した。小学校では第6学年の総合的な学習の時間を活用し、年間を通して屋気楼の観察結果だけでなく、国内外の屋気楼や歴史なども調べて、他の町内の小学校の同学年へTeamsで発表し、地域の自然の魅力を紹介した。

⑥ 博物館の自由研究支援事業の効果に関する研究

【担当】水野大樹

【研究内容】学校と博物館が連携した事業の一例である自由研究支援事業を対象として、学芸員による助言指導が児童・生徒の学びにどのような効果をもたらしているか明らかにする。

【年度実績】博物館以外が主催の自由研究相談会においてアンケート調査を実施したところ、博物館で自由研究相談会を実施していることの認知度は低かったものの、参加したいと回答した児童は多かったことから、自由研究において博物館を活用してもらうためには、学校等を対象としたさらなる周知が必要であることが明らかになった。

オ 芸術系(芸術表現に関する基礎研究)

① 現代彫刻表現に関する一考察

【担当】廣川政和

【研究内容】人間をモチーフとした、塑造による立体造形表現に取り組み、現代における彫刻表現の可能性を研究する。

【年度実績】『彫刻に触れるときー「さわる」と「みる」が出会う彫刻展ー』において、彫刻に触れて鑑賞するための作品2点(①「終わらない夏」②「虹を見に行く」)を出品し、彫刻表現と鑑賞の在り方を考察した。(千葉県立美術館：2月21日～3月19日)また、以下の作品を発表した。(①「宝石のような朝」/第51回日彫展：東京都美術館)②「夏の宴」/第9回日彫展：国立新美術館)③「忘れない」/第71回千葉県展：千葉県立美術館)

2 外部資金等による研究

(1) 文部科学省科学研究費補助金による研究

ア 研究代表者

① 日本産地衣類の総合的なデータベースの整備とウェブ公開

【担当】原田浩

【研究種目/開始年度/期間】基盤研究(C)(一般)/令和3年度/3年間

② 植物方言を地域研究資料として位置付けるための実践的な研究

【担当】島立理子

【研究種目/開始年度/期間】基盤研究(C)(一般)/令和4年度/3年間

③ 博物館の自由研究支援事業の効果に関する研究ー児童・生徒と学芸員による博学連携ー

【担当】水野大樹

【研究種目/開始年度/期間】若手研究/令和4年度/4年間

- ④ 来館の難しい人が博物館を楽しむための、チバニアンを用いた地域教育プログラム開発
【担 当】丸山啓志
【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(C)(一般)／令和4年度／3年間
- ⑤ 博物館における哺乳類の3D資料の収集・保存の意義と活用：クジラを例に
【担 当】宮川尚子
【研究種目／開始年度／期間】若手研究／平成31年度／4年間
- ⑥ 千葉県と茨城県における安産祈願と動物供養の民俗学的研究：犬供養・猫供養に着目して
【担 当】渡瀬綾乃
【研究種目／開始年度／期間】研究活動スタート支援／令和4年度／2年間
- ⑦ 環境DNAによる沿岸海洋生物多様性の網羅的動態把握に向けた最新技術の実装と検証
【担 当】宮 正樹
【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(B)(一般)／令和4年度／3年間
- ⑧ 江戸時代における貝類利用の俯瞰的研究—食用から美術工芸までを視野に入れて—
【担 当】黒住耐二
【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(C)(一般)／令和3年度／3年間
- ⑨ 子どもの発達段階に応じて学ぶ「蜃気楼」の教育プログラムの開発と実践
【担 当】大木淳一
【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(C)(一般)／令和3年度／3年間
- ⑩ 堆積物中の貝殻に基づく干潟貝類の捕食-被食関係の解明と将来予測
【担 当】千葉友樹
【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(C)(一般)／令和4年度／4年間
- ⑪ 日本沿岸の多様な漁法が海鳥に及ぼす影響—原発事故からの漁業復旧に着目して—
【担 当】平田和彦
【研究種目／開始年度／期間】若手研究／令和2年度／4年間

イ 研究分担者

- ① 石材劣化リスクの高い地衣類とその遺伝的系統に関する研究
【研究分担者】原田浩
【研究代表者】河崎衣美(檀原考古学研究所)
【研究種目／開始年度／期間】挑戦的研究(萌芽)／令和2年度／3年間
- ② 自然に関する文化的資産の保全・劣化要因の把握と教育・観光資源化にむけた検討
【研究分担者】島立理子
【研究代表者】柴崎茂光(東京大学)
【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(B)(一般)／令和3年度／4年間
- ③ バラ芳香性育種のためのフルーツ香の香りの起源の解明とデータベース化
【研究分担者】御巫由紀
【研究代表者】大久保直美(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構)
【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(C)(一般)／令和3年度／3年間
- ④ 土器に残る動植物痕跡の形態学的研究
【研究分担者】黒住耐二
【研究代表者】佐々木由香(金沢大学)
【研究種目／開始年度／期間】学術変革領域研究(A)／令和2年度／5年間
- ⑤ 「ボカシの文化」にメスを入れる
【研究分担者】黒住耐二
【研究代表者】高宮広土(鹿児島大学)
【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(A)(一般)／令和3年度／3年間
- ⑥ 日本列島における製塩技術史の解明
【研究分担者】黒住耐二
【研究代表者】阿部芳郎(明治大学)
【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(A)(一般)／平成31年度／4年間
- ⑦ 小規模島嶼における文化適応と潜在性の考古学的研究
【研究分担者】黒住耐二
【研究代表者】新里貴之(沖縄国際大学)
【研究種目／開始年度／期間】基盤研究(B)(一般)／平成30年度／5年間
- ⑧ 長期定点観測と化石を併用した貝類・貝形虫類の環境激変イベントからの回復過程の比較
【研究分担者】千葉友樹
【研究代表者】佐藤真一(静岡大学)

【研究種目／開始年度／期間】 基盤研究(C)(一般)／令和3年度／4年間

- ⑨ 侵略的外来水生植物の生態解明及び防除手法の評価を踏まえた早期対応社会技術の確立

【研究分担者】 林 紀男

【研究代表者】 中井克樹(滋賀県立琵琶湖博物館)

【研究種目／開始年度／期間】 基盤研究(C)(一般)／令和3年度／3年間

(2) その他の助成金による研究

ア 研究代表者

- ① 銚子層群(前期白亜紀)の微小巻貝化石の多様性とその生態を探索

【担当】 伊左治 鎮司

【助成名】 公益財団法人藤原ナチュラヒストリー振興財団第30回学術研究助成

【期間】 令和4年度

- ② 千葉県における海岸生広義ダイダイゴケ属地衣類の分類解明—Orientophila を中心に—

【担当】 坂田 歩美

【助成名】 公益財団法人藤原ナチュラヒストリー振興財団第30回学術研究助成

【期間】 令和4年度

- ③ 古東京湾の湾口部における海峡の形成と埋積過程：貝類化石群集・化石の産状・堆積相の統合解析

【担当】 千葉 友樹

【助成名】 公益財団法人藤原ナチュラヒストリー振興財団第30回学術研究助成

【期間】 令和4年度

- ④ 深海大型生物相の環境DNAによるモニタリング法の開発

【担当】 宮 正樹

【助成名】 環境研究総合推進費 戦略的研究開発(Ⅱ)

【期間】 令和2～4年度

イ 研究分担者

- ① 環境DNAを用いた深海性大型動物物のモニタリング法の開発と実践，ならびに基盤データの整備 サブテーマ2：無脊椎動物における調査方法の開発と実践，ならびに基盤データの整備(環境研究総合推進費)

【研究分担者】 駒井 智幸

【研究代表者】 源利文(神戸大学)

【助成名】 環境研究総合推進費

【期間】 令和2～4年度

- ② 両生爬虫類をモデルとした希少種選定の基礎資料整備と保全対象種の簡易同定法の確立およびそれらのワークフローの提案

【研究分担者】 栗田 隆気

【研究代表者】 戸田 守(琉球大学)

【助成名】 環境研究総合推進費

【期間】 令和2～4年度

- ③ 「古福江湖」の生い立ちを探索—山内盆地に分布する湖成堆積物と段丘—

【研究分担者】 西内 李佳

【研究代表者】 近藤 玲介(東京大学大気海洋研究所)

【助成名】 環境研究総合推進費

【期間】 令和2～4年度

- ④ 海洋生物遺伝子情報の自動取得に向けた基盤技術の開発と実用化

【研究分担者】 宮 正樹

【研究代表者】 浜崎 恒二(東京大学大気海洋研究所)

【助成名】 文部科学省・海洋資源利用促進技術開発プログラム

【期間】 平成30～令和4年度

(3) 他機関との共同研究

ア 研究代表者

- ① 定期市からみた地域生活の歴史と多様性に関する研究

【研究代表者】 島立 理子

【研究分担者】 小田 島高之、水野 大樹、西内 李佳

【機関名】 国立歴史民俗博物館

【期間】 令和2～4年度

イ 研究分担者

- ① フィールドサイエンスの統合と地域文化の創発
【研究分担者】 島立理子
【機関名】 国立歴史民俗博物館
【期 間】 令和4～9年度
- ② 航空斜め写真と3D画像の比較による2015年～2022年の屏風ヶ浦海食崖の地形変化
【研究分担者】 八木令子・小田島高之
【機関名】 銚子市教育委員会
【期 間】 令和4年度
- ③ 離島の食資源利用解明の方法論的研究—古墳時代の南九州甌列島を対象として—
【研究分担者】 黒住耐二
【機関名】 鹿児島国際大学
【期 間】 令和4年度
- ④ 「ボカシの文化」にメスを入れる
【研究分担者】 伴 光哲
【機関名】 鹿児島大学
【期 間】 令和4年度
- ⑤ 土器に残る動植物痕跡の形態学的研究
【研究分担者】 樽 宗一郎
【機関名】 金沢大学
【期 間】 令和4年度

3 研究成果の公表・周知

(1) 自然誌シンポジウム「おはまおりセミナー2022」

秋の展示「おはまおり—海へ向かう神々の祭—」に合わせて実施した。

ア 開催日 11月6日(日)(会場:本館講堂)

イ 内 容

① 講 演

俵木 悟(成城大学文芸学部教授) 「白間津オオマチは浜降りの祭りなのか」

石井聖子(NPO法人美和の森) 「常陸国金砂大小祭礼について」

蘇理剛志(和歌山県立紀伊風土記の丘主査学芸員) 「和歌山県沿岸部の祭礼とお浜降り」

② パネルディスカッション「これからの海の祭り」

浅野一夫(いすみ市大原貝須賀区長)

鈴木年樹(寒川神社氏子青年会)

吉野正記(鶴羽神社若衆頭)

小岩秀太郎(進行役:縦系横系合同会社代表)

(2) 中央博セミナー(会場:本館講堂)

① 2月16日(木)

大津千晶 「長期データで迫る植物群落の動態解明—一人の活動の影響に着目して—」

鈴木建人 「江戸時代のお祭りの姿から古代を探す」

小林裕美 「おはまおり展を終えて—なぜ神は海へ向かうのか—」

尾崎煙雄 「樹上で生きるヤドリギ、樹上に登るヒト」

② 3月8日(水)

渡瀬綾乃 「集落の寺社とその周縁の研究—中央博以前の調査成果と、今後の展望—」

玉井里奈 「農家日誌を読む」

林 紀男 「侵略的外来水生植物の繁茂拡大とその影響」

斎木健一 「小中学校向け野草同定ツール「野草カード」「野草検索サイト」の開発と普及」

③ 3月15日(水)

平田和弘 「中央博物館・房総のむら・文化財課でやってきたこと」

幅 大 「学芸員生活を振り返って—災害と博物館あれこれ—」

高梨俊夫 「房総の古墳時代・縄文時代研究と埋蔵文化財行政を振り返る」

植野英夫 「千葉県内の金剛力士像について」

(3) 自然誌フェスタ千葉

市民団体・中央博サークルによる活動の紹介。9団体が参加した。

ア 開催日 11月3日(木・祝)

イ 参加団体

ちば環境情報センター、千葉県菌類談話会、千葉県自然保護課千葉県生物多様性センター、千葉県生物学会、千葉県地学教育研究会、千葉港ポートパークかもめのクリーン隊、中央博サークル歴史サークル、房総貝類談話会、まあい広場（五十音順）

(4) 研究報告の発行

ア 発行 千葉県立中央博物館研究報告 16巻3号 2023年3月31日発行

イ 目次

- ① 吉村光敏・八木令子・小田島高之 「屏風ヶ浦海食崖の景観と近年の地形変化—消波堤設置による侵食様式の変化とその影響—」 pp. 73-87
- ② 伊左治鎮司 「下部白亜系銚子層群から産出したシロアリ類コプロライト」 pp. 89-96
- ③ 黒住耐二 「京都・同志社の加藤延年氏の貝類コレクション—その由来・保管の変遷・活用—」 pp. 97-104
- ④ 宮川尚子 「マッコウクジラ *Physeter macrocephalus* 新生児の前肢骨格」 pp. 105-108
- ⑤ 川合正光・古木達郎 「千葉県茂原-八積湿原のコケ植物」 pp. 109-114
- ⑥ 内海陽一・古木達郎 「千葉県流山市のコケ植物」 pp. 115-124
- ⑦ 渡辺善司・石井友菜 「千葉県立中央博物館大多喜城分館が所蔵する古文書二点」 pp. 125-132

4 研究員の執筆・研究発表

(1) 執筆

※中央博物館メルマガジン連載への執筆は、「V 情報の発信 2(2)イ. メルマガコラム」を参照のこと。

【副館長】

高梨俊夫

・宮川尚子・後藤亮・島立理子・高梨俊夫. 2022. 令和4年度特別展「鯨」展示図録. 47 pp. 千葉県立中央博物館. 千葉.

【教育普及課】

高山順子

普及書

・高山順子. 2022. 千葉県の外来種 イッカククモガニ. 生物多様性ちばニュースレター 生命のにぎわいとつながり. 75: 4.

高橋直樹

普及書

- ・高橋直樹. 2022. 石の魅力. 理科教育ニュース. 1168: 1.
- ・高橋直樹. 2022. 子産石と石笛の成因. In: 令和4年度秋の展示「おはまおり-海へ向かう神々の祭り-」図録. 15. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・高橋直樹. 2022. 博物館で地学を学ぼう! (12) 千葉県立中央博物館-房総半島の地球科学の立体百科事典. 日本地質学会 News. 25(12): 4-5.

原田 浩

学術論文・学術書

- ・Harada H.. 2022. Taxonomic notes on pyrenocarpous lichens in Japan (13). *Polymeridium megalosporum* (Trypetheliaceae) sp. nov. from Kochi-ken, Shikoku, western Japan. *Lichenology*. 20(1): 1-7.
- ・原田浩. 2022. 富士山頂で発見された日本新産属のラン藻地衣、*Arctomia teretiuscula* タカネノリ (Arctomiaceae タカネノリ科). *Lichenology*. 20(1): 9-15.
- ・原田浩. 2022. 日本産被果地衣類分類ノート(14). *Strigula stigmatella* ヤママンジュウゴケ. *Lichenology*. 20(1): 17-23.
- ・原田浩. 2022. 日本新産属のラン藻地衣、*Gabura insignis* シワキノリ (Arctomiaceae タカネキノリ科). *Lichenology*. 20(1): 25-27.
- ・Harada H.. 2022. Taxonomic study on calcicolous lichens of Japan (4). *Lempholemma hahajimaense* sp. nov. *Lichenology*. 20(2): 33-40.
- ・原田浩. 2022. 石灰岩生地衣類(1). *Catillaria lenticularis* フタゴイボゴケ. *Lichenology*. 20(2): 49-54.
- ・原田浩. 2022. 日本地衣類誌(8). *Flakea papillata* ハギレゴケ. *Lichenology*. 20(2): 41-48.
- ・原田浩. 2023. 石灰岩生地衣類(2). ヒメアオキノリ属 *Scytinium* (イワノリ科 Collemaaceae). *Lichenology*. 21(1): 1-17.
- ・原田浩. 2023. 日本地衣類誌(9). *Psoroglaena cubensis* ムキミゴケ. *Lichenology*. 21(1): 19-24.
- ・坂田歩美・原田 浩・小澤武雄・坂井広人・吉川裕子・泉 宏子・池田裕二. 2022. 分布資料(49). *Pseudocalopadia chibaensis* ツツジノチャサジゴケ (和名新名称). *Lichenology*. 20(2): 55-58.
- ・坂田歩美・原光二郎・谷川寛典・菅原晴香・木下 薫・原田 浩. 2023. 日本産海岸生地衣類図鑑(5). トリハダゴケ属 *Pertusaria*. *Lichenology*. 21(1): 25-32.

報告書

- ・原田 浩・坂田歩美・泉 宏子・吉川裕子. 2023. 地衣類. In 千葉県レッドデータブック改訂委員会 (編), 千葉県の

保護上重要な野生生物—千葉県レッドデータブック—植物・菌類編 2023年改訂版. pp. 491-533. 千葉県環境生活部自然保護課. 千葉.

普及書

・原田浩. 2022. ムカゴケ科のこの地衣類は?. 日本地衣学会ニュースレター. 166: 649-650.

大津千晶

学術論文・学術書

・Otsu C, H. Iijima and T. Nagaike. 2023. Effects of topography and historical human disturbance on the current-day distribution of *Betula davurica* in a secondary deciduous forest in central Japan. *Journal of Forest Research*. 28:120-125.

・Otsu C, H. Iijima T. Nagaike and Y. Hoshino. 2023. Responses to changes in precipitation of plant species vary by functional groups on understories of temperate forests in central Japan. *Forest Ecology and Management*. 529:120716.

【企画調整課】

島立理子

普及書

・島立理子・川村清志・小田島高之. 2023. 定期市を歩く—定期市からみた地域の生活文化の歴史と多様性に関する研究—. 122 pp. 国立歴史民俗博物館. 佐倉.

・宮川尚子・後藤亮・島立理子・高梨俊夫. 2022. 令和4年度特別展「鯨」展示図録. 47 pp. 千葉県立中央博物館. 千葉.

水野大樹

報告書

・水野大樹・倉俣武男・谷城勝弘・村田威夫・木村研一・千葉道徳. 2023. シダ植物. In 千葉県レッドデータブック改訂委員会(編), 千葉県の保護上重要な野生生物—千葉県レッドデータブック—植物・菌類編 2023年改訂版. pp. 15-79. 千葉県環境生活部自然保護課. 千葉.

吹春俊光

学術論文・学術書

・Aoki, W., N. Bergius, S. Kozlan, F. Fukuzawa, H. Okuda, H. Murata, T. A. Ishida, L.-M. Vaario, H. Kobayashi, E. Kalmis, T. Fukiharu, S. Gisusi, K. Matsushima, Y. Terashima, M. Narimatsu, N. Matsushita, K.H. Ka, F. Yu, T. Yamanaka, M. Fukuda and A. Yamada. 2022. New findings on the fungal species *Tricholoma matsutake* from Ukraine, and revision of its taxonomy and biogeography based on multilocus phylogenetic analyses. *Mycoscience*. 63:197-214.

報告書

・吹春俊光. 2023. 大型菌類(きのこ類). In 千葉県レッドデータブック改訂委員会(編), 千葉県の保護上重要な野生生物—千葉県レッドデータブック—植物・菌類編 2023年改訂版. pp. 535-557. 千葉県環境生活部自然保護課. 千葉.

普及書

・サンドラ・ローレンス(著)・吹春俊光(監修)・堀口容子(翻訳). 2023. 魔女の森 不思議なきのこ事典. 208 pp. グラフィック社. 東京.

・吹春俊光(監修). 2022. きのこの不思議. *Gakken みどりのなかま-学研エデュケーショナル教育情報新聞*(11月号). 451: 1-2.

・Nathaniel Guy・David Arora・城司入佐・Mr. Gakishimeji・workshop 301・吹春俊光. 2023. *Kinoko: A window into the mystical world of Japanese mushrooms*. 305pp. オンデマンド.

・吹春俊光. 2022. きのこの自然誌-きのこを飼育する-. 季刊きのこ. 45: 15-16.

・吹春俊光. 2022. きのこの自然誌-カラカサタケ-. 季刊きのこ. 46: 15-16.

・吹春俊光. 2022. きのこの自然誌-カエントケ-. 季刊きのこ. 47: 15-16.

・吹春俊光. 2023. きのこの自然誌-兎の名をもつきのこ-. 季刊きのこ. 48: 15-16.

・吹春俊光(監修). 2022. 猛毒きのこが都市部の公園にも!? 「カエントケ」が怖い理由. *ウエザーニュース*(2022年9月7日). <https://weathernews.jp/s/topics/202209/010095/>

・吹春俊光(監修). 2022. 全体の7割以上!? 間違っって食べてしまう毒キノコの“ツートップ”とは. *ウエザーニュース*(2022年10月18日). <https://weathernews.jp/s/topics/202210/130175/>

山本伸子

報告書

・天野 誠・谷城勝弘・木村陽子・岩槻秀明・御巫由紀・宮田昌彦・山本伸子. 2023. 種子植物. In 千葉県レッドデータブック改訂委員会(編), 千葉県の保護上重要な野生生物—千葉県レッドデータブック—植物・菌類編 2023年改訂版. pp. 81-408. 千葉県環境生活部自然保護課. 千葉.

樽宗一朗

学術論文・学術書

・樽宗一朗・松田卓巳・嶋本周介. 2022. 石垣島からのツヤアトキリアリヅカムシの記録. *さやばねニューシリーズ*. 47: 60-61.

・樽宗一朗・大島千幸・金子直樹. 2022. 山形県飛鳥島で採集されたアリヅカムシ. *ハネカクシ談話会ニュース*. 49: 38-39.

- ・樽宗一朗・清水 創. 2022. 千葉県におけるトゲナナフシのオスの記録. 房総の昆虫. 71: 71.
- ・林幸希・柳澤静磨・大島千幸・寺井純汰・樽宗一朗・佐伯智哉・青柳克. 2022. 宮古諸島におけるゴキブリ目の分布記録. Fauna Ryukuana. 65:61-73.
- ・野村周平・樽宗一朗. 2022. クワガタムシ科(コウチュウ目、コガネムシ上科)の成虫大あごにおける臼歯部および関連構造の形態観察. さやばねニューシリーズ. 47: 28-34.

【地学研究科】

加藤久佳

学術論文・学術書

- ・Kato, H., Taru, H., Haga, T. and Y. Sugita. 2023. Decapod crustaceans from the Miocene Itsukaichi Basin, western Tokyo, Japan, including a new species of *Trichopeltarion* (Brachyura: Trichopeltariidae). Bulletin of the Mizunami Fossil Museum. 50(1): 21-35.

普及書

- ・加藤久佳. 2023. 軟甲類. In: 日本古生物学会(編). 古生物の百科事典. pp.240-241. 丸善出版. 東京.

伊左治鎮司

学術論文・学術書

- ・Uematsu, R., K. Tanaka, S. Kozu, S. Isaji and S. Shimojima. 2022. Fossil eggshells from the Early Cretaceous Okurodani Formation, northern central Japan. Historical Biology. <https://doi.org/10.1080/08912963.2022.2142910>.
- ・Ueda, H., Y. Sakai, M. Manabe, T. Tsuihiji, S. Isaji and M. Okura. 2022. Morphometric and Cladistic Analyses of a Theropod Tooth from the Itsuki Formation of the Tetori Group in the Kuzuryu District, Ono City, Fukui Prefecture, Japan. Paleontological Research. 27(1): 51-72.
- ・伊左治鎮司. 2023. 下部白亜系銚子層群から産出したシロアリ類コプロライト. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(2): 89-96.

普及書

- ・伊左治鎮司. 2022. 房総丘陵の動植物 26: 海鳥の化石. しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアム ニュースレター). 78: 3.

奥田昌明

普及書

- ・奥田昌明. 2023. チバニアンに関する社会教育の現状と普及啓発の取組. 科学技術教育. 234: 16-17.

八木令子

学術論文・学術書

- ・吉村光敏・八木令子・小田島高之. 2023. 屏風ヶ浦海食崖の景観と近年の地形変化—消波堤設置による侵食様式の変化とその影響—. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(2): 73-87.

報告書

- ・八木令子. 2022. 五百沢式鳥瞰図と各種主題図との統合による地理景観教材の開発と博物館における活用. 科学研究費助成事業研究成果報告書(オンライン).

普及書

- ・八木令子. 2022. 地震による隆起と海岸線の変化. In: 千葉県立中央博物館(編). 令和4年度秋の展示 おはまおり一海へ向かう神々の祭—. pp.10. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・八木令子・吉村光敏. 2022. 牛久一東金崖線(がいせん)の地形. 重点研究「下総台地東部の自然」(2022年8月30日掲載). <http://www2.chiba-muse.or.jp/www/NATURAL/contents/1607402508232/index.html>

丸山啓志

学術論文・学術書

- ・丸山啓志. 2022. 新型コロナウイルス感染症禍と博物館活動—県立中央博物館古脊椎動物担当研究員の経験を基に—. 千葉県博物館研究紀要『MUSEUM ちば』. 47: 22-26. "

【動物学研究科】

駒井智幸

学術論文・学術書

- ・Komai T.. 2022. A new species of the alpheid shrimp genus *Salmones* Holthuis, 1955 (Decapoda: Caridea) from the Seto Inland Sea, Japan. Zootaxa. 5200(2): 436-448.
- ・Komai T., S.-C. Chang and T.-Y. Chan. 2022. A new species of the deep-sea shrimp genus *Glyphocrangon* A. Milne-Edwards, 1880 (Decapoda: Caridea: Glyphocrangonidae) from the South China Sea off Pratas Island. Zootaxa. 5141(2): 140-150.
- ・Komai T. and K. Matsuzaki. 2022. Three new species of the thorida shrimp genus *Lebbeus* White, 1847 (Decapoda: Caridea) from Nemuro Strait, Hokkaido, Japan, with supplemental note on *L. fujimotoi* Matsuzaki, Hibino & Komai, 2015. Zootaxa. 5133(2): 151-181.
- ・Komai, T. & R. Lemaitre. 2022. Reinstatement of "*Hippolyte St. Pauli*" Brandt, 1851 as a valid species of *Lebbeus* White, 1847 (Decapoda: Caridea: Thoridae). Zootaxa. 5168(3): 350-360.

- ・Komai, T., A. K. Miller and C.M.D. Malay. 2022. A new species of the diogenid hermit crab genus *Pseudopaguristes* McLaughlin, 2002 from the Northern Mariana Islands, Micronesia. *Zootaxa*. 5175(5): 570-582.
- ・Komai T., S. Tsuchida and Y. Fujiwara. 2022. New record of a rarely collected caridean shrimp *Bathypalaemonella pandaloides* (Rathbun, 1906) (Decapoda: Bathypalaemonellidae) from the West Mariana Ridge, northwestern Pacific. *Zootaxa*. 5129(2): 272-284.
- ・Komai T., S. Tsuchida and Y. Fujiwara. 2023. A new deep-sea palaemonid shrimp assigned to *Periclimenes* Costa, 1844 (Decapoda: Caridea) from the West Mariana Ridge, northwestern Pacific. *Zootaxa* 5231(4): 376-392. . *Zootaxa*. 5231(4): 376-392.
- ・Henmi, Y., G. Itani, M. Osawa and T. Komai. 2023. A new species of the ghost shrimp genus *Callianassa* Leach, 1814 (Decapoda: Axiidea: Callianassidae) from Wakasa Bay, western Japan: the first representative of the genus from the Pacific region. . *Zootaxa*. 5182(5): 465-478.

宮川尚子

学術論文・学術書

- ・宮川尚子. 2023. マッコウクジラ *Physeter macrocephalus* 新生児の前肢骨格. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(2): 105-108.

普及書

- ・宮川尚子. 2022. COVID19 とクジラと博物館. 勇魚. 76: 63-68.
- ・宮川尚子・後藤亮・島立理子・高梨俊夫. 2022. 令和4年度特別展「鯨」展示図録. 47 pp. 千葉県立中央博物館. 千葉.

伴 光哲

学術論文・学術書

- ・伴 光哲. 2022. 千葉県初記録のハリサシガメ. 房総の昆虫. 70: 71-72.
- ・伴 光哲. 2022. 千葉県初記録のクロナガカメムシ. 房総の昆虫. 71: 71-72.
- ・伴 光哲・望月政樹. 2022. 千葉県初記録のホソマキバサシガメ. 房総の昆虫. 71: 72.
- ・望月政樹・伴 光哲. 2022. 千葉県から発見された関東地方初記録を含むヒョウタンナガカメムシ科2種. *Rostria*. 67: 156-158.
- ・中村 涼・西 泰弘・伴 光哲. 2022. 千葉県におけるクロケブカゴミムシの採集記録. 房総の昆虫. 70: 77-78.
- ・渡部晃平・伴 光哲. 2022. 与那国島におけるツマジロナガカメムシ(カメムシ目、ヒョウタンナガカメムシ科)の初記録. *昆虫(ニューシリーズ)*. 25(2): 66-67.

普及書

- ・伴 光哲. 2023. 房総丘陵の動植物 28: 斜面の草の下に住む虫たち. しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター). 80: 3.

【植物学研究科】

古木達郎

学術論文・学術書

- ・川合正光・古木達郎. 2023. 千葉県茂原-八積湿原のコケ植物. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(2): 109-114.
- ・内海陽一・古木達郎. 2023. 千葉県流山市のコケ植物. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(2): 115-124.

報告書

- ・古木達郎. 2023. 千葉県産コケ植物標本(1)茎葉状タイ類. 自然誌資料集. 3: 1-28.
- ・樋口正信・古木達郎. 2023. 獅子ヶ鼻湿原の蘚苔類(1)獅子ヶ鼻湿原の蘚苔類. In: 獅子ヶ鼻湿原保存管理計画策定委員会(編). 天然記念物 鳥海山獅子ヶ鼻湿原植物群落及び新山溶岩流末端崖と湧水群 緊急調査報告書(令和4年度版). pp. 74-95. にかほ市教育委員会文化財保護課. にかほ.
- ・古木達郎・樋口正信. 2023. 獅子ヶ鼻湿原の蘚苔類(2)鳥海マリモを構成するタイ類3種の流域分布. In: 獅子ヶ鼻湿原保存管理計画策定委員会(編). 天然記念物 鳥海山獅子ヶ鼻湿原植物群落及び新山溶岩流末端崖と湧水群 緊急調査報告書(令和4年度版). pp. 96-102. にかほ市教育委員会文化財保護課. にかほ.
- ・古木達郎. 2023. 獅子ヶ鼻湿原の蘚苔類(3)鳥海マリモを構成するタイ類3種の伸長経年変化. In: 獅子ヶ鼻湿原保存管理計画策定委員会(編). 天然記念物 鳥海山獅子ヶ鼻湿原植物群落及び新山溶岩流末端崖と湧水群 緊急調査報告書(令和4年度版). pp. 103-105. にかほ市教育委員会文化財保護課. にかほ.
- ・古木達郎. 2023. 蘚苔類. In 千葉県レッドデータブック改訂委員会(編), 千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2023年改訂版. pp. 409-455. 千葉県環境生活部自然保護課. 千葉.

天野 誠

学術論文・学術書

- ・三次充和・久本洋子・天野誠・藤平晃司・軽込勉・尾崎煙雄・御巫由紀・鎌田直人. 2023. 東京大学千葉演習林における1kmメッシュスケールの維管束植物分布図. 演習林(東大) 67 別:37-46, s1-178.
- ・大森威宏・黒沢高秀・志賀隆・薄葉満・根本秀一・吉井広始・海老原淳・田中徳久・天野 誠. 2022. 尾瀬の維管束植物目録の見直し. 北海道大学 低温科学研究所. 80: 199-223.

報告書

- ・天野 誠・谷城勝弘・木村陽子・岩槻秀明・御巫由紀・宮田昌彦・山本伸子. 2023. 種子植物. In 千葉県レッドデータブック改訂委員会(編), 千葉県の保護上重要な野生生物—千葉県レッドデータブック—植物・菌類編 2023年改訂版. pp. 81-408. 千葉県環境生活部自然保護課. 千葉.

普及書

- ・天野 誠・岩槻秀明. 2022. 親子で観察する身近な雑草図鑑. 303 pp. ナツメ社. 東京.

【歴史学研究科】

小林裕美

普及書

- ・小林裕美. 2022. 房総の祭り 鶴原の八坂神社祭礼. ひまわり倶楽部. 202258: 24-25.
- ・小林裕美. 2022. 「房総のおはまおり」について. In: 千葉県立中央博物館令和4年度秋の展示「おはまおり—海へ向かう神々の祭—」展示解説書. pp. 3. 千葉県立中央博物館. 千葉.

渡瀬綾乃

報告書

- ・渡瀬綾乃. 2023. 小茎(つくば市)の盆綱. In: 茨城県教育庁総務企画部文化課(編). 「東関東の盆綱」総合調査報告書(茨城編). pp. 130-135. 茨城県. 水戸.

普及書

- ・常陸大宮市. 2022. 常陸大宮市史編さんだより vol. 75 「うちはうち、よそはよそ」の家例. 広報 常陸大宮 11月. 218: 13 pp.

鈴木建人

報告書

- ・鈴木建人. 2023. 平塚市内の神社分布. In: 平塚市博物館市史編さん担当(編). 平塚市史 13下(別編 寺社2). pp. 768-792. 平塚市. 平塚.
- ・鈴木建人. 2023. 小論 青柳院大日如来と法真寺観音像. In: 平塚市博物館市史編さん担当(編). 平塚市史 13下(別編 寺社2). pp. 576-578. 平塚市. 平塚.

【資料管理研究科】

御巫由紀

学術論文・学術書

- ・三次充和・久本洋子・天野誠・藤平晃司・軽込勉・尾崎煙雄・御巫由紀・鎌田直人. 2023. 東京大学千葉演習林における1kmメッシュスケールの維管束植物分布図. 演習林(東大) 67 別: 37-46, s1-178.
- ・Oyama-Okubo, Naomi and Yuki Mikanagi. 2023. Analysis of Floral Scent Components of *Rosa foetida* Herrm., a Rose with an Unpleasant Fragrance. *The Horticulture Journal*. 92:189-196.

報告書

- ・天野 誠・谷城勝弘・木村陽子・岩槻秀明・御巫由紀・宮田昌彦・山本伸子. 2023. 種子植物. In 千葉県レッドデータブック改訂委員会(編), 千葉県の保護上重要な野生生物—千葉県レッドデータブック—植物・菌類編 2023年改訂版. pp. 81-408. 千葉県環境生活部自然保護課. 千葉.

普及書

- ・御巫由紀. 2022. 2022年、殿堂入りのバラ. *マイガーデン*. 105: 54.
- ・御巫由紀. 2022. 世界バラ会連合優秀書籍賞『野ばらハンドブック』. *マイガーデン*. 105: 55.

宮 正樹

学術論文・学術書

- ・Miya, M., T. Sado, S. Oka and T. Fukuchi. 2022. The use of citizen science in fish eDNA metabarcoding for evaluating regional biodiversity in a coastal marine region: A pilot study. *Metabarcoding & Metagenomics*. 6:133-144.
- ・Fujiwara, Y., S. Tsuchida, M. Kawato, K. Masuda, S. S. Orui, T. Sado, M. Miya and T. Yoshida. 2022. Detection of the largest deep-sea-endemic teleost fish at depths of over 2,000 m through a combination of eDNA metabarcoding and baited camera observations. *Frontier in Marine Science*. 9:945758.
- ・Oka, S., M. Miya and T. Sado. 2022. Gravity filtration of environmental DNA: A simple, fast, and power-free method. *MethodsX*. 9:101838.
- ・Zhu, T., Y. Sato, T. Sado, M. Miya and W. Iwasaki. 2023. MitoFish, MitoAnnotator, and MiFish Pipeline: Updates in 10 Years. *Molecular Biology and Evolution*. 40(3): msad035.

黒住耐二

学術論文・学術書

- ・黒住耐二. 2023. 漆喰の原料となる貝灰—その歴史. 千葉いまむかし. 36: 37-52.
- ・黒住耐二. 2023. 京都・同志社の加藤延年氏の貝類コレクション—その由来・保管の変遷・活用—. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(2): 97-104.
- ・黒住耐二・孫 国平・王 永磊・宋 妹. 2023. 田螺山遺跡および鍾家港遺跡から得られた貝類の印象. In: 中村慎一(編). 中国新石器時代文明の探求. pp. 175-179. 六一書房/中国文明起源プロジェクト. 東京/金沢.

- ・木元菜奈子・黒住耐二・門脇誠二・サタ マサデ・ドナルド O. ヘンリー. 2023. 摩耗痕分析による旧石器時代の貝製ビーズの利用法の検討—南ヨルダン、トール・ハマル遺跡出土の海産貝類の分析—. *西アジア考古学*. 24: 1-13.
- ・黒住耐二. 2022. 湯舟坂2号墳出土貝類の素材. In: 諫早直人・溝口泰久(編). *地域資源としての湯舟坂2号墳Ⅱ—湯舟坂2号墳出土品の研究の最前線—*. pp. 6-9. 京都府立大学文学部考古学研究室. 京都.
- ・黒住耐二. 2023. スマコダキガイ類の一種・他. In: 茨城県県民生活環境部環境政策課・茨城県生物多様性センター(編). *茨城の外来種データブック 2023年版*. pp. 20-21, 80-85. 茨城県県民生活環境部環境政策課・茨城県生物多様性センター. 水戸.
- ・黒住耐二. 2023. 縄文時代早期の貝類資源利用. In: 能城修一(編). *縄文時代早期の関東地方における環境変遷と植物資源利用*. pp. 11-16. 明治大学黒曜石研究センター. 東京.
- ・黒住耐二. 2023. 栄町貝塚の堆積物から抽出された微小貝類遺体類. In: (公財)東京都スポーツ文化事業団(編). *栄町貝塚, 東京都埋蔵文化財センター調査報告書, 第375集*. pp. 271-280. 東京都埋蔵文化財センター. 多摩.
- ・黒住耐二. 2023. 貝類. In: 東京都環境局自然環境部(編). *東京都レッドデータブック 2023—東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)解説版—*. pp. 776-809. 東京都環境局自然環境部. 東京.
- ・黒住耐二・鐘ヶ江賢二・竹中正巳. 2023. 屋鈍遺跡(2018年調査)で得られた貝類遺体. *鹿児島国際大学ミュージアム調査研究報告*. 20: 1-14.
- ・黒住耐二・宮本由子. 2022. 富ノ森城跡の地点貝塚から得られた貝類遺体. *富ノ森城跡, 京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告書*. 2021-8: 53-64.
- ・乾 哲也・黒住耐二・高橋 理・佐藤一夫. 2023. 厚真町上厚真遺跡出土の貝類. In: 乾 哲也・奈良智法(編). *上厚真遺跡*. pp. 54-61. 厚真町教育委員会. 厚真.

普及書

- ・黒住耐二. 2022. アカビシヤマキサゴ・他 10 種. In: 岩槻邦男・太田英利(編). *日本の絶滅危惧生物図鑑*. pp. 12・他. 丸善. 東京.
- ・黒住耐二(インタビュー). 2022. 貝塚ごと違う食文化. *しんぶん赤旗*, 2022年6月6日, 12面.
- ・黒住耐二(協力). 2022. かたつむりのおさんぽ. *チャイルドブック*. ふう. 6月号. 32(3): 16-17.
- ・黒住耐二. 2023. 出土した貝類が教える人々の暮らし—西上総地方を中心に—. pp. 1-7. 房総の地域文化研究会. 木更津.
- ・黒住耐二. 2023. 貝類から見た取掛西貝塚. 1-9. 船橋市教育委員会. 船橋.

【生態・環境研究部長】

小田島高之

学術論文・学術書

- ・吉村光敏・八木令子・小田島高之. 2023. 屏風ヶ浦海食崖の景観と近年の地形変化—消波堤設置による侵食様式の変化とその影響—. *千葉県立中央博物館研究報告*. 16(2): 73-87.

報告書

- ・島立理子・川村清志・小田島高之. 2023. 定期市を歩く—定期市からみた地域の生活文化の歴史と多様性に関する研究—. 122 pp. 国立歴史民俗博物館. 佐倉.

【生態学・環境研究科】

尾崎煙雄

学術論文・学術書

- ・尾崎煙雄・中村 涼・斉藤明子. 2022. 「東京大学千葉演習林の昆虫相」の追加と訂正 その6. *房総の昆虫*. 70: 79-82.
- ・三次充和・久本洋子・天野 誠・藤平晃司・軽込勉・尾崎煙雄・御巫由紀・鎌田直人. 2023. 東京大学千葉演習林における1kmメッシュスケールの維管束植物分布図. *演習林(東大) 67別*: 37-46, s1-178.
- ・斉藤明子・村川功雄・尾崎煙雄. 2022. 千葉県におけるアマミトガリナナフシの再発見. *月刊むし*. 614: 39-41.

普及書

- ・尾崎煙雄. 2022. コラム房総丘陵の動植物 27: 北限のオオキンカメムシ. *しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアム ニュースレター)*. 79: 3.
- ・尾崎煙雄. 2022. 館のない博物館から(78) 「山の学校」再開. *館報せいわ*. 385: 4.
- ・尾崎煙雄. 2023. 房総の山のフィールド・ミュージアムと清和公民館. In: 開館五十周年記念清和地区文化祭実行委員会記念誌発行部会(編). *清風Ⅲ 清和公民館五十年の歩み*. pp. 92. 君津市清和公民館. 君津.
- ・尾崎煙雄・西内李佳. 2023. 千葉県立中央博物館の生態園について. *関東の博物館*. 47: 16.

大木淳一

普及書

- ・大木淳一. 2023. 館のない博物館から(79) 地元の祭りで清和を想う. *館報せいわ*. 386: 4.

斉藤明子

学術論文・学術書

- ・斉藤明子. 2022. 生態園で2021年に確認された注目すべき甲虫. *房総の昆虫*. 71: 14-15.
- ・斉藤明子. 2022. シンリョクナガタマムシの県初記録とタマムシ2種の記録削除. *房総の昆虫*. 71: 27-28, p1. 2(1-3).
- ・斉藤明子・岩槻秀明・萩野康則. 2022. 野田市で確認された外来種ツヤハダゴマダラカミキリ. *房総の昆虫*. 71: 1-2.

- ・齊藤明子・嶋本習介. 2022. 千葉県初記録のマルガタオオヒラタカメムシ. 房総の昆虫. 70: 72.
- ・尾崎煙雄・中村 涼・齊藤明子. 2022. 「東京大学千葉演習林の昆虫相」の追加と訂正 その6. 房総の昆虫. 70: 79-82.
- ・鈴木 勝・齊藤明子. 2022. 千葉県の甲虫確認種数(2021年3月現在). 房総の昆虫. 70: 83-85.
- ・鈴木 勝・齊藤明子. 2022. 千葉県動物誌、千葉県産動物総目録に掲載されていない甲虫 補遺と追加(XI). 房総の昆虫. 71: 83-95 .
- ・安川 憲・齊藤明子. 2022. 2021年の東金市におけるアサギマダラのマーキング調査報告. 房総の昆虫. 70: 28-29.

普及書

- ・齊藤明子. 2022. ハンミョウ. しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアム ニュースレター). 77: 1-2.
- ・齊藤明子. 2022. 館のない博物館から(77) 斑猫(ハンミョウ). 館報せいわ. 384: 4.

桑原和之

普及書

- ・桑原和之・糠谷隆・齊藤敏一・箕輪義隆・隈部 修. 2023. いきもの調査隊報告 11. たかつぼ通信. 15: 1-2.

後藤 亮

普及書

- ・後藤 亮. 2022. スナヤツメ～悟りを開くいきもの?～. しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアム ニュースレター). 79: 1-2.
- ・後藤 亮. 2022. 川のいきもの1. しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアム ニュースレター). 78: 4.
- ・宮川尚子・後藤亮・島立理子・高梨俊夫. 2022. 令和4年度特別展「鯨」展示図録. 47 pp. 千葉県立中央博物館. 千葉.

栗田隆気

学術論文・学術書

- ・Kurita, T. and M. Toda. 2022. Comparison of morphological identification and DNA metabarcoding for dietary analysis of faeces from a subtropical lizard. Wildlife Research. 50(3): 224-236.

普及書

- ・栗田隆気. 2022. 房総丘陵の動植物 25: ニホンマムシ: 愛し慈しむべき隣人. しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアム ニュースレター). 77: 3.

西内李佳

普及書

- ・西内李佳. 2023. 生態園のどんぐり. 2 pp. 千葉県立中央博物館. 千葉.
- ・尾崎煙雄・西内李佳. 2023. 千葉県立中央博物館の生態園について. 関東の博物館. 47: 16.

坂田歩美

学術論文・学術書

- ・坂田歩美・原光二郎・谷川寛典・菅原晴香・木下 薫・原田 浩. 2023. 日本産海岸生地衣類図鑑(5). トリハダゴケ属 *Pertusaria*. Lichenology. 21(1): 25-32.
- ・坂田歩美・原田 浩・小澤武雄・坂井広人・吉川裕子・泉 宏子・池田裕二. 2022. 分布資料(49). *Pseudocalopadia chibaensis* ツツジノチャサジゴケ(和名新名称). Lichenology. 20(2): 55-58.

報告書

- ・原田 浩・坂田歩美・泉 宏子・吉川裕子. 2023. 地衣類. In 千葉県レッドデータブック改訂委員会(編), 千葉県の保護上重要な野生生物—千葉県レッドデータブック—植物・菌類編 2023年改訂版. pp. 491-533. 千葉県環境生活部自然保護課. 千葉.

普及書

- ・坂田歩美. 2022. 下総台地の地衣類. 重点研究「下総台地東部の自然」(千葉県立中央博物館ウェブサイト2022年9月22日掲載). <http://www2.chiba-muse.or.jp/www/NATURAL/contents/1607402508232/index.html>
- ・坂田歩美. 2023. 身近な地衣類. 生物多様性ちばニュースレター 生命のにぎわいとつながり. 77: 1-2.

千葉友樹

普及書

- ・千葉友樹. 2022. 穿孔貝. しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアム ニュースレター). 78: 1-2.
- ・千葉友樹. 2022. 館のない博物館から(76) 三舟山の地層と貝化石. 館報せいわ. 383: 4.

【環境教育研究科】

林 紀男

学術論文・学術書

- ・林 紀男. 2022. 印旛沼・手賀沼にて特定外来生物ブラジルトメグサ *Hydrocotyle ranunculoides* L. fil. を初記録. 千葉生物誌. 72(2): 55-59.
- ・林 紀男. 2022. ため池の水位攪乱による池水環境の保全～アメリカザリガニ低密度管理とその波及効果～. 日本水処理生物学会誌. 58(3): 107-114.

報告書

- ・林 紀男. 2023. 花立堤(秋田県由利本庄市)の浮遊生物相. 秋田自然史研究. 80: 103-106.

- ・林 紀男・槌尾 健・北村 岳・北野雅人・松木和雄. 2023. 都市部に創出した池における土着水草の域外保全. 水草研究会誌. 114: 49-55.
- ・松木和雄・林 紀男・小松 新. 2022. 生態園のトンボ-2021年の試みと追加種-. 房総の昆虫. 70: 20-22.
- ・松木和雄・林 紀男・北野雅人・北村 岳. 2022. 印西市街地の実験池に誘致されたトンボ類. 房総の昆虫. 71: 15-21.
- ・松木和雄・林 紀男・小松 新. 2022. 旧君津市立三島小学校プールのトンボ. 房総の昆虫. 71: 21-23.
- ・松木和雄・林 紀男. 2022. 生態園の再生湿地で新たに確認されたトンボ2種. 房総の昆虫. 71: 23-25.

普及書

- ・林 紀男. 2023. モグリウムガイド. 29 pp. NPO 法人はちろうプロジェクト. 八郎潟.
- ・林 紀男. 2023. 環八郎湖版 顕微鏡で見るプランクトン 動物プランクトン編. 2 pp. NPO 法人はちろうプロジェクト. 八郎潟.
- ・林 紀男. 2023. 環八郎湖版 顕微鏡で見るプランクトン 植物プランクトン編. 2 pp. NPO 法人はちろうプロジェクト. 八郎潟.
- ・高田 順・林 紀男. 2023. 環八郎湖版 八郎湖および周辺の水草ガイド. 2 pp. NPO 法人はちろうプロジェクト. 八郎潟.

林 浩二

普及書

- ・林 浩二. 2023. 博物館は市民の学びにどうかかわるのか. In: ニノ宮リムさち・朝岡幸彦(編). 社会教育・生涯学習入門 誰ひとり置き去りにしない未来へ. pp.122-135. 人言洞. 横浜.
- ・林 浩二. 2022. 博物館と社会を考える (13) 新しい博物館の定義が採択されました. 市民研通信. 68: 8 pp.
- ・林 浩二. 2022. 市民参加の展示制作イベント「生態園ギャラリー」. 金属 (特集: 変動する社会における科学館・博物館の役割). 92(8): 3-8.
- ・林 浩二. 2022. 博物館と社会を考える (12) 国際博物館会議(ICOM)の博物館定義の改定と博物館法の一部改正. 市民研通信. 66: 12 pp.

平田和彦

学術論文・学術書

- ・白井正樹・清水澄玲・平田和彦・小林 聡・山本麻希. 2022. 新潟県北部で繁殖するウミネコ *Larus crassirostris* の外部形態の性的二型. 沿岸域学会誌. 35(1): 27-32.
- ・小澤光莉・大島康平・平田和彦・伊藤元裕. 2023. 青森県におけるマガモ *Anas platyrhynchos* の継続的繁殖: 大間町弁天島における繁殖追加記録. 青森自然誌研究. 28: 1-4.

普及書

- ・平田和彦. 2022. 鳥類. In: 大間町史編さん委員会(編). 大間町史～平成のおおま～. pp.16-19. 大間町教育委員会. 大間.
- ・平田和彦. 2023. 地球を魅せる鳥たち. GEOPARK magazine. 10: 34-37.
- ・平田和彦. 2023. 人を利用する鳥たち～農機が生み出す鳥の餌場～. しいむじな(房総の山のフィールド・ミュージアム ニュースレター). 80: 1-2.
- ・小田真裕・平田和彦. 2023. 探訪 ちばの博物館 ー第1回 市川自然博物館ー. 千葉県博物館協会報 ちばの博物館. 147148: 4-5.

(2) 研究発表

【教育普及課】

高橋直樹

- ・高橋直樹・赤司卓也/2022. 5. 25/北関東地方における石材の採石・利用状況/日本地球惑星科学連合 2022 年大会/幕張メッセ/千葉.
- ・高橋直樹/2022. 11. 28/葉山-嶺岡帯の地質構造と構成要素の起源に関する考察/東京大学大気海洋研究所研究集会「フィリピン海プレート北端部テクトニクスの再検討」/東京大学大気海洋研究所/柏市.
- ・高橋直樹・赤司卓也/2023. 3. 4/石碑に使用される石材-千葉県を中心に-/シンポジウム「日本文化の地質学的特質」/大谷大学/京都市.

原田 浩

- ・原田 浩・原光二郎・木下 薫・坂田歩美/2022. 12. 10/日本産地衣類の総合的なデータベースの整備とウェブ公開(2022)/日本地衣学会第 21 回大会/オンライン(愛媛県総合科学博物館)/(新居浜市).
- ・佐藤大樹・原田 浩・阿部 真/2022. 12. 10/オニサネゴケの基質樹種について/日本地衣学会第 21 回大会/オンライン(愛媛県総合科学博物館)/(新居浜市).
- ・坂田歩美・原光二郎・原田 浩/2022. 12. 10/日本産海岸生広義ダイゴケ属 *Caloplaca* s. lat. —*Mikhtomia multicolor*—/日本地衣学会第 21 回大会/オンライン(愛媛県総合科学博物館)/(新居浜市).
- ・清水玲亜・木下 薫・藤原恒司・坂田歩美・原田 浩/2022. 12. 10/日本産地衣類の LC/MS による化学成分の分析と分類への応用 ～ウチキウメノキゴケ属 *Myelochroa* と広義スミイボゴケ属 *Buellia* s. lat. を中心として～/日本地衣学会第 21 回大会/オンライン(愛媛県総合科学博物館)/(新居浜市).

- ・木下 薫・谷川寛典・河崎 星・坂田歩美・原田 浩／2022.12.10／日本産海岸生地衣類の LC/MS による化学成分の分析と分類への応用(4)／日本地衣学会第 21 回大会／オンライン(愛媛県総合科学博物館)／(新居浜市).

【企画調整課】

吹春俊光

- ・吹春俊光／2022.8.27／日本新産ヒトヨタケ類 *Coprinellus xanthothrix* 及び *Tulosesus velatopruinatus*／日本菌学会／オンライン.

樽宗一朗

- ・金子直樹・野村周平・樽宗一朗・内海 幸弘・柿添翔太郎／2022.12.17／2022 年度 皇居における大型甲虫の発生状況について(経過報告)／関東昆虫学研究会第 5 回大会／オンライン.

【地学研究科】

加藤久佳

- ・丸山啓志・一葉雅之・杉田雄一・松浦良彦・伊左治鎮司・加藤久佳／2022.8.27／房総半島の万田野層(チバニアン階)産鯨類前肢骨化石 / 日本哺乳類学会 2022 年度大会／三重大学・オンライン／津市・オンライン.
- ・丸山啓志・許 書毓・徳川広和・甲能直樹・松岡廣繁・石田吉明・伊左治鎮司・加藤久佳 / 2023.2.4／景観復元画「チバニアン期の海」の製作過程／日本古生物学会／九州大学／福岡市.

伊左治鎮司

- ・伊左治鎮司／2023.2.3／微小な軟体動物化石から探る古生態と古環境：中生界を例として／日本古生物学会／九州大学／福岡市.
- ・丸山啓志・一葉雅之・杉田雄一・松浦良彦・伊左治鎮司・加藤久佳／2022.8.27／房総半島の万田野層(チバニアン階)産鯨類前肢骨化石 / 日本哺乳類学会 2022 年度大会／三重大学・オンライン／津市・オンライン.
- ・丸山啓志・許 書毓・徳川広和・甲能直樹・松岡廣繁・石田吉明・伊左治鎮司・加藤久佳 / 2023.2.4／景観復元画「チバニアン期の海」の製作過程／日本古生物学会／九州大学／福岡市.

奥田昌明

- ・奥田昌明／2022.4.9／海外を旅する研究者生活 ～ニュージーランドの花粉調査風景を中心に／千葉市科学館スキルアップ講座／千葉市科学館／千葉市.
- ・奥田昌明／2022.9.2／地球史の新時代 チバニアンはどうすごいのか／千葉県生涯大学校講座／千葉県生涯大学校東葛飾学園／流山市.
- ・奥田昌明／2022.9.3／第四紀「チバニアン」の時代を中心とする環境花粉学について／チバニアンガイド養成講座／加茂公民館／市原市.
- ・奥田昌明／2022.9.11／チバニアンとは何か？ ～その発見の歴史と意義／柏陵東京ふるさとセミナー(柏陵同窓会東京支部)／オンラインセミナー(アルベルゴ御茶ノ水より配信)／東京都千代田区.
- ・奥田昌明／2022.11.9／千葉県 県政トピックス ～チバニアンについて～／千葉県生涯大学校講座／千葉県生涯大学校京葉学園／千葉市.

丸山啓志

- ・丸山啓志・一葉雅之・杉田雄一・松浦良彦・伊左治鎮司・加藤久佳／2022.8.27／房総半島の万田野層(チバニアン階)産鯨類前肢骨化石 / 日本哺乳類学会 2022 年度大会／三重大学・オンライン／津市・オンライン.
- ・丸山啓志／2022.12.1／チバニアン期の古脊椎動物～房総半島における研究と教育普及の課題～／近畿古脊椎動物学ゼミ／京都大学／京都市.
- ・丸山啓志・許 書毓・徳川広和・甲能直樹・松岡廣繁・石田吉明・伊左治鎮司・加藤久佳／2023.2.3.-5／景観復元画「チバニアン期の海」の製作過程／日本古生物学会第 172 回例会／九州大学・オンライン／福岡市・オンライン.
- ・丸山啓志・北川博道・松岡廣繁／2023.2.3-5／ナウマンゾウ模式標本の CT による再構築像を用いた観察／日本古生物学会第 172 回例会／九州大学・オンライン／福岡市・オンライン.

【植物学研究科】

古木達郎

- ・古木達郎・木口博史・内田暁友・佐藤 謙／2022.8.6／北海道で確認された日本新産タイ類アミバゴケ科 *Biantheridium undulifolium*／日本蘚苔類学会第 51 回島根県江津大会／島根県江津市(オンライン開催)／江津市.

【資料管理研究科】

御巫由紀

- ・大久保直美・御巫由紀／2022.9.10／バラのフルーツ香の起源の解明(第 2 報) ‘シャーロット・アームストロング’ の香気成分の解析 / 園芸学会令和 4 年度秋季大会／山形大学／鶴岡市.
- ・大久保直美・御巫由紀／2022.11.5／バラの悪臭—*Rosa foetida* の香りの解析 / 第 65 回 香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会 / 琉球大学千原キャンパス / 沖縄県西原町.

黒住耐二

- ・山崎京美・黒住耐二・江田真毅・谷口康浩／2022.6.25／群馬県居家以岩陰遺跡における縄文時代早期押型文期・条痕文期の動物遺存体および骨角貝製品(2017・2018 年資料をもとに)／日本動物考古学会第 9 回大会／豊橋市自然博物館／豊橋市.
- ・黒住耐二／2022.6.26／土器圧痕でみられる貝類について(予察)／日本動物考古学会第 9 回大会／豊橋市自然博物館／豊橋市.

- ・黒住耐二/2022.10.15/湯舟坂2号墳出土貝類装馬具の素材/地域資源としての湯舟坂2号墳Ⅱ—湯舟坂2号墳出土品の研究の最前線. 第2回湯舟坂2号墳プロジェクト成果報告会/京丹後市久美浜庁舎/京丹後市.
- ・Takamiya Hiroto, Toizumi Takeji and Kurozumi Taiji/2022.11.8/No obvious human related environmental change during the prehistoric period in Amami and Okinawa Archipelago, Japan/Indo-Pacific Prehistory Association. 22nd Congress/Le Meridien Marriot, Thailand/Chiang Mai, Thailand.
- ・黒住耐二/2023.1.22/縄文時代早期の貝類資源利用/縄文時代早期の関東地方における環境変遷と植物資源利用明. 治大学黒曜石研究センター 資源環境と人類 2022 シンポジウム/明治大学黒曜石研究センター/千代田区, 東京.
- ・黒住耐二/2023.2.26/出土した貝類が教える人々の暮らし/第107回房総の地域文化講座/木更津市公民館/木更津市.
- ・齋木健一・黒住耐二/2023.3.4-5/高等学校に保管されている哺乳類・鳥類剥製の実態と由来/日本生物教育学会第107回全国大会/高崎健康福祉大学/高崎市.
- ・黒住耐二/2023.3.18/貝類から見た取掛西貝塚/取掛西貝塚を考える～約1万年前の縄文ワールド 第5弾/船橋市民文化創造館/船橋市.

【生態学・環境研究科】

尾崎煙雄

- ・尾崎煙雄・斉藤明子・村川功雄/2022.6.18/千葉県で発生したナラ枯れについて/安房生物愛好会/館山市コミュニティセンター/館山市.
- ・村川功雄・尾崎煙雄/2023.3.3/模式産地におけるアンドンタケの記録 -2018年～2022年の観察記録-/第11回演習林ゼミ/オンライン(東京大学)/.
- ・尾崎煙雄/2023.3.5/千葉県で発生したナラ枯れについて/日本植物分類学会第22回大会公開シンポジウム/千葉大学/千葉市.

大木淳一

- ・大木淳一/2022.6.12/蜃気楼を題材にした小学校・総合的な学習の時間における実践例/令和4年度日本蜃気楼協議会研究発表会/魚津埋没林博物館/富山県魚津市.
- ・高橋俊郎・柴野暉崇・大木淳一・岩本直哉/2022.9.18/千葉県銚子地域に産する高Mg安山岩および高Mg直方輝石を含む安山岩とデイサイトの岩石学的・地球化学的特徴/令和4年日本鉱物科学会2022年年会/新潟大学/新潟市.
- ・大木淳一/2023.2.16/博学連携による子どもの発達段階に応じて学ぶ身近な自然「蜃気楼」/第30回全国科学博物館協議会研究発表大会/浜松科学館/静岡県浜松市.
- ・Miura Ikuo, Shams Foyez, Ohki Jun'ichi, Tagami Masataka, Fujita Hiroyuki, Kuwana Chiao, Nambal Chiyo, and Ezaz Tariq/2023.3.15/Y chromosome introgression and X chromosome rearrangements in Japanese Tago's brown frog complex/両生類研究センターバイオリソース棟落成記念シンポジウム/広島大学/広島県東広島市.

坂田歩美

- ・坂田歩美・原光二郎・原田 浩/2022.12.10/日本産海岸生広義ダイダイゴケ属 *Caloplaca* s. lat. —*Mikhtomia multicolor*—/日本地衣学会第21回大会/オンライン(愛媛県総合科学博物館)/(新居浜市).
- ・原田 浩・原光二郎・木下 薫・坂田歩美/2022.12.10/日本産地衣類の総合的なデータベースの整備とウェブ公開(2022)/日本地衣学会第21回大会/オンライン(愛媛県総合科学博物館)/新居浜市.
- ・清水玲亜・木下 薫・藤原恒司・坂田歩美・原田 浩/2022.12.10/日本産地衣類の LC/MS による化学成分の分析と分類への応用 ～ウチキウメノキゴケ属 *Myelochroa* と広義スミイボゴケ属 *Buellia* s. lat. を中心として～/日本地衣学会第21回大会/オンライン(愛媛県総合科学博物館)/新居浜市.
- ・木下 薫・谷川寛典・河崎 星・坂田歩美・原田 浩/2022.12.10/日本産海岸生地衣類の LC/MS による化学成分の分析と分類への応用(4)/日本地衣学会第21回大会/オンライン(愛媛県総合科学博物館)/(新居浜市).

【環境教育研究科】

林 紀男

- ・林 紀男/2022.10./八郎湖再生に向けた“八郎湖モグリウム”の大きな可能性/第2回八郎湖モグリウム成果報告会/はちバル、秋田/八郎潟町.
- ・林 紀男/2022.11/侵略的外来水生植物の異常繁茂が水生生物相に及ぼす影響/日本水処理生物学会 第58回大会/熊本大学/熊本.
- ・林 紀男/2022.11/水位攪乱を用いた池水環境の保全 ～ アメリカザリガニ低密度管理 ～/第25回自然系研究機関連絡会議(NORNAC25)/名古屋商工会議所/名古屋市.
- ・林 紀男/2023.2/水辺再生事業における遺伝的多様性への配慮/企業と生物多様性セミナー/千葉県立中央博物館/千葉市.
- ・林 紀男/2023.2/侵略的外来水生植物がプランクトン相に及ぼす影響/千葉県生物学会 2023年度研究発表会/千葉県立中央博物館/千葉市.
- ・林 紀男/2023.2.26/モグリウム-水草系統維持水槽による水生生物回廊化と多重連携/第3回八郎湖モグリウム成果報告会/馬場目ベース/五城目町.
- ・林 紀男/2023.3.12/千葉県における侵略的外来水生植物繁茂拡大の足跡/日本植物分類学会 第22回大会/千葉大学/千葉市.

林 浩二

・林 浩二／2022. 8. 27／ICOM 規約の博物館定義の改定、博物館法一部改正と環境教育／日本環境教育学会／東京農工大学／府中市.

平田和彦

- ・白井正樹・清水澄玲・平田和彦・山本麻希・関島恒夫／2022. 11. 5／新潟県北部で繁殖するウミネコの渡り期および越冬期の行動追跡／日本鳥学会／東京農業大学北海道オホーツクキャンパス／網走市.
- ・小澤光莉・東條菜々花・島袋羽衣・平田和彦・伊藤元裕／2022. 11. 4／津軽海峡周辺で繁殖するウトウの採餌域と繁殖アウトプット／日本鳥学会／東京農業大学北海道オホーツクキャンパス／網走市.
- ・望月みずき・大庭照代・平田和彦・桑原和之／2022. 11. 4／みんなで作ろう！ 目録8版(その3)―日本鳥類目録100周年―／日本鳥学会／東京農業大学北海道オホーツクキャンパス／網走市.
- ・西海 功・金井 裕・山崎剛史・小田谷嘉弥・亀谷辰朗・齋藤武馬・平岡 孝・平田和彦・池長裕史・板谷浩男・梶田学・大西敏一・西沢文吾・先崎理之・高木慎介・梅垣佑介／2022. 11. 6／新潟県北部で繁殖するウミネコの渡り期および越冬期の行動追跡／日本鳥学会／東京農業大学北海道オホーツクキャンパス／網走市.
- ・小澤光莉・東條菜々花・平田和彦・島袋羽衣・大島康平・佐藤信彦・伊藤元裕／2022. 11. 25／津軽海峡で繁殖する海鳥の採餌ハビタットと利用餌／日本バイオロギング研究会／オンライン.
- ・小澤光莉・東條菜々花・島袋羽衣・平田和彦・伊藤元裕／2023. 1. 8／津軽海峡周辺で繁殖するウトウの採餌海域選択と繁殖アウトプット／バードリサーチ鳥類学大会／オンライン.

5 研究交流

- (1) 海外出張 実績なし
- (2) 海外研究者の来訪 実績なし
- (3) 各種委員・非常勤講師等の受託

【教育普及課】

高山順子

- ・佐倉市環境審議会委員／佐倉市環境部生活環境課／2022. 4-2023. 3
- ・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2022. 4-2023. 3
- ・全国砂浜ムーブメントへの学術協力者／(公財)日本自然保護協会／2022. 6-2023. 3

大津千晶

- ・植生学会編集委員／植生学会／2017. 4-2023. 3

【企画調整課】

島立理子

- ・国立歴史民俗博物館 客員教授／国立歴史民俗博物館／2020. 3-2023. 3
- ・木更津市史編集委員会委員／木更津市／2022. 4-2023. 3
- ・木更津市史編さん部会(民俗)委員／木更津市教育委員会／2022. 4-2023. 3
- ・千葉市立博物館協議会委員／千葉市教育委員会／2023. 1-2025. 1

吹春俊光

- ・令和4年度絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 菌類分科会委員／環境省自然環境局野生生物課／2022. 4. 1-2023. 3. 31
- ・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2022. 4. 1-2023. 3. 31
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(菌類)／千葉県環境生活部自然保護課／2022. 4. 20-2023. 3. 31
- ・非常勤講師／京都大学大学院人間・環境学研究所／2022. 8. 5-2022. 8. 8

【地学研究科】

加藤久佳

- ・市原市地磁気逆転地層保存活用検討委員会委員／市原市／2021. 10. 1-2023. 9. 30

伊左治鎮司

- ・非常勤講師(受託)／千葉大学／2022. 4-2023. 3
- ・白山市手取層群化石調査協議会委員／石川県白山市／2022. 9-2023. 3

八木令子

- ・非常勤講師(受託)／国際医療福祉大学成田キャンパス／2022. 6. 27

【動物学研究科】

駒井智幸

- ・令和4年度絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会甲殻類分科会委員／環境省／2022. 4-2023. 3
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(動物部会：甲殻類)／千葉県環境生活部自然保護課／2022. 4-2023. 3

【植物学研究科】

平田和弘

- ・市原市生物多様性戦略協議会委員／市原市／2022. 7-2022. 3

古木達郎

- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(植物・菌類部会：蘚苔類分科会)／千葉県環境生活部自然保護課／2022. 4-2023. 3
- ・成東・東金食虫植物群落保護検討委員会作業部会作業部会長／山武市教育委員会／2022. 4-2023. 3
- ・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2022. 4-2023. 3
- ・環境省絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会蘚苔類分科会委員／環境省自然環境局野生生物課／2022. 4-2023. 3
- ・皇居の生物相調査(第 III 期)調査員／(独法)国立科学博物館／2022. 4-2023. 3

天野 誠

- ・非常勤講師(受託)／東邦大学／2022. 9-2023. 3
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(植物・菌類部会：種子植物)／千葉県環境生活部自然保護課／2021. 4-2023. 3

【歴史学研究科】

小林裕美

- ・佐倉市文化財審議会委員／佐倉市教育委員会／2022. 4-2024. 3
- ・印西市立印旛歴史民俗資料館運営委員会委員／印西市教育委員会／2022. 4-2024. 3

【資料管理研究科】

御巫由紀

- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会種子植物分科会委員／千葉県環境生活部自然保護課／2022. 4-2023. 3
- ・木更津市文化財保護審議会委員／木更津市教育委員会／2022. 4-2024. 10
- ・市川市緑の調査専門委員／市川市公園緑地課／2022. 4-2023. 3
- ・理事／公益社団法人園芸文化協会／2022. 6-2024. 6
- ・国際香りのバラ新品種コンクール審査員／国営越後丘陵公園／2022. 4-2023. 3
- ・非常勤講師(受託)／千葉大学／2022. 4-2023. 3

村田明久

- ・モニタリングサイト 1000 磯分科会委員／環境省／2022. 4-2023. 3

黒住耐二

- ・千葉県ミヤコタナゴ保全協議会委員／千葉県環境生活部自然保護課多様性センター／2017. 4. 14-
- ・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2021. 7-2024. 6
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(動物部会：貝類)／千葉県環境生活部自然保護課／2022. 4-2023. 3
- ・成田空港の更なる機能強化事業に係る自然環境保全検討座談会専門部会委員／成田空港株式会社／2022. 4-2023. 3
- ・町田市及び国立市内における緑地の自然環境調査学術協力者／株式会社 環境指標生物(東京都環境局自然環境部委託)／2022. 6-2023. 3
- ・全国砂浜ムーブメントへの学術協力者／公財 日本自然保護協会／2022. 6-2023. 3
- ・東京都保全地域コーディネイト事業への学術協力者／(公財)東京都環境公社(東京都環境局自然環境部委託)／2022. 7-2023. 3
- ・佐弁トマチン遺跡出土貝類分析指導専門家／鹿児島県伊仙町教育委員会／2022. 7
- ・下原洞穴遺跡出土貝類の分析指導専門家／鹿児島県天城町教育委員会／2022. 10.
- ・谷津川・高瀬川・菊田川の河川整備基本方針、整備計画作成にあたっての河川環境調査後ヒアリングアドバイザー／千葉県千葉土木事務所／2022. 11.
- ・取掛西貝塚を考える～約1万年前の縄文ワールド 第5弾講師／船橋市教育委員会／2023. 3

【生態・環境研究部長】

小田島高之

- ・木更津市史編さん部会(民俗部会)委員／木更津市教育委員会／2022. 4-2023. 3

【生態学・環境研究科】

尾崎煙雄

- ・非常勤講師(受託)／千葉大学大学院理学研究院／2022. 4-2023. 3
- ・モニタリングサイト 1000 里地調査検討会委員／(公財)日本自然保護協会／2022. 4-2023. 3

斉藤明子

- ・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2021. 7-2024. 6
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員／千葉県環境生活部自然保護課／2022. 4-2023. 3
- ・成田国際空港の更なる機能強化事業に係る自然環境保全検討座談会委員／成田国際空港株式会社／2022. 4-2023. 3

桑原和之

- ・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省自然環境局野生生物課／2021. 7-2024. 6
- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(動物部会：鳥類)／千葉県環境生活部自然保護課／2022. 5-2023. 3
- ・令和4年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(シギ・チドリ類調査)検討委員／／2022. 12-2023. 3

・海辺の生物国勢調査に関する研究会委員／国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究部／2023. 1-2023. 3

後藤 亮

- ・千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(動物部会：魚類)／千葉県環境生活部自然保護課／2022. 5-2023. 3
- ・環境省希少野生動植物種保存推進員／環境省／2021. 7-2024. 6

【環境教育研究科】

林 紀男

- ・印旛沼水質改善技術検討会水環境部会委員／千葉県県土整備部河川環境課／2022. 4-2023. 3
- ・手賀沼水生植物再生事業検討会委員／千葉県環境生活部水質保全課／2022. 4-2023. 3
- ・侵略的外来水生植物対策庁内連絡会議専門委員／千葉県環境生活部自然保護課／2022. 4-2023. 3
- ・東邦大学理学部非常勤講師／東邦大学理学部／2022. 4-2023. 3
- ・多面的機能発揮活動サポート専門家／全国内水面漁業共同組合連合会／2022. 6-2023. 3

林 浩二

- ・東邦大学理学部非常勤講師／東邦大学理学部／2022. 7-2023. 3

(4) 共同研究員、市民研究員、研究生の受入れ

ア 共同研究員

共同研究員は、当館職員と共同で当館の資料や設備等を利用して研究を行う館外の研究者・専門家で、本年度は25名(継続22名、新規3名)を受け入れた。

氏名	研究テーマ	担当	区分
木村陽子	千葉県の維管束植物相に関する研究	天野 誠	継続
綿貫 攻	日本産スミイボゴケ属地衣類の分類学的研究	原田 浩	継続
坪田美保	地衣類の共生藻に関する研究	原田 浩	継続
吉川裕子	地衣類の化学分類	原田 浩	継続
富塚朋子	房総半島に分布する海藻相の調査研究及び標本整理	水野大樹	継続
宮田昌彦	房総半島における海藻相の分類学的再検討	水野大樹	継続
加瀬谷優子	文化財の保存に関する研究	吹春俊光	継続
小暮誠一	菌類の法科学的有用性について	吹春俊光	継続
吉村光敏	信仰対象となっている巨岩地形の形成史—阿武隈山地の事例—	八木令子	継続
富谷朗子	シアノバクテリア—植物共生の多様性	古木達郎	継続
大庭照代	生物音響資料の編纂	御巫由紀	継続
佐土哲也	ユニバーサルプライマーに基づく次世代シーケンサを用いた環境 DNA の分析法の確立ならびにリファレンスデータの収集	宮 正樹	継続
福地毅彦	ユニバーサルプライマーに基づく次世代シーケンサを用いた環境 DNA の分析法の確立ならびにリファレンスデータの収集	宮 正樹	継続
大野啓一	芽ばえに関する記載学的研究	尾崎煙雄	継続
木村悟朗	生態園内におけるヒトスジシマカの分布およびその季節変動	尾崎煙雄	継続
倉西良一	東アジア産トビゲラ目昆虫の分類と分子系統地理	尾崎煙雄	継続
茶木慧太	ラン科シュンラン属植物における菌従属植物への進化過程の解明	尾崎煙雄	継続
箕輪義隆	利根川水系の湿地における鳥類相の解明	桑原和之	継続
田尻浩伸	里地、特に農耕地における鳥類相と環境利用	桑原和之	継続
布留川 毅	外房海岸における鳥類相の変遷	桑原和之	継続
原 正利	ブナ科植物ほかの標本作成および生態園の植物生態観察	西内李佳	継続
松本嘉幸	生態園のアブラムシ相	西内李佳	新規
由良 浩	千葉県の希少種の栽培と増殖	西内李佳	新規
岡崎浩子	下総層群の堆積相と化石層	千葉友樹	新規
横林庸介	水草の生活情報、観察と記録のまとめ	林 紀男	継続

イ 市民研究員

市民研究員は当館職員の助言により館内外で調査研究活動を行う市民で、本年度は42名(継続40名、新規2名)を受け入れた。

氏名	研究テーマ	担当	区分
山田俊弘	リンネコレクション等を利用した科学史研究とその教育的な意義について	高橋直樹	継続
赤司卓也	房総半島の歴史的建築用石材の旧丁場及び産出石材の用途とその現状調査	高橋直樹	継続
本間千舟	国内外より産出した鉱物と化石の記録	高橋直樹	継続
木澤武司	収集された国内外の砂試料の分析、及び生物遺骸の同定	高橋直樹	継続
今井邦裕	本州中部山岳地帯における地衣類の多様性	原田 浩	継続
東あずさ	地衣類の顕微鏡観察	原田 浩	継続
泉 宏子	房総の地衣類誌	原田 浩	継続
小山内行雄	苗場山の地衣類相	原田 浩	継続
加藤裕一	21世紀の森と広場(松戸市)における地衣類観察の取り組み	原田 浩	継続
高橋雅彦	茨城県の地衣類相	原田 浩	継続
田中慶太	長崎県の地衣類相	原田 浩	継続
中村正樹	長野県大町市の「冷風の丘」(風穴現象地帯)における地衣類植生	原田 浩	継続
牧野純子	茨城県土浦市、つくば市周辺および県内調査空白地域における地衣類相調査	原田 浩	継続
森田考恵	白井市周辺の地衣類相	原田 浩	継続
松崎 務	長野県上田市周辺の地衣類相	原田 浩	継続
大作晃一	シダ植物の胞子の顕微鏡撮影	水野大樹	継続
小倉豊史	きのこ類の研究	吹春俊光	継続
加藤恵美子	房総の自然に関する研究	吹春俊光	継続
佐野悦三	きのこ類の研究	吹春俊光	継続
中島淳志	きのこ類の研究	吹春俊光	新規
亀田果夏	きのこ類の研究	吹春俊光	新規
石井明夫	北総台地における木下層化石の研究	加藤久佳	継続
時田 徹	三浦層群および上総層群の動物化石の分布調査	加藤久佳	継続
松浦良彦	上総層群万田野層の古生物相	加藤久佳	継続
津野絵里子	多様な来館者に開かれたミュージアム活動の実現に向けた調査研究	伊左治鎮司	継続
上原 恵	地域に残る災害の痕跡と記録の収集と分析(4)	八木令子	継続
内海陽一	流山市の蘚苔類(コケ植物)誌	古木達郎	継続
川合正光	茂原一八積湿原とその周辺の水辺の蘚苔類相調査	古木達郎	継続
森 晃	国内のシャジクモ科の研究	御巫由紀	継続
金谷小百合	ヤドリギの生態調査及び繁殖について	尾崎煙雄	継続
久保田貴志	エリサンの飼料の栄養価値の比較	尾崎煙雄	継続
齊藤 修	千葉県産蛾類データベースの構築	斉藤明子	継続
鈴木 勝	千葉県北部地域の昆虫相(甲虫類)	斉藤明子	継続
鶴田賢治	Dacinae(ハエ目ミバエ科)の雄腹部(postabdomen)の形態学的研究	斉藤明子	継続
土井 学	伊豆諸島および南西諸島の昆虫標本の作成・収蔵	斉藤明子	継続
中尾健一郎	千葉県立中央博物館収蔵蛾類標本のデジタル画像データベース作成及び標本整理	斉藤明子	継続
中村 涼	千葉県の昆虫相の解明	斉藤明子	継続
安川 憲	千葉県におけるアサギマダラを中心とした昆虫類の調査研究	斉藤明子	継続
藤島 剛	印旛沼北部調整池周辺の鳥類相の解明	桑原和之	継続
藤島成邦	印旛沼北部調整池周辺の鳥類相の解明	桑原和之	継続
隈部 修	コジュリン等、利根川水系の湿地に生息する鳥類の生態に関する研究	桑原和之	継続
池田裕二	屋久島産地衣類を対象としたウェブ図鑑作成	坂田歩美	継続

第2 大利根分館

1 研究課題

(1) 地域研究

ア 人類誌系(房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究)

① 都市近郊低湿地における生業の研究

【担当】秋山笑子

【研究内容】千葉県内の低湿地を中心に、生業と生活戦略を検討し、近現代における低湿地における生活と環境の変化との関連について調査研究を行う。

【年度実績】近現代における生業の経営と環境について検討するため、香取郡神崎町の酒造業について調査研究を行った。

② 房総における疫病除け習俗の伝播

【担当】榎 美香

【研究内容】近世・近代に流行した疫病除け習俗について、古文書や絵画資料の分析により、当時の情報伝達ルートなどを中心に考察する。

【年度実績】中国志怪小説を典拠とした疫病除け習俗について、利根川流域の事例を集めて比較することで、その伝播の様相を考察した。

イ 博物館誌系(博物館とその社会的役割に関する研究)

① 博物館と学校との博学連携による博物館学習の推進に関する研究

【担当】大野将史・木本利行

【研究内容】先進的な博物館の学校教育対応と展示環境の調査を通して、博学連携による博物館学習及び学校教育に対応した博物館展示のあり方について研究する。博物館の学校利用の現状を分析し、実態に即した博物館学習と展示改善を推進する。

【年度実績】道具とくらしの移り変わりの学習キットに作成した指導案とワークシートを同封して事業を実施した。利用したすべての学校で資料を活用して効率よく学習を進めることができたとの回答を得ることができた。

(2) 普遍研究

ア 人類誌系(景観史という新領域の創出)

① 民俗技術・民俗知識の継承について

【担当】榎 美香

【研究内容】地域ごとに継承されてきた自然環境に対する知識やそれを加工する民俗技術について、調査研究を行う。

【年度実績】岩手県宮古市の個人が全国70数か所の箕の産地から収集した約230枚の資料のうち約7割について、産地・素材・製法の特徴などのデータベース作成と撮影を行った。成果は東京文化財研究所無形文化遺産部と共有。

2 研究員の執筆・研究発表

(1) 執筆

※中央博物館メールマガジン連載への執筆は、「V 情報の発信 2(2)イ. メルマガコラム」を参照のこと。

榎 美香

学術論文・学術書

・榎 美香. 2022. 疫病除けの呪符「□□乙(きしおつ)」考(その2)—利根川流域での流布—. 西郊民俗. 261: 10-21.

報告書

・榎 美香. 2023. 田宮(牛久市)の盆綱、駒木根(鉾田市)の盆綱、宮渕町千秋(龍ヶ崎市)の盆綱、刈間(つくば市)辻・原の盆綱. In: 東関東の盆綱総合調査委員会(編). 東関東の盆綱総合調査報告書. pp. 94-101, 118-123, 124-129, 160-163. 茨城県教育委員会. 水戸.

(2) 研究発表

榎 美香

・榎 美香/2022. 7. 17/疫病除けの呪符「□□乙(きしおつ)」考(その2)—利根川流域での流布—/西郊民俗談話会(第825回)/東京都新宿区.

・榎 美香/2022. 11. 20/茨城県龍ヶ崎市駒馬松田家文書のこと/西郊民俗談話会(第829回)/東京都新宿区.

・榎 美香/2022. 12. 4/女人講による犬供養と「犬不動」の流行—下総の事例—/日本民俗学会第923回談話会「関わり合う世界を描く—人と動物を対象として—」/オンライン.

・榎 美香/2023. 2. 19/茨城県龍ヶ崎市駒馬のオピシヤ由来書「山王天王奉射祭始之事」—オピシヤの三足鳥的の由来—/西郊民俗談話会(第832回)/東京都新宿区.

・榎 美香/2023. 3. 19/犬供養習俗を背景とした流行神/西郊民俗談話会(第833回)/東京都新宿区.

3 研究交流

(1) 各種委員・非常勤講師等の受託

榎 美香

- ・幸手市文化財保護審議会／幸手市教育委員会／2022.10-2024.9
- ・印西市史編さん委員会委員／印西市教育委員会／2022.10-2024.3
- ・「(仮称)印西市歴史文化施設」基本計画策定委員会委員／印西市教育委員会／2022.4-2023.3

秋山笑子

- ・非常勤講師(受託)／立正大学／2022.9-2023.3

(2) 共同研究員の受け入れ

共同研究員は、当館職員と共同で当館の資料や設備等を利用して研究を行う館外の研究者・専門家で、本年度は1名を受け入れた。

氏名	研究テーマ	担当	区分
糠谷 隆	大根分館所蔵 稲作の農具に関する研究	秋山笑子	継続

第3 大多喜城分館

1 研究課題

(1) 地域研究

ア 人類誌系(房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究)

① 鳥瞰図などから見る房総

【担当】 渡辺善司

【研究内容】 鳥瞰図などの資料から描かれた当時の房総の姿を明らかにし、加えて現在に至るまでの歴史の変遷を追う。

【年度実績】 昭和11年に発刊された『観光の千葉県』という雑誌の表紙に描かれた千葉県地図から導かれる事象について、当時の新聞などによって裏付け作業を行った。

② 房総の古墳出土副葬品に関する研究

【担当】 石井友菜

【研究内容】 千葉県内の古墳から出土する副葬品を主な対象とし、古墳時代の手工業生産やものづくりの技術について検討する。

【年度実績】 千葉県内の古墳から出土した副葬品のうち、とくに石枕、石製模造品、銅鏡の調査を実施し、製作技術について検討した。

2 研究員の執筆・研究発表

(1) 執筆

※中央博物館メールマガジン連載への執筆は、「V 情報の発信 2(2)イ. メルマガコラム」を参照のこと。

渡辺善司

学術論文・学術書

・渡辺善司・石井友菜. 2023. 千葉県立中央博物館大多喜城分館が所蔵する古文書二点. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(2): 125-132.

石井友菜

学術論文・学術書

・渡辺善司・石井友菜. 2023. 千葉県立中央博物館大多喜城分館が所蔵する古文書二点. 千葉県立中央博物館研究報告. 16(2): 125-132.

報告書

・石井友菜. 2022. 公津原古墳群と龍角寺古墳群. In: 下総龍角寺再考—最新の発掘成果から—. pp.10-11. 早稲田大学會津八一記念博物館・早稲田大学東アジア都城・シルクロード考古学研究所・早稲田大学奈良文化研究所. 東京.

・梶原悠渡・呉 心怡・石井友菜. 2022. 群馬県伊勢崎市お富士山古墳の長持形石棺の三次元計測. 東都絹研 News. 3: 1.

・城倉正祥・石井友菜・呉 心怡・高橋 亘・金井 彩・樋口典昭. 2023. 群馬県藤岡市 白石稲荷山古墳の測量・GPR調査(早稲田大学東アジア都城・シルクロード考古学研究所 デジタル調査概報 第5冊). 88 pp. 早稲田大学東アジア都城・シルクロード考古学研究所. 東京.

(2) 研究発表

石井友菜

・石井友菜/2022.10.16/公津原古墳群と龍角寺古墳群/下総龍角寺再考—最新の発掘成果から—/早稲田大学/東京都新宿区.

第4 分館海の博物館

1 研究課題

(1) 地域研究 房総半島の海洋生物相とその特徴

① 房総半島沿岸の魚類相

【担 当】川瀬裕司

【研究内容】房総半島は北部と南部、太平洋岸と東京湾岸で海洋環境が大きく異なり、千葉県全体として多様な魚類相が形成されている。この魚類相の特徴を、県内および県外各地からの標本・資料収集により明らかにする。

【年度実績】地元漁業者や一般の方から提供された魚類の標本登録をはじめ、これまでに採集した魚類の標本登録を行った。

② 房総半島の海産無脊椎動物相

【担 当】奥野淳兒・柳 研介・立川浩之

【研究内容】房総半島に生息する海産無脊椎動物相を掌握するため、資料の収集、同定、分類学的研究等を行う。

【年度実績】館山市沖ノ島の潮間帯で資料収集を行い、各分類群の標本を撮影・登録した。九十九里浜沿岸各地において軟体動物・節足動物その他の無脊椎動物の資料収集を行い、令和4年度収蔵資料展「九十九里浜の海の生きもの」で展示した。勝浦沖のキンメダイ漁で混獲されたカニ類の稀観種フタバイボガニを千葉県初記録として報告した (Okuno, 2022)。

③ 房総半島沿岸の海藻相

【担 当】菊地則雄

【研究内容】房総半島沿岸の海藻相とその特徴を明らかにする。

【年度実績】勝浦市を中心に適宜採集を行い、92点の資料を登録した。また、千葉県内海藻相との比較を行うため、宮城県南三陸町周辺で調査を行い、約50点の資料を収集した。

(2) 専門研究

① 学校に収蔵されている自然誌標本の調査、保存と活用

【担 当】斎木健一

【研究内容】千葉県内の学校に保存されている古い自然誌標本や調査記録を調査し、千葉県のかつての自然環境についての記録を保存する。あわせて、学校において標本や調査記録の蓄積が行われた時代背景を考察する。

【年度実績】調査結果を取りまとめ、成果を日本生物教育学会で発表した。

② 沿岸性魚類の繁殖生態

【担 当】川瀬裕司

【研究内容】沿岸性海産魚類の繁殖生態(なわばり行動、産卵行動、卵保護行動など)について、フィールド観察を主体にして明らかにする。

【年度実績】新型コロナウイルスの影響により沖縄県でのフィールド調査を行えなかったため、現地から取り寄せた研究対象種(サキンハゼ属の1種-3)の繁殖行動を海の博物館の水槽内で観察するとともに、耳石による日齢査定を行った。

③ 日本産共生性コエビ類の分類学的研究

【担 当】奥野淳兒

【研究内容】テナガエビ科を中心として、様々な海産無脊椎動物と共生するコエビ類の分類学的研究を行う。

【年度実績】テナガエビ科テヅルモヅルエビは普及書籍で千葉県における分布が確認されていたが、標本に基づく記録がなかった。これまでに県内で採集された標本と今年度採集された追加個体に基づき、分布の北限記録に関する論文執筆を進めた。

④ 原始紅藻亜綱植物の分類学的、生態学的研究

【担 当】菊地則雄

【研究内容】日本産原始紅藻亜綱植物の分類学的再検討を行うとともに、生活史について明らかにする。

【年度実績】谷津干潟に生育が確認された希少アマノリ類として、カイガラアマノリとソメワケアマノリの一変種アツバソメワケアマノリについての生育報告の論文を公表した。宮城県調査で採集されたムロネアマノリの形態について、類似種のウップルイノリとの比較検討を行った。

⑤ イソギンチャク類の分類・生態学的研究

【担 当】柳 研介

【研究内容】イソギンチャク類について、その「形」を明らかにしていくとともに、DNA解析の手法を用いた検証を行い、日本産のイソギンチャク類の分類の再検討を行う。

【年度実績】調査航海に乗船し、超深海のイソギンチャク類を採集し分類学で検討を行った。少なくとも6種の未記載種と考えられる超深海イソギンチャクを発見した。

⑥ ハマダンゴムシの生息地調査

【担 当】松本光史

【研究内容】ハマダンゴムシの生息地として、勝浦市や館山市が知られている。学校教材への利用を考え、広く生息地の調査と生息地環境の比較考察を行う。

【年度実績】主として千葉県内のハマダンゴムシの生息する海岸について、調査をした。鴨川市や南房総市などで追加確認された。

⑦ 日本産イシサンゴ類の分類・生物地理に関する研究

【担 当】立川浩之

【研究内容】日本産のイシサンゴ類はこれまでにおよそ 500 種が知られるが、無藻性種や温帯域の有藻性種を中心に従来の同定を再検討すべき種が多数存在する。本研究では、これらの種の再検討を中心として、日本産イシサンゴ類の分類学的・生物地理学的研究を行う。

【年度実績】日本産イシサンゴ類の和名に関する混乱の解消を目的として共同研究者との議論を行い、その結果をガイドラインとしてまとめ、日本サンゴ礁学会誌において公表した。

2 外部資金等による研究

(1) 文部科学省科学研究費補助金による研究

ア 研究代表者

① ハゼが海底につくる「ミステリーサークル」の適応的意義と形成ロジックの解明

【担 当】川瀬裕司

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(C)／一般／令和元年度／4年間

② 学校に収蔵された標本類を通じた博学連携

【担 当】齋木健一

【研究分担者】黒住耐二・奥野淳兒・伴 光哲

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(C)／一般／令和元年度／4年間(1年間延長)

③ 博物館資料に基づく東京湾産十脚甲殻類相の推移と環境変遷

【担 当】奥野淳兒

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(C)／一般／令和元年度／4年間(1年間延長)

④ 自然史博物館における甲殻類を題材とした海洋教育プログラムの開発

【担 当】奥野淳兒

【研究種目／審査区分／開始年度／期間】基盤研究(C)／一般／令和4年度／3年間

3 研究成果の公表・周知

(1) うみはくセミナー (会場：分館海の博物館2F講座実験室)

① 令和4年11月24日(木)16:40～17:10

柳研介 「超深海のイソギンチャク」

② 令和5年1月19日(木)16:40～17:10

菊地則雄 「ソメワケアマノリについて」

③ 令和5年1月26日(木)16:40～17:10

奥野淳兒 「本牧あたりの昔のカニの話 II-時を超えた新知見-」

④ 令和5年2月2日(木)16:40～17:10

齋木健一 「令和5年度季節展示「理科室のタイムマシン 学校標本」について」

⑤ 令和5年3月2日(木)16:40～17:10

立川浩之 「千葉県保田漁港で採集された興味深い無藻性イシサンゴについて」

⑥ 令和5年3月9日(木)16:40～17:10

川瀬裕司 「オーストラリア・シドニー沿岸に生息するオダクス科魚類2種の性様式と繁殖行動」

⑦ 令和5年3月16日(木)16:40～17:10

松本光史 「ハマダンゴムシは学校教材になるか？」

4 研究員の執筆・研究発表

(1) 執筆

※海の博物館メールマガジン『海からのたより』連載への執筆は、「V情報の発信 2(2)イ.メルマガコラム」を参照のこと。

齋木健一

学術論文・学術書

・齋木健一. 2023. 鈹化石と成因論. In: 日本古生物学会(編), 古生物学の百科事典. pp. 168-169. 丸善出版. 東京.

・早川宗志・杉野孝雄・橋越清一・岡田努・黒沢高秀・齋木健一. 2023. 清水東高等学校に所蔵されていた教員や生徒により作製されたさく葉標本. 東海自然誌, (16): 1-6.

普及書

・瀧靖之・斎木健一(監修)はじめてのずかん しょくぶつ(講談社の動く図鑑 MOVE). 88 pp. 講談社. 東京.

川瀬裕司

学術論文・学術書

・Kawase, H, Y. Kitajima & D. Iwai. 2022. 3D model of the geometric nest structure, the “mystery circle,” constructed by pufferfish. *Sci Data* 9, 368. <https://doi.org/10.1038/s41597-022-01466-4>

普及書

- ・川瀬裕司. 2023. 海底にミステリーサークルをつくるフグの謎. 河出書房新社(編), pp. 14-31. 生きものは不思議—最前線に立つ研究者 15 人の白熱! 講義. 河出書房新社. 東京.
- ・川瀬裕司. 2023. 魚を素材にした南房総の駅弁・昔と今 南総軒会長インタビュー. 千葉県立中央博物館分館海の博物館 令和 4 年度マリンサイエンスギャラリー「房総の魚—名魚・珍魚・ふつうの魚」ワークシート. 1p.

奥野淳兒

学術論文・学術書

・Okuno, J. 2022. Additional record of a bizarre crab, *Oxypleurodon bidens* (Sakai, 1969) (Crustacea: Decapoda: Epialtidae) from off Katsuura, Boso Peninsula, Japan. *Biogeography*, 24: 84-86.

菊地則雄

学術論文・学術書

- ・Kikuchi, N. M. Tamaki and S. Iwade 2022. Transfer of *Porphyra katadae* A. Miura var. *hemiphylla* C. K. Tseng & T. J. Chang to *Neopyropia* J. Brodie & L. -E. Yang (Bangiales, Rhodophyta). *Notulae algarum*, (236): 1-2.
- ・玉置仁・村岡大祐・畠田智・北山太樹・菊地則雄. 2022. 宮城県万石浦におけるアサクサノリほか希少アマノリ類の生育. *藻類*, 70: 177-182.
- ・菊地則雄・玉城泉也. 2022. 谷津干潟に生育する希少な紅藻アマノリ属藻類. *千葉生物誌*, 72(2): 71-78.

報告書

・菊地則雄・鈴木雅大・宮田昌彦・佐野郷美. 2023. 藻類. In 千葉県レッドデータブック改訂委員会(編), 千葉県の保護上重要な野生生物—千葉県レッドデータブック—植物・菌類編 2023 年改訂版. pp. 457-489. 千葉県環境生活部自然保護課. 千葉市.

普及書

・菊地則雄. 2023. 海の生きもの観察ノート 17 ノリを知らう. 28 pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館. 勝浦.

柳 研介

学術論文・学術書

- ・Yoshikawa, A., A. Yasuda, T. Izumi and K. Yanagi 2022. A novel epibiotic association in the benthic community: The sea anemone *Verrillactis* sp. (Actiniaria: Sagartiidae) on the necto-benthic fish, *Inimicus japonicus*. *Plankton and Benthos Research*, 17(2): 208-213. <https://doi.org/10.3800/pbr.17.208>
- ・Yoshikawa, A., T. Izumi, T. Moritaki, T. Kimura & K. Yanagi. 2022. Carcinoecium-forming sea anemone *Stylobates calcifer* sp. nov. (Cnidaria, Actiniaria, Actiniidae) from the Japanese deep-sea floor: a taxonomical description with its ecological observations. *Biological Bulletin*, online first. <https://doi.org/10.1086/719160>

立川浩之

学術論文・学術書

- ・立川浩之. 2022. 伊豆大島近海から採集されたムカシキリオレ *Trituba tanseiae*(軟体動物門: 腹足綱: コンボウカニモリ科). *南紀生物*, 64(2): 160-162.
- ・深見裕伸・野村恵一・梶原健次・横地洋之・野中正法・立川浩之・北野裕子・鈴木 豪・藤田喜久・山野博哉. 2022. 「日本産イシサンゴ目の標準和名の提唱と使用のガイドライン」の策定について. *日本サンゴ礁学会誌*, 24: 1-7.

普及書

・無記名. 2022. 令和 4 年度収蔵資料展「九十九里浜の海の生きもの」砂浜に打ち上げられた貝殻から見えてくるもの. *千葉教育*, (674): 30.

(2) 研究発表

斎木健一

・斎木健一・黒住耐二/2023. 3/ 高等学校に保管されている哺乳類・鳥類剥製の実態と由来/日本生物教育学会第107回全国大会/高崎健康福祉大学, 高崎市

川瀬裕司

- ・川瀬裕司・北嶋友喜・岩井大輔/2022. 9/アマミホシゾラフグは体の 2000 倍の体積の砂を掘って海底に巣を建設する/日本魚類学会年会/大阪公立大学, 大阪市
- ・川瀬裕司・北嶋友喜・岩井大輔/2022. 11/アマミホシゾラフグが海底に建設する「ミステリーサークル」の 3D モデルによる形態解析/日本動物行動学会大会/大阪公立大学, 大阪市. 日本動物行動学会大会/クローバープラザ, 春日市

菊地則雄

- ・ Fujii, K., N. Kikuchi, M. Tamaki, N. Murase and M. Abe / 2022.10.7 / Rapid discrimination of *Neoporphyra kitoi* by PCR-RFLP method / 27th Joint International Symposium Between Pukyong National University and National Fisheries University / Online style by zoom meeting.
- ・ 山岸幸正・岡本修弥・菊池啓人・岸本直人・鎌田昂・菊地則雄・鈴木稔・三輪泰彦 / 2023.3 / 日本産ソゾ属 *Laurencia* の *rbcL* および *cox1* 系統解析 / 日本藻類学会第 47 回大会 / オンライン.

柳 研介

- ・ 古島靖夫・生田哲朗・山北剛久・高橋朋子・Sangekar Mehul Naresh・甘利由香・土屋正史・北橋 倫・横川太一・中嶋亮太・近藤圭・田角英二・真壁明子・小川晟人・藤倉克則・粥川洋平・喜瀬浩輝・丸本幸治・多田雄哉・武内章記・岡部宣章・Chenchen TANG・自見直人・波々伯部夏美・Gregorius Altius Pratama・柳 研介 / 2023.3 / KM21-08、KM22-02 航海概要報告：海洋汚染物質の実態把握と海洋生態系への影響評価 (P21-02 課題) / 海と地球のシンポジウム 2022 / 東京海洋大学, 東京都港区
- ・ 柳 研介 / 2022.12 / 超深海のイソギンチャク / 第 16 回日本刺胞動物・有櫛動物研究談話会 / 東海大学海洋学部, 静岡市
- ・ 泉 貴人・柳 研介・James Davis Reimer・藤田敏彦. 掘れば掘るほど珍種の山! ~日本産ムシモドキギンチャク科(刺胞動物門: イソギンチャク目)の最新知見 / 2022.9 / 日本動物学会第 93 回早稲田大会, 東京都新宿区
- ・ 泉 貴人・柳 研介 / 2022.6 / 日本産ムシモドキギンチャク科(刺胞動物門: 花虫綱: イソギンチャク目)の 4 初記録属 / 日本動物分類学会第 57 回大会 / オンライン開催

5 研究交流

(1) 海外出張

- 奥野淳兒
 - ・ 渡航先 : オーストリア共和国
 - ・ 渡航目的: 令和 4 年度科学研究費助成事業「博物館資料に基づく東京湾産十脚甲殻類相の推移と環境変遷」に係る標本調査
 - ・ 渡航期間: 令和 4 年 12 月 9 日~12 月 22 日(14 日間)
 - ・ 備考: 科研費

(2) 各種委員・非常勤講師等の受託

- 齋木 健一
 - ・ 八千代市立郷土博物館協議会委員 / 八千代市教育委員会 / 2022.7-2023.3
 - ・ 千葉県勝浦海中公園センター評議員 / 一般財団法人千葉県勝浦海中公園センター / 2022.4-2023.3
- 川瀬 裕司
 - ・ 千葉大学大学院理学研究科非常勤講師 / 千葉大学大学院理学研究院 / 2022.4-2023.3
- 菊地 則雄
 - ・ 千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会委員(植物・菌類部会: 藻類) / 千葉県環境生活部自然保護課 / 2022.4-2023.3
 - ・ 千葉県ミヤコタナゴ保全協議会委員 / 千葉県環境生活部自然保護課 / 2018.4.1-(期限明記なし)
 - ・ 非常勤講師 / 東京大学 / 2022.4-2023.3
 - ・ 勝浦市浜勝浦川浄化対策推進協議会委員 / 勝浦市 / 2021.4-2023.3
 - ・ 勝浦市文化財審議会委員 / 勝浦市教育委員会 / 2021.6-2023.3
- 立川 浩之
 - ・ 千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会貝類分科会委員 / 千葉県環境生活部自然保護課 / 2022.4-2023.3

(3) 共同研究員の受入れ

ア 共同研究員

共同研究員は、当館職員と共同で当館の資料や設備等を利用して研究を行う館外の研究者・専門家で、本年度は6名(継続5名、新規1名)を受け入れた。

氏名	研究テーマ	担当	区分
鈴木 稔	房総半島沿岸域に生育するソゾ属 (<i>Laurencia</i>) 海藻の成分分類学的研究	菊地則雄	継続
平野弥生	Medusozoa の刺胞動物の多様性と生活史に関する研究	柳 研介	継続
泉 貴人	変形イソギンチャク亜目イソギンチャクの系統分類学	柳 研介	継続
吉川晟弘	ヤドカリと共生するキンカライソギンチャク属の系統分類学的研究	柳 研介	継続
吉田隆太	館山湾を中心とした南房総の甲殻類相の解明	奥野淳兒	継続
橋詰和慶	房総の海産無脊椎動物の自然史的研究	奥野淳兒	新規

Ⅲ 展示

第1 本館

1 常設展示

(1) 常設展示の更新

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
生物の分類	クジラ展示コーナー	マッコウクジラ新生児 全身骨格	新規
	クジラ展示コーナー	クジラ 陰茎	新規
	クジラ展示コーナー	ツノシマクジラ 透過模型	新規
	クジラ展示コーナー	ツチクジラ 生体模型	新規
	クジラ展示コーナー	房総の鯨(写真・文字パネル計20点)	新規
	クジラ展示コーナー	ミンククジラ(コイワシクジラ)	キャプション更新
	無脊椎動物のぞきケース	貝類標本(ヨソカラモノアラガイ他4種7個体)	新規

(2) 展示室音声ガイド機器の貸出

常設展示の解説を聞くことができる展示室音声ガイド機器(台数:10台)の貸出を行った。

貸出月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出回数	60	59	45	45	74	34	22	28	17	37	38	39	498回

2 野外展示(生態園)

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
オリエンテーションハウス	生態園観察ノート閲覧コーナー	生態園観察ノート	閲覧コーナー新設
園路	各所	スマートフォンでよめる生態園ガイド	交換(3枚)
	各所	あなたの発見おしえてください	追加(11枚)
	各所	植物解説板	入れ替え・追加(計10枚)
	各所	樹名板	交換・追加(計15枚)
植生管理	海岸植生	ボウシュウマサキ	千葉県産ではないマサキを伐採し補植(7本)
	アカガシ林	カゴノキ	補植(1本)
	イヌシデ・コナラ林	ナラ枯れ被害木(コナラ)	伐倒(1本)
	旧アカマツ林	ナラ枯れ被害木(コナラ、クリ)	伐倒(3本)
	スダジイ林	スダジイ	青葉の森公園に張り出した樹木伐採(3本)
	各所	鳥散布樹木・つる植物(トウネズミモチ・タブノキ・フジ等)	間引き除伐(成木約50本+実生約200本)
舟田池管理	舟田池	抽水植物(アシ、マコモ、ヒメガマ、ショウブなど)群落	水位攪乱によるアメリカザリガニ・ウシガエル低密度管理 ヒメガマおよびヨシ地下茎切断による群落規模適正管理 トンボ産卵基質としてマコモ補植栽2株
湿地再生	湿原	陸生草本	刈り払い(年5回)
	湿原	水たまり	堆積土壌掘り下げ湿地拡張(4m ² →6m ²) 湛水面確保のため掘削深化(最深部0.4m→1.4m)

3 特別展

(1) 千葉県立中央博物館 特別展 「鯨」

- ア 会 期 令和4年7月16日(土)～年9月25日(日) [開催日数:64日間]
 イ 会 場 第1企画展示室、第2企画展示室、2階ホール、生物の分類展示室(常設展示)クジラ展示コーナー、常設展示室廊下、光庭
 ウ 主 催 等 (ア)主 催 千葉県立中央博物館
 (イ)後 援 NHK千葉放送局、千葉テレビ、千葉日报社、bayfm78、朝日新聞社千葉総局、毎日新聞社千葉市局、読売新聞千葉支局(順不同)

- (ウ)協力 勇魚文庫、鴨川シーワールド、館山市立博物館、東京海洋大学、(一財)日本鯨類研究所、アリオ蘇我、そごう千葉店、京葉銀行、千葉銀行、千葉興業銀行(順不同)
- (エ)特別協力 船の科学館「海の学びミュージアムサポート」
- (オ)資料借用・展示協力 鴨川シーワールド、東京海洋大学マリンサイエンスミュージアム、東京海洋大学鯨類学研究室、国立科学博物館、太地町立くじらの博物館、福井県立恐竜博物館、(一財)日本鯨類研究所、勇魚文庫、市原市教育委員会、市川市教育委員会、木更津市郷土博物館金のすず、慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室、館山市立博物館、本山立本寺、宗教法人立正安国会、千葉大学考古学研究室、船橋市飛ノ台史跡公園博物館、鎌ヶ谷市郷土資料館、和田地域センター、千葉県教育委員会、JAMSTEC、市立市川考古博物館、鋸南町歴史民俗博物館、銚子海洋研究所、銚子市ジオパーク・芸術センター、道の駅和田浦 WA・0!、外房捕鯨株式会社、安田守氏

エ 入場者数 25,475人

オ 主担当 宮川尚子

カ 概要 千葉県は記録される鯨類の種数が全国トップであり、今なお捕鯨基地があるなど歴史的にもクジラとの関わりが深い。本展示では、鯨類の進化や生態とともに千葉県とクジラのかかわりについて扱い、生物としてのクジラと、人との関わりの中にあるクジラの両面を紹介した。

- キ 関連行事
- (ア)オープニングセレモニー 7月16日(土)参加者:44人以上
 - (イ)オープニングイベント 7月16日(土)参加者:6人
 - (ウ)講演会「5000万年地球の旅 クジラの進化と適応戦略」 7月18日(月・祝) 参加者:73人
講師:加藤秀弘
 - (エ)講演会「鯨の文化誌～千葉の人々と鯨～」 9月25日(日) 参加者:47人
講師:小島孝夫
 - (オ)観察会「ホエールウォッチング」 7月24日(日) 参加者:19人
 - (カ)観察会「ホゲールウォッチング」 8月6日(土) 参加者:17人
 - (キ)観察会「中央博×鴨シー クジラの特別解説ツアー」 9月11日(日) 参加者:24人
講師:鴨川シーワールド職員、宮川尚子 【中央博物館・鴨川シーワールド連携事業】
 - (ク)講座「ホネール(鯨骨)ウォッチング」 9月4日(日) 参加者:20人
 - (ケ)体験イベント「博物館フィギュアをつくろう」 7月31日(日) 参加者:67人
 - (コ)体験イベント「クジラのペーパークラフト」 8月27日(土) 参加者:24人
 - (サ)体験イベント「クジラヒゲのストラップづくり」 9月3日(土) 参加者:50人
 - (シ)体験イベント「特別展「鯨」記念ミュージアムコンサート」 9月17日(土) 参加者:63人
講師:クアルテット・エクセルシオ 【中央博物館・芸術文化ホール連携事業】
 - (ス)ミュージアム・トーク7月30日、8月14日、28日、9月18日、23日計5回 参加者:計63人
講師:宮川尚子
 - (セ)ワークシート 7月16日(土)～9月25日(日) 参加者:7,758人 対応:体験交流員
 - (ソ)職員向け解説会 7月22日、8月5日計2回 講師:宮川尚子
 - (タ)ちばクジラ巡りスタンプラリー 7月16日(土)～9月25日(日)参加者:119人 実施場所:市立市川考古博物館・鴨川シーワールド・鋸南町歴史民俗博物館・館山市立博物館本館・館山市立博物館分館 渚の博物館・銚子海洋研究所・銚子市ジオパーク・芸術センター・道の駅和田浦 WA・0!・千葉県立中央博物館本館・千葉県立中央博物館分館 海の博物館
 - (チ)プレ展示 6月11日(土)～7月15日(金)
 - (ツ)生態園コラボ展示 8月18日(木)～9月25日(日) 担当:西内李佳
- ク 印刷物
- (ア)チラシ A4版カラー両面/80,000枚
 - (イ)ポスター A2版カラー片面/1,200枚
 - (ウ)解説パンフレット A3版三つ折りカラー/20,000枚
 - (エ)図録 A4冊子48P/500部
ミュージアムショップ販売用(株式会社ミュージアムクルー)1刷200部、2刷700部
 - (オ)クジラレシピ集 B7冊子16P/8,000部
 - (カ)ワークシート A4版カラー両面/8,000枚
 - (キ)入場券 23,000枚
- ケ 展示資料 借用資料375点 館蔵資料66点 計448点

資料名	点数	所蔵
シャチ FRP 複製標本	2	鴨川シーワールド
シャチ全身交連骨格標本	1	東京海洋大学マリンサイエンスミュージアム
画像	1	個人
1/25 鯨類ミニチュア模型、鯨類骨格標本、鯨類胎児標本、画像	7	東京海洋大学マリンサイエンスミュージアム
スナメリ生体模型、クジラヒゲ、鯨類骨格標本	5	国立科学博物館
鯨類骨格複製、クロミンククジラ頭部模型、画像	3	太地町立くじらの博物館

資料名	点数	所蔵
古鯨類骨格画像	4	福井県立恐竜博物館
鯨類骨格標本、画像	4	(一財)日本鯨類研究所
魚類骨格標本、陸棲哺乳類骨格標本、鯨類骨格標本、鯨類化石複製標本、クジラヒゲ、模型	22	千葉県立中央博物館
鯨類骨格標本、クジラヒゲ	2	個人
鯨類内臓標本、鯨類骨格標本、寄生生物、海洋ゴミ、パネル	11	国立科学博物館
1/25 鯨類ミニチュア模型、ミンククジラ全身交連骨格標本	91	東京海洋大学マリンサイエンスミュージアム
耳垢栓、歯牙切片	2	東京海洋大学鯨類学研究室
鯨類胃内容物、寄生生物	9	(一財)日本鯨類研究所
寄生生物	4	勇魚文庫
画像	3	安田守氏
画像	2	JAMSTEC
鯨類骨格標本、鯨類歯牙標本、イッカク全身交連骨格標本、陸棲哺乳類骨格標本、鳥類標本、魚類標本、アザラシ剥製、寄生生物	22	千葉県立中央博物館
遺跡出土品、古文書、万祝、捕鯨道具、画像	27	館山市立博物館
遺跡出土品、画像	13	千葉県教育委員会
遺跡出土品	1	慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室
遺跡出土品一式	1	千葉大学考古学研究室
遺跡出土品	3	船橋市飛ノ台史跡公園博物館
遺跡出土品	2	市原市教育委員会
遺跡出土品	1	鎌ヶ谷市郷土資料館
龍涎香、工芸品、民芸品、軟膏	18	(一財)日本鯨類研究所
古文書、捕鯨道具、食品サンプル、缶詰、冊子	40	勇魚文庫
古文書	1	個人(館山市立博物館寄託)
画像	1	市川市教育委員会
画像	1	木更津市郷土博物館 金のすず
画像	1	本山立本寺蔵、画像提供：宗教法人立正安国会
クジラグッズ、工芸品、画像	21	個人
画像	1	千葉県立中央博物館
花とくじらの絵画コンクール 2021 年度入賞作品	43	和田地域センター
鯨類骨格	3	東京海洋大学マリンサイエンスミュージアム
画像	15	(一財)日本鯨類研究所
画像	2	鴨川シーワールド
画像	7	個人
画像(著作権フリー)	7	NOAA
鯨類骨格、模型、画像	12	千葉県立中央博物館
鯨類骨格	3	国立科学博物館
鯨類骨格、模型、画像	12	千葉県立中央博物館
調査道具	5	個人
動画	6	(一財)日本鯨類研究所
動画	3	鴨川シーワールド
動画	3	個人

4 季節展

(1)春の展示「苔松苔梅—春を寿ぐ うめのきごけ—」

ア 会 期 令和4年1月8日(土)～5月8日(日)〔開催日数：32日間(令和4年度)〕

イ 会 場 第1企画展示室、生物展示室前廊下

ウ 主 催 等 (ア)主 催 千葉県立中央博物館

(エ)資料借用・展示協力 青葉の森公園芸術文化ホール、天野写真室、池坊中央研究所、石川県立能楽堂、石本酒造株式会社、一宮町教育委員会、巖島神社、一般社団法人観世会、一般社団法人日本ポイント支援機構、牛尾神社、MOA美術館、大分市、大津市伝統芸能会館、大濠公園能楽堂、岡

崎城二の丸能楽堂、岡山後楽園、春日大社、株式会社 大田花き、神栖市歴史民俗資料館、香取市教育委員会、観明寺、草苺神社、熊野神社、公益財団法人 梅若会、公益財団法人 大槻能楽堂、公益財団法人 越谷市施設管理公社越谷市日本文化伝承の館こしがや能楽堂、公益社団法人 鏡仙会、公益財団法人 広島市文化財団 アステールプラザ、高知県立美術館、国立能楽堂、越谷市、The Okura Tokyo、佐渡市、佐渡能楽倶楽部、常福寺、昭和の森、白石市古典芸能伝承の館、真法院、セルリアンタワー能楽堂、藻原寺、奏風 秀世記念 松野藝文館、大膳神社、大本山成田山新勝寺、館山市立博物館、丹波篠山市教育委員会、東京国立博物館、東京都中央卸売市場大田市場、東京都立中央図書館、豊田市能楽堂、名古屋能楽堂、名取亭、奈良春日野国際フォーラム、彦根城博物館、福井市都市戦略部都市整備課、福井市にぎわい交流施設、福岡市、平和市民公園能楽堂、松山市、松山市民会館、三河武士のやかた家康館、湊川神社神能殿、茂原市、横浜能楽堂、岡田幸子、黒田妙美、小山弓弦葉、今駒清則、瀬知エリカ、千葉定子、長谷川明弘、長谷川三香、細川武稔、前島久男、前島吉裕、村松洋子

エ 入場者数 5,603名(令和4年度：4月1日～5月8日)

オ 主担当者 坂田歩美

カ 概要 お正月にはお客様を迎えるためや神仏に供えるために木や花をいける。中でも苔がついた松や梅は、苔松苔梅と呼ばれ、おめでたい迎え花として珍重される。このような苔は、ウメノキゴケをはじめとする地衣類の仲間で、日本画や能舞台の松の上にも描かれている。本展示では日本文化の中に見られる苔(ここでは地衣類)と、地衣類の不思議な世界についても併せて紹介した。

キ 関連事業 (令和4年度のみ)

(ア)講座 「地衣類の顕微鏡観察」4月17日(日)

(イ)観察会 なし

(ウ)ミュージアムトーク 4月10日(日)、24日(日)、5月8日(日)

ク 印刷物 (ア)チラシ A4版カラー両面/15,000部

(イ)解説パンフレット A4版カラー16ページ/1,000部

ケ 展示資料 借用資料322点、館蔵資料(分館含む)48点 解説パネル等82点、合計452点

資料名	点数	所蔵
立華正道集1点、新撰瓶花図彙 乾・坤各1点、古今立花手引草1点、表題なし立花の古典籍1点、いけばな資料・特別展観(チラシ)1点、生花の動画1点	7	法人
生花の写真1点	1	法人
花王以来の花伝書画像1枚、池坊専応口伝画像1枚	2	池坊中央研究所
紅白梅図屏風画像2枚、妙法蓮華経 授記品画像1枚	3	MOA美術館
万祝「下り藤・鶴亀・松竹梅」	2	館山市立博物館
模様雛形(全)1点、萬祝模様雛形1点、巻見本1点	3	館山市立博物館
島台	1	神栖市歴史民俗資料館
鏡板組立ひな形	1	奏風 秀世記念 松野藝文館
松のスケッチブック	2	奏風 秀世記念 松野藝文館
観世能楽堂鏡板の小下図	1	奏風 秀世記念 松野藝文館
巖島神社鏡板見本	1	奏風 秀世記念 松野藝文館
観世能楽堂の鏡板のモデルとなった松調査写真81点、山本能楽堂鏡板写真1点、名古屋能楽堂鏡板写真1点、MOA美術館鏡板写真1点、春日神社丹波篠山鏡板下図などの写真8点、松野奏風氏写真3点、観世能楽堂の鏡板制作過程写真8点、アステールプラザの鏡板制作過程写真10点、名古屋城能楽堂の鏡板制作過程写真20点	133	奏風 秀世記念 松野藝文館
越谷能楽堂の制作工程表	1	奏風 秀世記念 松野藝文館
観楓図屏風画像3枚、立花図屏風画像40枚、檜図屏風画像3枚、四季草花小禽図屏風画像4枚、能装束画像6枚	56	東京国立博物館
旧本丸能舞台正面羽目板松ノ絵并御脇羽目竹之絵図画像	1	東京都立中央図書館
鏡板画像	3	石川県立能楽堂
鏡板画像	1	(一社)観世会
鏡板画像	4	大分市
鏡板画像	4	大津市伝統芸能会館
鏡板画像	2	岡崎城二の丸能楽堂
鏡板画像	1	岡山後楽園
鏡板画像	1	(公財)広島市文化財団 アステールプラザ
鏡板画像	2	(公財)大槻能楽堂
鏡板画像	3	(公財)鏡仙会
鏡板画像	4	高知県立美術館
鏡板画像	5	越谷市

資料名	点数	所蔵
鏡板画像	3	白石市古典芸能伝承の館
鏡板画像	2	セルリアンタワー能楽堂
鏡板画像	1	豊田市能楽堂
鏡板画像	4	奈良春日野国際フォーラム
鏡板画像	1	彦根城博物館
鏡板画像	3	福井市都市戦略部都市整備課
鏡板画像	3	福岡市
鏡板画像	5	松山市
鏡板画像	10	湊川神社神能殿
鏡板画像	1	横浜能楽堂
越乃寒梅ラベル画像	20	石本酒造株式会社
立花巻物(複製)1点、立華正道集2点、立花指南大全2点、増補立花大全1点	6	個人
着物(振袖2点、ウメノキゴケ染めの訪問着2点、訪問着1点、産着1点)、帯2点、ウメノキゴケ染めのマフラー1点、掛袱紗5点、プリプリ香合1点、立華瓶1点、ちらし1点、アイスランドモス1点	18	個人
地衣類標本(ウメノキゴケなど)27点、地衣類樹脂含浸標本(ウメノキゴケなど)11点、地衣類レプリカ1点	39	千葉県立中央博物館
苔松2点、松1点、苔梅1点	4	千葉県立中央博物館
高砂人形、江戸風俗屏風	2	千葉県立中央博物館
着物見本帳2点、五月人形	3	千葉県立中央博物館・大利根分館

(2) 秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々の祭ー」

ア 会 期 令和4年10月22日(土)～令和5年1月9日(月・祝)〔開催日数：62日間〕

イ 会 場 第1・第2企画展示室

ウ 主 催 等 (ア)主 催 千葉県立中央博物館

(イ)後 援 朝日新聞社千葉総局、産経新聞社千葉総局、東京新聞千葉支局、日本経済新聞社千葉支局、毎日新聞社千葉支局、読売新聞千葉支局、千葉日報社、NHK千葉放送局、千葉県ケーブルテレビ協議会、チバテレビ、パイエフエム

(ウ)特別協力 船の科学館「海の学びミュージアムサポート

(エ)資料借用・展示協力 天野努、池田豊済、池田陽子、石川澄枝、石黒修一、市川恵三、伊能淳、大西純夫、小澤清男、川上友世、川口哲雄、菊池健策、木曾義和、工藤博孝、久保田裕道、栗田則久、小林秀夫、米谷博、近藤博、酒井右二、佐々木長生、笹生衛、芝崎浩平、菅根幸裕、菅谷敏明、菅谷昌徳、杉浦周、鈴木勝富、鈴木年樹、鈴木尚子、鈴木夕子、高木慎哉、高橋武彦、高橋克、田村勇、戸津富子、鳥居正寛、並木政行、濱名徳順、原田浩嗣、福岡直子、福岡亨、藤倉均、牧あずさ、三木谷健一、水島美穂、山岸弘明、吉野政俊、吉田玄、相浜神社(館山市相浜)、吾妻神社(富津市西大和田)、安房神社(館山市大神宮)、飯香岡八幡宮(市原市八幡)、海上八幡宮(銚子市柴崎町)、鶴羽神社(睦沢町岩井)、浦賀神社(旭市西足洗)、香取神宮(香取市香取)、香取神社(野田市三ツ堀)、行元寺(いすみ市荻原)、寒川神社(千葉市中央区寒川町)、猿田神社(銚子市猿田)、下立松原神社(南房総市白浜町滝口)、青蓮寺(君津市人見)、白子神社(白子町関)、須賀神社(成田市名古屋)、洲宮神社(館山市洲宮)、清澄寺(鴨川市清澄)、手力雄神社(館山市大井)、玉崎神社(旭市飯岡)、玉前神社(一宮町一宮)、鶴谷八幡宮(館山市八幡)、東大社(東庄町宮本)、遠見岬神社(勝浦市浜勝浦)、那古寺(館山市那古)、人見神社(君津市人見)、皇産霊神社(四街道市和良比)、布良崎神社(館山市布良)、八坂神社(勝浦市鶴原)、いすみ市岩船区、いすみ市大原大井区、いすみ市大原小浜区、いすみ市大原貝須賀区、いすみ市深堀区、印西市大森町古新田地区、勝浦市鶴原区、勝浦市浜勝浦区、香取市佐原仁井宿猿田彦会、香取市佐原浜宿神楽会、香取市佐原八日市場獅子会、九十九里町片貝須原区、館山市大神宮区、館山市大神宮区上郷区、館山市藤原区、長柄町刑部月川区、野田市今上上組、野田市今上中組、南房総市千倉町白間津区、富津市絹区、市原里づくりの会、伊八会、NPO法人安房文化遺産フォーラム、國學院大學博物館、有限会社サンキュー印刷、株式会社シマワークス、白間津大祭保存会 館山漁業協同組合、玉前神社上総神楽保存会、千葉県神社庁、鉄道を通して四街道の歴史を学ぶ会、東庄郷土史研究会、外川資料館 南総祭礼研究会、房総の祭時記ウェブサイト、旭市教育委員会、いすみ市観光協会、いすみ市郷土資料館いすみ市役所水産商工観光課、一宮町教育委員会、市原市教育委員会、伊能忠敬記念館、印西市教育委員会、印西市立印旛歴史民俗資料館、大原幽学記念館 勝浦市教育委員会、香取市教育委員会、鴨川市郷土資料館、九十九里町教育委員会、君津市教育委員会、栄町教育委員会、館山市教育委員会、館山市立博物館、千葉市立郷土博物館 銚子市教育委員会、東庄町教育委員会、長柄町教育委員会、成田市教育委員会、成田市下総歴史民俗資料館、野田市教育委員会、富津市教育委員会 南房総市教育委員会、睦沢町立歴史民俗資料館、和

歌山県立紀伊風土記の丘、千葉県教育庁文化財課、千葉県文書館、千葉県報道広報課、千葉県立房総のむら

- エ 入 場 者 数 10,502 人
 オ 主 担 当 小林裕美
 カ 概 要 千葉県には神輿が海や水辺に向かう多くの祭りがあり、「おはまおり」のほか「しおふみ」「おはま
 で」などと呼ばれている。安産・子育て、豊漁豊作、疫病退散などの願いを込めて行われてきた祭りは、海とともに生きてきた人々の暮らしや文化を象徴している。本展示では、「おはまおり」の歴史や
 意義、魅力を紹介し、海とともにある伝統文化を再認識するとともに、海と共生する暮らしの大切さを
 考える機会とした。
- キ 関 連 行 事 (ア)オープニングイベント 令和4年10月22日(土)、参加人数:53人
 (イ)おはまおりセミナー2022 令和4年11月6日(日)、参加人数:67人
 第1部 講演
 「白間津オオマチは浜降りの祭りなのか」俵木悟氏(成城大学文芸学部)
 「常陸国金砂大小祭礼について」石井聖子氏(特定非営利活動法人美和の森)
 「和歌山県沿岸部の祭礼とお浜降り」蘇理剛志氏(和歌山県立紀伊風土記の丘)
 第2部 パネルディスカッション「これからの海の祭り」
 浅野一夫氏(いすみ市大原貝須賀区長)、鈴木年樹氏(寒川神社氏子青年会)
 吉野正記氏(鶴羽神社若衆頭)、小岩秀太郎氏(進行役:縦糸横糸合同会社代表)
- (ウ)ミュージアム・トーク 会期中の下記日程で、担当者による展示解説を行った
 10月22日(土)、11月5日(土)、11月19日(土)、11月23日(水祝)、12月3日(土)、
 12月11日(日)、12月17日(土)、12月25日(日)、1月7日(土)、1月9日(月祝)
 計10日、参加者合計170人
- (エ)体験イベント「海とおみこしの塗り絵を楽しむ」 2階ホール(開館期間中常時)
 こどもたちが海のまつりに親しみ、関心を高めることを目標に、展示資料に関連する塗り絵、折
 り紙、すごろくを楽しめる体験コーナーを設けた。
- ク 印 刷 物 (ア)チラシ A4版カラー両面/25,000枚
 (イ)ポスター A2版カラー/150枚
 (ウ)解説書(図録) B5版、本文48ページ、カラー/500部
 (エ)リーフレット A3二つ折、カラー/12,000部
 (オ)一般用ワークシート A4カラー両面/8,000枚
 (カ)子ども用ワークシート A4カラー両面/1,200枚
 (キ)ぬりえ(8種類) B5版一色/1,600枚(各200枚×8)
 (ク)すごろく A3版一色/600枚
- ケ 展 示 資 料 借用資料203点 館蔵資料6点 解説パネル43点 映像8点 計260点

資料名	点数	所蔵
大漁旗	8	いすみ市水産商工観光課
写真展示:古代の房総	1	千葉県立中央博物館
写真展示:東八カ国絵図(部分)	1	館山市立博物館
写真展示:年中行事絵巻[祇園御霊会]	1	國學院大學博物館
高坏1点・木椀1点・狛犬1対・燈箱1点・四脚案1点・安房神社旧記1点	6	安房神社
祭祀用土製模造品/勾玉2点・小型巻き上げ粗造土器5点	7	洲宮神社(館山市立博物館寄託)
木椀1点・鹿角3点	4	下立松原神社
安房神社神輿1点・高張提灯2点	3	館山市大神宮区
獅子頭(男獅子・女獅子・子獅子)3点・太鼓3点・ささら4点・祭礼役割帳2点	12	館山市大神宮区上郷区
洲大神紙札	1	洲宮神社
藤原神社神楽/びつとこ面5点	5	館山市藤原区(館山市立博物館寄託)
棟札(天文4年・万治3年)・船霊様2点	4	遠見岬神社
玉依姫木像1点・子産石4点・石笛2点・石棒1点	8	玉崎神社
御船石・連歌奉納銅板	2	猿田神社
高見大神幸記録帳・東大社豊玉姫神社雷大神大神幸絵巻	2	東大社
玉依姫神像額	1	玉前神社(大多喜城分館寄託)
供器(高坏・盤)	2	鶴羽神社(睦沢町歴史民俗資料館寄託)
孔雀(大宮・若宮)各1点・神馬の幣束1点・上総十二社祭千二百年記念神像図1点・馬役の柄杓1点	5	鶴羽神社
写真展示:相浜村と大神宮村・犬石村舟入及び鯛干場裁許絵図(部分)	1	館山漁業協同組合(写真:館山市立博物館)
写真展示:行元寺欄間彫刻「波に宝珠」	1	行元寺(写真:伊八会)

資料名	点数	所蔵
安房神社御当地鎮座 1300 年祭紹介パネル	1	写真：安房神社・個人
安房神社例祭紹介パネル	1	写真：安房神社・大神宮上郷区・個人・千葉県立中央博物館
洲宮神社祭礼紹介パネル	1	写真：個人・千葉県立中央博物館
遠見岬神社祭礼紹介パネル	1	写真：勝浦市教育委員会・千葉県立中央博物館
東大社式年神幸祭紹介パネル	1	写真：東庄町教育委員会・個人
玉前神社と鶴羽神社の祭礼紹介パネル	1	写真：玉前神社・千葉県報道広報課・千葉県文書館
トピックスパネル：地震による隆起と海岸線の変化	1	図：千葉県立中央博物館
トピックスパネル：清澄山の天宮様	1	写真：千葉県立中央博物館
トピックスパネル：女性が曳く神輿	1	写真：勝浦市教育委員会・個人
トピックスパネル：玉崎神社の石垣と天の石笛	1	写真：千葉県立中央博物館
トピックスパネル：子産石と石笛の成因	1	図：千葉県立中央博物館
写真展示：香取神宮神幸祭絵巻〔権検非違使本〕部分	1	個人
香取神宮神幸軍神祭図	1	千葉県立中央博物館
官幣大社香取神宮 神幸軍神祭御船遊之図(三代歌川広重)	1	千葉県立中央博物館
香取神宮文書／神輿神宝新造色目注文(複製)	1	千葉県立中央博物館
御船木	1	香取神宮
絹本著色僧形八幡神像	1	那古寺
当社勸請年曆	1	鶴谷八幡宮
八幡村略絵図	1	館山市立博物館
大太刀(神刀)・飯香岡八幡宮由緒本記・社地絵図・内済証文「取為替申證文事」・柳楯	5	飯香岡八幡宮
下総国千葉郷妙見寺大縁起絵巻(複製)	1	千葉市立郷土博物館
ブチ(太鼓のバチ)2点	2	寒川神社
太鼓衆の襷	1	個人
花笠	1	個人
祭礼の子ども・太鼓打ちの若衆(写真)	2	個人
妙見菩薩立像	1	青蓮寺
小笠原彦太夫献納太刀	1	人見神社(大多喜分館寄託)
人見妙見御神像掛け軸・御衣(神の鎧)・御衣の灰・お守り	4	個人
香取神宮式年神幸祭紹介パネル	1	写真：香取神宮・千葉県立中央博物館
鶴谷八幡宮例大祭紹介パネル	1	写真：安房神社・個人
飯香岡八幡宮秋季大祭紹介パネル	1	写真：飯香岡八幡宮・個人
寒川神社祭礼紹介パネル	1	写真：寒川神社・個人・千葉県立中央博物館
人見神社例大祭紹介パネル	1	写真：個人
トピックスパネル：元八幡でお水取り	1	写真：個人
トピックスパネル：戦時中の飯香岡八幡宮	1	写真：飯香岡八幡宮
トピックスパネル：寒川神社の獅子頭	1	写真：個人
獅子／雄・雌	2	富津市絹区
副神馬の装具／ケブサ2点・イサラゴ1点・握り麻1点・クツワ1点	5	吾妻神社
貝須賀鹿島神社神輿1点・高張提灯2点・古いオオトリ1点	4	いすみ市大原貝須賀区
貝須賀鹿島神社神輿の古い部材	1	個人
大井区瀧内神社奉納祭礼絵馬(天保12年・文久4年)	2	いすみ市大原大井区(いすみ市郷土資料館寄託)
深堀区二矢放流に用いる弓矢／弓1点・矢2点	3	いすみ市深堀区
七十五座神事の膳椀(膳1点・椀1点・皿2点)	4	いすみ市岩船区
七十五座神事の三宝	1	いすみ市大原小浜区

資料名	点数	所蔵
かっこ様(先々代)／男獅子・女獅子・中獅子	3	九十九里町片貝須原区
かっこ様(先代)／男獅子・女獅子・中獅子	3	九十九里町片貝須原区
おんべん 2点	2	九十九里町片貝須原区
ササラ踊りの道具／ササラ・綾棒・花笠・扇子・ほら貝	5	個人
トヒイレの前垂れ 2点	2	個人
酒樽万燈	1	白間津青年会
トヒイレ 1点・ナギナタ 1点・片鎌ヤリ 2点	4	白間津大祭保存会トヒイレ部
ナカダチの持ち物／日天 1点・月天 1点・ナカダチの太鼓 2点	4	白間津大祭保存会ササラ部
ナカダチ衣装(シャグマ・絹の着物・帯・手甲・キャハン・前垂れ・シゴキ帯) 2組	14	個人
写真展示：木像伝牛頭天王立像	1	長柄町刑部月川区(写真：千葉県教育庁文化財課)
伊能景利日記『元禄十六癸未年日帳』	1	個人(伊能忠敬記念館寄託)
佐原町本宿八坂神社山車整列略図	1	個人
獅子頭(大獅子・女獅子・中獅子)・太鼓 3点	6	香取市佐原八日市場区獅子会
猿田彦(面・烏兜・杖・刀・下駄)・お日記箱	6	香取市佐原仁井宿区猿田彦会
神楽の獅子頭	1	香取市佐原浜宿区神楽会
古新田のオタチ	1	印西市大森古新田区
助崎須賀神社お札(木札・紙札)	2	千葉県立中央博物館
絵馬(家族拝み図・男拝み図・きゅうり図)・担ぎ手の襦袢 2点	5	須賀神社
写真展示：助崎須賀神社神輿	1	成田市下総歴史民俗資料館
吾妻神社祭礼紹介パネル	1	写真：個人・千葉県立中央博物館
大原の祭礼紹介パネル	1	写真：有限会社サンキュー印刷・千葉県報道広報課
須原稲荷神社祭礼紹介パネル	1	写真：九十九里町片貝須原区・房総の祭時記ウェブサイト
白間津日枝神社祭礼紹介パネル	1	写真：個人・千葉県立中央博物館
佐原本宿八坂神社祭礼紹介パネル	1	写真：個人
古新田の天王様紹介パネル	1	写真：印西市立印旛歴史民俗資料館・千葉県立中央博物館
名古屋須賀神社祭礼紹介パネル	1	写真：成田市下総歴史民俗資料館
トピックスパネル：岩船八幡神社の七十五座神事	1	写真：千葉県立中央博物館
トピックスパネル：第六天の関万歳	1	写真：千葉県立中央博物館
略縁起・三ツ堀香取神社神輿・左右長刀 4点・猿山車の人形・四神旗の人形(青龍・朱雀・白虎・玄武)・神剣・担ぎ手衣装(浜襦袢・袴・烏帽子 3点)・子ども組衣装(半纏) 2点・子ども用金棒	20	三ツ堀香取神社氏子
灯籠・厨子・香炉	3	皇産霊神社
三ツ堀香取神社祭礼紹介パネル	1	写真：三ツ堀香取神社氏子
和良比皇産霊神社祭礼紹介パネル	1	写真：個人・千葉県立中央博物館
トピックスパネル：子ども組	1	写真：三ツ堀香取神社氏子
トピックスパネル：住宅地に残る神田	1	写真：個人
メッセージパネル(写真：大原のはだか祭り)	1	写真：千葉県立中央博物館
応援団紹介パネル	7	各団体・個人作成
神輿師紹介パネル	3	写真：個人・千葉県立中央博物館
映像：安房神社御当地鎮座 1300年祭	1	安房神社
映像：飯香岡八幡宮秋季大祭(戦前)	1	個人
映像：大原はだか祭り	1	いすみ市観光協会
映像：佐原本宿八坂神社祭礼	1	個人
映像：古新田の天王様・名古屋須賀神社祭礼	2	株式会社シマワークス

資料名	点数	所蔵
映像：和良比皇産霊神社祭礼	1	皇産霊神社
『房総のお浜降り習俗 記録編』	1	文化庁

(3) 春の展示(令和4年)「ちばの植物 探・検・隊!ーさあ、植物を調べる旅に出ようー」

ア 会 期 令和5年3月11日(土)～令和5年5月28日(金)〔令和4年度開催日数：18日間〕

イ 会 場 第1企画展示室

ウ 主 催 等 (ア)主 催 千葉県立中央博物館

エ 入 場 者 数 2,518名(令和5年3月11日～31日)

オ 主 担 当 山本伸子

カ 概 要 当館は千葉県各地の植物相調査を継続的に続けている。その仕事を、「探検」に見立て、親しみやすく紹介した。前半は、千葉県で最初に本格的な植物調査を行った牧野富太郎の業績から始まり、調査の様子や道具、植物の見分け方、希少種の生育場所、危険な生物について展示し、後半は植物調査で得られた標本の整理、標本の作り方、千葉県の植物研究者、データの公表について解説した。また、光庭に調査の過程で栽培し、種を確認した希少生物の鉢植えを置き、展示した。

キ 関 連 行 事 (ア)ミュージアム・トーク(1日に2回開催11:00～、14:30～、所要約30分)

3月11日2回合計26人(担当 平田和弘)、3月25日2回合計11人(担当 山本伸子)

ク 印 刷 物 (ア)チラシ A4版カラー両面/15,000枚

ケ 展 示 資 料 借用資料27点 館蔵資料116点 計143点

資料名	点数	所蔵
「千葉県博物採集会の通知状」1点、「千葉県の植物」1点、「博物の研究」1点、「千葉県植物目録」1点、「千葉県植物誌」1点、歌短冊4点	9	千葉県立中央博物館
植物さく葉標本4点	4	千葉県立中央博物館
「日本植物図鑑」1点	1	千葉県立中央博物館
「日本植物図鑑」1点、「牧野日本植物図鑑」2点	3	個人
胴乱3点、野冊4点、調査服装一式、リュックサック1点、野帳1点、ヘッドライト1点、腰袋一式、「キグレガマ」1点、高枝切りばさみ1点、野冊袋1点	15	個人
植物さく葉標本5点、常緑広葉樹標本1点、ロゼット封入標本5点	11	千葉県立中央博物館
植物レプリカ10点、植物さく葉標本9点	19	千葉県立中央博物館
爬虫類レプリカ1点、キイロスズメバチ巣1点、タカサゴキラマダニ標本1点、キイロスズメバチ標本5点、植物さく葉標本5点、植物レプリカ1点	14	千葉県立中央博物館
ポイズンリムーバー1点、スパイク長靴1点、ヤマビル忌避剤1点	3	個人
植物さく葉標本20点	20	千葉県立中央博物館
千葉県の研究者採集 植物さく葉標本9点	9	千葉県立中央博物館
「野外植物採集ノート」草稿1点、「千葉県博物研究 第六巻」1点、「シダの採集と培養」1点、「上総国日向村野生植物採集目録」1点、「房総の生物」1点、「日本海藻図譜」1点、「カヤツリグサ科入門図鑑」1点	7	千葉県立中央博物館
「浅野貞夫日本植物生態図鑑」1点、「写真で見る植物用語」1点	2	個人
ナンバーリングマシン1点、アラビアゴム1点、種子袋1点、ラミネーションテープ2点、ピンセット1点、電気ごて1点、標本棚1点、作りかけの植物さく葉標本1点	9	千葉県立中央博物館
植物レプリカ2点、植物さく葉標本3点、「千葉県植物誌」1点、「芝山の植物」1点、「酒々井の植物」1点	8	千葉県立中央博物館
「千葉県植物誌資料」1点、「市原市自然環境実態調査報告書」1点、「千葉県大多喜町の維管束植物」(別刷)1点、「千葉県いすみ市の維管束植物」(別刷)1点、「館山市の植物」1点	5	個人
植物鉢植え4点	4	千葉県立中央博物館

5 生態園トピックス展

(1) カエル

ア 会 期 令和4年3月5日(火)～5月15日(日)〔令和4年度開催日数：37日間〕

イ 会 場 生態園オリエンテーションハウス

ウ 主 催 等 (ア)主 催 千葉県立中央博物館

エ 入 場 者 数 8,393名(令和4年度：4月1日～5月15日)

オ 主 担 当 者 栗田隆気

カ 概 要 日本及び千葉県のカエル相の特徴、千葉県に分布するカエルの見分け方や生態、千葉県でカエルを観察できる場所などを、パネル、写真、標本、及び生体の展示によって解説した。また、来館者から写真を

- 募集して掲示するコーナーを設けた。
- キ 関 連 行 事 (ア)ミュージアムトーク(展示解説)
 日時 令和4年4月29日(金・祝)11:00～11:30
 会場 生態園オリエンテーションハウス
- (イ)ミュージアムトーク(展示解説)
 日時 令和4年5月5日(木・祝)11:00～11:30
 会場 生態園オリエンテーションハウス

ク 印 刷 物 ポスター A2版カラー片面
 ケ 展 示 資 料 借用資料21点、館蔵資料3点/解説パネル15点、写真9点 生体6点 合計54点

資料名	点数	所蔵
カエル類(標本)	19	個人
カエル類(写真)	1	個人
カエル類(写真)	1	個人
カエル類液浸標本	2	千葉県立中央博物館
生物音響資料	1	千葉県立中央博物館

(2)生態園ギャラリー

- ア 会 期 令和4年7月5日(火)～9月4日(日)〔開催日数：54日間〕
 イ 会 場 生態園オリエンテーションハウス
 ウ 主 催 等 (ア)主 催 千葉県立中央博物館
 エ 入 場 者 数 5,923名(会期中生態園入場者数)
 オ 主 担 当 者 林 浩二(環境教育研究科)
 カ 概 要 生態園で撮影した作品を募集して、オリエンテーションハウスで展示する「生態園ギャラリー」も11回目を迎えました。3回の撮影会を中心に、来園者から作品を募集して展示するとともに、解説板として園路に設置します。今回は11作品が集まりました。来園者のみなさんによる投票を7月26日(火)から9月4日(日)まで行い、優秀作品を選びました。152人から1人3票ずつ、投票用紙で投票いただき、83・68・53票を集めた3作品が優秀作に選ばれました。優秀作品はその後も延長して展示しました。

- キ 関 連 事 業 (1)第11回生態園ギャラリー撮影会1
 日時 令和4年6月19日(日)10:00～16:00
 会場 生態園オリエンテーションハウス
 参加人数 62人
 無料
- (2)第11回生態園ギャラリー撮影会2
 日時 令和4年7月3日(日)10:00～16:00
 会場 生態園オリエンテーションハウス
 参加人数 40人
 無料
- (3)第11回生態園ギャラリー撮影会3
 日時 令和4年7月17日(日)10:00～16:00
 会場 生態園オリエンテーションハウス
 参加人数 51人
 無料

ク 印 刷 物 (1)チラシ A4、両面、モノクロ、300枚、館内印刷、館内配布
 (2)ポスター A2/A3判、カラー10枚、館内印刷、館内掲出

ケ 展 示 資 料 借用資料0点 館蔵資料11点 計11点

資料名	点数	所蔵
あなたの発見教えてください作品(A4判)	11	館蔵

(3)生態園の意外な動物たち

- ア 会 期 令和5年2月28日(火)～8月27日(日)〔開催日数：28日間(令和4年度)〕
 イ 会 場 生態園オリエンテーションハウス
 ウ 主 催 等 (ア)主 催 千葉県立中央博物館
 (エ)資料借用・展示協力 箕輪義隆、本田行男、浅井美紅、伊藤純子、入江 悟、泉 宏子、梶野敬二、小林大光、加賀山文子、川邊久男、川崎絹佳、川嶋静雄、村井貴幸、長沼和夫、二瓶芽映、大島健夫、斉藤 裕、坂本文雄、佐藤 文、佐藤達夫、鈴木弘行、茂田良光、高山佳乃子、田邊以久雄、寺野淑子、手島延清、手島晴風、富谷健三、鶴田らん、野長瀬雅樹、山口 誠、山科史雄、NPO 行徳自然ほごくらぶ、千葉市野鳥の会、水鳥研究会、千葉県生物多様性センター
- エ 入 場 者 数 3,998名(会期中生態園入場者数)
 オ 主 担 当 者 桑原和之
 カ 概 要 生態園は市街地の中の貴重な環境で、ここを目指して多様な動物が集まってくる。研究員による研究やモニタリング調査によって確認された意外な動物たちを、標本、写真、動画などでわかりやすく紹介した。

- キ 関 連 事 業 (ア)生態園観察会生態園の野鳥3月4日(土)10:30～11:30 参加人数8人

- (イ)生態園観察会生態園の野鳥3月4日(土)12:30～13:30 参加人数7人
 (ウ)生態園観察会生態園の野鳥3月4日(土)14:30～15:30 参加人数7人
 (エ)ミュージアムトーク(生態園紹介)生態園の意外な動物たち3月5日(日)11:00～11:30・
 14:00～14:30 参加人数9人
 (オ)ボランティア研修会(展示解説)3月14日(火)11:00～11:45・13:00～13:45 参加人数12人
 (カ)ボランティア研修会(展示解説)3月19日(日)11:00～11:45・13:00～13:45 参加人数13人

ク印刷物 A3判、カラー30枚、館内印刷、館内掲出
 ケ展示資料 借用資料36点 館蔵資料74点 計110点

資料名	点数	所蔵
解説パネル(鳥類・哺乳類)	6	千葉県立中央博物館
ニシオジロビタキ 映像	1	個人
鳥類 映像 (ヤマシギ、フクロウ、アオサギ)	3	千葉県立中央博物館
哺乳類 映像(ニホンアナグマ、タヌキ、ハクビシン、アライグマ、イエネコ)	5	千葉県立中央博物館
鳥類標本(ホトトギス、ツツドリ、ベニマシコ、アオバト、メジロなど)	15	千葉県立中央博物館
モクズガニ	1	千葉県立中央博物館
マツムラトリシラミバエ	10	千葉県立中央博物館
鳥類生態写真(ツツドリ、ヤマシギ、カワセミ、クロアシアホウドリなど)	30	個人
鳥類生態写真	5	千葉県立中央博物館
動物生態写真(アライグマ、イエネコなど)	2	個人
動物生態写真	18	千葉県立中央博物館
昆虫生態写真	1	個人
昆虫生態写真	11	千葉県立中央博物館
鳥類イラスト	2	個人

6 トピックス展

(1)令和3年度「生命(いのち)のにぎわい 生命のにぎわい調査団・生物多様性写真展」

ア 会 期 令和4年3月8日(火)～5月8日(日) [開催日数:33日間(令和3年度)]

イ 会 場 「歴史」展示室前廊下

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館

エ 入 場 者 数 4,567名(令和4年度:4月1日～5月8日)

オ 担 当 者 大木淳一・加藤久佳・水野大樹

カ 概 要 千葉県生物多様性センターの事業「生命のにぎわい調査団」の団員が撮影した写真を展示し、広く県民に生物の魅力を紹介した。展示作品には研究員による作品へのコメントを付し、来館者へ身近な生物の生態について伝えることを目的とした。

キ 主な展示資料 写真パネル41点

(2)五百沢智也氏が描いた房総の風景

ア 会 期 令和4年4月29日(金)～6月19日(日) [開催日数:45日間]

イ 会 場 第二企画展示室

ウ 主 催 等 (ア)主 催 千葉県立中央博物館

(エ)資料借用・展示協力 五百沢日丸、五百沢協子、吉村光敏、佐藤恭子

エ 入 場 者 数 7,353名(本館のみ)

オ 担 当 者 八木令子・地学研究科(加藤久佳・伊左治鎮治・奥田昌明・丸山啓志)

カ 概 要 著名な鳥瞰図作家・氷河地形研究者である五百沢(いおざわ)智也氏(1933～2013)は、1970～1980年代にかけて、山岳雑誌などに日本アルプスやヒマラヤの鳥瞰図を連載し、1979年には「鳥瞰図譜＝日本アルプス アルプス・八ヶ岳・富士山の地形誌」(講談社)を出版した。これらの作品は、山岳地形、氷河地形の客観的な観察記録(科学画)として高く評価された。中央博物館では、平成18年度にこれら鳥瞰図を中心に、その作り方の解説も含めた総括的な展示「山の科学画」を行い、山岳愛好家などを中心に好評を得た。

その後中央博では、五百沢氏の膨大な資料を借用し、広い分野での活用を想定した資料整理を行っており、それらを基に何度かミニトピックス展示を開催してきた。今回、五百沢氏の鳥瞰図やスケッチ画の魅力を、若い世代も含め、より多くの人たちに伝えたいと考え、千葉県民にとって身近でなじみのある地域を描いた作品を紹介した。

展示構成は、(1)五百沢智也氏とその作品:五百沢智也氏(1933～2013)が、どのような場所で、どのような活動をしてきたのか、年譜と写真で紹介 (2)房総の風景:「犬吠埼」「伊予ヶ岳」「久留里城」など、房総の山、海岸、里山の風景を描いたスケッチ画(原画、印刷図)や、フィールドノートに描いた「富山鳥瞰図」(原画、拡大印刷図)などを展示 (3)房総の山から見える風景:長南町の野

見金山から西の方向を描いた山の展望図「野見金山の眺望」、図に描かれている富士山や南アルプスのダイナミックな山岳鳥瞰図(拡大印刷図、原画)などを展示

キ 関連事業 ミュージアム・トーク

第1回 5月3日(祝)11:00~11:30 担当 八木令子 参加者人数 5名

第2回 6月12日(日)11:00~11:30 担当 八木令子 参加者人数 14名

ク 印刷物 (ア)千葉県立中央博物館令和4年度展示会案内

(イ)展示品目録 A4両面 第二企画展示室内で自由配布

(ウ)ポスター 八木が作成したポスターをA1~A3サイズで印刷し、パウチした後、教育普及課担当が館内や青葉の森公園内などに掲示した

ケ 展示リスト 借用資料69点、館蔵資料3点 計72点

資料名	点数	所蔵
鳥の眼から見た関東地方(拡大印刷図 画像編集:吉村光敏)	1	基図:関東地方地貌図(個人)
千葉県地形鳥瞰図(印刷図)	1	原画:千葉県立中央博物館
ふるさと 山形の山のスケッチ(智也の絵3)	1	個人
北アルプスの山のスケッチ(智也の絵1)	1	個人
五百沢智也作品スライドショー(智也の絵1~5より)	1	個人
五百沢智也氏写真	5	個人、公益財団法人「山形県文翔館」
犬吠埼(原画、鉛筆画ほか)	4	個人
牛久-東金崖線地形鳥瞰図(ペン画彩色、ペン画)	2	千葉県立中央博物館
上総一宮の農家 久我建夫氏旧宅(原画)	1	個人
一宮、玉前神社案内図(原画)	1	個人
大多喜の町家(原画)	1	個人
我が家の桜と梅(原画)	1	個人
富山鳥瞰図(原画ほか)	7	個人
蛇喰からの伊予ヶ岳(原画ほか)	4	個人
小湊鐵道 月崎駅ほか(原画)	3	個人
久留里城 五月(原画)	1	個人
小湊鐵道と久留里城解説(智也の絵4)	1	個人
嶺岡の天狗石面(原画)	1	個人
御宿(原画)	1	個人
御宿の浜(原画)	1	個人
鴨川漁港(原画)	1	個人
野島崎にて(原画)	1	個人
安房白浜(原画)	1	個人
Tokyo Disneyland The Castle of Cinderella(原画)	1	個人
東京ディズニーシーの裏側(原画)	1	個人
野見金山の眺望(原画、印刷図ほか)	4	個人
宝永火山爆裂火口を南東より見る(原画、印刷拡大図ほか)	3	個人
鳥瞰図の元になった斜め空中写真	2	個人
山梨県、三珠町、下芦川上空から見た富士山の北西面(原画、印刷拡大図ほか)	3	個人
赤石岳・北西面(原画、印刷拡大図ほか)	5	個人
北奥千丈岳より金峰山を望む(原画)	1	個人
筑波山(原画)	1	個人

(3)こんなに変わった植物の分類-DNAをもとにした新たな系統-

ア 会 期 令和5年2月4日(土)~4月9日(日) [令和4年度開催日数:48日間]

イ 会 場 第2企画展示室

ウ 主 催 等 (ア)主 催 千葉県立中央博物館

エ 入 場 者 数 7,562名(令和5年2月4日~3月31日)

オ 担 当 者 天野 誠

カ 概 要 これまで、生物は、形や目に見える性質などにより分類されてきた。しかし、近年のDNA解析技術の向上により、DNAの塩基配列による客観的な生物の再分類が進んでいる。この変化は、図鑑等での科の表記が変わるくらいで、一般の来館者にはあまり影響するものではないが、分類学を基礎としている博物館にとっては根源的な変化である。この展示は、新しい分類体系(APG分類)で大きく変更になった部分を取り上げて、写真や標本を用いて紹介した。

キ 関連事業 なし

ク 印刷物 なし

ケ 展示リスト 借用資料0点、館蔵資料13点 計13点

資料名	点数	所蔵
植物さく葉標本10点、植物封入標本3点	13	千葉県立中央博物館

(4) 令和4年度「生命(いのち)のにぎわい 生命のにぎわい調査団・生物多様性写真展」

- ア 会 期 令和5年3月7日(火)～5月7日(日)〔開催日数：22日間(令和4年度)〕
 イ 会 場 歴史展示室前廊下
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館
 エ 入 場 者 数 2,787名(令和4年度：3月7日～3月31日)
 オ 担 当 者 伊左治鎮司・玉井里奈
 カ 概 要 千葉県生物多様性センターの事業「生命のにぎわい調査団」の団員が撮影した写真を展示し、広く県民に生物の魅力を紹介した。展示作品には研究員による作品へのコメントを付し、来館者へ身近な生物の生態について伝えることを目的とした。
 キ 主な展示資料 写真パネル36点
 ク 関 連 行 事 「生命(いのち)のにぎわい調査フォーラム」「写真コンテスト」
 日 時 令和5年3月4日(土) 午後1時から午後4時まで
 場 所 千葉県立中央博物館 講堂
 対 象 調査団員(事前申込制)

7 ミニトピックス展

(1) オオガハス

- ア 会 期 令和4年6月18日(土)～令和4年7月10日(日)〔開催日数：20日間〕
 イ 会 場 休憩ラウンジ、光庭
 ウ 主 催 等 (ア)主 催 千葉県立中央博物館
 エ 入 場 者 数 2,746名
 オ 担 当 者 主担当 山本伸子
 カ 概 要 令和4年がオオガハス開花70年の記念となることから、千葉市と連携してオオガハスに関する展示を行った。光庭に千葉市より提供されたオオガハスを展示し、開花する様子を紹介した。
 キ 展 示 リ ス ト 解説パネル2枚、オオガハス鉢2点

資料名	点数	所蔵
オオガハス鉢	2	千葉市
オオガハス写真	7	千葉市
スイレン、オニバス写真	2	東京大学総合研究博物館

(2) 習志野隕石

- ア 会 期 令和4年9月3日(土)～令和5年3月26日(日)〔開催日数：164日間〕
 イ 会 場 2階ホール
 ウ 主 催 等 (ア)主 催 千葉県立中央博物館
 (イ)協 力 国立科学博物館・国立極地研究所・平塚市博物館
 エ 入 場 者 数 30,138名
 オ 担 当 者 高橋直樹(教育普及課)
 カ 概 要 2020(令和2)年7月2日に千葉県習志野市及び船橋市に落下した「習志野隕石」は一般県民の関心が高く、令和2年度に当館で実施したトピックス展も盛況であった。トピックス展終了後も来館者から標本を見たいという要望が多数寄せられていた。今年度、習志野隕石の一部が当館に寄託されることになったことから、これを再度展示することとした。
 キ 展 示 リ ス ト 寄託資料1点 借用資料4点

資料名	点数	所蔵
習志野隕石(2号(一部))標本	1	個人
習志野隕石火球写真	1	平塚市博物館(藤井大地)
習志野隕石偏光顕微鏡写真	1	国立極地研究所
習志野隕石反射顕微鏡写真	1	国立極地研究所
習志野隕石の落下により破損した瓦 写真	1	国立科学博物館

(3) 十二支にちなんで一卯一

- ア 会 期 令和4年12月17日(土)～令和5年1月22日(日)〔開催日数：25日間〕
 イ 会 場 2階ホール、地学展示室・生物展示室前廊下

- ウ 主催等 (ア)主催 千葉県立中央博物館
 エ 入場者数 3,172名
 オ 担当者 主担当 古木達郎
 各分野担当 哺乳類(宮川尚子)、昆虫(樽宗一郎)、維管束植物(天野 誠)、大型菌類(吹春俊光)、歴史(鈴木建人)、マッチラベル(小田島高之・島立理子)
 カ 概要 令和5年の十二支である『卯』にちなんで名前が付けられた生物資料や『卯年』に関する歴史・人文資料を展示し、来館者に生物多様性や生物と人間の関わりについて理解を深めてもらう。
 キ 展示リスト 館蔵資料107点

資料名	点数	所蔵
哺乳類剥製標本	2	千葉県立中央博物館
昆虫標本6点、写真2点	8	千葉県立中央博物館
維管束植物標本	2	千葉県立中央博物館
大型菌類標本2点、写真解説パネル2点	4	千葉県立中央博物館
お奉射的(兎と鳥)1点、餅つき兎(佐原張り子)1点、ほっかむり兎(房総張り子)1点、一宮張り子(玉乗り兎)1点、餅つき兎切手 2点、餅つき兎 フィギュア 1点	7	千葉県立中央博物館
写真(兎形兜1点、兎耳桃形兜1点、兎耳桃形兜1点)	3	千葉県立中央博物館
月と兎 写真	2	千葉県立中央博物館
日本のマッチラベル	48	千葉県立中央博物館
海外のマッチラベル	26	千葉県立中央博物館
その他マッチラベルまぼろしの賀正 2点、東京赤羽オオサカヤ 1点、東京日本橋うさぎや 1点。	4	千葉県立中央博物館
写真撮影スポット	1	千葉県立中央博物館

8 その他の展示

(1)環境教育推進事業出張展示 「カミツキガメ」

- ア 会 期 --- 令和4年11月22日(火)～12月4日(日)
 イ 会 場 千葉県立青葉の森公園 緑の相談所 ギャラリー展示室
 ウ 主催等 千葉県立中央博物館
 エ 入場者数 2,783人
 オ 担当者 林 紀男
 カ 概要 2019(令和元)年度に開催した「季節展:カミツキガメ」の展示パネルを再編集し額装した「環境教育出張展示キット」を用いた展示を実施した。カミツキガメ防除の実績データについては、千葉県生物多様性センターから最新情報を入手し、同センターの許可を得て展示データを修正更新した。
 キ 主な展示資料 展示パネル B1サイズ 13枚

(2)環境教育推進事業出張展示 「侵略的外来水生植物」

- ア 会 期 ----- 令和4年12月6日(火)～12月18日(日)
 イ 会 場 千葉県立青葉の森公園 緑の相談所 ギャラリー展示室
 ウ 主催等 千葉県立中央博物館
 エ 入場者数 2,607人
 オ 担当者 林 紀男
 カ 概要 2015(平成27)年度に開催した「季節展:水草」の展示パネルの内、外来水草に関する項目のパネル抜粋し額装した「環境教育出張展示キット」を用いた展示を実施した。侵略的外来水生植物の県内繁茂域および防除の取り組みについては、当館の調査研究事業で得られた最新の研究成果をいた情報更新を実施した。
 キ 主な展示資料 展示パネル B1サイズ 12枚

(3)柏北部東地区の遺跡展 地中からの目覚め

- ア 会 期 令和5年1月21日(土)～令和5年2月26日(日)〔開催日数:32日間〕
 イ 会 場 第一企画展示室
 ウ 主催等 (ア)主催 公益財団法人 千葉県教育振興財団
 (イ)柏市教育委員会・船橋市教育委員会・千葉県立中央博物館
 (ウ)後援 千葉県教育委員会
 エ 入場者数 5486名
 オ 担当者 樽宗一郎

- カ 概 要 公益財団法人 千葉県教育振興財団が開催した巡回展示「令和4年度出土遺物公開事業 「柏北部東地区の遺跡展 地中からの目覚め」」を共催で行った。千葉県教育振興財団が平成10年から約20年間にわたり発掘調査を行った柏北部東地区の研究成果を展示した。
- キ 関 連 事 業 (ア)ミニ講座 令和5年1月28日(土)
(イ)ワークショップ 土器のペーパークラフトをつくろう 令和5年2月11日(土・祝)
(ウ)講演会 令和5年2月19日(日)

9 出前展示

(1) 三島小学校教室博物館

- ア 会 期 令和4年4月8日(金)～令和5年2月24日(金) [開催日数：22日]
イ 会 場 旧君津市立三島小学校
ウ 入 場 者 数 46名
エ 主 担 当 尾崎煙雄、斉藤明子、千葉友樹、ほか生態・環境研究部職員
オ 概 要 旧君津市立三島小学校の一室を借り、毎月第2、第4金曜日に開館して房総丘陵の自然に関する展示を行い、来館者と対話した。
カ 主 な 展 示 資 料 房総丘陵の動植物、地学資料等

(2) 千葉市生涯学習センター出張展示(令和4年度 『ちば』が学べる施設紹介展示)

- ア 会 期 令和4年4月15日(金)～4月28日(木) [開催期間：14日]
イ 会 場 イ千葉市生涯学習センター
ウ 主 催 等 千葉県環境生活部文化振興課、千葉県立中央博物館等
エ 入 場 者 数 728名
オ 担 当 者 樽宗一郎、吹春俊光
カ 概 要 中央博から令和4年度展示活動等を紹介するパネル、チラシ・パンフレット等を展示した。
キ 主 な 展 示 資 料 博物館活動を伝えるパネル3点等。

(3) 青葉の森公園緑の相談所出張展示「きのこ写真展 [きのこの不思議]」

- ア 会 期 令和4年5月3日(火)～5月15日(日) [開催期間：13日間]
イ 会 場 青葉の森公園 緑の相談所ギャラリー
ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館、青葉の森公園緑の相談所
エ 入 場 者 数 3,340名
オ 担 当 者 吹春俊光
カ 概 要 県施設との連携・中央博物館の事業広報を目的に、青葉の森公園緑の相談所で、「きのこ写真展 [きのこの不思議]」のパネル展示を行った。
キ 主 な 展 示 資 料 きのこの不思議を伝える写真パネル21点、解説リーフレット等。

(4) 幕張メッセ出張展示(令和4年度 県民のいちばわくわくフェスタ2022)

- ア 会 期 令和4年6月12日(日) [開催期間：1日]
イ 会 場 幕張メッセ展示ホール
ウ 主 催 等 千葉県環境生活部文化振興課、千葉県立中央博物館
エ 入 場 者 数 1,803名
オ 担 当 者 高梨俊夫、駒井智幸、宮川尚子、伴光哲、齋木健一、菊地則雄、奥野淳兒、松本光史、島立理子、吹春俊光
カ 概 要 R4年度テーマ「海から知ろう千葉の魅力～」に沿って海関連の展示等を中心に展示。
キ 主 な 展 示 資 料 房総ゆかりの武将の甲冑(複製)3点、オリンピック・パラリンピック紹介パネル12点
キ 主 な 展 示 資 料 ①クジラの頭骨・ヒゲ・肋骨等の実物・模型を解説パネル共にに展示。②クジラクイズを実施。
③分館海の博物館コーナー：生きた海の生物(エビ・カニ・ヤドカリなど)の展示(水槽2点)。
④甲冑コーナー(複製甲冑3体)、⑤季節展「おはまおり」パネル・チラシで紹介。

(5) イオン津田沼出張展示(令和4年度 千葉県産フェア)

- ア 会 期 令和4年6月24日(金)～6月26日(日) [開催期間：3日]
イ 会 場 イオン津田沼店
ウ 主 催 等 千葉県環境生活部文化振興課、千葉県立中央博物館
エ 入 場 者 数 3,263名
オ 担 当 者 渡辺善司、後藤亮、駒井智幸、宮川尚子、島立理子、関 諒一、山本伸子、樽宗一郎、吹春俊光
カ 概 要 中央博から、房総ゆかりの武将の甲冑、令和4年度企画展「鯨」紹介パネルを展示した。
キ 主 な 展 示 資 料 房総ゆかりの武将の甲冑(複製)3点、令和4年度企画展「鯨」関連の紹介パネル5点・缶バッジ作成体験・動画展示(ザトウクジラ)。

(6) そごう千葉ギャラリー展示(令和4年度 県立博物館で知るちばの海)

ア 会 期 令和4年9月6日(火)～9月12日(月)〔開催期間：7日〕
イ 会 場 そごう千葉ギャラリー
ウ 主 催 等 千葉県環境生活部文化振興課、千葉県立中央博物館
エ 入 場 者 数 7,000名
オ 担 当 者 渡瀬綾乃、菊地則雄、立川浩之、島立理子、山本伸子、吹春俊光
カ 概 要 中央博から、特別展「鯨」、季節展「おはまおり」、「千葉県で見られるウミウシたち」紹介パネルを
展示した。
キ 主な展示資料 パネル展示：特別展「鯨」7点、季節展「おはまおり」7点、「ウミウシ」10点。関連チラシ・パンフ
レット。

(7) 清和地区文化祭

ア 会 期 令和4年10月29日(土)～10月30日(日)〔開催日数：2日〕
イ 会 場 旧君津市立秋元小学校
ウ 入 場 者 数 150名
エ 主 担 当 尾崎煙雄、斉藤明子、大木淳一、後藤亮、千葉友樹
オ 概 要 君津市清和公民館の文化祭において出張展示を行った。
カ 主な展示資料 A1判パネル8点、房総丘陵の昆虫等標本(甲虫類133点、カメムシ類20点、バッタ類66点、クモ・イ
モムシ18点)、貝類標本5点、サワガニ脱皮殻標本2点、標本合計244点

(8) イオンおゆみ野出張展示(令和4年度 千葉県産フェア)

ア 会 期 令和4年11月3日(木・祝)～11月6日(日)〔開催期間：4日〕
イ 会 場 イオンタウンおゆみ野店
ウ 主 催 等 千葉県環境生活部文化振興課、千葉県立中央博物館
エ 入 場 者 数 4,000名
オ 担 当 者 渡辺善司、渡瀬綾乃、高山順子、玉井里奈、吹春俊光
カ 概 要 中央博から、房総ゆかりの武将の甲冑、令和4年度季節展「おはまおり」紹介パネルを展示した。
キ 主な展示資料 房総ゆかりの武将の甲冑(複製)3点、「おはまおり」関連の紹介パネル3点。

第2 大利根分館

1 テーマ展示

(1) 収蔵品展 古い道具と昔の暮らし

- ア 会 期 令和4年5月28日(土)～6月19日(日) [開催日数: 23日間]
 イ 会 場 第3展示室
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館
 エ 入 場 者 数 1,855人
 オ 主 担 当 榎美香、木本利行
 カ 概 要 小学校3年生の学習内容「道具とくらしのうつりかわり」の調べ学習に対応した展示を行った。
 キ 展 示 リ ス ト

資料名	点数	所蔵
行燈、提灯、氷冷蔵庫、初期型電話機、竈、羽釜、自在鉤、野良着、井戸ポンプなど	185	千葉県立中央博物館大利根分館

2 出前展示

(1) 出張写真展 水郷の原風景 一米づくり・魚とり、そして日々の暮らし

- ア 会 期 令和4年4月1日(金)～4月28日(木) [開催日数: 23日間]
 イ 会 場 道の駅・川の駅 水の郷さわら 佐原ホール
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館
 エ 入 場 者 数 5,407人
 オ 主 担 当 木本利行
 カ 概 要 昭和初期から昭和30年を中心に、農業や漁撈、当時の生活風景の写真パネルを展示した。
 キ 展 示 資 料 農業や漁撈、当時の生活風景関係写真パネル

(2) 出張写真展 古写真にみる佐原の大祭

- ア 会 期 令和4年6月14日(火)～7月22日(金) [開催日数: 34日間]
 イ 会 場 道の駅・川の駅 水の郷さわら 佐原ホール
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館
 エ 入 場 者 数 8,358人
 オ 主 担 当 木本利行
 カ 概 要 昭和初期から昭和30年を中心に、佐原の大祭の写真パネルを展示した。
 キ 展 示 資 料 佐原の大祭関係写真パネル(本宿を中心に)

(3) 出張写真展 古写真にみる佐原の大祭

- ア 会 期 令和4年9月13日(火)～10月14日(金) [開催日数: 29日間]
 イ 会 場 道の駅・川の駅 水の郷さわら 佐原ホール
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館
 エ 入 場 者 数 6,394人
 オ 主 担 当 木本利行
 カ 概 要 昭和初期から昭和30年を中心に、佐原の大祭の写真パネルを展示した。
 キ 展 示 資 料 佐原の大祭関係写真パネル(新宿を中心に)

(4) 出張写真展 水郷の原風景 一米づくり・魚とり、そして日々の暮らし

- ア 会 期 令和4年12月2日(金)～令和5年1月29日(日) [開催日数: 42日間]
 イ 会 場 水郷佐原あやめパーク
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館
 エ 入 場 者 数 1,616名
 オ 主 担 当 木本利行
 カ 概 要 昭和初期から昭和30年を中心に、農業や漁撈、当時の生活風景の写真パネルを展示した。
 キ 展 示 資 料 農業や漁撈、当時の生活風景関係写真パネル

(5) 出張展示 伝馬船模型展示—利根川の舟運と船—

- ア 会 期 令和4年7月5日(火)から当面の間
 イ 会 場 千葉県香取地域振興事務所合同庁舎1階エントランスホール
 ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大利根分館
 エ 入 場 者 数 カウントせず
 オ 主 担 当 榎美香
 カ 概 要 香取地域の住民を対象に利根川の舟運の歴史や文化を紹介するための展示を行った。

キ 展 示 資 料 伝馬船五分の一模型及び解説パネル

第3 大多喜城分館

1 常設展示

(1) 研修館展示 大多喜城と城下町

ア 会 期 令和3年3月14日(月)～

イ 会 場 研修館

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館大多喜城分館

エ 担 当 者 渡辺善司

オ 概 要 中世の大多喜城、本多3代と大多喜藩、大河内(松平氏)と大多喜藩、城下町大多喜 の4つのテーマから、大多喜城と城下町の歴史について写真とパネル等で紹介した。

カ 関連行事 なし

キ 印刷物 なし

ク 展示資料(館蔵資料 19点 解説パネル13点 写真18点 映像1点 計51点)

資料名	点数	所蔵
試着体験用甲冑	8	千葉県立中央博物館大多喜分館
大多喜城本丸跡出土かわらけ	8	千葉県立中央博物館大多喜分館
大多喜城本丸跡出土五輪塔	1	千葉県立中央博物館大多喜分館
試着体験用小袖	2	千葉県立中央博物館大多喜分館
映像「刀剣ができるまで」	1	千葉県立中央博物館大多喜分館

2 企画展

休館のため開催なし。

3 テーマ展示

休館のため開催なし。

第4 分館海の博物館

1 常設展示

(1) 常設展示の更新

展示室名	展示コーナー	資料名	更新内容
展示室	自然観察エリア(理想郷観察エリア)	理想郷観察エリアで撮影された植物写真等	鶴原理想郷で植物等のモニタリングを行い、最新の情報を更新した(18回)。
	自然観察エリア(磯の観察エリア)	磯の観察エリアで撮影された生きものの写真等	磯の観察エリア(博物館前の岩礁海岸)で見られる生きものと潮汐の情報を更新した(毎日)。
	こんな研究をやっています	研究紹介ポスター	ハゼも「ミステリーサークル」をつくる?(4月1日～7月3日、川瀬裕司) フグがつくる「ミステリーサークル」の3Dモデルを公開(7月5日～12月23日、川瀬裕司) 千葉県から見つかったノリの新種センジュアマノリ(12月24日～3月31日)
	こんなのみたよ	サンシキウミウシ、コブカラップ、ハダカゾウクラゲの写真等	博物館利用者等からの提供資料をポスターで随時紹介した(6回)。
	博物館をとりまく自然	季節ユニット展示一式	季節ごとにユニット展示を交換した(4回)。
	さまざまな海の姿・博物館をとりまく自然	ユニット展示一式	常設展示のユニット部分を交換した2回。
	体験学習カウンター	アオリイカ、キンセンガニ、アミモンガラの子魚、ハダカゾウクラゲ等	トピック展示として、観察会などで見つかった興味深い生きものを水槽などで紹介した(12回)。

2 マリンサイエンスギャラリー(分館海の博物館の研究成果に基づき、海の生きものを深く掘り下げて紹介する企画展示)

(1) 千葉県エビ・カニ大集合

ア 会 期 令和4年2月26日(土)～5月8日(日) [※令和4年度内開催日数：33日間]

イ 会 場 研修室

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館分館海の博物館

エ 入 場 者 数 8,269名(令和4年度：4月1日～5月8日)

オ 担 当 者 奥野淳兒

カ 概 要 千葉県で見られるエビやカニの仲間を紹介した。

キ 印 刷 物 (ア)ポスター 500部

(イ)チラシ 40,000部

ク 展示リスト(館蔵資料142点)

資料名	点数	所蔵
根鰓亜目(クルマエビ類)	5	分館海の博物館
抱卵亜目・オトヒメエビ下目	2	分館海の博物館
抱卵亜目・コエビ下目	18	分館海の博物館
抱卵亜目・ザリガニ下目	3	分館海の博物館
抱卵亜目・イセエビ下目	7	分館海の博物館
抱卵亜目・アナエビ下目	1	分館海の博物館
抱卵亜目・異尾下目(ヤドカリ類)	18	分館海の博物館
抱卵亜目・短尾下目(カニ類)	32	中央博物館・分館海の博物館
写真	54	中央博物館・分館海の博物館
編集動画	2	分館海の博物館

(2) 房総の魚一名魚・珍魚・ふつうの魚

ア 会 期 令和5年2月23日(木・祝)～5月7日(日) [※令和4年度内開催日数：32日間]

イ 会 場 研修室

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館分館海の博物館

エ 入 場 者 数 6,557名(令和4年度：2月23日～3月31日)

オ 担 当 者 川瀬裕司

カ 概 要 房総半島で見られる代表的な魚、滅多に見られない魚、現時点でふつうに見られる魚を紹介した。

キ 印 刷 物 (ア)ポスター 500部

(イ)チラシ 40,000部

ク 展示リスト(館蔵資料 111 点、借用資料(個人含)14 点、合計 125 点)

資料名	点数	所蔵
魚類液浸標本(サケガシラ・他)	15	分館海の博物館
魚類液浸標本(カタボシイワシ)	1	中央博物館
魚類剥製標本(カラチョウザメ・他)	13	分館海の博物館
魚類模型(ビンナガ・他)	10	分館海の博物館
魚類生体(シマスズメダイ・他)	4	分館海の博物館
実物資料(キンメ釣りの漁具・他)	9	分館海の博物館
写真(アゴハゼ・他)	56	分館海の博物館
編集動画(クサフグの産卵・他)	4	分館海の博物館
鉄道関連実物・模型・写真資料(南房総の駅弁・他)	13	個人

3 収蔵資料展(分館海の博物館の収蔵資料を中心にして海の生きものを紹介する企画展示)

(1) 収蔵資料展 九十九里浜の海の生きもの

ア 会 期 令和4年7月16日(土)～9月4日(日)〔開催日数：44日間〕

イ 会 場 研修室

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館分館海の博物館

エ 入 場 者 数 17,825名

オ 担 当 者 立川浩之

カ 概 要 九十九里浜で見られる海の生きものを紹介した。

キ 印 刷 物 (ア)ポスター(館内で印刷)

(イ)チラシ 40,000部

ク 展示リスト (館蔵資料101点)

資料名	点数	所蔵
剥製標本(アカウミガメ・アカエイ他)	3	分館海の博物館
液浸標本(魚類・甲殻類等)	22	分館海の博物館
乾燥標本(貝類・甲殻類等)	73	分館海の博物館
生体(キンセンガニ・ヒラコブシ・トゲトゲツノヤドカリ)	3	分館海の博物館
編集動画(フジノハナガイ・スナガニ)	2	中央博物館

4 その他の展示

(1) 海のアート展「真綿でつくるゆらゆらクラゲ」

ア 会 期 令和4年9月17日(土)～令和5年1月15日(日)〔開催日数：91日間〕

イ 会 場 研修室

ウ 主 催 等 千葉県立中央博物館分館海の博物館

エ 入 場 者 数 13,682名

オ 担 当 者 柳研介

カ 概 要 真綿で制作したクラゲ等の海の生きものの作品を主体として、実際の作品の対象となった生きものの解説パネルを展示し、海の生きものの魅力を紹介した。また、真綿作品の制作方法も紹介し、生きものをじっくりと観察しながらその形を再現する楽しさを伝えた。

キ 主な展示資料 綿類の材料やその加工品等、真綿製のクラゲ等の作品、クラゲの生態写真

IV 教育普及

第1 本館（講師・担当者は、特に断らないかぎり、本館職員）

1 展示観覧支援

(1) ミュージアムトーク(展示解説) 61回 717人、中止 3回

通常、研究員が、展示室入場者を対象に、展示室や収蔵庫、生態園などで、1日2回（①11:00～11:30、②14:30～15:00）、各回30分程度の解説を行う。新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月～9月中旬は1日1回(11:00～11:30)と回数を減らして実施した。

月日	タイトル	講師	場所	参加人数
4月3日(日)	不思議な風媒花の世界	奥田昌明	講堂	9人
4月10日(日)	春の展示「苔松・苔梅一春を寿ぐうめのきごけ」展示解説	坂田歩美	講堂	10人
4月17日(日)	春の谷津をのぞいてみると	天野 誠	展示室	3人
4月24日(日)	春の展示「苔松・苔梅一春を寿ぐうめのきごけ」展示解説	坂田歩美	講堂	2人
4月29日(金・祝)	生態園トピックス展「カエル」展示解説	栗田隆気	生態園	9人
5月1日(日)	都市域に創った人工池の取り組み	林 紀男	講堂	7人
5月3日(火・祝)	トピックス展「五百沢智也氏が描いた房総の風景」展示解説	八木令子	講堂	5人
5月4日(水・祝)	ちばの鉄道物語	内田龍哉	講堂	19人
5月5日(木・祝)	生態園トピックス展「カエル」展示解説	栗田隆気	生態園	10人
5月8日(日)	春の展示「苔松・苔梅一春を寿ぐうめのきごけ」展示解説	坂田歩美	講堂	5人
5月15日(日)	5月18日は国際博物館の日です	林 浩二	講堂	4人
5月22日(日)	房総のタカラガイ	黒住耐二	展示室	0人
5月29日(日)	展示室で磯観察	高山順子	展示室	2人
6月5日(日)	6月は環境月間です	林 浩二	講堂	0人
6月12日(日)	トピックス展「五百沢智也氏が描いた房総の風景」展示解説	八木令子	講堂	14人
6月19日(日)	展示室で見る天然記念物	平田和弘	展示室	4人
6月26日(日)	二口善雄が描いたバラ	御巫由紀	講堂	4人
7月3日(日)	夏の清澄寺	天野 誠	展示室	1人
7月10日(日)	縄文時代の暮らし	高梨俊夫	講堂	4人
7月17日(日)	大昔のクジラたち	丸山啓志	展示室	14人
7月18日(月・祝)	海辺の生きもの	村田明久	展示室	10人
7月24日(日)	鯨と海鳥	桑原和之	展示室	9人
7月30日(土)	特別展「鯨」展示解説	宮川尚子	展示室	13人
8月7日(日)	千葉県には、どんな昆虫がいるのか	伴 光哲	展示室	10人
8月11日(木・祝)	千葉県には、どんな昆虫がいるのか	伴光哲	展示室	12人
8月14日(日)	特別展「鯨」展示解説	宮川尚子	展示室	12人
8月21日(日)	弥生時代の暮らし	高梨俊夫	展示室	11人
8月28日(日)	特別展「鯨」展示解説	宮川尚子	展示室	11人
9月4日(日)	秋の野山	平田和弘	展示室	5人
9月11日(日)	房総丘陵の自然	尾崎煙雄	展示室	5人
9月18日(日)	特別展「鯨」展示解説	宮川尚子	講堂	15人
9月19日(月・祝)	木の実・草の実のさまざま	平田和弘	展示室	5人
9月23日(金・祝)	特別展「鯨」展示解説	宮川尚子	展示室	12人
9月25日(日)	「スペイン風邪」と房総	内田龍哉	研修室	11人
10月9日(日)	コケの暮らし	古木達郎	展示室	2人
10月10日(月・祝)	ノジュールは化石のタイムカプセル	加藤久佳	展示室	28人
10月16日(日)	チバニアン期のどうぶつ化石	丸山啓志	展示室	17人
10月22日(土)	秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々」展示解説	小林裕美	研修室	14人
10月30日(日)	古墳時代の鏡	高梨俊夫	展示室	17人
11月5日(土)	秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々」展示解説	小林裕美	講堂	13人
11月13日(日)	九十九里浜の蟹気楼	大木淳一	講堂	14人

月日	タイトル	講師	場所	参加人数
11月19日(土)	秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々ー」展示解説	小林裕美	展示室	32人
11月23日(水・祝)	秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々ー」展示解説	小林裕美	展示室	1人
11月27日(日)	地球温暖化・気候変動・気候危機を考える	林 浩二	展示室	4人
12月3日(土)	秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々ー」展示解説	小林裕美	展示室	9人
12月11日(日)	秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々ー」展示解説	小林裕美	講堂	23人
12月17日(土)	秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々ー」展示解説	小林裕美	展示室	6人
12月25日(日)	秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々ー」展示解説	小林裕美	展示室	8人
1月7日(土)	秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々ー」展示解説	小林裕美	講堂	27人
1月9日(月・祝)	秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々ー」展示解説	小林裕美	講堂	37人
1月15日(日)	土の中の生き物	樽 宗一朗	展示室	22人
1月22日(日)	房総丘陵の昆虫	斉藤明子	展示室	15人
1月29日(日)	いろいろな魚の形	後藤 亮	展示室	18人
2月5日(日)	図鑑「GET!魚」ができるまで	宮 正樹	研修室	14人
2月11日(土・祝)	地層と貝化石のおはなし	千葉友樹	展示室	13人
2月12日(日)	2万年前の森～7℃マイナスの世界～	西内李佳	展示室	12人
2月19日(日)	民家とくらし	玉井里奈	講堂	8人
2月23日(木・祝)	深海の生きもの	駒井智幸	展示室	27人
2月26日(日)	増えるシカと森のはなし	大津千晶	展示室	15人
3月5日(日)	「生態園の意外な動物たち」展示解説	桑原和之	展示室	9人
3月11日(土)	春の展示「ちばの植物 探・検・隊!」展示解説	平田和弘	展示室	22人
3月12日(日)	虫送り、辻切り、災いをさける民俗	渡瀬綾乃	展示室	4人
3月21日(火・祝)	資料でみる千葉の信仰美術	鈴木建人	展示室	8人
3月25日(土)	春の展示「ちばの植物 探・検・隊!」展示解説	山本伸子	展示室	11人

(2) 体験プログラム

本館展示では、体験プログラム「中央博調査隊」を学校団体向けに、生態園では、自然体験プログラム「森の調査隊」を学校団体、個人向けにワークシートを使って実施する。新型コロナウイルス感染拡大防止のため「中央博調査隊」は実施しなかったが、野外の生態園で開催する森の調査隊は実施した。

ア 生態園 自然体験プログラム「森の調査隊」 8回 147人 中止4回

月日	学校名・団体名	担当者・講師	場所	参加人数
4月10日(日)	個人		生態園	中止※
5月5日(木・祝)	個人		生態園	中止※
6月15日(水)	個人		生態園	中止※
7月18日(月・祝)	個人	林 浩二	生態園	22人
8月11日(木・祝)	個人	尾崎煙雄	生態園	12人
9月19日(月・祝)	個人	小田島高之	生態園	3人
10月10日(月・祝)	個人	坂田歩美	生態園	19人
11月23日(水・祝)			生態園	雨天中止
12月11日(日)	個人	坂田歩美	生態園	11人
11月5日(日)	個人	坂田歩美	生態園	11人
2月23日(木・祝)	個人	坂田歩美	生態園	42人
3月21日(火・祝)	個人	斉藤明子、後藤亮、林浩二	生態園	27人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(2)常設展解説「ぐるっと見どころツアー」 42回 155名

体験交流員が各常設展示室の見どころをわかりやすく解説するツアーで、令和4(2022)年11月25日からスタートした。平日は随時に、土日祝日は定時(10時と13時30分)からの受付とした。本年度は、塩地明子、藤田雅代、柳原亜矢子の3名の体験交流員が解説を担当した。

月	平日(随時)		土日祝日(定時)		月別回数	月別人数
	回	名	回	名		
11月	2	3	3	8	5	11
12月	7	14	7	36	14	50
1月	1	1	6	13	7	14
2月	3	42	5	14	8	56
3月	5	14	3	10	8	24
	18	74	24	81	42	155

2 講座・観察会等の開催

(1)講座・観察会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月から6月は第2段階の計画行事を実施した。年度途中に感染状況を受けて「講演会・講座・観察会等開催のガイドライン」が改訂され、感染防止対策が緩和された。これに伴い、7月から3月は第3段階の計画行事を実施した。

ア 地学 14回 436人 ※()は館内担当者

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月15日(日)	地質の日関連観察会 チバニアンをみてみよう	丸山啓志・高橋直樹	市原市	22人
6月18日(土)	天津小湊の地層と化石	加藤久佳	鴨川市	23人
7月3日(日)	親子で学ぶチバニアン ～地層の声をきこう！～	岡田 誠(高橋直樹)	講堂	50人
7月3日(日)	親子で学ぶチバニアン ～地層の声をきこう！～	岡田 誠(高橋直樹)	オンライン	78人
7月30日(土)	セキツイ動物の比べ方	丸山啓志	研修室	44人
7月30日(土)	海岸で石ころをひろおう	高橋直樹	鴨川市	32人
8月7日(日)	地形模型を作ってみよう	八木令子	研修室・ 1Fホール	18人
8月11日(木・祝)	いろんな化石を見てみよう	丸山啓志	オンライン	20人
10月9日(日)	チバニアン期の古生物	丸山啓志	研修室	28人
10月15日(土)	化石発掘たいけん	伊左治鎮司	1F入口	27人
11月13日(日)	県外岩石観察会 三浦半島の鷹取石	高橋直樹	神奈川県横須賀市・逗子市	25人
12月17日(土)	トドの化石を見つけよう	千葉友樹	市原市	23人
1月14日(土)	九十九里浜で激レア蜃気楼をみよう！	大木淳一	九十九里町	14人
1月22日(日)	メタセコイア化石林の観察	西内李佳	東京都八王子市	15人
3月11日(土)	海岸で化石をさがそう	加藤久佳	千葉市	37人

イ 動物 14回 296人 中止1回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月15日(日)	動物の同定作業体験	栗田隆気	研修室	15人
5月29日(日)	タカラガイの話	黒住耐二	研修室	19人
5月29日(日)	体験教室「河川敷の野鳥観察会」	桑原和之	関宿城博物館	13人
7月17日(日)	バケツ一杯の水から海の魚を探る 全2回連続講座(他9/18)	宮 正樹	研修室	18人
7月23日(土)	東京大学千葉演習林連携事業 夏の山の昆虫	尾崎煙雄、斉藤明子	東京大学千葉演習林	32人
7月30日(土)	比べて納得！海鳥の飛び方いろいろ	平田和彦	神奈川県横須賀市	荒天中止
8月6日(土)	昆虫標本の作り方	斉藤明子	研修室	14人
8月6日(土)	夜の公園でセミの羽化を観察しよう	伴 光哲	青葉の森公園内	15人
8月27日(土)	総監修・宮正樹先生に世界のお魚のことを聞いてみよう！！	宮 正樹	講堂	56人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
9月18日(日)	バケツ一杯の水から海の魚を探る	宮 正樹	研修室	18人
11月5日(土)	土の中の生き物の観察	樽宗一郎	研修室	10人
12月3日(土)	冬のむしさがし	伴 光哲	青葉の森公園	31人
1月28日(土)	昆虫標本整理たいけん	樽宗一郎	研修室	13人
2月18日(土)	映像で見る深海生物	駒井智幸	研修室	20人
3月4日(土)	生態園観察会 生態園の野鳥	桑原和之	生態園	22人

ウ 植物・菌類 14回 135人 中止3回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月21日(木)	花を解剖する	山本伸子	研修室	3人
4月24日(日)	春の植物観察	天野 誠	一宮町	中止※
5月21日(土)	観察会「房総の村を歩く 1」	平田和弘	栄町	中止※
5月22日(日)	地衣類の分類 全6回連続講座(②6/26, ③10/16, ④12/11, ⑤1/29, ⑥3/12)	原田 浩	研修室	26人
7月9日(土)	街中のシダ植物の見分け方	水野大樹	研修室	13人
9月24日(土)	観察会「房総のむらを歩く 2」	平田和弘	栄町	荒天中止
10月15日(土)	秋の植物観察	天野 誠	一宮町	5人
11月13日(日)	生態園観察会 秋の植物	西内李佳	生態園	9人
11月19日(土)	講座「バラの歴史」	御巫由紀	研修室	6人
11月27日(日)	ヤドリギの魅力	尾崎煙雄	講堂	21人
12月3日(土)	郊外の地衣類	坂田歩美	市原市	5人
12月8日(木)	千葉シニア自然大学	桑原和之	生態園	19人
12月10日(土)	コケ植物の顕微鏡観察	古木達郎	研修室	5人
1月15日(日)	カヤツリグサ属の分類	天野 誠	研修室	9人
1月21日(土)	冬の樹木観察	平田和弘	研修室、生態園	12人
2月4日(土)	花粉を顕微鏡でみてみよう	奥田昌明	研修室	10人

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため

エ 歴史・民俗 3回 38人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
11月26日(土)	講座「房総を旅する文人たち」	内田龍哉	研修室	2人
2月5日(日)	歴史講座一大山信仰とオタチ(歴史編)	鈴木建人	研修室	15人
2月12日(日)	歴史講座一大山信仰とオタチ(民俗編)	渡瀬綾乃	研修室	21人

オ 自然と人間 5回 147人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月28日(木)	教員のための博物館の日 持続可能な開発目標(SDGs)を考える	大野将史	講堂・研修室	11人
8月4日(木)	教員のための博物館の日 博物館利用研修会	大野将史	講堂・研修室	20人
9月10日(土)	印旛沼から蘇らせた水草を触って比べよう	林 紀男	研修室・生態園	5人
11月23日(水)	菌類から見た生物多様性	安藤勝彦、稲葉重樹、鶴梅泰久、堂本暁子(吹春俊光)	講堂	40人
11月23日(水)	菌類から見た生物多様性	安藤勝彦、稲葉重樹、鶴梅泰久、堂本暁子(吹春俊光)	オンライン	71人

カ 自然いろいろ 9回 179人 中止6回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月29日(金・祝)	プランクトンの小宇宙を顕微鏡で覗いてみよう	林 紀男	研修室・生態園	中止※
4月30日(土)	山の学校 151 春の里の生きもの	尾崎煙雄・斉藤明子・千葉友樹	旧三島小学校	中止※

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月28日(土)	山の学校 152 初夏の山の生きもの	尾崎煙雄・斉藤明子・千葉友樹		中止※
6月4日(土)	連続講座：ジュニア自然誌研究クラブ	平田和彦	生態園	20人
6月5日(日)	生態園観察会 初夏の動植物	尾崎煙雄	生態園	中止※
6月18日(土)	磯の生きものを探そう	村田明久	鴨川市	7人
6月25日(土)	山の学校 153 夏の山の生きもの	尾崎煙雄・斉藤明子・千葉友樹		中止※
7月30日(土)	山の学校 154 川の生きもの1	尾崎煙雄・斉藤明子・千葉友樹	清和県民の森	20人
8月7日(日)	生態園観察会 真夏の動植物	尾崎煙雄	生態園	20人
8月27日(土)	山の学校 155 川の生きもの2	尾崎煙雄・斉藤明子・千葉友樹	清和県民の森	24人
9月3日(土)	連続講座：ジュニア自然誌研究クラブ	平田和彦	東京湾フェリー	27人
9月24日(土)	山の学校 156 秋の里の生きもの	尾崎煙雄・斉藤明子・千葉友樹	旧三島小学校	荒天中止
10月30日(日)	チバニアン周辺の地形を訪ねる	八木令子	市原市田淵	13人
12月3日(土)	連続講座：ジュニア自然誌研究クラブ	平田和彦	谷津干潟	27人
2月25日(土)	天然記念物とは何か	平田和弘	研修室	0人
3月4日(土)	連続講座：ジュニア自然誌研究クラブ	平田和彦	袖ヶ浦公園	21人

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため

キ 公開講演会・セミナー 3回 約90人 中止0回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
2月16日(木)	千葉県立中央博物館セミナー 第1回	大津千晶・鈴木建人・小林裕美・尾崎煙雄	講堂	約30人
3月8日(水)	千葉県立中央博物館セミナー 第2回	渡瀬綾乃・玉井里奈・林 紀男・斎木健一	講堂	約30人
3月15日(水)	千葉県立中央博物館セミナー 第3回	平田和弘・幅 大・高梨俊夫・植野英夫	講堂	約30人

ク 千葉学講座 1回 168人 中止0回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
3月5日(日)	千葉学講座「私の『ちばの植物探検』」	平田和弘	講堂	41人
3月5日(日)	千葉学講座「私の『ちばの植物探検』」	平田和弘	オンライン	127人

(2) 春の展示「苔松苔梅 ―春を寿ぐ うめのきごけ―」関連行事 1回 10人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月17日(日)	春の展示関連行事 地衣類の顕微鏡観察	坂田歩美	研修室	10人

(3) 特別展「鯨」関連行事 14回 6044人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月16日(土)	特別展関連行事 鯨展オープニングイベント	宮川尚子	2Fホール	6人
7月16日(土)～ 7月31日(日)	特別展「鯨」ワークシート	塩地明子・藤田雅代・柳原亜矢子	常設・企画展示室	1721人
7月18日(月)	特別展関連行事 5000万年地球の旅 クジラの進化と適応戦略	加藤秀弘 (宮川尚子)	講堂	73人
7月24日(日)	特別展関連行事 ホエールウォッチング	宮川尚子	銚子市	19人
7月31日(日)	特別展関連行事 博物館フィギュアをつくろう	加藤久佳	1Fホール	67人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
8月2日(火)～ 8月31日(水)	特別展「鯨」ワークシート	塩地明子・藤田雅代・柳原亜矢子	常設・企画展示室	3707人
8月6日(土)	特別展関連行事 ホゲール(捕鯨の町)ウォッチング	宮川尚子	南房総市	17人
8月20日(土)	恐竜くんとレゴ(R)ブロックで作ろう！ 海の王者モササウルス	関 諒一	研修室、 1Fホール	74人
8月27日(土)	特別展関連行事 クジラのペーパークラフト	宮川尚子	1Fホール	24人
9月1日(木)～ 9月25日(日)	特別展「鯨」ワークシート	塩地明子・藤田雅代・柳原亜矢子	常設・企画展示室	195人
9月3日(土)	特別展関連行事 クジラヒゲのストラップづくり	宮川尚子	研修室	50人
9月4日(日)	特別展関連行事 ホネール(鯨骨)ウォッチング	宮川尚子	研修室	20人
9月11日(日)	特別展関連行事 中央博×鴨シー クジラの特別解説ツアー	宮川尚子	鴨川市	24人
9月25日(日)	特別展関連行事 鯨の文化誌～千葉の人々と鯨～	小島孝夫 (宮川尚子)	講堂	47人

(4) 秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々の祭ー」関連行事 8回 4101人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
10月22日(土)～10月30日(日)	秋の展示「おはまおり」ワークシート	塩地明子・藤田雅代・柳原亜矢子	企画展示室	423人
10月22日(土)～ 10月30日(日)	秋の展示「おはまおり」ぬりえ、すごろく、おりがみ	塩地明子・藤田雅代・柳原亜矢子	2Fホール	304人
10月30日(日)	秋の展示関連行事 おはまおりセミナー2022	小林裕美	講堂	60人
11月1日(火)～ 11月30日(水)	秋の展示「おはまおり」ワークシート	塩地明子・藤田雅代・柳原亜矢子	企画展示室	622人
11月1日(火)～ 11月30日(水)	秋の展示「おはまおり」ぬりえ、すごろく、おりがみ	塩地明子・藤田雅代・柳原亜矢子	2Fホール	1284人
12月1日(木)～ 12月27日(火)	秋の展示「おはまおり」ワークシート	塩地明子・藤田雅代・柳原亜矢子	企画展示室	228人
12月1日(木)～ 12月27日(火)	秋の展示「おはまおり」ぬりえ、すごろく、おりがみ	塩地明子・藤田雅代・柳原亜矢子	2Fホール	789人
1月5日(木)～ 1月9日(月)	秋の展示「おはまおり」ワークシート	塩地明子・藤田雅代・柳原亜矢子	企画展示室	111人
1月5日(木)～ 1月9日(月)	秋の展示「おはまおり」ぬりえ、すごろく、おりがみ	塩地明子・藤田雅代・柳原亜矢子	2Fホール	340人

(5) 体験イベント・特別企画

ア 体験イベント 3466人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月28日(木)～ 4月30日(土)	常設展ワークシート「展示室ではまくりんをさがそう！」	塩地明子・藤田雅代・柳原亜矢子	常設展示室	159人
5月1日(木)～ 5月31日(火)	常設展ワークシート「展示室ではまくりんをさがそう！」	塩地明子・藤田雅代・柳原亜矢子	常設展示室	618人
5月8日(日)	キーホルダーをつくろう	塩地明子・藤田雅代・柳原亜矢子	研修室	21人
6月1日(水)～ 6月30日(木)	常設展ワークシート「展示室ではまくりんをさがそう！」	塩地明子・藤田雅代・柳原亜矢子	常設展示室	686人
6月19日(日)	生態園ギャラリー 撮影会1	林浩二	生態園	62人
7月1日(金)～ 7月15日(金)	常設展ワークシート「展示室ではまくりんをさがそう！」	塩地明子・藤田雅代・柳原亜矢子	常設展示室	182人
7月2日(土)	たなばた飾りをつくろう	山本伸子	1Fホール	14人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月3日(日)	生態園ギャラリー 撮影会2	林 浩二	生態園	40人
7月17日(日)	生態園ギャラリー 撮影会3	林 浩二	生態園	51人
8月11日(木)	いろんな化石を見てみよう	丸山啓志	オンライン	20人
8月11日(木)	縄文アクセサリー(貝輪)をつくろう	石井友菜	研修室	9人
8月28日(日)	化石の模型をつくろう	加藤久佳	研修室・1Fホール	23人
9月17日(土)	中央博物館・芸術文化ホール連携事業 特別展「鯨」記念ミュージアムコンサート	教育普及課	講堂	63人
10月29日(土)	ハロウィンランタンをつくろう	山本伸子	1Fホール	16人
11月3日(木)	生態園でツリーラリー	西内李佳	生態園	125人
12月4日(日)	まつぼっくりのリースをつくろう	塩地明子・藤田雅代・柳原亜矢子	研修室	30人
1月18日(水)～1月31日(火)	常設展ワークシート「縄文」	塩地明子・藤田雅代・柳原亜矢子	常設展示室	261人
2月1日(水)～2月28日(火)	常設展ワークシート「縄文」	塩地明子・藤田雅代・柳原亜矢子	常設展示室	579人
3月1日(水)～3月31日(金)	常設展ワークシート「縄文」	塩地明子・藤田雅代・柳原亜矢子	常設展示室	507人

イ 夏休み特別企画 81人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月20日(水)～8月31日(水)	夏休み自由研究相談会	植物学研究科(担当)	1階ホール・2階ホール	81人

ウ 文化の日特別企画 996人

月日	タイトル	受付担当者・参加団体	場所	参加者数
11月3日(木・祝)	自然誌フェスターみんなで楽しむ千葉の自然と歴史ー	受付担当：調査研究チーム 参加団体：千葉県菌類談話会、中央博サークル歴史サークル、ちば環境情報センター、千葉県生物学会、房総貝類談話会、千葉港ポートパークかもめのクリーン隊、千葉県地学教育研究会、まあい広場(社会福祉法人 九十九会)、千葉県自然保護課千葉県生物多様性センター(全9団体)	1階ホール・ピロティ	996人

3 アウトリーチ支援

(1)学校対象(館内で実施した博物館学習を含む)

ア 小学校 6回 226人

月日	事業名(学校名)	講師等	場所	参加者数
5月11日(水)	スクールミュージアム水生生物観察会(八重原小学校)(君津市教育委員会生涯学習文化課文化振興係)	尾崎煙雄	君津市立八重原小学校	42人
5月27日(金)	水辺の生き物教室(九十九里町立九十九里小学校)	大木淳一	九十九里町立九十九里小学校	21人
6月2日(火)	スクールミュージアム水生生物観察会(周南小学校)(君津市教育委員会生涯学習文化課文化振興係)	後藤 亮	君津市周南小学校	77人
6月6日(月)、7月4日(月)	「ピオトープの環境づくりと管理」(八千代市立大和田南小学校)	林 紀男	八千代市立大和田南小学校	26人
7月12日(火)	家庭教育学級「九十九里の自然観察」(九十九里町立片貝小学校)	大木淳一	九十九里町立片貝小学校	43人
8月2日(火)	千葉県夢チャレンジ体験スクール(県教育委員会)	大野将史・樽宗一朗	研修室・生態園	17人

イ 特別支援学校 3回 54人

月日	事業名(学校名)	講師等	場所	参加者数
7月7日(木)	理科学習「昆虫の体のつくり」(県立千葉盲学校小学部)	伴 光哲・大野将史	研修室	10人
10月27日(木)	理科学習「植物の葉について知ろう」(県立千葉盲学校小学部)	大津千晶・大野将史	研修室	10人
11月29日(火)	千葉県立中央博物館出前授業「貝がらから貝について知ろう」(千葉県立千葉盲学校) ・「かい」小学部15人 ・「貝」中学部11人 ・「貝類」高等部8人	黒住耐二・大野将史	千葉県立千葉盲学校	34人

ウ 高等学校 1回 11人

月日	事業名(学校名)	講師等	場所	参加者数
7月18日(月)	SSH野外実習基礎講座(生物分野)(千葉市立千葉高等学校)	西内李佳	千葉市立千葉高等学校	11人

エ 大学 8回 278人

月日	事業名(学校名)	講師等	場所	参加者数
6月27日(月)	郷土論「千葉県成田市の過去・現在・未来～自然の変遷」(国際医療福祉大学)	八木令子	成田市	10人
7月2日(土)	講義「環境教育論」(秀明大学)	林 紀男・島立理子	展示室・生態園	13人
7月16日(土)	野外実習「野生できのこを採集し同定方法などを学ぶ」(関東学院大学)	吹春俊光	佐倉市	15人
7月21日(水)	「細胞活性物質特論1」地衣類に関する講義(東京理科大学)	原田 浩	オンライン	67人
8月5日(金)～8月8日(月)	野外実習(京都大学)	吹春俊光	長野県	11人
10月13日(水)	園芸学部講義「緑の環境を育む」(千葉大学)	水野大樹	千葉大学松戸キャンパス	62人
10月14日(金)～15日(土)	地域資源としての湯舟坂2号墳Ⅱ—湯舟坂2号墳出土品の研究の最前線—第2回湯舟坂2号墳プロジェクト成果報告会(京都府立大学)	黒住耐二	京丹後市	88人
12月3日(土)	講義「環境教育論」(秀明大学)	林 浩二	展示室・生態園	12人

(2) 団体・機関等への支援

ア 講座等講師(館内) 13回 518人

月日	事業名(依頼者)	講師	場所	参加者数
4月9日(土)	海外を旅する研究者生活～ニュージーランドの花粉調査風景を中心に～(千葉市科学館)	奥田昌明	講堂	9人
4月23日(土)	日本気象予報士会千葉支部第72回例会「九十九里屋気候の普及啓発活動最前線」	大木淳一	オンライン	29人
7月29日(金)	千葉市児童植物観察会(千葉市教育委員会理科部会)	林 浩二・山本伸子	講堂・青葉の森公園	32人
8月2日(火)	千葉市児童植物観察会(千葉市教育委員会理科部会)	山本伸子・西内李佳	講堂・青葉の森公園	43人
8月2日(火)	千葉県夢チャレンジ体験スクール(県教育委員会)	大野将史・樽宗一朗	研修室	17人
10月26日(水)	令和4年度国公立市立大学病院 医療技術関係職員研修(東京大学医学部付属病院)	宮 正樹	オンライン	108人
8月8日(月)	小中学校自然体験活動研修(千葉県総合教育センター)	斎木健一・天野誠	研修室等	15人
8月24日(水)	植物研修会「日本の野ばらの種類と魅力」(GAちば・花緑の会)	御巫由紀	講堂	13人
11月12日(土)	令和4年度林野庁・きのこのアドバイザー認定講座「きのこの分類実習」(日本特用林産振興会)	吹春俊光	研修室	20人

月日	事業名(依頼者)	講師	場所	参加者数
12月23日(金)	「バケツ一杯の水からわかる世界の海や川の魚たち: MiFish 法の概要と最新情報」(全国環境研協議会)	宮 正樹	オンライン	82人
2月23日(木)	講演会「環境DNAの話」(千葉県生物学会)	宮 正樹	講堂	50人
2月25日(土)	春の展示「ちばの植物 探・検・隊!」連携事業 講演会「日本の植物分類学の父 牧野富太郎」(県立中央図書館)	古木達郎	講堂	79人
3月5日(日)	千葉市未来の科学者育成プログラム特別講演会「子どものハローワーク 科学者への道」(千葉市教育委員会)	宮川尚子	オンライン	21人

イ 講座等講師(館外) 62回 647人

月日	事業名(依頼者)	講師	場所	参加者数
4月16日(土)	大人が楽しむ科学教室2022 千葉の自然シリーズ「南房総に発達する特異な地質構造」(千葉市科学館)	高橋直樹	千葉市科学館	20人
5月7日(土)	大人が楽しむ科学教室(千葉市科学館)	島立理子	千葉市科学館	20人
5月13日(金)	植物分類学セミナー「日本に自生するバラ属植物について」(高知県立牧野植物園)	御巫由紀	高知県立牧野植物園	40人
5月29日(日)	体験教室「河川敷の野鳥観察会」(千葉県立関宿城博物館)	桑原和之	関宿城博物館	13人
6月25日(土)	令和4年度「わくわく自由研究」自由研究個別相談会(千葉県総合教育センター)	大野将史・水野大樹	県総合教育センター	34人
7月2日(土)	柏の葉アカデミア講座I(さわやかちば県民プラザ)	林 浩二	さわやかちば県民プラザ	33人
7月6日(水)	県立青葉の森公園緑の相談所 緑の教室きのこの観察会～きのこは森の守り神～(県立青葉の森公園)	吹春俊光	青葉の森公園	22人
7月14日(木)	令和4年度千代田公民館連続講座「福寿大学」講座「キノコの不思議」(四街道市千代田公民館)	吹春俊光	四街道市千代田公民館	37人
7月16日(土)	自然学習講座「水草ってすごい!～水草が育む水辺の『にぎわい』と『つながり』～」(葛飾区 水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム)	林 紀男	葛飾区 水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム	16人
7月21日(木)	生物多様性モニタリング調査講習会(チョウ類)(流山市環境政策課)	伴 光哲	流山市	4人
7月24日(日)	企画展関連講演会「ルドゥーテが描いたバラ」(群馬県立近代美術館)	御巫由紀	群馬県立近代美術館	43人
7月31日(日)	親子で夏の自由研究ツアー「蜃気楼を観察しよう」(銚子ジオパーク推進協議会)	大木淳一	銚子市	16人
8月3日(水)	「地球の歴史を学ぼう～化石の観察とレプリカ作り～」(江戸川区子ども未来館 子供アカデミー)	加藤久佳	江戸川区子ども未来館 子供アカデミー	12人
8月3日(水)	講話・実習「化石をより学びたい知識の習得と実践(実物とオンラインコンテンツの活用)」(千葉県総合教育センター)	丸山啓志	県総合教育センター	16人
8月5日(金)	「稲作農業、農業水利施設を脅かす外来植物の繁茂について」(両総土地改良区)	林 紀男	長生村	35人
8月10日(水)	「遺跡から出土する石材について」(君津地方社会教育研究会)	高橋直樹	袖ヶ浦市郷土博物館	11人
9月2日(金)	県政トピックス講義「地球史 新時代 チバニアンとは何かについて学ぶ」(千葉県生涯大学校東葛飾学園)	奥田昌明	県生涯大学校東葛飾学園	22人
9月3日(土)	チバニアンガイド養成講座(地磁気逆転とその影響)(NPO 法人田淵チバニアンズ)	奥田昌明	市原市加茂公民館	34人

月日	事業名(依頼者)	講師	場所	参加者数
9月10日(土)	第2回手賀沼講座「手賀沼台地の地質と化石」(印西市中央公民館)	伊左治鎮司	印西市中央公民館	20人
9月14日(水)	市津倶楽部第5回「房総の穴場」(市原市立市津公民館)	八木令子	市津公民館	48人
9月16日(金)	生物多様性モニタリング調査講習会(植物)(流山市環境政策課)	平田和弘	流山市	24人
9月18日(日)	チバニアン養成講座「チバニアンと房総の地質」(NPO法人田淵チバニアンズ)	高橋直樹	市原市	34人
9月18日(日)	野外観察会(きのこの観察)(NPO法人リトカル)	吹春俊光	千葉市	19人
9月24日(土)	身近なシダ植物とその生態(国立歴史民俗博物館)	水野大樹	国立歴史民俗博物館	15人
9月24日(土)	大人の昆虫講座「カメムシを知ろう」(神奈川県立生命の星・地球博物館友の会)	伴 光哲	神奈川県立生命の星・地球博物館	11人
9月24日(土)	こども里山観察会「やさしいきのこ観察会」(千葉県立房総のむら)	吹春俊光	千葉県立房総のむら	中止
9月29日(木)	チバニアンガイド養成講座(バス研修)(NPO法人田淵チバニアンズ)	高橋直樹	勝浦市・鴨川市	28人
10月2日(日)	「市野谷の森の地衣類」(特定非営利活動法人NPO さとやま)	坂田歩美	県立市野谷の森公園	24人
10月5日(水)	県立青葉の森公園緑の相談所 緑の教室きのこの観察会～きのこは森の守り神～	吹春俊光	青葉の森公園	21人
10月8日(土)	里山観察会「野生のきのこ」(千葉県立房総のむら)	吹春俊光	県立房総のむら	8人
10月10日(月)	野外観察会「野生きのこの見分け方」(ちば千年の森をつくる会)	吹春俊光	君津市	20人
10月13日(木)	さわやか学級(高齢者学級)講座「君津の河川流域の特性と地形誌」(君津市上総公民館)	八木令子	君津市上総公民館	20人
10月16日(日)	野外観察会(野生きのこの見分け方について)(市原植物研究会)	吹春俊光	市原市	25人
10月19日(木)	Japanese Rose Gardens (バンクーバーばら会)	御巫由紀	オンライン	19人
10月22日(土)	わお!わお!自然観察会 材木座の海を解き明かせ!漂着物探検 in 鎌倉(日本自然保護協会)	黒住耐二	神奈川県鎌倉市	20人
10月22日(土)	野外観察会「野生きのこ観察会」(千葉菌類談話会)	吹春俊光	市原市	57人
10月23日(日)	自然観察「房総の海岸で化石を探そう!」(リカちゃんトラボ)	加藤久佳	富津市	38人
10月26日(水)	令和4年度国公私立大学病院医療技術関係職員研修「環境DNA メタバーコーディング—バケツ一杯の水から棲んでいるいる魚がわかる技術—」(東京大学医学部附属病院)	宮 正樹	東京大学医学部附属病院	94人
11月9日(水)	県政トピックス「チバニアンについて」(千葉県生涯大学校 京葉学園)	奥田昌明	千葉県生涯大学校 京葉学園	7人
11月10日(木)	シニア食堂5周年記念特別講座「あなたの知らない蟹気楼の世界」(NPO法人東葛地区婚活支援ネットワーク)	大木淳一	流山市生涯学習センター	23人
11月12日(土)	令和4年度 千葉県立西部図書館 サイエンス・カフェ「江戸時代のバラ」(千葉県立西部図書館)	御巫由紀	県立西部図書館	19人
11月12日(土)	令和4年度君津市立久留里城址資料館企画展「不思議な水の穴」講演会「地形から読み解く房総の河川流域の人と自然 一川廻し地形などを例に—」(君津市立久留里城址資料館)	八木令子	君津市上総公民館	46人
11月26日(土)	里山観察会「コケ植物」(千葉県立房総のむら)	古木達郎	県立房総のむら	5人

月日	事業名(依頼者)	講師	場所	参加者数
11月26日(土)	チバニアンガイド養成講座「房総丘陵の地形特性と川廻し・川廻し地形」(NPO 法人田淵チバニアンズ)	八木令子	市原市役所加茂公民館	40人
11月27日(日)	文化講演会「東京湾における人と鳥のかかわり」(船橋市郷土資料館)	平田和彦	船橋市郷土資料館	19人
12月17日(土)	国史跡武蔵国分寺跡 史跡指定100周年記念事業「二五穴と胎内堀りの技術」(国分寺市教育委員会公民館課)	島立理子	東京都国分寺市	30人
12月17日(土)	大人が楽しむ科学教室2022 千葉の自然シリーズ「房総の風景を地学的に見る」(千葉市科学館)	八木令子	千葉市科学館	21人
12月18日(日)	かずさの国 凧あげフェスタ2022 講演会「千葉県上総地域の大凧あげ」(かずさの国凧あげフェスタ実行委員会)	小林裕美	袖ヶ浦市根形公民館	45人
12月25日(日)	大人が楽しむ科学教室2022 千葉の自然シリーズ「房総丘陵のトンネル用水路-二五穴の謎」(千葉市科学館)	小田島高之	千葉市科学館	24人
1月20日(金)	令和4年度資料館セミナー「千葉のおばちゃん～東京向け野菜行商の歴史～」(鎌ヶ谷市郷土資料館)	小林裕美	鎌ヶ谷市郷土資料館	29人
1月27日(金)	東アジア植物研究会園芸セミナー「日本の野ばら語る」(東アジア植物研究会)	御巫由紀	東京都千代田区	20人
1月28日(土)	くらしの植物苑観察会 園芸植物の歴史(国立歴史民俗博物館)	天野 誠	国立歴史民俗博物館	16人
1月29日(日)	令和4年度 新会員歓迎会 講演会「関東地方の植生史と博物館野外施設の植生管理」(日本樹木医会千葉県支部)	西内李佳	千葉市	30人
2月10日(金)	生き生き大学11回「おはまおりー房総の海のまつりー」(市原市立南総公民館)	小林裕美	市原市南総公民館	39人
2月12日(日)	令和4年度印西市立印旛歴史民俗資料館 資料館講座 印西の行商(印西市立印旛歴史民俗資料館)	小林裕美	印西市立印旛歴史民俗資料館	25人
2月18日(日)	NHK文化センター柏教室「日本の野ばらの見分け方1」(NHK文化センター柏教室)	御巫由紀	柏市	12人
2月25日(土)	NHK文化センター柏教室「日本の野ばらの見分け方2」(NHK文化センター柏教室)	御巫由紀	柏市	10人
2月26日(日)	房総の地域文化講座(房総の地域文化を学ぶ会)	黒住耐二	木更津市中央公民館	58人
3月5日(日)	公開シンポジウム「今身近な自然に起きている危機：千葉県における侵略的外来水生植物繁茂拡大の足跡、千葉県で発生したナラ枯れについて」(日本植物分類学会)	林紀男・尾崎煙雄	千葉市	84人
3月5日(日)	メダカの講演会：①「千葉県の淡水魚」、②「千葉県の淡水エビ」(NPO 法人四街道メダカの会)	後藤 亮・駒井智幸	四街道市文化センター	58人
3月9日(木)	南房総市公民館講座 南房総白浜の地質(南房総市丸山公民館)	高橋直樹	白浜コミュニティセンター・南房総市	20人
3月12日(日)	水元公園市民参加型育成管理事業(勉強会)「オニバスの育成管理について」(水元公園水辺のさと市民参加推進会議)	林 紀男	水元公園	16人

ウ 学会・研究会・会議等の開催(館外を含む) 1回 9人

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
12月17日(土)	第28回千葉県貝類談話会	黒住耐二	会議室	9人

エ 施設の貸し出し 2回 44人

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
10月24日(日) 12月24日(金) 2月26日(日)	千葉県昆虫談話会幹事会	伴 光哲・樽宗一朗	会議室	10人
12月18日(土)	千葉県地学教育研究会 2022年度総会、研究発表会、談話会、第70回地学研究発表会(児童・生徒)	高橋直樹	講堂	34人

(3)学習キットの利用(貸出・館内利用等)

期 日	利用者	昆虫標本作製キット(理科)	昆虫標本作製キット(国語)	化石キット(基本)	化石キット(発展)	人類進化学習キット	校庭の野草観察キット	利用方法	利用者数
2022.5.11	千葉市教育センター	○	○	○	○	○	○	館内説明	5人
2022.5.12	袖ヶ浦特別支援学校	○	○	○	○	○	○	館内説明	2人
2022.5.13	四街道特別支援学校	○	○	○	○	○	○	館内説明	2人
2022.5.14	卒論テーマの大学生	○	○					館内説明	1人
2022.5.28	袖ヶ浦市立根方中学校					○		貸出	-
2022.6.12	袖ヶ浦特別支援学校	○		○	○	○		貸出	19人
2022.7.11	東海大学(湘南キャンパス)			○				貸出	15人
2022.7.26	教員の社会体験研修	○	○	○	○	○	○	館内説明	3人
2022.8.3	江戸川区こども未来館			○				出前授業	12人
2022.8.3	千葉県総合教育センター			○	○			出前授業	-
2022.8.4	教員のための博物館の日研修会			○	○			館内説明	20人
2022.8.4	千葉大学			○	○			貸出	20人
2022.8.8	小中学校自然体験活動研修						○	遠隔講義(Zoom)	-
2022.8.11	館行事「いろいろな化石を見てみよう」			○	○			館内説明	20人
2022.8.25	東京都江戸川区臨海小学校科学教育センター			○				貸出	-
2022.8.28	館行事「化石の模型をつくろう」			○	○			館内説明	20人
2022.9.1	東邦大学博物館総合演習			○	○			館内説明	10人
2022.9.1	東京都江戸川区臨海小学校科学教育センター			○	○			貸出	50人
2022.9.21	埼玉県三郷市早稲田中学校					○		貸出	175人
2022.11.27	土気学(あすみが丘プラザ)			○	○			出張説明	20人
2022.12.7	富津市和光保育園			○	○			館内説明	23人
2023.1.13	東京都町田市立忠生中学校			○				貸出	245人
	計	6	5	18	14	7	5		487人

(4)専門分野における相談対応

研究員が専門分野の知識を活かし、個人からの質問相談および各種機関等への助言や技術指導を行なった。なお、これまで学術情報センターで行っていた来館者対応は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、昨年度に引き続き本館2階案内所で実施した。

相談件数2,490件

専門分野	官公庁	公的団体	民間団体	小中高校	大学	海外	個人	小計
地学	2	3	2	0	14	0	42	63

動物	79	19	50	3	33	29	529	742
植物・菌類	4	0	11	1	4	0	95	115
人文	4	1	2	0	0	0	14	21
生態・環境	570	533	195	44	34	9	148	1,533
博物館一般	3	1	1	0	0	0	11	16
合計	662	557	261	48	85	38	839	2,490

4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修等

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、千葉県庁インターンシップは実施しなかった。職場体験は1件は中止し1件はオンラインで実施した。

(1) 職場体験 5校43人 中止1回

月日	学校名	日数	人数	担当科
6月28日(火)	習志野市立第一中学校	1日	25人	教育普及課(原田)(オンライン)
11月4日(金)	市川市立第二中学校	1日	4人	地学研究科(丸山)、企画調整課(樽)
11月8日(火)、9日(水)	習志野市立第二中学校	2日	3人	地学研究科(丸山、八木)
11月26日(木)、27日(金)	千葉市立みつわ台中学校	2日	中止※	植物学研究科
11月29日(火)、30日(水)	千葉市立大宮中学校	2日	2人	環境教育研究科(桑原)
3月14日(火)	第一学院高等学校 千葉キャンパス校	1日	9人	動物学研究科(駒井)、教育普及課(原田)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(2) 千葉県庁インターンシップ 2回 4人

月日	事業名	延べ日数	人数	担当科
8月30日(火)～9月9日(金)	化石資料の整理・データベース登録	10日	2人	地学研究科(加藤)
9月1日(木)～9月16日(金)	化石関連の展示の事前準備作業	10日	2人	地学研究科(丸山)

(3) 博物館実習

ア 実施期間 令和4年8月24日(水)～31日(水) [8日間]

イ 受入校 12校14人[北里大学(1人)、国士舘大学(1人)、千葉大学(2人)、中央大学(1人)、東京海洋大学(1人)、東京農業大学(2人)、富山大学(1人)、日本女子大学(1人)、日本大学(1人)、宮崎大学(1人)、立正大学(1人)、和洋女子大学(1人)]

ウ カリキュラム

8月24日(水) 開講式、常設展示解説、特別展「鯨」の企画から運営まで(宮川尚子)、展示企画実習の説明(高橋直樹)

8月25日(木) 生態園解説(尾崎煙雄・西内李佳・林 浩二)、資料について(御巫由紀)、収蔵庫解説(御巫由紀・黒住耐二・加藤久佳)、広報について(玉井里奈)

8月26日(金) 調査研究活動について(加藤久佳)、調査研究活動体験(昆虫資料収集・標本作成)(斉藤明子・伴 光哲・樽宗一朗)、教育普及業務について(乃一哲久)

8月27日(土)・28日(日) 班別実習(各担当科対応)

8月29日(月) 自宅研修

8月30日(火) 班別実習(各担当科対応)

8月31日(水) 人文系資料の取り扱い(内田龍哉・鈴木建人)、展示企画実習(高橋直樹)、閉講式

(4) 教員研修

ア 館主催 教員のための博物館の日 2回 31人

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
7月28日(木)	博物館環境教育研修	林 浩二・大野将史	研修室	11人
8月4日(木)	教員のための博物館利用研修会	大野将史、齋木健一、加藤久佳、伴光哲、渡瀬綾乃	講堂・研修室・展示室	20人

イ 教員研修制度 9回72人

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
5月12日(木)	教員研修(袖ヶ浦特別支援学校)	大野将史	研修室	2人

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
5月13日(金)	教員研修(四街道特別支援学校)	大野将史	研修室・展示室	2人
7月22日(金)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修 (千葉市立稲岡小・千葉市立本町小・千葉市立葛城中、勝浦市立勝浦中)	大野将史、加藤久佳、 原田浩、桑原和之	展示室・生態園・収蔵庫	4人
7月26日(火)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修 (千葉市立稲岡小・千葉市立本町小・千葉市立葛城中)	大野将史、宮川尚子、 御巫由紀	展示室・生態園・収蔵庫	3人
7月27日(水)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修 (千葉市立稲岡小・千葉市立本町小・千葉市立葛城中、市川市立須和田の丘特支)	大野将史、林 浩二、 宮川尚子	展示室・生態園・収蔵庫	4人
7月29日(金)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修 (千葉市立都賀の台小・千葉市立山王小・千葉市立椎名小・市原市立南総中)	大野将史、林 浩二、 御巫由紀、桑原和之	展示室・生態園・収蔵庫	4人
8月2日(火)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修 (千葉市立都賀の台小・千葉市立山王小・千葉市立椎名小・市川市立須和田の丘特支)	大野将史、林 浩二、 樽宗一朗	展示室・生態園・収蔵庫	4人
8月3日(金)	中堅教員等資質向上研修における社会体験研修 (千葉市立都賀の台小・千葉市立山王小・千葉市立椎名小・流山市立南流山中、千葉県立京葉高)	大野将史、宮川尚子、 原田浩、八木令子	展示室・生態園・収蔵庫	5人
8月23日(火)	教員研修(柏市理科部会)	大野将史、宮川尚子	講堂・展示室	44人

5 県民参画

新型コロナウイルス感染がある程度収束してきたことから、ボランティア活動・サークル活動の多くを再開した。実施にあたっては、コロナ対策をとり、参加者数、活動時間等の制約を設けた。

(1) ボランティア

名称	登録者数	活動延べ人数	活動内容
展示室ボランティア	18人	22人	常設展示室での展示解説
生態園パートナー	9人	20人	生態園での自然観察サポート
資料整理ボランティア	74人	624人	博物館資料(岩石、化石、昆虫、貝、哺乳類、植物、菌類、地衣類、歴史)の整理保存サポート
講座・観察会・イベントボランティア	48人	19人	当館で開催する講座や観察会、イベントの運営サポート
鯨展ボランティア	33人	6人	特別展「鯨」の展示準備、イベントの運営サポート
調査研究ボランティア	13人	17人	重点調査のサポート、野鳥調査サポート
房総の山の観察会サポーター	3人	4人	「房総の山のフィールド・ミュージアム」での観察会のサポート
合計	198人	712人	

(2) 中央博サークル

名称	登録者数	名称	登録者数
ヒスイの会	18人	コケサークル(地衣類)	2人
親子科学クラブ	9人	歴史サークル	20人
地学同好会	33人	生きものサークル	55人
コケサークル(蘚苔類)	37人	もりたん	48人

サークル名	月日	内容	場所	講師	参加者数	担当者
歴史サークル	5.14	第1回 例会	研修室		8人	鈴木建人
ヒスイの会	5.20	第1回 例会	研修室		8人	高橋直樹
歴史サークル	6.11	第2回 例会	研修室	鈴木建人・渡瀬綾乃	10人	鈴木建人
生きものサークル	6.11	観察会「青葉の森の虫さがし」	青葉の森公園		3人	斉藤明子
ヒスイの会	6.17	第2回 例会	研修室		7人	高橋直樹

サークル名	月日	内容	場所	講師	参加者数	担当者
地学同好会	6. 25	研修会「化石にまつわる骨の エトセトラ」	研修室・地 学標本製作 室・生態園	丸山啓志	11人	加藤久佳
歴史サークル	7. 9	第1回 歴史見学会(第3回)	茨城県北相 馬郡利根町 周辺		9人	鈴木建人
ヒスイの会	7. 14	第3回 例会	研修室		6人	高橋直樹
ヒスイの会	8. 19	第4回 例会	研修室		5人	高橋直樹
歴史サークル	9. 10	第3回 例会「鯨展関連講 義」(第4回)	研修室・第 1企画展示 室	高梨俊夫	9人	鈴木建人
ヒスイの会	9. 23	第5回 例会	研修室		7人	高橋直樹
ヒスイの会	10. 21	第6回 例会	研修室		7人	高橋直樹
ヒスイの会	11. 18	第7回 例会	研修室		7人	高橋直樹
歴史サークル	11. 19	第4回 例会「秋の展示「お はまおり」関係講義・展示見 学」(第5回)	講堂・第 1・第2企画 展示室	小林裕美	11人	鈴木建人
ヒスイの会	12. 2	第8回 例会	研修室		3人	高橋直樹
歴史サークル	12. 10	第2回 歴史見学会(第6回)	長生郡一宮 町周辺		8人	鈴木建人
ヒスイの会	12. 17	第9回 例会	研修室		7人	高橋直樹
生きものサークル	1. 17	生きもの講座「アリヅカムシ -足元に輝く赤い宝石-」	研修室	樽宗一郎	14人	斉藤明子
ヒスイの会	1. 22	第10回 例会	研修室		7人	高橋直樹
ヒスイの会	2. 10	第11回 例会	研修室		2人	高橋直樹
歴史サークル	2. 11	会員発表会(第7回)	講堂		11人	鈴木建人
ヒスイの会	2. 23	第12回 例会	研修室		9人	高橋直樹
ヒスイの会	3. 11	第13回 例会	研修室		4人	高橋直樹
もりたん	3. 18	研修会	講堂	平田和弘	30人	平田和弘
ヒスイの会	3. 24	第14回 例会	研修室		5人	高橋直樹

6 外部機関との協定等

(1) 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館

タイトル：大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館と千葉県立中央博物館との博物館活動に関する協定。

提携期間：令和4年4月1日から令和5年3月31日(平成23年3月29日締結、現在の協定は令和3年3月25日から令和8年3月31日)。

連携事業内容：研究教育職員の交流並びに共同研究の実施、博物館の展示活動、展示活動、資料の保存及び活動等を共同で行う。

(2) 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館

タイトル：日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画におけるデータベース構築に関する覚書

提携期間：令和4年4月1日から令和5年3月31日(現在の協定は令和3年3月2日から令和6年3月31日)

連携事業内容：日本語の歴史的典籍データベースを連携して構築する。

(3) 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林

タイトル：東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林と千葉県立中央博物館との連携協力に関する協定。

提携期間：令和4年4月1日から令和5年3月31日(令和3年3月25日締結、以降1年毎の更新)。

連携事業内容：調査研究活動、自然誌資料の収集と整理活動、県民・市民向けの展示や学習機会の提供等を共同で行う。

(4) 持続可能な発展のための国際基礎科学年(IYBSSD2022)

タイトル：持続可能な発展のための国際基礎科学年(IYBSSD2022)への協賛

提携期間：令和4年6月30日から令和5年3月31日(IYBSSD2022：2022年6月30日～2023年6月30日まで)。

連携事業内容：日本学術会議会長から協力依頼のあった国際基礎科学年について、協賛申請した行事(講演会：「菌類から見た生物多様性-産業や学術利用を目指した菌類研究の基盤整備-」)を、外部講師5名を招き令和4年11月23日に博物館講堂で実施した。

第2 大利根分館

1 展示観覧支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展示解説は実施しなかった。

2 講座・観察会等の開催

(1) 講座「水郷の歴史と自然」 1回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
3月18日(土)	川のフィールドミュージアム野鳥観察報告会	桑原和之	集会室	9人

3 アウトリーチ支援

(1) 学校対象

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、小学校対応は入館者を分散させる方式で実施し、出前展示は学習キットの貸し出しにより実施した。

ア 小学校 1回 45人

月日	学校名(事業名)	場所	延べ参加者数
6月17日(金)	潮来市立潮来小学校(3年生)	展示室・集会室	45人

イ 出前展示「古い道具とむかしのくらし」 20回 1,251人

月日	学校名(学年)	場所	参加者数
10月4日(火)～10月12日(水)	銚子市立椎柴小学校(3年生)	銚子市立椎柴小学校	12人
10月13日(木)～10月20日(木)	柏市立柏第六小学校(3年生)	柏市立柏第六小学校	91人
10月14日(金)～11月25日(金)	旭市立滝郷小学校(全学年)	旭市立滝郷小学校	220人
12月5日(月)～12月23日(金)	旭市立滝郷小学校(全学年)	旭市立滝郷小学校	119人
12月6日(火)～12月13日(火)	白井市立桜台小学校(3年生)	白井市立桜台小学校	62人
12月14日(水)～12月22日(木)	白井市立桜台小学校(3年生)	白井市立桜台小学校	62人
1月16日(月)～1月20日(金)	銚子市立豊里小学校(3年生)	銚子市立豊里小学校	26人
1月17日(火)～1月24日(火)	旭市立嚶鳴小学校(3年生)	旭市立嚶鳴小学校	61人
1月23日(月)～1月27日(金)	香取市立香取小学校(3年生)	香取市立香取小学校	29人
1月26日(木)～2月2日(木)	日出学園小学校(3年生)	日出学園小学校	111人
1月30日(月)～2月3日(金)	旭市立滝郷小学校(3年生)	旭市立滝郷小学校	13人
2月6日(月)～2月10日(金)	銚子市立双葉小学校(3年生)	銚子市立双葉小学校	45人
2月7日(火)～2月14日(火)	印西市立滝野小学校(3年生)	印西市立滝野小学校	82人
2月13日(月)～2月17日(金)	香取市立山田小学校(3年生)	香取市立山田小学校	54人
2月17日(金)～2月24日(金)	市川市立富美浜小学校(3年生)	市川市立富美浜小学校	139人
2月20日(月)～2月27日(月)	香取市立わらびが丘小学校(3年生)	香取市立わらびが丘小学校	20人
2月27日(月)～3月3日(金)	東庄町立東庄小学校(3年生)	東庄町立東庄小学校	94人
2月28日(火)～3月7日(火)	佐倉市立井野小学校(3年生)	佐倉市立井野小学校	166人
3月6日(月)～3月10日(金)	匝瑳市立椿海小学校(3年生)	匝瑳市立椿海小学校	41人
3月9日(木)～3月16日(木)	柏市立柏の葉小学校(3年生)	柏市立柏の葉小学校	210人

(2) 団体・機関等への支援

ア 講座等講師(館内) 1回 5人

月日	事業名(依頼者)	講師	場所	参加者数
3月7日(火)	文化庁製作「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財・大芝の七夕馬製作技術 映像記録」内での解説(TEM研究所)	榎美香	集会室	5人

イ 講座等講師(館外) 2回 101人

月日	事業名(依頼先)	担当者等	場所	参加者数
12月25日(日)	資料館セミナー「関東のオビシヤ～下総を中心に～」(鎌ヶ谷市郷土資料館)	榎美香	鎌ヶ谷市立図書館	31人
1月17日(火)	「世界を変えた!いすみのチカラ」講座「世界を変えた!房総の干鰯」(いすみ市商工会・いすみ市立大原小学校6年生)	榎美香	いすみ市立大原小学校とオンライン	70人

(3) 専門分野における相談対応

研究員が専門分野の知識を活かし、個人からの質問相談対応および各種機関等への助言や技術指導を行った。

相談件数 16 件

質問分野	官公庁	公的団体	民間団体	小中高校	大 学	海 外	個 人	小 計
動 物	0	0	0	0	0	0	2	2
人 文	0	1	4	0	1	0	8	14
合 計	0	1	4	0	1	0	10	16

4 県民参画

(1) ボランティア

名称	登録者数	活動延べ人数	活動内容
資料整理ボランティア	2 人	17 人	資料整理に係るサポート

第3 大多喜城分館（講師・担当者は特に断らない場合、大多喜城分館職員）

1 展示観覧支援

(1) 展示解説(試着体験での解説を含む)

ア ミュージアムトーク(研修館) 1回 20人

月日	対象	担当者等	場所	延べ参加者数
6月23日	西清川公民館	渡辺善司	研修館	20人

2 講座・観察会等の開催

休館のため実施なし。

3 アウトリーチ支援

(1) 学校対象 「展示解説」は大多喜城の歴史を含む

ア 中学校 1回 13人

月日	学校名(事業名)	担当者等	場所	延べ参加者数
11月16日	大多喜町立大多喜中学校(地域探訪～我が町大多喜～)	渡辺善司	研修館	13人

イ 出前授業(高等学校) 1回 75人

月日	学校名(事業名)	担当者等	場所	参加者数
6月16日	県立大多喜高等学校(大多喜高校魅力化コンソーシアム)	渡辺善司	千葉県立大多喜高等学校	75人

(2) 団体・機関等への支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は行わなかった。

(3) 専門分野における相談対応

研究員が専門分野の知識を活かし、個人からの質問相談対応および各種機関等への助言や技術指導を行った。

相談件数 11件

質問分野	官公庁	公的団体	民間団体	小中高校	大学	海外	個人	小計
人文	1	1	0	0	0	0	9	11
合計	1	1	0	0	0	0	9	11

4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修等

実施せず。

5 県民参画

新型コロナウイルス感染拡大防止のためボランティアの活動を自粛した。

第4 分館海の博物館（講師・担当者は、特に断らないかぎり、分館海の博物館職員）

1 展示観覧支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のため全ての行事を中止した。

(1) 展示解説 中止 12回

月(回数)	タイトル	講師	場所	参加者数
4月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※
5月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※
6月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※
7月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※
8月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※
9月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※
10月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※
11月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※
12月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※
1月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※
2月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※
3月(0回)	展示室の歩き方	村井ゆかり・金子美織	展示室	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

2 講座・観察会等の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全て事前申込み制で実施した。講座、観察会、みんなで工作 海の生きものは通常よりも参加人数等を制限して行い、初心者向けミニ観察会として、海の生きもの観察ツアーを実施した。磯・いそ探検隊（フィールドトリップ）、博物館探検隊（バックヤードツアー）、海の体験コーナーは中止とした。

(1) 講座 2回 9人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
5月22日(日)	イソギンチャクを分類する	柳 研介	講座実験室	1人
3月19日(日)	房総の魚	川瀬裕司	講座実験室	8人

(2) 観察会 6回 76人、中止1回

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月24日(日)	鵜原理想郷 春の花散歩	斎木健一・松本光史	鵜原理想郷	7人
5月1日(日)	ウミウシを観察しよう	立川浩之・柳 研介	館前の磯	13人
5月21日(土)	親子で磯の生きものを探そう	柳 研介・立川浩之	館前の磯	14人
6月15日(水)	磯で見られるヘンな生きもの	奥野淳兒・菊地則雄	館前の磯	荒天中止
7月29日(金)	親子で磯の魚を探そう	川瀬裕司・奥野淳兒	館前の磯	10人
10月2日(日)	鵜原理想郷 秋の花散歩	斎木健一・松本光史	鵜原理想郷	11人
3月12日(日)	海藻を観察しよう	菊地則雄・松本光史	館前の磯	21人

(3) 海の生きもの観察ツアー 12回 63人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
4月30日(土)	海の生きもの観察ツアー1	菊地則雄・奥野淳兒	館前の磯	15人
5月15日(日)	海の生きもの観察ツアー2	立川浩之・松本光史	館前の磯	4人
5月29日(日)	海の生きもの観察ツアー3	川瀬裕司・菊地則雄	館前の磯	16人
6月4日(土)	海の生きもの観察ツアー4	奥野淳兒・菊地則雄	館前の磯	15人
6月18日(土)	海の生きもの観察ツアー5	柳 研介・川瀬裕司	館前の磯	3人
7月3日(日)	海の生きもの観察ツアー6	菊地則雄・柳 研介	館前の磯	14人
7月16日(土)	海の生きもの観察ツアー7	柳 研介・奥野淳兒	館前の磯	3人
7月17日(日)	海の生きもの観察ツアー8	立川浩之・松本光史	館前の磯	7人
7月31日(日)	海の生きもの観察ツアー9	松本光史・菊地則雄	館前の磯	18人
8月10日(水)	海の生きもの観察ツアー10	奥野淳兒・松本光史	館前の磯	14人
8月27日(土)	海の生きもの観察ツアー11	川瀬裕司・立川浩之	館前の磯	17人
9月10日(土)	海の生きもの観察ツアー12	松本光史・立川浩之	館前の磯	14人

(4)みんなで工作 海の生きもの 3回 59人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
7月24日(日)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	村井ゆかり・金子美織・松本光史	講座実験室	22人
8月7日(日)	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	村井ゆかり・松本光史・菊地則雄	講座実験室	14人
8月21日(日)	海藻おしぼを作ろう	村井ゆかり・金子美織・菊地則雄	講座実験室	23人

(5)体験イベント・特別企画 1,203人

月日	タイトル	講師	場所	参加者数
6月12日(日)	県民の日ちばわくわくフェスタ2022	斎木健一・菊地則雄・奥野淳児・松本光史	幕張メッセ	1,203人

(6)磯・いそ探検隊(フィールドトリップ) 中止

(7)博物館探検隊(バックヤードツアー) 中止

(8)海の体験コーナー 中止

3 アウトリーチ支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施内容や参加人数等の制限を設けて実施した。

(1)団体・機関等への支援

ア 講座等講師(館外) 3回 103人

月日	事業名(依頼先)	担当者等	場所	参加者数
6月17日(金)	勝浦市立豊浜小学校	川瀬裕司	勝浦市立豊浜小学校	11人
6月18日(土)	磯観察(千葉科学大学)	奥野淳児	銚子市長崎鼻	31人
2月25日(土)	講演「千葉県のノリいろいろ」(安房生物愛好会)	菊地則雄	館山市コミュニティセンター	61人

イ 団体フィールドトリップ 5回 103人、中止1回

月日	相手先	担当者等	場所	参加者数
7月2日(土)	勝浦市教育委員会	菊地則雄	館前の磯	24人
7月16日(土)	鴨川青少年自然の家	菊地則雄	館前の磯	39人
7月27日(水)	市原市加茂公民館	立川浩之	館前の磯	17人
7月30日(土)	市原市市津公民館	菊地則雄	館前の磯	16人
8月16日(火)	県生涯学習課「夢チャレンジ体験スクール」	菊地則雄・松本光史	館内	7人
8月28日(日)	君津市小櫃公民館	立川浩之	館前の磯	中止

ウ 野外実習授業

(ア)小学校 14回 822人、中止3回

月日	学校名	担当者等	場所	参加者数
5月17日(火)	板橋区立天津わかしお学校	奥野淳児・松本光史	鴨川市城崎海岸	雨天中止
5月19日(木)	小金井市立小金井第三小学校	松本光史	館前の磯	79人
6月1日(水)	学習院初等科	菊地則雄・松本光史	館前の磯	140人
6月14日(火)	いすみ市立浪花小学校	柳 研介	いすみ市岩船海岸	雨天中止
6月16日(木)	明星小学校	菊地則雄・松本光史	館前の磯	120人
6月16日(木)	小金井市立南小学校	松本光史	館前の磯	93人
6月22日(水)	千葉市立大木戸小学校	菊地則雄	館前の磯	11人
6月24日(金)	御宿町立御宿小学校	松本光史	御宿町立御宿小学校	61人
6月27日(月)	勝浦市立豊浜小学校	川瀬裕司	勝浦市新官の磯	41人
6月28日(火)	御宿町立御宿小学校	松本光史	御宿町小波月海岸	63人
6月29日(水)	板橋区立天津わかしお学校・鴨川市立天津小湊小学校	菊地則雄	鴨川市城崎海岸	63人
7月12日(火)	いすみ市立古沢小学校	松本光史	館前の磯	24人
7月13日(水)	勝浦市立上野小学校	松本光史	館前の磯	雨天中止
9月28日(水)	勝浦市立総野小学校	松本光史	館内	21人
1月18日(水)	いすみ市立浪花小学校・東小学校	松本光史	鶴原理想郷、館前の海岸	18人
3月1日(水)	勝浦市立勝浦小学校	松本光史	勝浦市立勝浦小学校	51人
3月22日(水)	勝浦市立勝浦小学校	松本光史	勝浦市立勝浦小学校	37人

(イ)高等学校 2回 52人

月日	学校名	担当者等	場所	参加者数
7月28日(木)	埼玉県立熊谷西高等学校	柳 研介	館前の磯	41人
7月31日(日)	千葉県立国府台高等学校	菊地則雄・松本光史	館前の磯	11人

(ウ)大学 1回 27人

月日	学校名	担当者等	場所	参加者数
6月19日(土)	千葉科学大学	奥野淳兒	館前の磯	27人

(2)専門分野における相談対応

研究員が専門分野の知識を活かし、個人からの質問相談および各種機関等への助言や技術指導を行なった。

相談件数 19件

専門分野	官公庁	公的団体	民間団体	小中高校	大学	海外	個人	小計
動物	0	3	2	0	6	1	0	11
植物・菌類・藻類	2	1	2	1	1	0	0	7
博物館一般	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	2	2	2	1	1	0	0	19

4 職場体験・インターンシップ・博物館実習・教員研修等

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施内容や参加人数等の制限を設けて実施した。

(1)職場体験 2回 9人

月日	学校名	担当者等	場所	参加者数
11月9日(水)	いすみ市立岬中学校	松本光史	館内	5人
11月16日(木)～ 17日(金)	大多喜町立大多喜中学校	菊地則雄・松本光史	館内、鶉原理想郷	延べ4人

(2)千葉県庁インターンシップ 4回 15人

月日	事業名	担当者等	場所	参加者数
9月6日(火)、 10日(土)～11日(日)、 10月1日(土)～2日(日)	千葉大学	松本光史・奥野淳兒・菊地則雄	館内、館前の磯、鶉原理想郷	延べ5人
9月10日(土)～11日(日)、 10月1日(土)～2日(日)	東洋大学	松本光史・奥野淳兒・菊地則雄	館内、館前の磯、鶉原理想郷	延べ4人
9月10日(土)～11日(日)、 10月1日(土)～2日(日)	千葉県立大多喜高等学校	松本光史・奥野淳兒・菊地則雄	館内、館前の磯、鶉原理想郷	延べ4人
9月27日(火)～28日(水)	千葉県立大原高等学校	松本光史・菊地則雄	館内	延べ2人

(3)教員研修 4回 30人

月日	相手先	担当者等	場所	参加者数
8月9日(火)	夷隅郡市教育研究会環境教育部会	松本光史	館前の磯	9人
8月9日(火)～ 10日(水)	中堅教諭等資質向上研修 (横芝光町立横芝小学校)	菊地則雄	館前の磯、館内	延べ2人
8月26日(金)	千葉県総合教育センター	菊地則雄・松本光史	館前の磯、館内	12人
3月10日(金)	千葉県高校教育研究会理科部会生物分科会海洋生物班	柳 研介・菊地則雄	館前の磯、館内	7人

V 情報発信

1 出版物・印刷物の発行

行事案内やチラシ、ポスターなどの広報印刷物、年報、研究報告書等の印刷物を発行した。

(1) 出版物・印刷物

ア 本館

名称	規格	頁数	部数	年月日
常設展示パンフレット(小学生団体用) 一部改訂	B4 観音折	8	8,000	2023.3.31
令和5年度行事案内	A4	12	10,000	2023.3.28
千葉県立中央博物館年報 34 令和3年度版	A4	111	PDF	2022.8.25
千葉県立中央博物館研究報告 第16巻 第2号	A4	p.73-132	650	2023.3.25
自然誌資料集 第3号「千葉県産コケ植物標本1茎葉状タイ類」	A4	28	100	2023.3.31
房総の山のフィールドミュージアムニュースレター「しいむじな」第77号	A4	4	5,000	2022.6.25
房総の山のフィールドミュージアムニュースレター「しいむじな」第78号	A4	4	5,000	2022.9.25
房総の山のフィールドミュージアムニュースレター「しいむじな」第79号	A4	4	5,000	2022.12.25
房総の山のフィールドミュージアムニュースレター「しいむじな」第80号	A4	4	5,000	2023.3.25
特別展「鯨」				
ポスター	A2	1	3,000	2022.6.11
チラシ	A4	2	80,000	2022.6.11
ワークシート	A4	2	8,000	2022.7.16
図録	A4	47	4,000	2022.7.16
鯨を食べる－安房拓心高校の生徒が見つけたクジラ料理のオリジナルレシピ－	B7	12	8,000	2022.7.16
パンフレット	A3 三折	6	20,000	2022.7.16
秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々の祭ー」				
ポスター	A2	1	150	2022.9.15
チラシ	A4	2	25,000	2022.9.15
解説書	B5	48	500	2022.10.22
リーフレット	A4	4	12,000	2022.10.22
ワークシート	A4	2	8,000	2022.10.22
ワークシート	A4	2	手刷	2022.10.22
塗り絵	A4	1	手刷	2022.10.22
すごろく	A3	1	手刷	2022.10.22
春の展示「ちばの植物 探・検・隊！－さあ、植物調査の旅に出よう－」				
チラシ	A4	2	15,000	2022.12.27
生態園ガイドマップ(増刷)	A4	2	7,000	2022.4.19
生態園のどんぐり	A4	2	3,000	2023.2.22
「あなたの自宅に眠る古写真募集中！」				
ポスター	B2	1	350	2023.3.22
チラシ	A4	2	20,000	2023.3.22

イ 大利根分館

名称	規格	頁数	部数	年月日
大利根 川のフィールド・ミュージアムニュースレター「たかつぼ通信」第15号	A4	4	1,000	2023.3.31

ウ 分館海の博物館

名称	規格	頁数	部数	年月日
令和5年度行事案内	A6 切	8	5,000	2023.3.24
海の博物館利用のしおり(増刷)	A6 切	2	30,000	2023.3.17
マリンサイエンスギャラリー「房総の魚」				
ポスター	A2	1	500	2023.1.26
チラシ	A4	2	40,000	2023.1.26
収蔵資料展「九十九里浜の生きもの」チラシ	A4	2	40,000	2022.6.8
海の生きもの観察ノート17「ワリを知ろう」	A5	28	4,000	2023.3.17

2 インターネットの活用

ホームページで展示や各種行事案内、研究員紹介等の更新を行ったほか、メールマガジンの配信、行事情報や事業の実施状況のツイート、研究員による研究の成果を紹介するデジタルミュージアムの公開等を行った。

(1) ウェブサイト

ア ウェブサイトの更新

	更新回数	新規追加ファイル数	更新ファイル数
本館	125	365	26
房総の山のフィールドミュージアム	15	621	12
大 利 根 分 館	14	5	20
大多喜城分館	15	7	22
分館海の博物館	67	76	80
合 計	236	1,074	160

イ ウェブサイトへのアクセス件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本館	16,177	17,165	18,166	32,273	35,942	22,904	15,272	14,043	10,386	13,254	13,616	13,606	222,804
房総の山のフィールドミュージアム	421	432	383	460	518	334	364	325	263	309	352	357	4,518
大 利 根 分 館	1,276	1,754	1,693	1,268	1,440	977	972	850	732	1,804	2,157	1,453	16,376
大多喜城分館	7,159	4,866	3,057	3,501	4,316	3,274	3,224	3,103	2,723	3,478	3,368	4,742	46,811
分館海の博物館	5,060	5,627	4,851	7,762	11,045	6,045	4,225	3,615	3,196	3,482	3,910	4,936	63,754
合 計	30,093	29,844	28,150	45,264	53,261	33,534	24,057	21,936	17,300	22,327	23,403	25,094	354,263

(2) メールマガジン

ア メールマガジンの配信

	メルマガ名	巻次	配信回数	配信日	総配信数
本館 大 利 根 分 館 大多喜城分館	ちば中央博メール	188～199	12回	毎月10日	2,0297
房総の山のフィールドミュージアム	しいむじなメール	217～228	12回	毎月10日	7,840
分館海の博物館	海からのたより	206～217	12回	毎月1日	8,876

イ メールマガコラム

(ア)ちば中央博メール「中央博の窓」

回次	記事名	執筆者名	掲載号	掲載月
150	収蔵庫から新種の巻貝化石を発見！	伊左治鎮司	188	4月
151	第11回生態園ギャラリー	林 浩二	190	5月
152	令和4年度特別展「鯨」のご案内	宮川尚子	191	6月
153	ミニトピックス展「習志野隕石」	高橋直樹	193	8月
154	秋の展示「おはまおり-海へ向かう神々の祭-」のご案内	小林裕美	194	9月
155	生態園トピックス展「生態園の意外な動物たち」	桑原和之	198	2月
156	令和4年度春の展示「ちばの植物 探・検・隊！-さあ、植物を調べる旅に出よう-」のご案内	山本伸子	199	3月

(イ)ちば中央博メール「コラム 研究室から」

回次	記事名	執筆者名	掲載号	掲載月
125	やはり野に置けコケ	古木達郎	188	4月
126	生態園で見つかったモクズガニのはなし	高山順子	189	5月
127	民具の価値	榎 美香	189	5月
128	シワクシケアリとゴマシジミ	関 諒一	190	6月
129	PCR	後藤 亮	191	7月
130	植物群落を調べること	大津千晶	192	8月
131	そこにお寺があるのはなぜ	渡瀬綾乃	192	8月
131	魅力的！神や仏の物語	鈴木健人	193	9月
131	そこに通い続けるとのこと	玉井里奈	194	10月
133	博物館の定義の改定	林 浩二	195	11月
134	遠ざかる足音-流行性感冒にたおれた医師たち-	内田龍哉	195	11月
136	1989	渡辺善司	196	12月
137	最近、植物が見つからない！	平田和弘	196	12月
138	ため池でのアメリカザリガニ低密度管理	林 紀男	197	1月

回次	記事名	執筆者名	掲載号	掲載月
139	ヤドリギを食べる虫	尾崎煙雄	197	1月
140	秋の展示によせて	小林裕美	197	1月
141	香取神宮旧拝殿の天井画を描いた画家	幅大	198	2月
142	博物館の建物に寄せる	植野英夫	199	3月

(ウ)海からのたより「研究員ノート」

記事名	執筆者名	掲載号	掲載月
春の鶴原理想郷散策	吉田真照	206	4月
ビーチコーミング・どこでもコーミング	斎木健一	207	5月
波打ち際で見られるクサフグの産卵行動	川瀬裕司	208	6月
海は繋がっているのに...	奥野淳兒	209	7月
九十九里浜の海の生きもの	立川浩之	210	8月
ヒメキンチャクガニ	柳研介	211	9月
ソゾという海藻	菊地則雄	212	10月
ハマダンゴムシの棲む砂浜から考えること...	松本光史	213	11月
高校に残されていた90年前の標本	斎木健一	214	12月
間もなく始まる「房総の魚」展の見どころについて	川瀬裕司	215	1月
本牧あたりの昔のカニの話	奥野淳兒	216	2月
勝浦沖の藻場	菊地則雄	217	3月

(3)ツイッター

	アカウント名	フォロワー数	ツイート数	開始年月日
本館 大 利 根 分 館 大 多 喜 城 分 館	@chiba_chuohaku	4,938	629	平成25年3月26日
分館海の博物館	@umihaku	2,055	620	平成25年4月18日
合 計	—	6,993	581	—

(4)YouTube

コンテンツ名
フェアトレード：商品えらびで地球を考える(全体版)【新規コンテンツ】
フェアトレード：フェアトレードとはどんな活動ですか？【新規コンテンツ】
フェアトレード：フェアトレード商品ができるまで【新規コンテンツ】
フェアトレード：フェアトレードはどれだけ知られていますか？【新規コンテンツ】
フェアトレード：フェアトレードのこれから【新規コンテンツ】
青年海外協力隊 環境教育分野のOB/OG 松橋杏子さんからのメッセージ
青年海外協力隊 環境教育分野のOB/OG 杉山圭美さんからのメッセージ
青年海外協力隊 環境教育分野のOB/OG 浦林貴子さんからのメッセージ
地球規模で考え、地域で活動する —青年海外協力隊・環境教育分野のOB/OG たち
これからのバラの育種
令和2年度出土遺物公開事業「北方交流録 —北とつながる五つの物語—」第Ⅲ部 弥生再葬墓と地域交流(弥生時代)
令和2年度出土遺物公開事業「北方交流録 —北とつながる五つの物語—」第Ⅳ部 房総から南東北へ —人とモノの移動—(古墳時代)
令和2年度千葉学講座 不思議ミステリー 房総丘陵の穴をさぐる 房総の川廻しトンネル
令和2年度出土遺物公開事業「北方交流録 —北とつながる五つの物語—」プロローグ
ダイオウイカ現る

コンテンツ名
フェアトレード：自己紹介 + フェアトレードとの出会い【新規コンテンツ】
フェアトレード：フェアトレード認証とは【新規コンテンツ】
フェアトレード：フェアトレードタウン【新規コンテンツ】
フェアトレード：フェアトレード商品はどこで買えますか？【新規コンテンツ】
フェアトレード：みなさんへのメッセージ【新規コンテンツ】
青年海外協力隊 環境教育分野のOB/OG 藤本亜子さんからのメッセージ
青年海外協力隊 環境教育分野のOB/OG 山口泰昌さんからのメッセージ
青年海外協力隊 環境教育分野のOB/OG 新堀春輔さんからのメッセージ
千葉県立中央図書館・中央博物館連携事業トークイベント「バラの図鑑ができるまで」
令和2年度千葉学講座 不思議ミステリー 房総丘陵の穴をさぐる 歴史秘話「印旛」(2)
令和2年度出土遺物公開事業「北方交流録 —北とつながる五つの物語—」第Ⅴ部 —東北から房総へ(奈良・平安時代)
令和2年度千葉学講座 不思議ミステリー 房総丘陵の穴をさぐる 歴史秘話「印旛」(1)
令和2年度出土遺物公開事業「北方交流録 —北とつながる五つの物語—」第Ⅱ部 漁撈活動にみる地域間交流と地域性(縄文時代)
地質ジオラマの列車を動かします
よこすか登場

コンテンツ名
巢から出入りするオオスズメバチ(千葉県立中央博物館 生態園)
アカメヤナギの柳絮(りゅうじょ)
房総の山のケモノ イタチ
昆虫標本 保管
昆虫標本 軟化
昆虫標本 展翅
昆虫標本 ラベル
昆虫標本 バッタ

コンテンツ名
「房総富岳36景〜カメラがとらえた千葉の魅力」 千葉県立中央博物館 トピックス展
房総の山のケモノ ハクビシン
昆虫標本 全体
昆虫標本 標本箱
昆虫標本 道具
昆虫標本 展足
昆虫標本 はりつけ
昆虫標本 トンボ

(5) デジタルミュージアムの公開
ア 本館

コンテンツ名
地衣成分【新規コンテンツ】
日本の地衣類【新規コンテンツ】
チバニアン誕生
下総台地と周辺の貝化石
ノスタルジック・ポストカード
タネの大冒険
地衣類のタイプ標本
海岸生地衣類
房総の海の遊び
生態園の外來哺乳類
梵天にみる房総の出羽三山信仰
地衣類って何？
房総(千葉県)の地衣類誌
館蔵美術品紹介(絵画)
百年前の千葉県『日本博覧図』
中央博資料百選
樹木検索図鑑
房総ジオツアー
昆虫標本のつくり方
地域の音が出る地図
維管束植物標本百選
ネパールと東南アジアの蛾

コンテンツ名
世界のクジラ全種リスト【新規コンテンツ】
山の科学画・全展示図録【新規コンテンツ】
淡水生地衣類
音の標本箱
おばあちゃんの畑プロジェクト
ききみみコレクション
耳をたよりにプロジェクト
野草・雑草検索図鑑
房総の山のケモノ
花の植物画集
房総の植物誌づくりと中央博物館
千葉県の毒きのこ
空からみた千葉県(1987・88年)
千葉県の滝一所在と成因
故・林辰雄氏撮影写真集
生態園植物歳時記
カラス大調査
カエル教室
浮世絵にみる江戸時代の園芸
房総のハチ世界のハチ
環境教育と千葉県
旅する地球の水

イ 大利根分館

コンテンツ名
水郷の原風景
むかしの道具

ウ 大多喜城分館

コンテンツ名
甲冑展
武具のデザイン

コンテンツ名
火縄銃

エ 分館海の博物館

コンテンツ名
磯の生きもの図鑑
館山の海底

コンテンツ名
理想郷生きもの図鑑
勝浦探訪

3 マスコミ等の活用

マスコミ等を活用して、行事や新発見など専門的な話題の発信、情報提供を行ったほか、取材への対応を行った。

(1) 本館

ア 記者発表

区分	発表日	内容
資料提供	4月19日(火)	千葉県立中央博物館 令和4年度トピックス展「五百沢智也氏が描いた房総の風景」
	5月13日(金)	千葉県立中央博物館 北海道知床羅臼沖で3種類の新種エビを公表

区分	発表日	内容
	6月17日(金)	県立中央博物館 生態園トピックス展 みんなの写真でつくる「第11回生態園ギャラリー」
	9月9日(金)	千葉県立中央博物館 日本海若狭湾から新種スナモグリ類の発見—実験所すぐそばの海底から太平洋初記録の属—
	9月13日(火)	県立中央博物館の臨時休館について
	10月7日(金)	県立中央博物館 秋の展示「おはまおり-海へ向かう神々の祭-」
	11月11日(金)	県立中央博物館の研究員が世界バラ会議で優秀書籍賞を受賞!
	11月22日(火)	千葉県立中央博物館 岐阜県高山市で新種の恐竜卵殻化石を発見!~小型肉食恐竜の存在が明らかに~
	12月2日(金)	県立中央博物館 令和4年度ミニトピックス展「十二支にちなんで -卯年-」
	1月5日(木)	令和4年度第1回博物館協議会の開催について
	2月3日(金)	令和4年度第2回博物館協議会の開催について
	2月3日(金)	令和4年度千葉学講座の開催について
	2月15日(水)	生態園トピックス展「生態園の意外な動物たち」
	2月24日(金)	令和4年度第3回博物館協議会の開催について
	2月24日(金)	春の展示「千葉の植物 探・検・隊!ーさあ、植物を調べる旅に出ようー」
	3月29日(水)	県立中央博物館 千葉県誕生150周年記念事業 ふるさと千葉の歴史を振り返る古写真を募集します
知事定例会見	7月7日(木)	千葉県立中央博物館 令和4年度特別展「鯨」

イ 行事情報の発信 126件

ウ 職員の取材対応

- ① 新聞・雑誌等 48件
- ② テレビ・ラジオ等 47件

エ メディア掲載実績

- ① 新聞・雑誌等

掲載日	媒体名	内容	対応者
4月8日(金)	朝日新聞	あなたはなぜ千葉・外房に いるはずがないナナフシ、再び見つかる	尾崎煙雄 樽宗一朗
4月14日(木)	しんぶん赤旗	千葉県立中央博物館について	—
5月5日(木)	朝日新聞	謎のバラ「ミステリーローズ」はどこから? 「海外で絶滅の品種も」	御巫由紀
5月12日(木)	朝日新聞	クジラ肉のタコライスに挑戦	宮川尚子 玉井里奈
5月15日(日)	福島民友新聞	「新種エビ」3種発見 アクアマリンふくしま 知床羅臼沖調査	—
5月16日(月)	千葉日報	トピックス展「五百沢智也氏が描いた房総の風景」について	—
5月24日(火)	房日新聞	安房拓心高調理系3年34人が鯨肉メニュー考案	宮川尚子 玉井里奈
6月3日(金)	地域新聞社	春の展示「苔松苔梅—春を寿ぐうめきごけー」について	坂田歩美
6月3日(金)	千葉日報	蜃気楼実験で観察 千葉県博研究員が指導 九十九里・豊海小6年	大木淳一
6月5日(日)	「momo vol.25 自然と科学の特集号」	千葉県立中央博物館について	坂田歩美 玉井里奈 栗田隆気
6月8日(水)	しんぶん赤旗	日本の貝塚について	黒住耐二
6月11日(土)	船橋よみうり	県民の日 お出かけ情報	関 諒一
6月15日(水)	福利ちば(6月号)	特別展「鯨」について	関 諒一
6月23日(木)	千葉教育 No.674	特別展「鯨」について	関 諒一
7月1日(金)	全科協ニュース Vol.52 No.4「7月8月の特別展」	特別展「鯨」について	関 諒一
7月1日(金)	まま・ここっと	特別展「鯨」について	関 諒一
7月7日(木)	県教委ニュース vol.288	特別展「鯨」について	関 諒一
7月8日(金)	あんふあん	特別展「鯨」について	関 諒一
7月9日(土)	県公式Twitter・LINE	特別展「鯨」について	関 諒一
7月12日(火)	朝日新聞(夕刊)	特別展「鯨」について	関 諒一

掲載日	媒体名	内容	対応者
7月13日(水)	房日新聞	16日から「クジラ」テーマに特別展 県立中央博物館	—
7月14日(木)	房日新聞	県立中央博物館、30日に鴨川の八岡海岸で石の観察会	—
7月16日(土)	千葉日報	クジラの魅力を紹介 千葉県立中央博で特別展 知事「体系的で勉強になる」	宮川尚子
7月18日(月)	県公式Twitter・LINE	特別展「鯨」について	関 諒一
7月20日(水)	フリーマガジン「メトロミニッツ」	特別展「鯨」について	関 諒一
7月20日(水)	千葉日報	特別展「鯨」について	関 諒一
7月28日(木)	チーマガ	特別展「鯨」について	関 諒一
7月28日(木)	房日新聞	ホテルのランチバイキングに安房拓心高生が考案の鯨肉料理	宮川尚子
7月31日(日)	読売新聞	特別展「鯨」について	宮川尚子
8月2日(火)	朝日新聞(夕刊)	特別展「鯨」について	関 諒一
8月5日(金)	県公式Twitter・LINE	特別展「鯨」について	関 諒一
8月10日(水)	日本鯨類研究所運営サイト「くじら総合サイト くじらタウン」	特別展「鯨」について	宮川尚子
8月13日(土)	房日新聞	9月11日に鴨シーでクジラの解説ツアー 県立中央博物館	宮川尚子
8月16日(火)	房日新聞	17人が捕鯨のまち散策 県立中央博物館の関連事業で 南房総	宮川尚子
8月19日(金)	産経新聞	「クジラ県」の魅力一堂に 千葉での特別展で骨格や食文化を紹介	宮川尚子
8月25日(木)	京成らいん9・10月号	特別展「鯨」について	関 諒一
8月26日(金)	東京新聞	クジラに魅せられた女性研究員、企画展を初監修 千葉県立中央博物館	宮川尚子
8月26日(金)	産経新聞	特別展「鯨」について	関 諒一
8月26日(金)	リクルート「ホットペッパー9月号」	特別展「鯨」について	関 諒一
8月26日(金)	サンケイリビング新聞社「ちばリビング」	特別展「鯨」について	関 諒一
9月4日(日)	ちば民報社	特別展「鯨」について	宮川尚子
9月4日(日)	東京新聞	特別展「鯨」について	宮川尚子
9月7日(水)	ウェザーニュース	猛毒きのこが都市部の公園にも!? 「カエンタケ」が恐い理由	吹春俊光
9月11日(日)	東京新聞「見る・聞く・話す・参加する」	特別展「鯨」について	関 諒一
9月13日(火)	成美堂出版「歩く地図 東京近郊散歩 2023-2024」	千葉県立中央博物館について	関 諒一
9月15日(木)	福利ちば(9月号)	秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々の祭ー」について	関 諒一
9月17日(土)	県公式Twitter・LINE	特別展「鯨」について	関 諒一
9月20日(火)	日刊スポーツ	触らないで猛毒「カエンタケ」キノコ狩りシーズン本格化の中 専門家ら注意呼び掛け	吹春俊光
9月22日(木)	東京新聞	幻のヘビ「シロマダラ」について	栗田隆気
9月25日(日)	朝日新聞	「一日記者体験」に小中学生21人参加	—
9月25日(日)	読売新聞	スナモグリ新種を発見 海底から採泥器で採取	駒井智幸
10月8日(土)	読売新聞	「群生している」と通報、食べて死亡例もある猛毒キノコの目撃情報が相次ぐ	吹春俊光
10月16日(日)	ウェザーニュース	見たことない人が8割以上! どんぐりはどんな花を咲かせるの!?	尾崎煙雄
10月18日(火)	ウェザーニュース	全体の7割以上!? 間違っって食べてしまう毒キノコの“ツートップ”とは	吹春俊光
10月20日(木)	県教委ニュース vol. 295	秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々の祭ー」について	関 諒一
10月22日(土)	朝日新聞	緑が戻り、現れた昆虫 八千草薫さんゆかりの草はらで	斉藤明子
10月22日(土)	ウェザーニュース	どんぐりを植えたら木になるって本当!? どんぐりの育て方	尾崎煙雄
10月27日(木)	千葉教育 No. 676	秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々の祭ー」について	小林裕美
10月30日(日)	房日新聞	「おはまおりー」の魅力に迫る秋の展示 県立中央博物館で	小林裕美

掲載日	媒体名	内容	対応者
10月31日(月)	朝日新聞「凄腕しごと にん」	駒井智幸さん 名前をつけた甲殻類の新種、390種	駒井智幸
11月3日(木)	朝日新聞	エビやカニなど390種の名付け親 「新種ハンター」に残された宿題	駒井智幸
11月9日(水)	千葉日報	貝塚カレーについて	玉井里奈
11月11日(金)	毎日新聞首都圏版 博 物館ガイド	秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々の祭ー」について	関 諒一
11月13日(日)	千葉日報	知床半島沖で見つかったエビ類の3新種について	駒井智幸
11月13日(日)	ちば民報社	秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々の祭ー」について	小林裕美
11月25日(金)	夢気球 第64号	秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々の祭ー」について	関 諒一
11月29日(火)	県公式Twitter・LINE	秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々の祭ー」について	関 諒一
12月6日(火)	昭文社「まっふる千 葉・房総'24」	千葉県立中央博物館について	関 諒一
12月8日(木)	シティライフ	バラが紡いでくれた世界は、なんてきれいなことだろう	御巫由紀
12月9日(金)	千葉日報	浜辺を馬が駆ける 神輿を池に投げる 千葉特有「お浜降り」に 焦点 千葉県中央博物館 多彩な形態と魅力紹介	小林裕美
12月11日(日)	東京新聞	日本の野バラの魅力を一冊に 千葉県立中央博物館・御巫さん 世界優秀書籍賞	御巫由紀
12月17日(土)	東京新聞	「卯」ちなんだ千葉県内工芸品や剥製 県立中央博物館で展示 年賀状用撮影スポットも	—
12月17日(土)	県公式Twitter・LINE	ミニトピックス展「十二支にちなんだー卯年ー」について	関 諒一
12月25日(日)	東京新聞	秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々の祭ー」について	小林裕美
12月25日(日)	千葉日報	野バラの魅力一冊に 世界会議で優秀書籍賞 千葉県立中央博物 館資料管理研究科長 御巫由紀さん	御巫由紀
12月31日(土)	産経新聞	ミニトピックス展「十二支にちなんだー卯年ー」について	関 諒一
1月1日(日)	読売新聞	ミニトピックス展「十二支にちなんだー卯年ー」について	古木達郎
1月24日(火)	朝日新聞	派手さないけど…ひっそり咲く「野ばら」の魅力1冊に 世界で も評価	御巫由紀
1月31日(火)	朝日新聞	数十万羽のカモメどこへ 激減の銚子港 おこぼれの魚減ったか ら？	平田和彦
2月1日(水)	月刊新松戸	千葉学講座の開催について	玉井里奈
2月2日(木)	千葉教育 No. 678	春の展示「ちばの植物 探・検・隊！ーさあ、植物を調べる旅に 出ようー」について	関 諒一
2月15日(水)	広報あさひ	千葉学講座の開催について	玉井里奈
3月7日(火)	県教委ニュース vol. 304	春の展示「ちばの植物 探・検・隊！ーさあ、植物を調べる旅に 出ようー」について	関 諒一
3月10日(金)	大衆日報	春の展示「ちばの植物 探・検・隊！ーさあ、植物を調べる旅に 出ようー」について	—
3月17日(金)	毎日新聞・博物館ガイ ド	春の展示「ちばの植物 探・検・隊！ーさあ、植物を調べる旅に 出ようー」について	関 諒一
3月24日(金)	京成らいん特別号'23 春 のおでかけ編	千葉県立中央博物館について	玉井里奈
3月30日(木)	千葉日報	古写真デジタルアーカイブについて	玉井里奈

② テレビ・ラジオ等

放送日	媒体名	内容	対応者
4月9日(土)	NHK ラジオ第一「マイあ さ！」	タンポポについて	尾崎煙雄
5月2日(月)	千葉ガーデンタウン有 線テレビ放送	春の展示「苔松苔梅-春を寿ぐうめのみぎけ-」について	坂田歩美
5月4日(水)	TBS テレビ	Twitterで話題の化石について	丸山啓志
5月6日(金)	千葉テレビ「千葉イ ンフォメーション」	トピックス展「五百沢智也氏が描いた房総の風景」について	—
5月8日(日)	BS 松竹東急「号外！ 日本史スクープ砲」	人魚のミイラについて	島立理子
5月14日(土)	NHK 総合「プラタモリ」	東京湾、特に富津州周辺の地形をテーマにした番組について	八木令子

放送日	媒体名	内容	対応者
5月14日(土)	NHK ラジオ第一「マイあさ！」	タツナミソウについて	尾崎煙雄
5月28日(土)	日本テレビ「1億3000万人のSHOWチャンネル」	蜃気楼の観測地について	大木淳一
6月7日(火)	NHK 北海道	羅臼沖の深海で採集された3種類のエビが新種と認定	—
6月15日(水)	テレビ朝日「テレビ千鳥」	代官山の植物について	平田和弘
6月17日(金)	NHK 総合「チコちゃんに叱られる」	貝焼きのハマグリについて	黒住耐二
6月18日(土)	NHK ラジオ第一「マイあさ！」	ドクダミについて	尾崎煙雄
6月19日(日)	テレビ朝日「相葉マナブ」	相葉マナブ「潮干狩り」	黒住耐二
7月3日(日)	日本テレビ「超無敵クラス」	ミジンツボ類、特に標本写真の送付	黒住耐二
7月15日(金)	ベイエフエム「ミンナノチカラ～CHIBA～」	特別展「鯨」について	宮川尚子
7月16日(土)	千葉テレビ	特別展「鯨」 オープニングセレモニーについて	宮川尚子
7月16日(土)	ベイエフエム「サタデイ・ブレイキング・モーニング」	特別展「鯨」について	—
7月21日(木)	千葉テレビ「千葉県インフォメーション」	特別展「鯨」について	関 諒一
7月22日(金)	NHK 総合「ひるまえほつと」	ヨシゴイの生態について	平田和彦
7月23日(土)	NHK ラジオ第一「マイあさ！」	ヨシについて	尾崎煙雄
7月25日(月)	ニッポン放送「ハロー千葉」	特別展「鯨」について	関 諒一
7月27日(水)	ベイエフエム「CHIBA PREFECTURE UPDATES」	特別展「鯨」について	関 諒一
8月1日(月)	ベイエフエム「千葉のミライ～知事室へようこそ～」	千葉県立中央博物館について	関 諒一
8月2日(火)	フジテレビ「今夜はナゾトレ」	スマレの種子について	平田和弘 天野 誠
8月6日(土)	千葉テレビ「ウィークリー千葉県」	特別展「鯨」について	宮川尚子
8月6日(土)	千葉テレビ「ウィークリー千葉県」	特別展「鯨」について	宮川尚子
8月6日(土)	TBS テレビ「情報7days」	リュウゼツランについて	天野 誠
8月6日(土)	ベイエフエム「リゾート・ウェザー」	特別展「鯨」について	関 諒一
8月8日(月)	千葉ガーデンタウン有線テレビ放送	特別展「鯨」について	宮川尚子
8月8日(月)	TBS テレビ「Nスタ」	リュウゼツランについて	天野 誠
8月21日(日)	NHK 総合「おはよう日本」	自由研究相談について	平田和弘
8月22日(月)	千葉テレビ「NEWS チバ特集」	特別展「鯨」について	宮川尚子
8月27日(土)	NHK ラジオ第一「マイあさ！」	カエンタケについて	尾崎煙雄
9月10日(土)	NHK 総合「プラタモリ」	恐山の生態系について	平田和彦
9月12日(月)	TBS テレビ「The Time」	ドクツルダケについて	吹春俊光
9月30日(金)	NHK 総合「チコちゃんに叱られる」	イルカの種類について	宮川尚子
10月1日(土)	NHK ラジオ第一「マイあさ！」	セイタカアワダチソウについて	尾崎煙雄
10月9日(日)	NHK 総合「ニュース7」	スギ花粉について	奥田昌明
10月28日(金)	ベイエフエム「ミンナノチカラ～CHIBA～」	秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々の祭」について	関 諒一

放送日	媒体名	内容	対応者
11月2日(水)	ニッポン放送「ハロー千葉」	秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々の祭ー」について	関 諒一
11月5日(土)	NHK ラジオ第一「マイあさ！」	リンドウについて	尾崎煙雄
11月20日(日)	エフエム北海道「キューンとする雑学」	ヤドリギについて	尾崎煙雄
11月22日(火)	千葉テレビ「千葉県インフォメーション」	秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々の祭ー」について	関 諒一
11月26日(土)	京丹後市ケーブルテレビ	湯舟坂2号墳 報告会	黒住耐二
12月8日(木)	TBS ラジオ「赤江珠緒たまむすび」	研究実績について	駒井智幸
12月10日(土)	NHK ラジオ第一「マイあさ！」	マンリョウについて	尾崎煙雄
12月12日(木)	千葉テレビ「千葉県インフォメーション」	ミニトピックス展「十二支にちなんでー卯年ー」について	関 諒一
1月2日(月)	ベイエフエム「CHIBA PREFECTURE UPDATES」	秋の展示「おはまおりー海へ向かう神々の祭ー」について	関 諒一
1月2日(月)	ベイエフエム「CHIBA PREFECTURE UPDATES」	ミニトピックス展「十二支にちなんでー卯年ー」について	関 諒一
1月6日(金)	千葉テレビ	ミニトピックス展「十二支にちなんでー卯年ー」について	古木達郎 玉井里奈
1月7日(土)	ベイエフエム「サタデイ・ブレッシング・モーニング」	ミニトピックス展「十二支にちなんでー卯年ー」について	関 諒一
1月14日(土)	NHK ラジオ第一「マイあさ！」	ムクロジについて	尾崎煙雄
1月24日(火)	NHK BS「晴れ、ときどきファーム！」	白菜を食べる昆虫について	伴 光哲
2月18日(土)	NHK ラジオ第一「マイあさ！」	ハンノキについて	尾崎煙雄
2月1日(水)	フジテレビ「世界の何だコレ!?ミステリー」	ブラジルの海岸に打ち上がった骨について	宮川尚子
2月2日(木)	日本テレビ「news every.」	桃子のカモメ類の減少について	平田和彦
2月7日(火)	千葉テレビ「千葉県インフォメーション」	「千葉学講座」について	玉井里奈
3月23日(木)	千葉テレビ「NEWS チバ特集」	春の展示「ちばの植物 探・検・隊！ーさあ、植物を調べる旅に出ようー」について	平田和弘
3月25日(土)	NHK ラジオ第一「マイあさ！」	ハチジョウネジバナについて	尾崎煙雄

(2)大利根分館
ア 記者発表

区分	発表日	内容
資料提供	5月25日(水)	千葉県立中央博物館大利根分館が臨時開館します

イ 行事情報の発信 6件

ウ 職員の取材対応

- ① 新聞・雑誌等 1件
② テレビ・ラジオ等 0件

エ メディア掲載実績

- ① 新聞・雑誌等

掲載日	媒体名	内容	対応者
5月20日(水)	まるごとe!ちば(Web)	あやめまつりに合わせた開館案内について	木本利行
5月21日(水)	ぐるっとちば6月号	あやめまつりに合わせた開館案内について	木本利行

- ②テレビ・ラジオ等 0件

(3) 大多喜城分館

ア 記者発表 0件

イ 行事情報の発信 9件

ウ 職員の取材対応

- ③ 新聞・雑誌等 1件
- ④ テレビ・ラジオ等 5件

エ メディア掲載実績

① 新聞・雑誌等

掲載日	媒体名	内容	対応者
4月21日(木)	ぐるっと千葉	観光施設情報・大多喜城分館の紹介	石井友菜
9月13日(火)	歩く地図 東京近郊散歩 2023-2024	観光施設情報・大多喜城分館の紹介	石井友菜
11月21日(月)	ぐるっと千葉秋	観光施設情報・大多喜城分館の紹介	石井友菜
12月6日(火)	まっふる千葉	観光施設情報・大多喜城分館の紹介	石井友菜
12月6日(火)	るるぶ千葉	観光施設情報・大多喜城分館の紹介	石井友菜
2月28日(火)	鉄印帳の旅	観光施設情報・大多喜城分館の紹介	石井友菜
3月20日(月)	ぐるっと千葉春さんぽ	観光施設情報・大多喜城分館の紹介	石井友菜

② テレビ・ラジオ等

放送日	媒体名	内容	対応者
4月3日(日)	ダウンタウンのガキの使いやあらへんで!	大多喜町の観光名所として紹介	藤原友里 ※R3に対応
4月23日(土)	フジテレビ「タカトシ温水の路線バスで!傑作選」	大多喜町の観光名所として紹介	藤原友里 大谷弘幸 ※R3に対応

(4) 分館海の博物館

ア 記者発表

区分	発表日	内容
資料提供	4月26日(火)	ヤドカリの“宿”を作る新種のイソギンチャク!!-深海の驚くべき共生関係
資料提供	7月1日(金)	フグがつくる「ミステリーサークル」の3Dモデルをオンラインで公開
資料提供	7月7日(木)	令和4年度収蔵資料展「九十九里浜の海の生きもの」について
資料提供	2月8日(水)	マリンサイエンスギャラリー「房総の魚 名魚・珍魚・ふつうの魚」開催
資料提供	3月23日(木)	「ヒメキンカライソギンチャク」世界の注目すべき海洋生物トップ10(2022年)

イ 行事情報の発信

- (ア) 行政, 民間への定期広報 41件
- (イ) 行政, 民間への随時広報 自治体広報誌 15件
新聞等 21件
合計 77件

ウ 職員の取材対応

- ① 新聞・雑誌等 32件
- ② テレビ・ラジオ等 10件

エ メディア掲載実績

① 新聞・雑誌等

掲載日	媒体名	内容	対応者
4月19日(火)	房日新聞	講座「イソギンチャクを分類する」について	柳 研介
5月14日(土)	いすみライフ 5月号	海の博物館紹介	松本光史
5月14日(土)	房日新聞	みんなで工作 海の生きもの「海藻おしぼを作ろう」について	菊地則雄
6月11日(土)	いすみライフ 6月号	観察会「海の生きもの観察ツアー」について	松本光史
8月2日(火)	共同通信 web版	フグの愛の巣、見てみて 産卵床立体化、ウェブ公開	川瀬裕司
8月2日(火)	高知新聞 web版	フグの愛の巣、見てみて 産卵床立体化、ウェブ公開	川瀬裕司
8月2日(火)	日本経済新聞 web版	フグの愛の巣、見てみて 産卵床立体化、ウェブ公開	川瀬裕司
8月2日(火)	徳島新聞 web版	フグの愛の巣、見てみて 産卵床立体化、ウェブ公開	川瀬裕司
8月2日(火)	web 東奥 web版	フグの愛の巣、見てみて 産卵床立体化、ウェブ公開	川瀬裕司
8月2日(火)	新潟日報 web版	フグの愛の巣、見てみて 産卵床立体化、ウェブ公開	川瀬裕司
8月2日(火)	福島民報 web版	フグの愛の巣、見てみて 産卵床立体化、ウェブ公開	川瀬裕司

掲載日	媒体名	内容	対応者
8月2日(火)	愛媛新聞 web 版	フグの愛の巣、見てみて 産卵床立体化、ウェブ公開	川瀬裕司
8月2日(火)	神戸新聞 web 版	フグの愛の巣、見てみて 産卵床立体化、ウェブ公開	川瀬裕司
8月2日(火)	中日新聞	鮮明フグのミステリーサークル 千葉県立中央博物館チーム立体映像化	川瀬裕司
8月2日(火)	産経新聞	ミステリーサークルが立体映像に フグの産卵床 奄美大島	川瀬裕司
8月3日(水)	沖縄タイムズ	フグの力作立体映像に 産卵床ウェブ公開	川瀬裕司
8月3日(水)	西日本新聞	アマミホシゾラフグが海底につくる産卵床	川瀬裕司
8月3日(水)	毎日新聞	フグの巣 3Dモデルに 海の博物館研究員ら「生物模倣」へ応用期待	川瀬裕司
8月5日(金)	中国新聞	フグ産卵床立体映像に	川瀬裕司
8月5日(金)	房日新聞	令和4年度収蔵資料展「九十九里浜の海の生きもの」について	立川浩之
8月6日(土)	千葉日報	フグの愛の巣 立体映像化	川瀬裕司
8月6日(土)	千葉日報	令和4年度収蔵資料展「九十九里浜の海の生きもの」について	立川浩之
8月10日(水)	房日新聞	海の博物館における観察会について	奥野淳兒
8月13日(土)	いすみライフ 8月号	令和4年度収蔵資料展「九十九里浜の海の生きもの」について	松本光史
8月19日(金)	産経新聞	令和4年度収蔵資料展「九十九里浜の海の生きもの」について	立川浩之
8月28日(日)	東京新聞	令和4年度収蔵資料展「九十九里浜の海の生きもの」について	松本光史
9月10日(土)	いすみライフ 9月号	観察会「鶴原理想郷 秋の花散歩」	松本光史
9月11日(日)	毎日新聞	「もてる」フグの巣謎迫る	川瀬裕司
9月18日(日)	月刊化学 10月号	フグの「愛の巣」を立体モデルに	川瀬裕司
9月21日(水)	月刊ぐるっと千葉	分館海の博物館・展示室の紹介	菊地則雄
11月12日(土)	いすみライフ 11月号	展覧会「海のアート展-真綿でつくるゆらゆらクラゲ-」	松本光史
12月1日(木)	「まま・ここっと冬号」	令和4年度マリンサイエンスギャラリー「房総の魚 名魚・珍魚・ふつうの魚」について	松本光史
12月10日(土)	いすみライフ 12月号	展覧会「海のアート展-真綿でつくるゆらゆらクラゲ-」	松本光史
1月5日(木)	千葉日報	海藻ハバノリについて	菊地則雄
1月14日(土)	いすみライフ 1月号	展覧会「海のアート展-真綿でつくるゆらゆらクラゲ-」	松本光史
1月19日(木)	房日新聞	観察会「海藻を観察しよう」について	菊地則雄
2月10日(金)	勝浦市議会だより	海の博物館について	斎木健一 菊地則雄 柳 研介
2月11日(土)	いすみライフ 2月号	マリンサイエンスギャラリー「房総の魚 名魚・珍魚・ふつうの魚」	松本光史
2月19日(日)	日本経済新聞	フグ、円形構造で水流制御	川瀬裕司
2月25日(土)	日経サイエンス 4月号	マリンサイエンスギャラリー「房総の魚 名魚・珍魚・ふつうの魚」	松本光史
3月3日(金)	産経新聞	マリンサイエンスギャラリー「房総の魚 名魚・珍魚・ふつうの魚」	松本光史
3月11日(土)	いすみライフ 3月号	マリンサイエンスギャラリー「房総の魚 名魚・珍魚・ふつうの魚」	松本光史
3月17日(金)	読売新聞	マリンサイエンスギャラリー「房総の魚 名魚・珍魚・ふつうの魚」	松本光史
3月21日(火)	千葉日報	勝浦・海の博物館で企画展、多彩な房総の魚紹介	川瀬裕司

②テレビ・ラジオ等

放送日	媒体名	内容	対応者
4月20日(水)	テレビ朝日	食用イソギンチャクに関するテロップについて	柳 研介
6月11日(土)	千葉テレビ	分館海の博物館の展示の紹介及び磯の生きものについて	菊地則雄
6月15日(水)	TBS	アマミホシゾラフグの生態について	川瀬裕司
6月30日(木)	ケーブルテレビ	分館海の博物館の紹介	菊地則雄
7月8日(金)	Bay-FM	フグがつくる「ミステリーサークル」の3Dモデルについて	川瀬裕司
8月19日(金)	Bay-FM	令和3年度収蔵資料展「九十九里浜の海の生きもの」の紹介	松本光史
9月9日(金)	NHK	オヨギイソギンチャクについて	柳 研介
12月23日(金)	Bay-FM	分館海の博物館の紹介	松本光史
1月19日(木)	日本テレビ	イソギンチャクの同定ほか	柳 研介
3月1日(水)	千葉テレビ	マリンサイエンスギャラリー「房総の魚 名魚・珍魚・ふつうの魚」	川瀬裕司

4 郵便メンバー

郵便メンバーとは、館内で無料配布される刊行物を、事前申込みにより着払いで入手できる制度で、令和3年度は32名の申込者を得た。(前期は着払い「ゆうメール」を利用し、料金はゆうメール310円と着払い手数料21円で計331円、後期はゆうポケット」を利用し、料金はゆうポケット250円と着払い手数料21円で計271円)

VI 施設維持保守

1 施設維持保守工事

本年度は、更新工事は行わなかった。

Ⅶ 千葉県立博物館ネットワーク

1 千葉県立博物館情報システム

千葉県立博物館情報システムは、博物館収蔵資料の管理を目的として平成4年度に供用開始した。これまで平成9年度、平成13年度、平成18年度、平成23年度、平成29年度にそれぞれシステムリプレースがあり、時代に応じた機能の追加や機器の更新等が行われてきた。平成9年度からは公式ウェブサイト「千葉の県立博物館」も公開している。

当館は千葉県立博物館ネットワークのセンター館として、情報システムの運営統括を行っている。令和3年度はシステム全般の管理運営を行うとともに現行契約の1年延長(令和5年2月まで)を決め、次期システムリプレースに向けた準備を進めた。

令和3年度末の収蔵資料のシステム総登録件数は502,033件、インターネット公開件数は411,624件である。

2 千葉県立博物館文化セミナー「千葉学講座」

千葉県立博物館文化セミナー「千葉学講座」を会場とオンライン同時配信の併用型で実施した。千葉県立博物館ネットワークのセンター館である中央博が中心となり準備を進め、中央博を会場として開催した。

開催日時：令和5年3月5日(日)10時～15時40分

会場：千葉県立中央博物館 講堂

参加人数：会場参加41名、オンライン参加47名

- (1)「私の『ちばの植物探検』」講師：千葉県立中央博物館 平田和弘 植物学研究科長
- (2)「イソギンチャクを調べる」講師：千葉県立中央博物館分館海の博物館 柳 研介 主任上席研究員
- (3)「関所はよのため 人のため～関宿関所の役割と実態～」講師：千葉県立関宿城博物館 尾崎晃 学芸課長
- (4)「インテリアデザインの先駆者・澤部清五郎の画業」講師：千葉県立美術館 神野有紗 研究員

Ⅷ 入館者状況

1 月別入館者数

※20名以上のグループを団体とした

(1) 本館

ア 個人(生態園入園者含む)

	開館日数	総入館者数	個人計	個人(有料)			個人(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	25	8,672	8,646	1,392	1,325	67	7,254	6,060	0	1,194
5月	25	8,804	8,727	1,770	1,663	107	6,957	5,755	0	1,202
6月	26	6,898	6,438	1,108	1,028	80	5,330	4,352	15	963
7月	27	10,258	9,709	3,186	3,027	159	6,523	4,064	16	2,443
8月	28	15,461	15,113	5,198	4,812	386	9,915	5,462	0	4,453
9月	22	10,431	9,869	3,739	3,494	245	6,130	4,002	0	2,128
10月	24	7,244	5,954	1,169	1,108	61	4,785	4,021	0	764
11月	26	9,279	7,957	1,226	1,167	59	6,731	5,757	3	971
12月	23	5,289	4,374	760	698	62	3,614	3,162	9	443
1月	23	5,785	5,440	1,059	1,009	50	4,381	3,752	0	629
2月	24	9,375	8,634	1,497	1,392	105	7,137	6,311	2	824
3月	27	7,591	7,290	1,278	1,166	112	6,012	5,103	6	903
合計	300	105,087	98,151	23,382	21,889	1,493	74,769	57,801	51	16,917
通算	10,176	5,312,038	4,649,085							

イ 団体(生態園入園者含む)

	開館日数	団体数	団体計	団体(有料)			団体(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	25	0	26	26	7	19	0	0	0	0
5月	25	3	77	0	0	0	77	12	26	39
6月	26	9	460	4	4	0	456	33	0	423
7月	27	10	549	28	28	0	521	74	0	447
8月	28	10	348	49	49	0	299	100	41	158
9月	22	8	562	0	0	0	562	66	22	474
10月	24	15	1,290	16	16	0	1,274	105	0	1,169
11月	26	29	1,322	39	35	4	1,283	222	38	1,023
12月	23	17	915	19	19	0	896	85	16	795
1月	23	7	345	17	17	0	328	35	0	293
2月	24	17	725	101	4	97	624	108	9	507
3月	27	7	301	32	3	29	269	70	0	199
合計	300	132	6,920	331	182	149	6,589	910	152	5,527
通算	10,176		647,403							

ウ 生態園(個人)

月	開館日数	計
4月	25	5,221
5月	25	4,771
6月	26	3,060
7月	27	2,591
8月	26	3,245
9月	22	2,496
10月	24	2,972
11月	26	3,724
12月	23	2,355
1月	23	2,746
2月	24	4,544
3月	27	3,986
合計	298	41,711
通算	10,066	3,351,925

※ 令和3年度生態園(個人)数値の訂正(正:太字)

月	開館日数	計
4月	25	4,617→ 6,417
5月	25	4,759
6月	26	3,089
7月	27	2,729
8月	28→ 26	3,086
9月	22	3,640
10月	25	3,996
11月	25	5,648
12月	23	2,574
1月	23	2,071
2月	24	4,051
3月	27	6,952
合計	300→ 298	47,212→ 49,012
通算	9,770→ 9,768	3,308,414→ 3,310,214

(2) 大利根分館

ア 個人

	開館 日数	総入館者数	個人計	個人(有料)			個人(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月										
5月	4	210	210	101	98	3	109	94		15
6月	19	1,645	1,600	446	441	5	1,154	1,076		78
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
1月										
2月										
3月										
合計	23	1,855	1,810	547	539	8	1,263	1,170		93
通算	2,791	264,771	166,823							

イ 団体

	開館 日数	団体数	団体計	団体(有料)			団体(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月										
5月	4									
6月	19	1	45	5	5		40			40
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
1月										
2月										
3月										
合計	23	1	45	5	5		40			40
通算	2,791		179,200							

(3) 大多喜城分館

ア 個人

	開館 日数	総入館者数	個人計	個人(有料)			個人(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	30	5,430	5,430	0	0	0	5,430	5,430	0	0
5月	31	5,180	5,180	0	0	0	5,180	5,180	0	0
6月	30	3,480	3,480	0	0	0	3,480	3,480	0	0
7月	31	3,500	3,500	0	0	0	3,500	3,500	0	0
8月	31	2,820	2,820	0	0	0	2,820	2,820	0	0
9月	30	2,070	2,070	0	0	0	2,070	2,070	0	0
10月	31	2,460	2,460	0	0	0	2,460	2,460	0	0
11月	30	2,820	2,820	0	0	0	2,820	2,820	0	0
12月	31	2,020	2,020	0	0	0	2,020	2,020	0	0
1月	31	1,640	1,640	0	0	0	1,640	1,640	0	0
2月	28	2,190	2,190	0	0	0	2,190	2,190	0	0
3月	31	4,920	4,920	0	0	0	4,920	4,920	0	0
合計	365	38,530	38,530	0	0	0	38,530	38,530	0	0
通算	4,940	1,276,464	1,180,608							

※令和3年度の入館者数に修正があったため、以下のとおり再掲。

	開館 日数	総入館者数	個人計	個人(有料)			個人(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	26	6,895	6,895	2,823	2,753	70	4,072	3,356	0	716
5月	26	7,030	7,030	3,680	3,574	106	3,350	2,361	0	989
6月	26	3,442	3,442	1,571	1,541	30	1,871	1,484	4	383
7月	25	3,796	3,796	1,785	1,726	59	2,011	1,412	0	599
8月	27	5,767	5,767	2,888	2,705	183	2,879	1,497	0	1,382
9月	26	4,175	4,175	1,902	1,804	98	2,273	1,646	0	627
10月	24	4,641	4,616	2,092	1,973	119	2,524	2,014	0	510
11月	25	7,402	6,979	2,989	2,791	198	3,990	3,324	8	658

	開館 日数	総入館者数	個人計	個人(有料)			個人(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
12月	21	4,689	4,663	1,994	1,864	130	2,669	2,321	0	348
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	18	2,315	2,315	0	0	0	0	2,315	0	0
合計	244	50,152	49,678	21,724	20,731	993	25,639	21,730	12	6,212
通算	4,575	1,237,934	1,142,078							

イ 団体

	開館 日数	団体数	団体計	団体(有料)			団体(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	30	0	0							
5月	31	0	0							
6月	30	0	0							
7月	31	0	0							
8月	31	0	0							
9月	30	0	0							
10月	31	0	0							
11月	30	0	0							
12月	31	0	0							
1月	31	0	0							
2月	28	0	0							
3月	31	0	0							
合計	365	0	0							
通算	4,311		96,773							

(4)分館海の博物館

ア 個人

	開館 日数	総入館者数	個人計	個人(有料)			個人(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	26	4,808	4,808	2,470	2,372	98	2,338	1,031	39	1,268
5月	25	5,593	5,128	2,782	2,649	133	2,346	949	7	1,390
6月	26	3,955	2,801	1,327	1,280	47	1,474	860	8	606
7月	27	6,797	6,440	3,454	3,290	164	2,986	1,140	14	1,832
8月	26	12,281	12,184	6,374	5,906	468	5,810	1,889	1	3,920
9月	25	4,797	4,694	2,484	2,359	125	2,210	1,149	0	1,061
10月	22	3,718	3,514	1,813	1,755	58	1,701	909	9	783
11月	26	3,853	3,853	1,720	1,659	61	2,133	1,301	12	820
12月	21	2,082	2,082	1,129	1,082	47	953	570	0	383
1月	23	2,183	2,147	1,166	1,123	43	981	497	0	484
2月	24	3,232	3,140	1,642	1,560	82	1,498	841	0	657
3月	27	5,232	5,118	2,356	2,157	199	2,762	1,521	0	1,241
合計	298	58,531	55,909	28,717	27,192	1,525	27,192	12,657	90	14,445
通算		2,415,131	2,232,496							

イ 団体

	開館 日数	団体数	団体計	団体(有料)			団体(無料)			
				有料計	一般	高・大	無料計	一般	高・大	中以下
4月	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	25	7	465	37	37	0	428	44	0	384
6月	26	12	1,154	103	103	0	1,051	21	26	1,004
7月	27	9	357	42	42		315	63	39	213
8月	26	2	97	29	9	20	68	0	0	68
9月	25	3	103	10	10	0	93	7	0	86
10月	22	3	204	15	15	0	189	26	0	163
11月	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	23	1	36	3	3	0	33	0	0	33
2月	24	3	92	1	1	0	91	91	0	0
3月	27	3	114	11	8	3	103	0	0	103
合計	298	43	2,622	251	228	23	2,371	252	65	2,054
通算			182,635							

2 団体入館状況

※20名以上のグループを団体とした

(1) 本館(生態園を含む)

	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	割合
千葉市			2	13				5	5	1				26	48.1%
葛南				2					1					3	5.6%
東葛飾		1			1									2	3.7%
北総				10		1				1				12	22.2%
東上総				5										5	9.3%
南房総			1	2					1					4	7.4%
県外				2										2	3.7%
海外															
合計		1	3	34	1	1		5	7	2				54	100%
割合		1.9%	5.6%	63.0%	1.9%	1.9%		9.3%	12.9%	3.7%				100%	

(2) 大利根分館(来館者のみ)

	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	割合
千葉市															
葛南															
東葛飾															
北総															
東上総															
南房総															
県外				1										1	100%
海外															
合計				1										1	100%
割合				100%										100%	

(3) 大多喜城分館

	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	割合
千葉市															
葛南				1										1	8.0%
東葛飾													1	1	8.0%
北総				4										4	33.0%
東上総				2										2	17.0%
南房総													2	2	17.0%
県外				2										2	17.0%
海外															
合計				9									3	12	100%
割合				75.0%									25.0%	100%	

(4) 分館海の博物館

	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	割合
千葉市									1		2			3	7.0
葛南															
東葛飾															
北総	1			2										3	7.0
東上総			2	2				2			1		1	8	18.7
南房総				2						1			1	6	13.9
県外	1	1		18						3			2	23	53.4
海外															
合計	2	1	2	24				2	1	4	3		4	43	
割合	4.7	2.3	4.7	55.8				4.7	2.3	9.3	6.9		9.3		

3 団体の種類・地域内訳

(1)本館(生態園を含む)

地域	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
	千葉市			2	13				5	5	1				26
葛南	市川市									1					1
	船橋市				1										1
	習志野市														
	八千代市														
	浦安市				1										1
東葛飾	松戸市					1									1
	野田市														
	柏市		1												1
	流山市														
	我孫子市														
北総	鎌ヶ谷市														
	銚子市														
	成田市				2		1								3
	佐倉市				2										2
	旭市				1										1
	四街道市				1										1
	八街市				1						1				2
	印西市														
	白井市				1										1
	富里市														
	匝瑳市				1										1
	香取市				1										1
	栄町														
	酒々井町														
	神崎町														
多古町															
東庄町															
東上総	茂原市				2										2
	東金市														
	勝浦市														
	山武市				1										1
	いすみ市														
	横芝光町				1										1
	芝山町														
	九十九里町				1										1
	大網白里市														
	白子町														
	長柄町														
	長南町														
	睦沢町														
	一宮町														
	御宿町														
大多喜町															
長生村															
南房総	館山市														
	木更津市														
	市原市			1	1					1					3
	鴨川市														
	君津市														
	富津市														
	袖ヶ浦市				1										1
	南房総市														
鋸南町															
県外															
海外															
合計			1	3	32	1	1		5	7	2			52	

都県名	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
東京都				2										2

(2) 大利根分館

地域	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
葛南	千葉市														
	市川市														
	船橋市														
	習志野市														
	八千代市														
東葛飾	浦安市														
	松戸市														
	野田市														
	柏市														
	流山市														
	我孫子市														
北総	鎌ヶ谷市														
	銚子市														
	成田市														
	佐倉市														
	旭市														
	四街道市														
	八街市														
	印西市														
	白井市														
	富里市														
	匝瑳市														
	香取市														
	栄町														
	酒々井町														
	神崎町														
	多古町														
	東庄町														
東上総	茂原市														
	東金市														
	勝浦市														
	山武市														
	いすみ市														
	横芝光町														
	芝山町														
	九十九里町														
	大網白里市														
	白子町														
	長柄町														
	長南町														
	睦沢町														
	一宮町														
	御宿町														
大多喜町															
長生村															
南房総	館山市														
	木更津市														
	市原市														
	鴨川市														
	君津市														
	富津市														
	袖ヶ浦市														
	南房総市														
鋸南町															
県外					1									1	
海外															
合計					1									1	

(3) 大多喜城分館

地域	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
葛南	千葉市														
	市川市														
	船橋市														
	習志野市														
	八千代市				1										1
東葛飾	浦安市														
	松戸市													1	1
	野田市														
	柏市														
	流山市														
北総	我孫子市														
	鎌ヶ谷市														
	銚子市														
	成田市														
	佐倉市														
	旭市														
	四街道市				1										1
	八街市														
	印西市														
	白井市														
	富里市														
	匝瑳市														
	香取市				3										3
	栄町														
東上総	酒々井町														
	神崎町														
	多古町														
	東庄町														
	茂原市														
	東金市														
	勝浦市														
	山武市														
	いすみ市														
	横芝光町														
	芝山町														
	九十九里町														
	大網白里市														
	白子町				2										2
	長柄町														
	長南町														
	睦沢町														
一宮町															
御宿町															
大多喜町															
長生村															
南房総	館山市														
	木更津市														
	市原市														
	鴨川市														
	君津市													1	1
	富津市													1	1
	袖ヶ浦市														
	南房総市														
鋸南町															
県外				2										2	
海外															
合計				9									3	12	

都県名	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
東京都				2										2

(4)分館海の博物館

地域	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	義務教育	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
葛南	千葉市									1		2			3
	市川市														
	船橋市														
	習志野市														
	八千代市														
東葛飾	浦安市														
	松戸市														
	野田市														
	柏市														
	流山市														
	我孫子市														
北総	鎌ヶ谷市														
	銚子市	1													1
	成田市														
	佐倉市														
	旭市														
	四街道市														
	八街市														
	印西市														
	白井市														
	富里市														
	匝瑳市														
	香取市				2										2
	栄町														
	酒々井町														
	東上総	神崎町													
多古町															
東庄町															
茂原市												1			1
東金市															
勝浦市				1	1									1	3
山武市															
いすみ市					1										1
横芝光町															
芝山町															
九十九里町															
大網白里市															
白子町															
長柄町															
長南町				1											1
睦沢町															
一宮町															
御宿町															
大多喜町									2					2	
長生村															
南房総	館山市														
	木更津市														
	市原市														
	鴨川市				2									1	3
	君津市										1				1
	富津市														
	袖ヶ浦市														
	南房総市														
鋸南町															
県外		1	1		18					3			2	25	
海外															
合計		2	1	2	24				2	1	4	3	4	43	

IX 組織・運営

1 千葉県博物館協議会

(1) 協議会委員(任期: 令和4年4月1日～令和5年3月31日)

分野	氏名	役職名
学校教育	濱田素子	富里市立浩養小学校 校長
社会教育	井口 崇	袖ヶ浦市郷土博物館 顧問
家庭教育	卯木伊津美	千葉県子ども会育成連合会 副会長
学識経験者	門脇伊知郎	合同会社わんぱく 代表
学識経験者	鴻野わか菜	早稲田大学総合科学学術院 教育学部教授
学識経験者	関沢まゆみ	国立歴史民俗博物館 副館長
学識経験者	高橋 正	東邦大学 名誉教授
学識経験者	細田美和子	NHK 千葉放送局 局長
学識経験者	細矢 剛	国立科学博物館植物研究部 部長
学識経験者	湯浅治久	専修大学文学部 教授

※分野ごとに五十音順

(2) 議題

月日	議 題	場 所	参加者数
8月26日(木)	県立博物館・美術館における学校教育及び研究機関・団体との連携	中央博物館・会議室 (オンライン開催)	24人
12月23日(木)	県立博物館・美術館における地域連携	中央博物館・会議室 (オンライン開催)	24人
2月24日(木)	新型コロナウイルス感染症と県立博物館・美術館の運営について	中央博物館・会議室 (オンライン開催)	24人

2 職員

()内は研究分野／〔兼※〕は環境生活部文化振興課、〔兼※※〕は環境生活部自然保護課生物多様性センター兼務

館 長	植野 英夫	上 席 研 究 員	関 諒一(理科教育)
副 館 長	高松 武博	上 席 研 究 員	吹春 俊光(菌学)
副 館 長	高梨 俊夫	上 席 研 究 員	山本 伸子(植物分類学(種子植物))
		研 究 員	樽 宗一朗(昆虫分類学)
		研 究 員	玉井 里奈(日本民俗学)

庶務部

庶 務 部 長	中島 一郎
【庶務課】	
庶 務 課 長	中島 一郎
副 主 幹	鎌田 操
副 主 幹	渡辺 真
主 査	本橋 晶子
副 主 査	長谷 久夫
主 事	松森 貴史
主 事	吉村 誠
主 事	水上 将太〔兼※〕
主 事	川村 智紘
会計年度任用職員(その他)	宮田 良介・井上 久徳

【教育普及課】

主席上席研究員	
(兼) 課 長	乃一 哲久(魚類学・水産学)
副 主 査	林田 嗣朗
主任上席研究員	高山 順子(海洋生態学(甲殻類))
上 席 研 究 員	大野 将史(教育普及)
上 席 研 究 員	高橋 直樹(地質学・岩石学)
上 席 研 究 員	原田 浩(地衣類分類学)
上 席 研 究 員	廣川 政和(造形・美術教育)
研 究 員	大津 千晶(植物生態学)
会計年度任用職員(体験交流員)	柳原 亜矢子
会計年度任用職員(体験交流員)	塩地 明子
会計年度任用職員(体験交流員)	藤田 雅代

【企画調整課】

企画調整課長	島立 理子(民俗学・日本近代史)
副 主 査	水野 大樹〔兼※〕(植物生態学)

自然誌・歴史研究部

自然誌・歴史研究部長	幅 大(日本近代美術史・博物館学)
【地学研究科】	
地 学 研 究 科 長	加藤 久佳(古生物学)
主任上席研究員	伊左治 鎮司〔兼※※〕(古生物学)
主任上席研究員	奥田 昌明(第四紀地質学)
上 席 研 究 員	八木 合子(地形学)
研 究 員	丸山 啓志(古生物学)
【動物学研究科】	
動物学研究科長	駒井 智幸(動物分類学-甲殻類)
研 究 員	宮川 尚子(哺乳類学(鯨類))
研 究 員	伴 光哲(昆虫分類学)
【植物学研究科】	
主席研究員 兼 科長	平田 和弘(森林生態学)
上 席 研 究 員	古木 達郎(植物分類学)
上 席 研 究 員	天野 誠(植物分類学(細胞分類学))
【歴史学研究科】	
歴史学研究科長	小林 裕美(民俗学)
主任上席研究員	内田 龍哉(日本近世史)
研 究 員	渡瀬 綾乃(日本民俗学)
研 究 員	鈴木 建人(日本神道史)
【大利根分館】	
主任上席研究員	榎 美香(日本民俗学・民具学)
主任上席研究員	秋山 笑子(日本民俗学)
上 席 研 究 員	木本 利行(教育)
【大多喜城分館】	
主任上席研究員	渡辺 善司(日本近世史・近代史)
研 究 員	石井 友菜(日本考古学・古墳時代)

【資料管理研究科】

資料管理研究科長 御巫 由紀(植物分類学)
主任上席研究員 友田 暁子(図書資料論)
主任上席研究員 村田 明久(海洋生態学)
主任上席研究員 宮 正樹(分子生態学・系統学)
上 席 研 究 員 黒住 耐二(貝類学)

生態・環境研究部

生態・環境研究部長 小田島 高之(地理学)
【生態学・環境研究科】
生態学・環境研究科長 尾崎 煙雄(森林生態学)
主任上席研究員 大木 淳一(地質学)
主任上席研究員 斉藤 明子(昆虫分類学)
主任上席研究員 桑原 和之(鳥類学)
研 究 員 後藤 亮(魚類学)
研 究 員 坂田 歩美(地衣類分類学)
研 究 員 栗田 隆気(爬虫・両生類学)
研 究 員 千葉 友樹(古生態学・堆積学)

研 究 員 西内 李佳(植生史学)

【環境教育研究科】

環境教育研究科長 林 紀男(微生物生態学)
上 席 研 究 員 林 浩二(植物生態学・環境教育)
研 究 員 平田 和彦(海洋生態学・行動生態学)

分館海の博物館

分館長 齋木 健一(植物学・理科教育)
主任上席研究員 川瀬 裕司(魚類生態学)
主任上席研究員 奥野 淳兒(動物分類学-甲殻類)
主任上席研究員 菊地 則雄(藻類学)
主任上席研究員 柳 研介(動物分類学)
主任上席研究員 立川 浩之(海洋生物学)
上 席 研 究 員 松本 光史(博学連携)
副 主 幹 鈴木 徳美
主 事 角田 竜太郎
会計年度任用職員(体験交流員) 村井 ゆかり
会計年度任用職員(体験交流員) 金子 美織
会計年度任用職員(その他) 渡邊 竜次

3 分掌

(1) 庶務部

庶務課 ・庶務、会計、施設管理に関すること
教育普及課 ・教育普及、本館来館者対応に関すること
・「体験学習室」の維持管理に関すること
企画調整課 ・館事業の企画運営、評価事業、博物館協議会の運営、他館との調整等に関すること
・報道、広報に関すること

(2) 自然誌・歴史研究部

地学研究科 ・地学分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること
・「房総の地学」展示室の維持管理に関すること
動物学研究科 ・動物分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること
・「生物の分類」「海洋」展示室の維持管理に関すること
植物学研究科 ・植物分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること
・「房総の生物」展示室の維持管理に関すること
歴史学研究科 ・歴史分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること
・「房総の歴史」展示室の維持管理に関すること
大利根分館 ・大利根分館の維持管理、博物館事業に関すること
大多喜城分館 ・大多喜城分館の維持管理、博物館事業に関すること
資料管理研究科 ・博物館資料に関する研究、収蔵資料の統括、収蔵庫の維持管理、図書資料の管理に関すること

(3) 生態・環境研究部

生態学・環境研究科 ・生態環境分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること
・生態園の運営、維持管理に関すること
・房総の山のフィールド・ミュージアムに関すること
環境教育研究科 ・環境教育分野の調査研究、資料、教育普及、展示に関すること
・「自然と人間のかかわり」展示室の維持管理に関すること

(4) 分館海の博物館

・分館海の博物館の庶務、会計、施設管理に関すること
・分館海の博物館の博物館事業に関すること

4 運営推進チーム・委員会・専門グループ・プロジェクトチーム

複数の組織にまたがる業務は、各課科職員により構成された以下のチーム、委員会及びグループにより、企画運営を行った。

- ・運営推進チーム 展示チーム／調査研究チーム
- ・委員会 資料管理委員会／資料審査委員会／衛生委員会
- ・専門グループ 地学／動物／植物／人文
- ・プロジェクトチーム 機能強化/情報システム/映像記録/県博協委員/若手の会/特別展・企画展、季節展チーム

5 利用方法

■開館時間・休館日

(1) 本館

ア 開 館 時 間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
イ 休 館 日 毎週月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、翌火曜日が休館)

年末年始(令和4年12月28日～令和5年1月4日)

※令和4年度実施

開館時間 午前10時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
 (令和4年4月1日～5月16日/新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
 臨時開館日 令和4年8月8日(月)、8月15日(月)
 (本館のみ開館、生態園は休園)
 臨時休館日 令和4年4月26日(火)、5月10日(火)、9月27日(火)～10月2日(日)
 (メンテナンス作業のため、本館・生態園とも)

(2)大利根分館

本館への機能集約のため、令和4年4月1日より休館

※令和4年度実施

臨時開館日 令和4年5月28日(土)～6月19日(日)
 開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

(3)大多喜城分館

ア 開館時間 (研修館のみ)午前9時～午後4時
 イ 休館日 (研修館)なし

(4)分館海の博物館

ア 開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
 イ 休館日 毎週月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、翌火曜日が休館)
 年末年始(令和4年12月28日～令和5年1月4日)

※令和4年度実施

臨時休館日 令和4年5月10日(火)、9月6日(火)、10月18日(火)～21日(金)、12月13日(火)～14日(水)

■入場料

	本館				大利根分館・分館海の博物館	
	通常期間		特別展期間		通常期間・企画展期間	
	個人	団体	個人	団体	個人	団体
一般	300円	240円	800円	640円	200円	160円
高校生・大学生	150円	120円	400円	320円	100円	80円

※団体は20名以上

※65歳以上の者、小・中学生以下の者、障害者(身体障害者、知的障害者又は精神障害者及び、これらの者を介護する者)は無料

※6月15日(県民の日)、11月3日(文化の日)は入場無料

※生態園は入場無料

■年間パスポート

	本館		大利根分館・分館海の博物館
	料金	企画展追加料金	料金
一般	1,500円	200円	1,000円
高校生・大学生	750円	100円	500円

■所在地

千葉県立中央博物館(本館・生態園、房総の山のフィールド・ミュージアム連絡先)

〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2

電話 043-265-3111 FAX 043-266-2481

千葉県立中央博物館大利根分館

〒287-0816 香取市佐原ハ4500

電話 0478-56-0101 FAX 0478-56-1456

千葉県立中央博物館大多喜城分館

〒298-0216 夷隅郡大多喜町大多喜481

電話 0470-82-3007 FAX 0470-82-4959

千葉県立中央博物館分館海の博物館

〒299-5242 勝浦市吉尾123

電話 0470-76-1133 FAX 0470-76-1821

千葉県立中央博物館年報35 (令和4年度版)

編集・発行 千葉県立中央博物館©
〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2
電 話 043-265-3111 FAX 043-266-2481
<http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

発 行 日 令和 5年 8月 29日